				「中丁人女	门以計画示	<u>Ř</u>													
事業番号	1	事業の名称	市表彰多	条例による表章	岁事業				担当部署	E	部 市長公室	Two.	課 政策秘書詞	課					
基本方針((5)みんな(の力を結集する自治と	と協働のまち	分野別項目	(1)住民と行政が	が協働するまちづくりを進める	施策の進め方	(1)「新しい公	:共」の担い手としての意	識の酢	醸成 フラック	グ			フラッグ項目				
事業の概	概要	団体の表彰を行い事業所管の長等	fいます。 等及び自治会	会連合会長・区長	長から、表彰条例	た、又は市民の模範と 例に基づく表彰対象者 1の贈呈を行います。			(近隣市町や先進都 市の状況等を具体的	瀬戸東野進	長旭市…市政功 月市…市政功労 進市…市制20原 耶町…町政功労	労者 個人8人 功労者 個人7 労者 個人3人 周年記念功労 労者 個人8人	人 労表彰 個人35 人、団体1団体	体 5人、団体28団 :					
事業期間	間	事業開始。	年度	_		終了(予定)年度	Ę.	_	-		総事業費 単位:千円)	H25予算 221	H 25決 算 73	H 26 予算 216	H26決 算 70	H27予算 216	J [評価	iの見方
事業の対	対象			民の模範と認められ	っれる善行があっ				公市 **		一般財源	221	73	216	70	216	6	A 現行	行どおり実施
(だれ、何にな事業の意		A							総事業費 	75	国費·県費 地方債	0	0	0) 0	0			事業の改善
(対象をどの。	ような状	活動に対して敬意	意を表すと	さもに、長年の活	動をねぎらう。						その他	0	0	0	0	, 0	1	D 運営	営主体の見直し
態にしたい	(か)	4								受才	益者負担額	0	0	0	0	0		E 事業	業の廃止の検討
				目的					成果	_		宝	(単位:千円)			評価	Æ.		
事業を構				手段		意図 事務事			成果 [編	—— 0目標	H25予		(章位: 111) 算 (音 H26決算	■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	評価		ᄺᄼᆖᄞ	4 DB	

			目的				成果				事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
	古主的久间) 7 ト 7 主	市政の振興 に寄与又は 市民の模範	推薦 審査 表彰 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	活動に対して敬意を	各課の長等 から推薦を受 け、10月に表 彰審査委員	受彰を承諾した	80		表彰されることで個 人・団体の励みとなる とともに、活動自体へ	221 216	73	委員会報酬37千円 記念品等15千円 会議等茶代4千円	Α	計画通りに実施した。 表彰の人数が減少傾向にあることから、
(市表彰条例による表彰事業	と認められる 善行があっ	長からの推薦を受け、表彰審 査委員会にて審議・決定した	公子 ここびに スーツ	会を開催。1 月の表彰式	表彰候補者の割 合		%	の関心や理解が深まるため、対象者には 受彰を承諾してもらう			会議等茶代4千円 筆耕委託費7千円 写真代7千円	維持	る。 各課等に対し、推薦対象となる方の掘り 起しを引き続きお願いしていく。
		体	被表彰者を表彰することによっ て		で個人3人を 表彰した。		100		交影を承諾しても67 ことが望ましい。	216		子 具11.7 円	維持	
(<u> </u>	 	ſ					
(
								 	ŀ					

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	1	川衣彰栄例による衣	これまで自治会連合会長・区長からの推薦をお願いしていたが、推薦いただいた個人・団体の活動年数が不明であることも多いため、他市の推薦状況を参考に見直しを行い、H27年度以降からは推薦は各課等の長のみとした。			職員提案で、より身近な表彰制度の新設について提案があった。 市民等2人以上からの推薦があった人(活動年数は概ね2年以上)を顕彰する制度を新設。市 民同士がお互い褒め合うことで、幸福度アップを図る。
事務事業の改				規に実施す	感謝状制度	長年、表彰審査委員会委員から提言をいただいていた、感謝状制度を新設する。
善内容				る事務事業		

事業	養番号	2	事業の名	3称	政策調整			CH I IMPORT				担	当部署		部 市長公室	j	課 汝策秘書課		
基	本方針					分野別項	頁目		施	策の進め方					フラッグ		-	フラッグエ	頁目
	事業の権	既要	軍営を推進 第5次総合 計画的な市	します 計画に 政運な いまち	-。 こついては、 営を行いま ⁻ っづくり行程	その事業 す。	計画である	市長の施政方針である 実施計画(3カ年)を作 なされた事業の半期ごと	成し、また、缶	手年度見直しを行う	ことで、	(近隣市 市の状)	の実施状況 5町や先進者 兄等を具体に こ記載)	近隣市時	町においても、 「業費 H		策定。 25決算 ┃ H26予算	│ H26決:	算 H27予算
	事業期		事業	開始年	丰度		_	終了(予	·定)年度	_				(単位	:千円)	0	0 0	112077	0 評価の見方
	事業の れ、何に	対象 :対して)	市の行政運	営								4 /2	事業費		·般財源 費·県費	0	0		0 0 0 A 0 B 事業の改善
(対象	事業の意象をどの	ような状	施政方針に	基づい	いた計画的	な行政運	営を進める	0						ち」	他方債 その他 f負担額	0 0 0	0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討
						目	的									事業費(単位			評価
		構成する 事業	対: (だれ、 対し	何に	(いつ、どの 4月~!7)	日~!10日		意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実約 H26実約 H26目標		成果指標 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明
1	実施計画	町策定事 務	実施計業担当	画事	毎年実施調い、実施計	査定	公表 ● 直しを行	施政方針に基づいた 計画的な行政運営を 進める。	載事業		8	35.7	年次計画が進捗する策推進上望	うことが、施	0	0		Α	現行どおり実施してレヾ。
					を行うことで	で					10	0.0	8) ₀		C			維持	
	新」いま	:ちづくり行	程取組実		進捗確認 ←・→ ● 公表	長	認 ● 公表	施政方針に基づいた	新しいまち づくり行程	年次計画通りに)8.2)6.8	年次計画が進捗する			0		Α	
2	表進行管	管理事務	当課に		半期ごとに を行うことで		進捗管理	計画的な行政運営を進める。	表掲載事業 数 70事業	進捗した事業の 割合		00.0	策推進上重 ため。	重要である	0			維持 維持	現行どおり実施していく。
3																			4. 5
4																			
		事務事	直業				北美	- 内容(H27以降に実施 [・]	する内突)					事務事業				業概要	
		子仍言	芦木				以古	内存(1127以阵12天池	9 성(1) 삼 /					学 协学未			Ŧ	未侧女	
事務業の	事改											H27以降 規に実施	条新 施す						
善内	容											る事務	事業						

事第	美番号	3	事業	の名称	公共交通	受べる 利用促進事業						担	当部署	15	部 行政経営部		課 経営管理課		
基本	本方針	(2)リニモ	こでにぎれ	わい交流す	しるまち	分野別項目	(6)快適で便利	な交通移動を研	確保する 施	策の進め方 (3)3	€通の円滑	化		1 1	フラッグ	<u> </u>	生呂官 生味	フラッグエ	頁目
	事業のホ		長久手 の展開 ウォーキ 版(タイ	市地域公 を図る。また キングを実 トル、市民	共交通会議 た、愛知県る 施することで 協力者(執	にて、利用実態 とリニモ沿線市と で交通手段として	の共同で沿線の のリニモをPRす 発行することで	の施設とリニモ 「る。さらに市」 親しみのある	Eを使ったイ 民目線による 公共交通へ	便性の高い地域公 ベントを実施したり、 る公共交通に関するの の醸成を図る。また	、リニモ るかわら	(近隣市 市の状)	町や先進都	図るととで た、民間 もある。	もに、コミニティ 路線の廃止に	γバスにおい Σ伴い、金銭ネ	ては市外へのルートを記	设置するこ	重の利用促進・利用者の利便性向上をとで広域的な連携を図る市もある。ま ミニティバスを導入・拡充している自治体
	事業期		3	事業開始年	丰度	平成18	年度	終了(予足	定)年度	_				(単位	:千円)	5,714	5,591 4,852	4.	603 4,172 評価の見方
(だ: (対 ý	事業の れ、何に 事業の 象をどの 気にしたし	対して) 意図 ような状				こ、普段公共交迫	通を利用しない	人が利用する	るような意識の	の醸成、利便性の高	高い公共	紀	事業費	う ち ま	般財源 費・県費 地方債 その他 負担額	5,714 0 0 0	5,591 4,852 0 0 0 0 0 0 0 0	4,	603 4,172 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討
						目的					F.					事業費(単位	立:千円)		評価
		構成する 事業				手段 りような手段を使っ 月~ 10月~ 1月	て) (対象をと	意図 ごのような状 たいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標	<u></u> 世	成果指標の設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価事業規模事業費	評価の説明
1	地域公共 運営事業	共交通会 業	議 市民		に定めた実 て、会議の		実施事業で、利便性の公共交流の公共交流の公共交流の公共で	を推進し生の高い市通機関の	会議を4回 開催し、N- バス運行経 構動申請 手続きやか わら版を発 行	①会議で策定する年度事業計画に基づく会議運営 ②連携計画事業の実施・着手数(累計) ③公共交通利用者数(市内駅・バス停)	①事業計画ど ②10事業/ ③24.48 ①事業計画ど ②11事業/1 ③21,109	11事業 1人/日 はり実 施 1事業	①事業計画に 滑な会議運営 ているか ②連携計画の としての進行管 ③連携計画の (前年度比増加	が図られ 推進組織 管理成果 目標値	5,089 4,227 3,547	4,966 3,978	会議運営費3,781千 円 委員報酬197千円	B 維持 削減	平成26年度は長久手市第2次地域公共交通総合連携計画を策定し、公共交通シンポジウムを開催した。また、継続して公共交通かわら版「のりゃあせ」を発行しました。連携計画事業の実施・着手数について目標を達成できなかったため、B評価事業の改善とした。
2	リニモ夏 開催事業	休みイベ 業	ント 市F 民	に	の施設を活 向けイベン	▶ リニモとリニモ沿 5用した中学生り ト(27回:各定員: を開催することで	線 らい、その 下 を使用して	て沿線施設	28回開催 延べ参加者 数2,283人	7~8月リニモ利 用者数		077 074 千 109	リニモ利用者 同時期実績 月)から3%の (過去3年間の から設定。)	(7~8)増加	500 500 500	500	*負担金500千円 (愛知県、名古屋市、 瀬戸市、豊田市、日 進市で構成する東部	拡充維持	目標値にも前年実績にも達していない。今後も参加者アンケートなどを参考に、内容改善を図ったり、体験型イベントを増やすなど、参加者により満足していただけるイベントを目指し、継続して事業を実施する。
	リニモウ: 崔事業	オーキンク	ブ開 市 民		年13回リニ	(5回) (5回) モの駅等を発着 ーキングを開催す	地 施設をPR	い、父迪手 リニモを知		ウォーキング参 加者数(1回あた り)	1,2	238 200 人 238	前年度実績した。	を目標と	-	-	延開で構成りる東部 丘陵線連絡協議会 全体事業費6,700千 円)	維持	前年に比べ、1回当たりの参加者数が減少している。そのため、リニモ沿線で開催されるイベントと協力したり、他事業者のウォーキングイベントと開催が重ならないような日程調整など、事業費をかけない方法で改善を行う。
4	リニモ沿 活動促進	線地域~ 進事業	がくり 市 民	内外の住 に	地域住民ペグくり活動	学生等による地によって	リニモを積用した沿線	泉の地域づ , 組むことで、 :	3件の事業 を支援	採択後8月から3 月までのリニモ 利用者		398 391 千 人	リニモ利用者 時期実績(8月 から5%の増加 年間の伸び率 定。)	~3月) 1(過去3	125 125 125	125	負担金125千円(愛知県、瀬戸市、豊田市、日進市で構成するリニモ沿線地域づくり調査研究会全体事業費2,000千円)	維持	平成26年度は「ぽぷかる連携インタラクティブアートを通じたリニモ沿線活性化」、「Myリニモ&Myタウン」、「リニモは一日イングリッシュタウン!リニモでハロウィーン」の3事業を支援した。平成27年度は、リニモ沿線地域づくり構想の改定を進める。
		± 24	古米		'		b 羊中南///>=	い吹に中七十	7 中南				· · · · ·	沙古坐			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	米加干	
事務の善大	改	地域公事がリニモ夏開催事業リニモ業	だ 休みイ^ だ オーキン 線地域~	ため だいト 定員 ウォ 検託 づくり リニー	(仮称)公(数の見直しーキングの記すする。モ沿線の地	(地域公共交通総 、共交通応援隊を しや体験型イベン 利用者を増やす	結成し、リニモ 小を増やすなと ため、イベント ⁴	で目標としている利用促進についた検討する。	かる「みんなて ついての取糸 ーキングイベ	で育む公共交通」を 且を行う。 ぶントとのコラボレー 、平成27年度はリコ	ションを	H27以 規に実 る事務	を新 布す	務事業			\$	業概要_	

事美	業番号	4	事	業の名称	職員の	の人材育	成事業					担当	当部署	ŕ	部		課 人事課			
基	本方針	(5)みんな	の力を	結集する自治	と協働のま	ち 分野	別項目 (6)	注民の要請に的確に対応する	戦員を育てる	施策の進め方(2	2)人材育成	の推進			フラッグ		•	フラッグ	項目	
	事業の概	既要	•職員	員研修計画等	等に基づ	がき研修を領	実施し、人材の	り育成を図る。				市の状況	町や先進	都 ・係長級 ・ その他	の研修につい	ヽては、ほぼ同	ては、尾張東部職員の 日様の研修を実施して	いる。		
	事業期	間		事業開始	年度		_	終了(予	定)年度	_		-			· 注業費 <u>H</u> ∶千円)	25予算 H 4,650	25決算 H26予算 4,044 5,41	H26決	第 H27予算 ,300 6,0	
/ + *	事業の対 れ、何に	才象	市職		1 /2			17.7.	2/1/2			<i>4</i> 0.∃	⊢ ₩ ;		般財源	4,650	4,044 5,41		,300 6,0	16 🛕 現行どおり実施
	れい回に 事業の意		++ /Fi	チ、印水音画	よだ仏事	+,>+,1 -	1 ノントー しったパナナ	 く、現場に出向き自ら <i>0</i>	い日本日子	土 な 士兄 b 切 倒) ゲム事ナ		事業費		費·県費 也方債	0	0	0		B 事業の改善 C 他事業と統合
(対 額	象をどの まにしたし	ような状 いか)	する。	を踏襲し、私人材の育成	こ/ご江事	をこなして	V 1/CC (141	√、児場に山凹さ目り♡	7日で兄で、	有人、川氏と励 側	して仕事で			受益者	その他	0	0	0		D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
	5.1 - 072	,	_				D#					-		1 2	英 匹ట	→ ** # / ¥ /		<u> </u>		
	事業を構	構成する	ŀ		T	手段	<u>目的</u> _殳	意図	事務事業 事務事業	の 一	H25実 H26実	成果	计用比	悪の口無法	H25予算 H26予算	事業費(単位 H25決算	☑: 十円 <i>)</i> ┃ ┃	評価	<u>₽</u>	価
	事務			(だれ、何に 対して)		、どのような	手段を使って) 10月~! 1月~		実施結果	成果指標	H26其 H26目			票の目標値 の根拠	H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	业: 千円) ・ H26決算の主な内訓 ・ (単位: 千円)	事業規模	Ē	平価の説明
				7.10 (7			1071	>	市研修5		ПЕОД	57			4,650	4,044		ll l	II	
						<u> </u>	<u> </u>	▲ 研修を通して見識を	回、尾東研7回、研修	开 セ アンケートで研			受講者の	7割が効果		 			要であるため、	引き続き実施していくこと
1	職員研修	\$	Ī	市職員			ター主催研修	たげ 職員のわる気	ンター23			92 %	を感じるこ 度の目標	と。H25年	5,413	5,300	研修負担金:1,471 研修委託料:428	維持	だけでなく、全人	、公募している派遣研修 庁的に必要な能力開発
					等に参	加すること	こで	и пешто	他団体研	修		70	文・ノロ小示	匝	6,016		则形安配州.120	維持	に努め市実施で たい。	研修にも力を入れていき
					+	1111	1111		16コース		-	 -						WE1.1	<u> </u>	
						<u> </u>		_												
2]		<u> </u> 	
																	1	ļ		
					<u> </u>						<u> </u>							ļ		
3																			<u> </u> 	
																	1	ļ		
								1												
4																	1			
		事 黎	事業					・ 内容(H27以降に実施	する内容)					事務事業				事業概要		
		7117	, T.A.						/ UF J'D'/					チッカナ 木				アルメ		
事務業の	事											H27以降 規に実施	新							
善内	容											る事務事	業							
													 		-					

事業	番号	5	事業の名称	職員の神	国利厚生事業 国利厚生事業	NET IN ZIV				担当部	『署	行	部 政経営部		課 人事課			
基本	方針				分野別項目		施	策の進め方					フラッグ	<u> </u>	7 7 7 WK	フラッグエ	頁目	
事	革業の概	要 .	健康診断等を 職員互助会^	実施し、職員・補助をする、	の健康保持を図る。 ことで福利厚生事業を	字施し、職員の公務能	率の維持促進	進、元気回復等を図	(;	也市町の写 近隣市町 ^ノ の状況等 に記載	や先進都を具体的	本市以外 総事			こ対する福利厚生事業 25 決算 H26予算	は、実施さ H26決		
	事業期間		事業開始	台年度	_	終了(予	定)年度	_				(単位:	千円)	9,321	9,251 10,214		831 10,996	評価の見方
事 (だれ	業の対 、何に対	象 オl.で)	 古職員、職員3	五助会						総事業	生		般財源 費・県費	9,321	9,251 10,214	9,	831 10,996	A現行どおり実施B事業の改善
事 (対象	業の意	図	戦員の健康保	特、公務能率	の維持促進、元気回	復等を図る。				14D 4- V		ち 世	!方債 ·の他	0 0 5	0 0 0 0 5 5		0 0 0 0 5 5	C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					目的				成	果				事業費(単位	江:千円)		一种位	i
事	事業を構 事務事		対象 (だれ、何 対して)		手段 のような手段を使って) 月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	▮ 成果指標 ▮	H25実績 H26実績 H26目標値	単 成	果指標の 設定の根		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	いのはなの主か中国	<u>評価</u> 事業規模 事業費		面の説明
① 職	員健康	診断	市職員	人間ドック診させるこ	及び健康診断を受	健康保持を図る	診者数244人	要精密検査対象・ 者の内、医療機 関を受診した職 員の割合		10 % 前年	∓度実績(₹ 度)から5%均	平成25	7,262 8,111 8,816	7,197	人間ドック3,743 健康診断3,893	64-4+:	健指導を実施する	ていく。 听を会場として特定保 Sとともに、要精密検査 関の再受診を指導して
② 瓏	員互助	会への補	助 職員互助:	交付し、市	会に対して補助金を 5職員への福利厚生 施することで	公務能率の維持促 進、元気回復等を図 る	補助額	割引サービス Resort及び Goodlife利用者 数	1,58 1,42 1,65	 0 人 前 ⁴	王 度目標値	<u>[</u>	2,059 2,103 2,180	2,054	436人×400円×12 月=2,093千円	維持		舌用を啓発しながら、 利用し、職員の福利厚
3																		
4																		
		古沙日	- *		7- -	. 中宏/1107171 改二中长-	ナス中央)					女市 坐	_			李恒里		
事務事業の改善者内容	事女	事務事			改善	・内容(H27以降に実施す	子る内容)		H 規 る	27以降新 に実施す 事務事業		%事業			事 -	業概要_		

				7() () (1-		1												
事業番号	6	事業の名称	広報事業	<u>.</u>					担当部署		部 行政経営部	-	課 情報課					
基本方針	(5)みんなの	力を結集する自治と	:協働のまち	分野別項目	(4)行政情報を提供し、	住民意見を聴く機会を充実する	施策の進め方	(1)広報内容	の充実その他		フラック	ブ F1「つながり	」~一人ひとりに役割と	:居場所があるまち~	フラッグ項目	(6)広報市民	記者の	の活用
事業の概	要	アルタイムの情報 また、市の取組に 上、月曜日に内容	提供を行っ 興味を持っ 『更新) 及び	ている。 てもらうため、て 、特別番組(305)	♪まわりネットワー ♪、年2回)を作成	全戸配布している。 。 -クのケーブルテレビ、 は、放映することで、市 ストリーミング配信も行	で、30分の情報番ぎ の事業に対して市	組(1日4回以	甲の仏流寺を呉仲的	主し	の行政機関で			1100 7 45	1100°+#	H27予算 【		
事業期	間	事業開始组	丰度	_		終了(予定)年度		_	1		総事業費 単位:千円)	H25予算 47,830	H25決算 47,136	H26予算 54,353	H26決算 51,608	54,657	Г	評価の見方
事業の対		市内外の住民			·		•				一般財源	47,830	47,136	54,353	51,608	54,657		4 現行どおり実施
(だれ、何に		101 171 17 12 12 12 1							総事業費	う	国費•県費	(0	0	0	0	<u> </u>	
事業の意		目り 壬士 にっしゃ	ナンボノ たローっ	-3 6 E						5	地方債	(0	0	0	0		他事業と統合
(対象をとの。 態にしたし		長久手市につい	(徐く知つ(. 467						四 2	その他 全者負担額	(<u> </u>	0		0		運営主体の見直し事業の廃止の検討
,E100120	13 /									Į X1	11日只担假		<u> </u>	U	ı Vı			- アネジルエの状的
				日的					成里			事業 費	(単位·千円)		1			

			目的				成果	ļ			事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
				広報紙を読んでもら		広報紙の内容に 関する不満度を	1.5		前年度アンケートにお	21,895	20,988		Α	行政からの情報をすべての市民に知らせるために必要であり、確実に全戸に配布される紙媒体であり、手段として最
1	広報紙発行	市民	毎月1回、広報紙を全戸配布		12回発行	目標値以下とす る(市政・広報e-	1.4	%	ける数値を参考に、同値を目標値に設定	23,813		印刷製本費 14,797 配布委託料 6,775	維持	適なものであるため。 成果については目標値を大きく上回る
			することで	(99)		モニターへのア ンケート調査)	5			24,139			増加	結果であり、引き続き多くの市民に読まれるような広報作成に努めていく。
				**************************************			208,608		H25実績はシステムリ ニューアル後のアク	2,835	3,048		В	土台としてのシステムはできているた
0	 市ホームページ運用	インターネット接続可能	,	市民に対しては自分の必要な行政情報をいつでも 取得できる状態に、市外の	随時	アクセス数	773,509	1	セス数 (H25.12~ H26.3)であり、その値 _]	2,928	2,928	管理委託 2,928		め、あとは運用面にて、情報の鮮度を 落とさないうちに発信すること及びこま
۷		な方	随時、市の情報を即時的に提供することで	方に対しては当市に興味を持ってもらう状態にする。	的) / L/V g X	205.004		を根拠として1年分の アクセス数を目標値			日生安元 2,920	維持	めな情報発信に努め、常に最新の情報 が掲出されるよう努めていく。
							625,824		に設定	2,928			維持	が拘正されるより劣めていい。
		ひまわり不り トワークの ケーブルテ	<u> </u>	動画ならではの特性	CATVにて1 日9回放映	視聴頻度(市政・	38.9		사무 아니라 IE ie o 4	23,100	23,100			職員をレポーターとして起用したり、広報ナビゲーターである「クーテシガーナ」を取り入
3	市政情報番組制作		1日4回以上番組を放送(毎週更新)・年2回特別番組を放送			広報e-モニター へのアンケート	42	%	前年の視聴頻度を参考に、若干上の数値	27,171	27,165	番組制作委託 27,152	44.44	れた番組構成とし、親近感を向上させている。また、平成26年度より主要ロケVTRコー
		ンターネット	市ホームページにて主要動画コーナーを配信することで	催し等に興味を持っ てもらう。		調査)	40		を目標値とした	25,357		_,,10_		ナーについてストリーミング配信を開始し、 CATV加入者以外の方にも視聴いただける ようにした。
4								%						<u> </u>

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	② 市ホームページ運用	職員に向けて、わかりやすい情報発信についての研修を実施する。			
事務事業の改	10	番組内容を精査し、メープルスペシャルを廃止して経費削減を行う一方、今後もたくさんの視聴者 (CATV未加入者含む)にご覧いただけるよう、ストリーミング配信を引き続き実施する。	H27以降新 規に実施す		
善内容			る事務事業		

事業	美番号	7	事	業の名称	広聴		入于川门						担当	·····································	<i>i</i> -	部		課			
		(5)みん	んなの力を	を結集する自え	 台と協働の	まち 分野	野別項目 (4)行政情報を提供し	、住民意見を聴く機	会を充実する 旅	策の進め方	(2)住民二一	<u> </u>		1.	可政経営部 フラッグ	F1「つながり」~一人	情報課 ひとりに役割と居場所があるまち~	フラッグ項	目 (1)広聴機能の	強化,(10)市政まなび舎の開催
	事業の概	既要	成2 案募 「ī	5年7月から 募集を行って 市政まなび	市民から こいる。な 舎」につい	などを聴く っ積極的に さお、重要・ いては、平	ため「ご意見だけないでは、ため」である。	、提案いたた について意 6回開催して	ごけるよう市内! 見を求める「/ ているが、今年	市ホームペー 29の公共施記 ペブリックコメ E度も3回開催	・ジに設けてい 没及び市ホー。 ント制度」も活 し、市政にお	る。また、平 ムページで提 用している。	他市町の (近隣市町 市の状況:)実施状況 けや先進都 等を具体的 己載)	全ての行	がで行っています。 業者 H	る。	25決算 H26予算	H26決算		
	事業期			事業開始	台年度		_		終了(予	定)年度		_			(単位:	:千円)	0	0 0	112000	0 (評価の見方
	事業の対 れ、何に		() 市际	こ関わるすべ	べての人								総事	業費		般財源 費•県費	0	0 0		0 (A現行どおり実施B事業の改善
(対象	事業の意象をどの	意図 ような	、止 市項	対に対する記 ービスを実施	意見・提多 する。	案等を集め	、市政にフィ	ードバックす	ることで、対象	身者にとって。	り良いと感じ	られる行政	40.1		ち	也方債 その他	0 0	0 C		0 0	C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
							目的						成果				事業費(単位	立:千円)		評価	<u> </u>
	事業を構 事務			対象 (だれ、何 対して)		つ、どのよう	·段 な手段を使って 10月~ 1月・) (対象を	意図 どのような状 したいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目	<u>績</u> 単	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評	西の説明
1) 3	ご意見箱	Ĩ		市に関わるすべての)	ご意見	見箱及び記	を施設に設置で 方ホームペー 楽ハガキに意せてもらうこと	課及び付 ことにより ビスに反	案等を担当 5長に伝える)、行政サー 映し、より良 る行政サー 施していく。	ご意見箱及 び市長への 提案ハガキ にて随時意 見募集	受付件数 (年間)		423 件 600 ×	ド民からの機 を設けたこと 半増加してお の制度についる 民への周知を 対前年度比の にいまする。	で、約40 3り、これ ついて市 を図り、	0	0		A 計	ご意見の件数が前 ↑年度より主要なだ えを開始しているが 長の意見は投稿を	年度とほぼ同数だった。 年度より少なくなったが、 意見についてはHPで公 こめ、掲載されたものと同 回避された可能性もあ 公表していきたい。
2 i	市政まな	ざ舎		市に関わるすべての)	年に3	図、市政(民に対して	における悩み公開する	を市民と	らける悩み事 共有すること 5民のアイデ に取り入れ	年3回実施	参加人数 (延べ)		161 人名	これまで実施の平均参加。 日であるため まであるため まし同等の参いた。	者数が50 0、今年	0	0		B 的	、市民がテーマ でるようになり利付 の出前講座の依 の参加状況を鑑	摩を開始したことによ 及び日時、場所を選 更性が向上した。今後 頼状況及びまなび舎 みつつ、事業の統合を ニーズに合った事業 いきたい。
3																					
4																					
		구	古沙卡业	¥ 1				美山南/110-	小阪に中七	上を中央と				- I	沙古 樂				**************************************		
事務の善内	事 改		事務事業 まなび 令	Н	出前講座 、利用者 。	を開始し、	利用者にとっ	て利便性が	7 以降に実施 向上したことだ に含めて、より	から、さらに出	前講座のPR った事業形態	を進めていを展開してい	H27以降報 規に実施 る事務事	新す	務事業				業概要		

			_			及入于川川										- m		
事業	番号	8	事	業の名称	常時•選	基举時選挙啓発 活	5動				担当	当部署		総務部		課 行政課		
基本	方針					分野別項目		施	策の進め方					フラッグ			フラッグコ	項目
耳	⊈業の∜	概要	各種にて	選挙での投 通常時及び	:票率の向_ :選挙時の限	ヒを図ることを目的に 客発活動について検	、長久手市選挙管理委 討し、投票への意識を高	員会・明るい選 らめ、投票率の	髪挙推進協議会合 向上を図る。	日入業 ((近隣市時 もの状況	町や先進都 等を具体的	② 瀬戸	市、尾張旭市 市、尾張旭市 旭市、日進市	、日進市、豊	明市、東郷町 明市、東郷町 25決算 H26予算	│ H26決:	算 ┃ H27予算 ┃
	事業期			事業開始	年度	昭和59年	度 終了(予	定)年度	_				(単位:	千円)	222	124 171		109 239 評価の見方
	業の対象の	対象 :対して)	市内	の住民							終国	事業費		般財源 貴·県費	70 152	24 36 100 135		19 239 90 0 B 事業の改善
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	業の意	意図 ような状		に対する関	心を高め、	投票行動につなげる).				ularo -	十 本兵	ち 地	2方債 ・の他				C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的				成	課				事業費(単位	ኒ:千円)		評価
Ę		構成する 寄業		対象 (だれ、何に 対して)		手段 「のような手段を使って」 7月~ 10月~ 1月~		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標	単位	成果指標の 設定の材		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算		事業規模事業費	評価の説明
① ^其	月日前担 所頭広幸	殳票期間 報啓発活	引中の f動	市内の住民	刊る公用	は票期間中に拡声機 車から投票を呼び掛 なび選挙啓発物品を ことで	MICWI O.LILLA	(呼びかけ)1日 約2時間を期日日 前投票期間及び投票日に市 施(配布)等 施(配布)等 の公共施 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	当該選挙への投票行動 投票率	33.		司種選挙過5 平均投票率	去2回の	152 135 204	90		В	投票率が上がるような啓発方法を模索 する。
② ^明 夕]るい選 一募集	髪挙啓発 隻	ポス	市内の小中 学生	年度当初内各小中スターの]教育委員会を通じ市 『学校に対し、啓発ポ 募集を行うことで	211.0 (00)	小学生26人、 中学生33人、 高校生1人参加	啓発ポスター募 集への参加者		52 60 大 52	作年度実績		70 36 35	19	消耗品16	維持維持	現行どおり実施していく。
③ 選	鎽出前	前トーク		市内の小学 校6年生	: 9月から12	2月までの間に希望れ 模擬選挙等を行うこと	就学時から選挙の重 交要性を認識してもら	北小学校にて 実施。	参加児童の満足 度		3.7 % §	参加児童の引 する満足度	事業に対	0	0		維持維持	現行どおり実施していく。
4																		
		士。	佐吉坐			71.	* 中京 / 1102 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	+ 7 中南	-				次古米			-	ᅲᄪᆓ	
事務業ので	火		投票期 報啓発	明明中の	票率が上が	であるような啓発方法を	善 内容(H27以降に実施 模索する。	する内容)		į	H27以降 規に実施 る事務事	新	務事業			₹	事業概要_	
										\dashv								

事美	業番号	9	事美	業の名称	検査管	理事業					担当	部署	総	部 総務部		課 行政課			
基	本方針	(5)みんな(の力を約	結集する自治と	と協働のまち	分野別項目	(5)合理的で効果的な行	政運営を行う	施策の進め方	(2)公正•透明	- 明な行政運営	宮の確立		フラッグ		•	フラッグゴ	頁目	
	事業の権	既要					実施することを目的とする 査員の登録制を導入し、		定を行い、検査を急	実施する。	他市町の (近隣市町 市の状況等 に記	「や先進都 等を具体的	瀬戸市 5 尾張旭市 豊明市 2 日進市	500万円以。 300万円以 250万円以。 130万円以。	上 上 上				
	事業期	問		事業開始	在 度	平成2	1年度 終了	(予定)年度	_	_	-		総事業 (単位:千		5予算 H2 ○	25決算 H26予算	H26決⅓	算 H27予算 ○ ○ ○ ○ ○	評価の見方
/ . *	事業の対	付象	設計			建設工事(建築関		() L /+ I Z			-	alle 111	一般	財源	0	0	0	0 0	A 現行どおり実施
	れ、何に 事業の 意		,								総事	業 費	う <u>国費・</u> ち 地力		0	0	0	0 0	B事業の改善C他事業と統合
(対	象をどの まにしたし	ような状	工事	目的物が契	約書に基っ	づき、適正に執行	されているかを検査する	とともに、工事	の品質を確保する	る。			その 受益者負		0	0	0	0 0	D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
71	S120/20	(* /J */											文無有其		V _I	OJ .	υ <u> </u>		
	事業を構	構成する	F		Г	目的 手段	意図	 事務事業		H25実	成果 €績 ┃ ┃				事業費(単位 H25決算	i:千円)		評価	<u> </u>
	事務		(のような手段を使 7月~ 10月~ 1	って) (対象をどのような			H25実 H26実 H26目		成果指標の 設定の4		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	::十円) H26決算の主な内訴 (単位:千円)	事業規模事業费	評化	画の説明
				設計価格25		A TOALS					81.4			0	0		A		
1	検査管理	書業	0	の万円以上の建設工事	契約書に	基づき検査を実	適正に執行されて るかを検査し、品質 高いものを確保す	のかり	工事成績評別 平均点	定の	82.1 点前	i年度実績(ie 📙	0	0	0	維持	現行どおり実施し	ていく。
			ß	(建築関連 除く)に	ることで		同いものを催休する	o ₀			81.4			0			維持		
2																			
																	 		
3																			
4							<u> </u>												
Û																	 		
		事 教	事業				・ 改善内容(H27以降に実	施する内突)				重	務事業			<u> </u>	事業概要		
		子小力	子木				公日7日(1127次四に大	יייני איניער				7	カザ木			-	一个侧女		
											4								
事務 業の 善内	(事) 改										H27以降新規に実施す	f F							
善内	邵										る事務事業	Ę.							

事業	養子	10	事業の名称	共用車・	バス・安全運転					担当部	3署 -		総務部		課 財政課			
基本	卜方針	5)みんなの	力を結集する自治	台と協働のまち	分野別項目(5)合理的で効果的な行政運	営を行う施	策の進め方 (1)対	効率的な行	- 丁政運営の確	立		フラッグ		K1 PX IVX	フラッグエ	頁目	
į	事業の概		去令に基づく車 好に保つ。	重検及び法定	点検を実施して不見	具合箇所の早期修繕を行	うことで、車両	町のコンディションを	它常時良	他市町の実 (近隣市町 ⁴ 市の状況等 に記載	た先進都 を具体的	事業所で			国・県・民間で必ず実施 25決算 H26予算	iされてい		<u> </u>
	事業期		事業開始	台年度	昭和57年	度 終了(予	定)年度	_				(単位:	千円)	3,492	3,545 4,514	5,	712 4,6	523 評価の見方
	事業の対 れ、何に		共用車、市公 月	月バス						総事業	費		般財源 費・県費	3,492	3,545 4,514 0 0	5,	712 4,6	B 事業の改善
(対象	事業の意 象をどの。 終にしたい	ような状	車両のコンディ	ションを良好	に保つ。								き方債 の他 負担額	0 0 0	0 0 0 0			C 他事業と統合D 運営主体の見直しE 事業の廃止の検討
					目的					成果				事業費(単位	ī:千円)		1	平価
:	事業を構 事務		対象 (だれ、何 対して)		手段 のような手段を使って 月~ 10月~11月・		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	積 積 単 成	果指標のE 設定の根		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	LOG法質の主た内部	評価 事業規模 事業費		評価の説明
1	共用車 <i>の</i> 理	安全運転	日ナ <i>エト</i> 美田 ふぐな	章 法定点検	等によって指摘され 箇所を早期に修繕	車両のコンディション	修繕20回	指摘された不具 合箇所を修繕し た回数		13	F度実績等 -見込数値	を基に	3,492 4,514 4,623	5,712	13号車故障修繕 275、11号車故障修 繕288、市公用バス故 障修繕1,192、法定点 検等手数料2,104、重 量税227、消耗品費 973	Α		極していく。 については早期対応に ∤の削減に努める。
2	市公用バ 転管理	スの安全	運 財政課が行理するバフ	,	等によって指摘され 箇所を早期に修繕		修繕2回	指摘された不具 合箇所を修繕し た回数		0 2 回 前 ⁴ した	F度実績等 :見込数値		①に含む。 ①に含む。 ①に含む。	①に含む。 ①に含む。	①に含む。 \	A 維持 維持		毎していく。 については早期対応に ∤の削減に努める。
3															02-01-01-030-01(自 -11-01(消耗品費) 618,000円 -11-06(修繕料) 800,000円	動車管理	()	
4															-12(役務費) 2,785,000円 -27-01(重量税) 311,000円 計4,514,000円			
		士ルー	= **			* +	- 7 · · ·					/ - *		-,		사 In 그=		
事務業の善内	事改容	事務事			改	善内容(H27以降に実施す	する内容)			H27以降新 規に実施す る事務事業		务事業			事	業概要_		

事	業番号	11	事	業の名称	市役所	沂庁舎管3	理業務					担	当部署		部 総務部		財政課		
基	本方針	(5)みんた	この力を	結集する自治	台と協働のま	ち 分野児	引項目 (5)名	合理的で効果的な行政週	国営を行う 施	策の進め方 (4	()庁舎の整備	莆			フラッグ			フラッグエ	項目
(#:	事業の事業期事業の流れ、何に事業の記事業の記事業の記事業の記事業の記	間 対象 対して)	に改	の保守点板 修を行う。 事業開始 所庁舎		指摘された	:不具合につい 昭和42年度	ハて早急に対応すると。 終了 (予	ともに、執務環 ・定)年度	環境を良好に維持	寺するため	(近隣市市の状)	の実施状況 前町や先進者 兄等を具体的 二記載) 事業費	施設を ^管 総事 (単位 う 国:			民間で必ず実施されて 25決算 H26予算 12,432 19,996 12,432 19,996 0 0 0	H 26決	
(文		ような状	施設	や執務環境	意を良好な	状態に維持	持する。							受益者	その他 負担額	0	0 0)	D 運営主体の見直し
							目的				J	成果				事業費(単位	江 :千円)		評価
	事業を 事務	構成する 事業		対象 (だれ、何I 対して)		7月~ 10	F段を使って) 月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標	積一一一	成果指標 設定 <i>0</i>	の目標値)根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明
1	庁舎維持	寺修繕	J	庁舎		保守点検な	よどで把握で 修繕すること	不具合個所の早期発 見・早期対応に努 め、庁舎を良好な状態に維持する。		指摘された不具 合箇所を修繕し た回数			前年度実績した見込数		2,500 2,500	2,611	修繕料2,611千円	√#- 1 ±-	現行どおり実施していく。 不具合箇所等については早期対応に よって、修繕料の削減に努める
2	庁舎補値	多工事	J	庁舎		初に整備す	トベき箇所を 整備をすす	執務環境の改善を目 的とした整備を行う。	補修9箇所	整備箇所/整備 予定箇所		100 100 %	整備すべきいて実施で値を設定し	きるよう数	3,000	3,028	庁舎補修工事費584 千円		現行どおり実施していく。 不具合箇所等については早期対応に よって、補修費の削減に努める
3	庁舎整備	带工事	J	庁舎等	経年劣 規模・記	化や元々の 投備の不備	D庁舎等の 等が指摘さ	庁舎を訪れる市民の 利便の向上になるとと もに、職員の事務改 善にもつなげる。	サイン改修、第2 駐車場通路新 設、西庁舎北側ス ロープ改修、本庁 舎東出入口自動ドア新設、第1駐 車場区画練引き 直場、第1・2駐車 場ガードマンボッ クス撤去	整備箇所/整備		100 100 %	整備すべきいて実施で値を設定し	きるよう数	10,150 14,496 53,519	7,533	市役所庁舎等環境 整備工事20,893千円		現行どおり実施していく。 不具合箇所等については早期対応に よって、整備費の削減に努める
		± 2	万吉业				7L V	中卒(1102121187-中生	ナス 中南へ					古公古坐				₩ Im ==	
事業業	③ ③	庁舎整	備工事	_. †			没備が整備か	内容(H27以降に実施 ら約35年が経過し、近 (平成28年度までの約	年、経年劣化	とに伴って設備の		H27以 規に実 オ	条新 施す	事務事業				· 注概要 - -	
善	시장 											る事務	事業 						

事	業番号	12	事業	の名称	長久				- 事業				担	当部署		部 総務部		課 市民課				
麦	本方針	(5)みんなの)力を結	集する自治	と協働の	まち 分	野別項目	(5)	合理的で効果的な行政に	軍営を行う 施	策の進め方 (1	1)効率的な	一 行政運営	の確立		フラッグ		110 DABA	フラッグ	項目		
	事業の	既要	証明書 及びア 来ない	、戸籍謄 ピタ休業 市民等も	抄本等 日を除る 利用す	の交付、 き、市役別 ることがて	市発行の 所の閉庁 できる。)書籍等(日を含め	長久手市サービスコーの販売及び文化の家・ ケー前10時から午後70年後70年	チケット等の販	え売を行っている	。年末年始	(近隣市 市の状況	町や先進都	東郷町: 瀬戸 ボス サービス 豊よい市 10時~1	住民票・印鑑登録 住民票・印鑑登録 センター:水〜日8 住民票・印鑑登録 :住民票・印鑑登録)時)	証明書・戸籍謄抄 証明書・戸籍謄抄 時30分〜17時15 証明書・戸籍謄抄 录証明書・戸籍謄	語直室: 土日、祝日9時~17 少本の交付(住民課窓口: 第 少本の交付(パルティせと市 分) 少本の交付及び税関係証明 抄本の交付及び税関係証明 少本の交付及び税関係証明	2・4土曜日9 民サービスセ 書・納税(駅	アンター:毎日8時30分 西ロサービスセンター 市民情報サービスセンタ	:毎日10時~19時)	
	事業期			事業開始	r年度		平原	戊12年度	終了(5定)年度	-				(単位	立:千円)	9,232	8,948 9,700	0 9	9,688		
(†	事業の		市内外	の市民等	Ē								総	事業費		-般財源 費・県費	9,232	8,948 9,700 0	0 9	0,334 9,688	A現行どおりB事業の改	
(文	事業の け象をどの 態にした!	ような状	仕事、	所用等で	市役所	の開庁時	手間に来 り	宁できない	ハ市民等の利便性を図	図 る。					5	地方債 その他 皆負担額	0 0 2,857	0 0 0 0 3,697 3,07	0 0 7 3	0 (0 (3,238 3,694	C 他事業と和 D 運営主体の E 事業の廃止の	統合 見直し
							目的						成果				事業費(単位	立:千円)		評価	<u> </u>	
		構成する 事業		対象 どれ、何に 対して)			手段 うな手段を	使って)	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目	積	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費		- 西の説明	
2	び書籍、販売業務	月書の交付 チケット等 務		内外の市 等	等の変の販売	日や夜間交付や、「たくない」ということ	市発行の の家チケ	正明書	仕事、所用等で開庁 時間に来庁できない 市民等の利便性を図 る。	14,752件	各種証明書の 行件数及び書 籍、チケット等の 販売件数	発 15	000	人口が伸びてより申請件数 見込まれる。 績×平均伸署 番変更証明を 5年間)	の増加が 前年度第 811%(地 ・除く各種	9,700		嘱託員報酬 3,595 臨職賃金 2,975 需用費 392 役務費 43 委託料 38 使用料及び賃借料 2,130 備品購入費 159	B 維持	平成26年度実績が、年末年始及で ほぼ毎日営業し 庁時間でも住民 戸籍謄抄本等を	は目標値を下回っ ボアピタ休業日を除 ており、閉庁日及び 票・印鑑登録証明書 取得することができ て利便性の高い事	き閉・る
3																						
4																						
		事務	重業					- 改美	内容(H27以降に実施	する内容)					務事業			ā	事業概要			
事業善	① ① 務事 の改 内容	各種証明	書の交 チケット	`等の 績	に人口	の伸率を	掛けたも	退拠の見 のを目標	四谷(日27以降)に美心 直しを実施する。具体 傾しとする。また、長久 案内の充実を図る。	的には、基準	年度を定めそのコーナー事業の	年度の実 紹介を行っ	H27以降 規に実放 る事務事	全新 色す	•127 学术			-	不似女			

	業番号	13 事	業の名称	長久手市	方コミュニティ活動	助事業費補助金				担当部	署	< ĉ	部 oし文化部	た。	課 つせがある課		
基	本方針 (5)	みんなの力を	結集する自治と	と協働のまち	分野別項目 (2)	地域住民が交流する自律的	なまちをつくる	施策の進め方	(4)地域の課題に対	対応できる地域コミ	ュニティーの		フラッグ		ひとりに役割と居場所がある	まち~ フラッグ項	[目 (5)コミュニティ活動補助金制度の創設
	事業の概要	夏 自注	台会連合会 •	・区(会)が主	三体となるよう、地域	の課題を自ら解決する	ための事業費	を補助する。		他市町の実 (近隣市町代 市の状況等を に記載	5先進都 を具体的	南木曽町宮城県沿田進市	富谷町 行政市民	区長に関する	区運営交付金要綱 5規則(非常勤職員 民自治活動条例、自 民自治活動推進補	治基本条例(
(だ (対:	事業期間 事業の対象 れ、何に対し 事業の意図 象をどのよう 気にしたいか	を して) 地 が うな状 市の	事業開始: 縁組織(自治 施策を補える	会連合会•		度 終了(予定)年度)関心を高めて		- の向上をさ	総事業	費	う 国費 ち 地	千円) 段財源 ・県費 方債 の他	25予算 H 7,049 7,049 0 0 0		第 H26決算 049 9,0 049 9,0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	000 6,738 評価の見方
					目的					成果				事業費(単位	位:千円)		評価
	事業を構成 事務事		対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使って) 月~!10月~! 1月~		事務事業の 大 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	<u>積 </u>	果指標の 設定の机		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主なり (単位:千円)	字記	評価の説明
1	長久手市コ 活動事業費	ミューフィー	地縁組織 (自治会連 合会・区) に	● 5月自治会 で説明・募	連合会長・区長会 集をし、地域の課題 るために補助金を活 うことで		全世帯数 21,961世帯 か 加 3 世 世 彩	自治会加入率	5	6.67	F実績+1 入世帯数 増加傾向	そのも	7,049 9,000 6,738		長小590,940円 西小944,328円 北部1,526,870円 南小1,170,000円 市が洞1,916,551 岩作区2,147,470 前熊区283,859円 大草区241,000円 北熊区179,000円	A 班 拉充	防災、防犯など様々な取組を行うことによって、コミュニティの形成を取ることができ、結果、自治会加入率も、毎年人口が伸びる中で、増加できた。
3	195 長西長南市岩育ブネ	全は15.20年後前大比では、15.20年後期 15.20年後期 15.20年後期 15.20年後期 15.20年代 15	長久手小学 自治会主 北自治会 区自治会员 59.65% 72.99% 8.30%	带 自治结 学校区自然 合会 39.6 会連合会 連合会 45 連合会 59	会加入世帯 11, 台会連合会 62. 66% 66.30% 7.84%	08%	全6.679長西長南市岩前大北 で 1000	 	带 自治会 学校区自治 合会 43.25 会連合会 (連合会 49. 連合会 57.	:加入世帯 会連合会 % 65.42% 62% 49%	62.1896	i		全自長西長南市岩前大北	N校区自治会連 外地区北部自治会 N学校区自治会 が洞地区自治会 作区会 60.65% 族区 66.22% 真区会 73.99% 族区 59.30%	22,000世代 带 12,383代学校区自治 合会 40.66 会連合会 48 連合会 60	带世帯56. 29%合会連合会 63.08%6%67.30%.84%
		事務事業			改善	善内容(H27以降に実施	をする内容)				事	務事業		<u> </u>		事業概要	
事務 業の 善内	改									H27以降新 規に実施す る事務事業							

事	美番号	14	事	業の名称	協働まち	づくり事業	外口區八				担当部	『署 —	部 くらし文化	立て	課 こつせがある課			
基	本方針	(5)みんな	の力を	結集する自治	と協働のまち	分野別項目 (1)住民と行政が協働するまちづ	くりを進める 方		(3)協働事業	■ 提案制度の確	<u></u>	フラ		人ひとりに役割と居場所があるまち~	フラッグ項	目 (23)協働まちづく	り活動助成制度の実施
	事業のホ	既要	の主	役」であるこ	とを認識して	本理念は「みんな 、様々な人との関え 化することを目的と	で進める共助と自治のま つり合いの中で、学びあいする。	ちづくり」であ ハ、育ち合うB	り、市民自らが 取り組みを進め	ぶ「まちづくり 、市民主体の	他市町の実 (近隣市町・ 市の状況等 に記載	や先進都 [□] 豊 を具体的 [□] 豊		n推進委員会(市目 活動団体まちづく	治活動条例(公募提案型 提案型まちづくり事業) り協働事業(NPO公募者 H25決算 H26予算			
	事業期	間		事業開始:	年度	_	終了(予	定)年度	-	_			秘事未复 (単位:千円)	1,100	930 1,349	1,34		評価の見方
(だ (対	事業のえれ、何に 事業の意 象をどの まにしたし	対して) 意図 ような状	広く下	市民に活動 に	こ参加する動	現在市民活動を行 が機づけを行い実践 識を持った活動が	っている市民 遠活動に結び付ける。 す できる状態としたい。	でに活動に耳	対組んでいる	市民には、さ	総事業	5		0 0	930 1,349 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1,34	1,500 0 0 0	A現行どおり実施B事業の改善C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討
											計 田			古光弗/出	た. イ田)		=#1±	
	事業を 事務	構成する 事業		対象 (だれ、何に 対して)		目的 手段)ような手段を使って 引~ [10月~] 1月~		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実	<u>:績 </u>	果指標の目 設定の根拠		予算 H26決算		評価 事業規模 事業費	評価の	D説明
1	協働まち 活動助 _原	っづくり事 戈金	* 来	市民活動を 実施する団 体に		加経費の助成を(一 5万円または10万 とで		⁾ 応募26団体 採択23団体	応募数		15 26 団 体 前4	丰度実績+2	割増	1,100 93 1,349 1,34 1,500	0 はじめの一歩助成: 9 400千円 元気な地域づくり助成:949千円	A 計 し 対充 今 え	「民活動が活性化」 ている。 後、団体が独自の 、自分たちのスキ	ナ、幅広いテーマの し、申請団体が増加)視点で課題をとら ルを活かして行う主 かを応援する制度と す。
2																		
3																		
4																		
							×			<u> </u>			± 3114			- Alle Inv		
事 <i>務</i> の 美内	事 改 容	事系	務事業			改:	善内容(H27以降に実施	する内容) - - - -			H27以降新 規に実施す る事務事業			ちづくりを担う新た	事 なNPO法人の設立及び	運営基盤整	備に係る経費を助	可成する。

					長久手市行	·政評価票															
事	業番号	15	事業の名称	男女共同	司参画推進事業						担	当部署		部くらし文化部	た	課 つせがある課					
基	本方針	(4)文化を	みがき、人が輝く	くまち	分野別項目	(6)男女がともに尊重	し、協力し合うまちをつ	o<る 施	策の進め方	(1)男女共同参问	画社会に向	けての意識改画	革と人権!	尊重 フラッグ	F1「つながり」~一。	- 人ひとりに役割と居場所がある	まち~ フラック	i 項目 (26))男女共同参画プラン	に基づく女性の	社会進出の促進
	事業の概				った取組を実施し、 女共同参画社会の			氏作成、1	PR事業等を実	施し、市民	(近隣市 市の状	Tの実施状況 市町や先進者 況等を具体に こ記載)	影的 定豊日東 東郷	旭市 男女共同 市 第2次男 5 市 第2次男 5 市 第2次男 5 町 男女共同	参画プラン(H x共同参画プラ x平等推進プラ 参画プラン(H	ラン(H19~26) ラン(H23~32)			127予算 【		
	事業期		事業開始:	年度	平成15年	F度	終了(予定)年	丰度	-		1			益位:千円)	16	36	117	115	65		5の見方
(<i>†</i> -	事業の対		市民・市内の企業	美等団体及	び市役所内						*	8事業費		一般財源 国費·県費	16 0	36	117	115 0	65		行どおり実施 事業の改善
(対	事業の意	気図ような状 と	男性と女性が性疑	別にとらわれ	ぃず能力を発揮し、	互いを尊重し	つつ責任をわか	ちあうま	ちづくりを進める	5.		, T. X. X.	5	地方債 その他	0	0 0	0 0	0	0	C 他 D 運営	也事業と統合 営主体の見直し 業の廃止の検討
					目的						成果				事業費(単位	寸:千円)			評価		
	事業を構 事務		対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使っ ⁻ '月~ ¦10月~¦ 1月	て) (対象をど		孫事業の 施結果	成果指標	H25実 H26実	績単	成果指標 設定の		値 H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	- H26決算の主な内 - (単位:千円)	評価 事業規 事業費	模	評価の)説明	
	男女共同	参両 押 打	市民(小学5	•-	+		参画の考え 部	学生の			69 240			1 2	-	6 - 4 入賞者記念品 16	A		学生からの応		
1	川柳募集		年以上)に		参画に関する標語			人の部	応募人数		人	前年度実統	責十2割	増		円	維持	同参画けとなっ	への理解、関った。	一心を深め	うるきっか
				川柳を募	集することによって		15人				80			1	4		維持				
	里 七 卅同		市民(市内			里 士 世 司 :	自治 1回、 ^{会画の音識} 40人	会向け 参加者			-	市内企業向	可け1回			-	Α	市民の	関心のある身	 /近なテー	ーマで講座

	•	事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	4月~!7月~!10月~!1月~	(対象をどのような状態にしたいか)	実施結果	成果指標	H26実績 H26目標値	単 位 	成果指標の目標値 設定の根拠	H26予算 H27予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明
	1	男女共同参画標語•	市民(小学5		男女共同参画の考え			69 240	1	並左座字建 0割頃	16 26	36	入賞者記念品 16千	Α	特に中学生からの応募が増え、男女共
(川柳募集事業	年以上)に	男女共同参画に関する標語・	方を身近に感じてもらう。	225人 一般の部 15人	応募人数	80	八	前年度実績+2割増	14		円	維持維持	同参画への理解、関心を深めるきっかけとなった。
	② I	男女共同参画出前	市民(市内 の企業、地		男女共同参画の意識	自治会向け 1回、参加者 40人	出前講座回数		□	市内企業向け1回	40	40	講師報償金 40千円		市民の関心のある身近なテーマで講座を開催したことで、市民が男女共同参
		講 座	域団体等) に	男女共同参画出前講座を行うことで	啓発を図る。	地域団体向 け1回、参加 者14人		2		地域団体向け1回	40		品的收货 TO 1 1 1		画について学ぶきっかけとなった。
		男女共同参画プロ	市民に	田人以日本本本、一本の学生	男女共同参画に関わる市民人材の発掘及 び育成を行い、主体	ワークショッ プ6回、参加 者のべ90人	男女共同参画サポートチームへ	- 7	ı,	ワークショップ定員20 名のうち8割程度が	- 51	- 51	講師報償金 49千円	В	男女共同参画について学び、実践する 男女共同参画プロジェクト市民チーム 「N十色(ながくてといろ)」が、情報紙の 企画・編集や、トークセッションイベント
		ジェクト事業	1117/10	サイドナートリー・コート	的な取組を担う男女 共同参画サポート チームをつくる。	トークセッ ションイベン ト1回	の参加人数	16		継続的な取組に参加 することを目指す。	11		時即州(原立 47 1 1 1	維持	の企画に関わることで、市民目線での 啓発を行うことができ、市民意識の向上 につながった。
	4)														
	•														

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	3	男女共同参画プロ ジェクト事業	今後は、ワークショップ形式でなく、気軽にチームメンバーが交流し、語り合う機会を持ちながら、市の施策事業(講座、セミナー等)へ、メンバーが主体的に関われるよう促していく。			
事務事 業の改 善内容				H27以降新 規に実施す		
善内容				る事務事業		

			ן איין ויוי ני	「四八八											
事業番号 16	事業の名称	長久手市観光	交流推進事業	美補助金			担当部署		部 くらし文化	部	課 たつせがある	る課			
基本方針 (2)リニー	モでにぎわい交流で	するまち 分野5	別項目 (10)にぎ	行いあふれる新たな観光交流を進める	施策の進め方	(1)魅力の創出	╏、(2)魅力の発信		フラッ	グ			フラッグ項目		
事業の概要				や事業者、各種団体、行政等活性化を目指す事業に補助す		公內宁仁 咫	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	L, 2	iの観光交流: その運営主体 総事業費	推進会議の役は多くの市町 H25予算	割にあたる団 が行政主導で H25決算	体として他市に で行っている。 H26予算	町では観光協 H26決算	会を設置して↓ H27 予算 ┃	る場合が多い。しか
事業期間	事業開始:	年度	平成17年度	終了(予定)年度	-	_			単位:千円)	14,200	14,166	12,700	11,864	8,000	評価の見方
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民						総事業費	う	一般財源 国費·県費	12,700	12,661	11,200	10,569	6,500	A現行どおり実施B事業の改善
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	本市を訪れる観光	光交流人口を増加る	させる。					ち 受:	地方債 その他 益者負担額	1,500 800	1,505 690	1,500 800	1,295 695	1,500 800	C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討
			目的			Б				事業費	(単位:千円)			評価	

			目的				成果				事業費(単位	か・ 千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	
1	イルミネーション事業) (「ながくて冬まつり」)	市内外の住 民	観光交流推進会議会員に、公 募の市民も加えた実行委員会	派人口を増加させ	実行委員会 7回開催 各部会計11	事業参加者(来 場者及びイベン	2,800	人	集計済みのH24年度 実績(2,100人)より	6,500 5,500	6,522 6,265	事業費5,415千円 イルミネーション購入 費677千円	A 維持	市の事務局主導の運営主体から実行 委員会が主体となった運営への見直し を図り、実行委員会へ事務局事務を一 部務管した。
	の実施		を立ち上げ、企画・広報・イルミ 協働の各部会で実施に向けた 検討を行うことで	్	回開催	卜参加者)	2,300		10%増加	5,500		事務費173千円	維持	今後は事業収入の増加を図り、市の補助金に依存した運営からの脱却を目指す。
				本市を訪れる観光交	HP、FB更新		358		集計済みのH24年度	3,500	3,444	HP管理更新委託837		HP、FBの更新、パンフレット類の作成を
2	プロモーション事業	市内外の住 民	HP, Facebookの定期的な更新、ガイドブック等の作成、雑	流人口を増加させる。	海1FJX	観光交流人口	372	IJ	実績(355万人)より 5%増加	3,500		ガイドブック作成415 グルメマップ作成486	縮小	積極的に行った。今後はより効果的な プロモーション事業を実施するため、観
			誌掲載への協力等を行うことで		雑誌掲載等		370			2,500 (観光PR事業費と合 算)		KELLy掲載432	削減	- 光PR事業と統合し実施する。
				本市を訪れる観光交	観光情報紙作成、スマ		358		生計 支 7. の110.4 左 広	4,200	4,200	観光情報紙作成200	С	観光情報紙やスマホ向けHPの作成を
3	観光PR事業	市内外の住 民	情報紙(季刊発行)の発行やスマートフォン向け観光情報アプ	本川を訪れる観光交 流人口を増加させ	ホ向けHP作 成、情報発	観光交流人口	372),	集計済みのH24年度 実績(355万人)より 5%増加	3,700	925	スマートフォン向け HP作成410 情報発信スタッフ委	縮小	実施した。今後はより効果的な観光PR 事業を実施するため、プロモーション事
			リの検討等を行うことで	الا)	信スタッフ委 託		370		0 /02日/34	※②に含む		託315	削減	- 業と統合し実施する。
4)					ı		 						
														-

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	② プロモーション事業	プロモーション事業と観光PR事業と分けて実施していたが、連携することによる相乗効果が期待できる両事業であるため、H27年度は両事業を統合し、より効果的かつ効率のよい事業を実施する。			
事務事 業の改	③ 観光PR事業	プロモーション事業と観光PR事業と分けて実施していたが、連携することによる相乗効果が期待できる両事業であるため、H27年度は両事業を統合し、より効果的かつ効率のよい事業を実施する。	H2/以降新 規に実施す		
善内容			る事務事業		

事第	養番号	17	事業の名称	長久手市	可国際交流協会					担当	台部署	<	部 らし文化部	たっ	課 つせがある課			
基本	本方針	(4)文化をみ	▸がき、人が輝	くまち	分野別項目 (7)地域全体で国際交流を	進める 旅	施策の進め方 (3)国際交流	協会の充乳	Ę		フラッグ			フラッグ	項目	
	事業の概		本市の特性を 、補助を行う。	生かした国際	受流事業を展開し	、市民レベルでの国際交	₹流、国際理/	解を深める活動、	事業に対	/ * C 7 4 D)実施状況 町や先進都 等を具体的 記載)	度	国際交流協会 国際交流協会 国際交流協会					
	事業期	閂	事業開始	4年度 【	平成3年度	E 終了(予)	宁) 任由	_		-		総事	業費 H2: :千円)	25予算 H: 6,200	25決算 H26予算 6,200 2,34	H26決	算 H27予算 ,340 4,796	評価の見方
	事業の対	付象 山	域住民、在住		十成3十万	in (1, 1).	足/千尺			1			般財源	6,200	6,200 2,34		,340 4,796	A 現行どおり実施
	れ、何に 事業の意	対して	次正尺、正正	./T国八						総 事	業費		費·県費 也方債					B事業の改善C他事業と統合
(対象	象をどの。	ような状 外	国人との良好	な関係が保持	たれ、市民レベルで	の様々な交流が活発に見	展開されるこ	と。				7	その他					D 運営主体の見直し
莧	まにしたし	. (か)										受益者	負担額					E 事業の廃止の検討
		# D			目的					成果				事業費(単位			評価	Ti di
	事業を構 事務		対象 (だれ、何に 対して)		手段)ような手段を使って) 月~ ¦10月~¦ 1月~	(対象をどのような状	事務事業の 実施結果) ■ 成果指標 ■	H25実 H26実	議 議 課値 で 関値	成果指標の 設定の	の目標値 根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内部 (単位:千円)	事業規模事業費] 評(面の説明
										422	協会に加入		6,200	6,200				
	〒10女子:オ	いおくない					国際交流協	国购大法协人	<u> </u>	490 /	で、各種事業 加してもらっ	ているの	2 240	2 240		Α	ていく必要はある	恋、国際理解を深め 。平成27年度につい
1	国际父师 金	常協会補助	地域住民、 在住外国人	日本語教室	室の実施やホームス	参加者の国際交流や 国際理解を深める。	会会員数 429人	国際交流協会:	<u> </u>	団 1	で、会員数を ノ、平成25年	を指標と	2,340	2,340	補助金2,340千円		ては、協会を市か	ら独立した運営を進 一職員を雇用する補
				テイ等国際	交流事業を通して		423/			444 体 5	ス 平成25年 5%増加を目	目標とす	4,796			増加	助分を増加する	予定。
								<u> </u>			5 .					垣加		
					<u> </u>	-												
2																		
												-						
						1												
3										 								
				<u> </u>														
4																		
		事務事	業		改善	持内容(H27以降に実施す	する内容)				H H	事務事業			=	事業概要		
	Щ									_								
事務 業の 善内	· 事 ·改									H27以降 規に実施	新します							
善内	容									る事務事	業							

				T)		人工叫示												
事業	番号	18	事業の名称	住民プロジ	ェクト推進事業	É				担当	i部署	<	部 らし文化部	たっ	課 つせがある課			
基本	方針	(5)みんなの	力を結集する自治	と協働のまち)野別項目 (1)	住民と行政が協働するまちづくり	を進める 施	策の進め方(1)「新しい公:	共」の担い引	≧としての意					フラッグ	項目 (24)協働コーディネ	ーター・まちづくりリーダーの育成
	事業の概	既要し	たワークショップ	プを開催し、市民	民力及び職員力	いまちづくりの仕組み」を の向上を図ることを目的と 回程度開催・先進地合宿	する。			(近隣市田)実施状況 Tや先進都 等を具体的 C載)		疾市:つばめネ	吉者会議(燕市	創出活動支援事業(福 iの次世代リーダー育 25決算 H26予算		5民の主体的まち~	
	事業期 事業の対		事業開始	年度	平成25年	度 終了(予定	官)年度	平成26	年度	1		(単位:		4,898 4,898	4,349 5,229 4,349 5,229		,890 4,729 ,890 4,729	評価の見方 A 現行どおり実施
(だれ	_{事業のメ} 1、何に	対して)	民及び市職員	į						総事	業費	う国	費•県費	4,090	0 0,223) 4	0 0	B 事業の改善
(対象	事業の意 えをどの。 にしたし	ような状	「民ワークショツ 、地域で取り組	プを通して、市! 且む「新しいまち	民や市職員の地 づくりの仕組み」	域づくりの当事者としての ができてくる。	意識を高め	、地域のことを均	地域で考				也方債 その他 負担額	0 0	0 0)))	0 0 0 0	C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					目的					成果				事業費(単位	か・千円)		評価	
:	事業を構 事務	構成する 事業	対象 (だれ、何に 対して)	(いつ、どのよ	手段 うな手段を使って) ・ 10月~11月~	(対象をどのような状	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目	積 積 積 位	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	4. 千円/ H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価	面の説明
1 1	お民ワー 重営	-クショップ 6	ウ 市民及び市 職員が		クショップを実施	↑市民協働プロジェクト を自主的・主体的に ī	市民ワーク ンョップ8回	ワークショップの 参加者が、参加 してよかったと[答した割合)	- 75 % さ	今回のワーク が有意義ない かと感じた参 で均して7割 あることを目	のであ 加者が、 程度で	4,898 5,229 4,729	4,349	住民プロジェクト推進 事業業務委託 4,890千円	A	市氏と市職員のチー 話合いや先進地視 表の場を自分たちる 新しい市民協働の信 今後は、自分たちか 分たちで実践してい	ームがワークショップでの 察を行い、その成果発 で企画・運営したことで、 士組みが進んだ。 ・考えたプロジェクトを自 いけるように、チームの運 ノバーのスキルアップを
2																		
3																		
4																		
		事務事			かき	告内容(H27以降に実施す	る内突)					務事業				事業概要		
事務業の善内	事改容	学 仿 争	*		LX E	3.1.1台(ロビノ以呼1〜天心)	OKJ#Z/			H27以降 規に実施 る事務事		での予末			-	不侧女		

	番号	19 事	業の名称		ステーション事	**				担当部	『18巻 ┣━		部	,	課				
	方針	(5)みんなの力を	を結集する自治と)地域住民が交流する自律的な	まちをつくる 施	(2):	コミュニテ	【 一活動拠点	-		文化部 フラッグ	•	つせがある課 ひとりに役割と居場所があるまち	~ フラッグコ	頁目 (21)地域会	<u></u> も生ステーション	ノの整備
-	事業の概	地 とな 現	2域住民・住民	では を を は で で で で で で で で で で で で で	者・市職員が気軽/ と小学校区ごとに惠 学校区共生ステー	こ集まり、語らい、地域の	ための様々な	取り組みを行うたの	めの拠点	他市町の写 (近隣市町・ 市の状況等 に記載	『施状況 や先進都 を具体的	順戸市】 域交流セ: 高浜市】 れあいプラ	ンター 運	営主体:地域	成力推進協議会(指定 づくり協議会(指定管	 管理者) 理者・管理	委託)		
	事業期	間	事業開始:	年度	平成24年	度	定)年度	-				総事業費 (単位:千F		2 5予算 H 2 10,699	25決算 H26予算 5,975 10,87	H26決 9 10	第 H27予算 879 11,56	 4 評価の)見方
	事業の対	才	民	•		•				س <u>ـــــ</u> ۷۷۰	↓ #	一般則		10,699	5,975 10,87		879 11,56	4 現行	どおり実施
(対象	れ、何に 事業の意 まをどの。 にしたい	は図ような状実	 ・学校区ごとに	上地域共生ス 狙むことがで	テーションを整備し きるようになる。	、地域組織による運営を	・通して、地域	の課題を地域住民	民自らが	総事第	5		<u>債</u> 他					B 事美 C 他事 D 運営主 E 事業の	基業と統合 E体の見直し
					目的					成果				事業費(単位	江: 千円)		評	西	
:	事業を構 事務		対象 (だれ、何に 対して)		手段)ような手段を使って 月~ ¦10月~¦ 1月・		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目	<u>積</u>	集指標の目 設定の根拠	標値 □	125予算 126予算 127予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内部 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評	価の説明	
1		ステーショ ークショップ 		地域共生2 て考え、実 プを小学校 ことで	マテーションについ 践するワークショッ 区単位で実施する	→ 小学校区ごとの地域 の状況に応じた地域 共生ステーションづく りを主体的に進めることができるようになる。	南小校区4回: 72人 市が洞校区3 回:24人 上郷地区1回: 6人	ワークショップ参 加者数		346 162 162 163 164 165 165 167 167	小校区5回:1 小校区5回:1 が洞校区5回 郷地区3回:6	00	5 61 40 10,694	5,970	ワークショップ消耗品費:60千円 ワークショップ食糧費:1千円	維持維持	け、目標値に近い、 一部の部会では、市 ようになってきた。前 実績が減少したのに 25年度は、ステーシ	は実際に企画を実 、実施に際し、参加	崔を行え、 を行える 成26年度 いてとの企 施する機
	地域共生 /運営事	:ステーショ 業	市民	西小校区却	は生ステーションで 動を職員が支援する	取場の課題を地域住 民自らが考え地域で 取り組む環境を敷う	33プログラ ム団体 285回実施	地域課題の解決 につながるプロ グラム実施数	:	285 🖂 ムの	民提案型プロ D実施 P回×12か月:		10,818 11,524		八叶貞: 媽託貝1,134 円、臨時職員3,014千月 管理費: 需用費1,3623 円、役務費196千円、多 託料350千円 施設賃借料: 4,162千月	拡充	地域住民が主体がい、ケア等の・ のプログラムを た。	テーマで地域課	題解決
3																			
4																			
		車	<u> </u>		2h:	美内突(H271) 咚に宝佐・	ナス内突)				重数	車業 ====			7	丰 幸 田 田			
事務の善	改	事務事業	=		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	善内容(H27以降に実施	9 る 内容)			H27以降新 規に実施す る事務事業	事務:] 来			ult	事業概要_			

			長久手市行	于政評価票													
事業番号	20	事業の名称 交通安全	全啓発事業					担	当部署		部 くらし文化音	ß	課 安心安全課				
基本方針	(3)人がい	きいきとつながるまち	分野別項目	(3)交通安全意識を高める気持	寺ちを育む 施	策の進め方(1)交通安全教育	育の充実、	(2)交通安全啓	発の	充実 フラック	Ť		-	フラッグ項目		
事業の概	【 要	交通安全思想の普及・啓発のた た交通安全教室の開催等により 止を図る。 ・交通安全啓発活動事業 交通安全街頭啓発活動(延44・幼児・児童・生徒に対する交通 交通安全教室(幼児、児童)、 安全指導者育成を目的開催)、・交通安全啓発グッズデザイン	の、市民の交通安全 6日、うち交通安全リ 通安全教育 児童自転車交通安 黄帽子・ランドセル	意識の啓発、交通ルールの過 県民運動期間22日)、交通安全 全教室、指導者研修会(市内 カバーの配布(新入学児童女	等守や交通マナ 全教室、啓発キー 日の幼稚園・保育	ー向上を推進し、 ヤンペーン等	、交通事故防	(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 記等を具体的 記載)	国、		村で実施されて	-	1100マケー	1100 th 75	1107.7 年	
事業期間	間	事業開始年度	- THU分示		定)年度	_	-				総事業費 単位:千円)	H25予算 3,202	H25決算 2,605	H 26予 算 3,300	H26決算 2,908	H27予算 3,207	評価の見方
事業の対	象	長久手市民(在学·在勤者、	通過交通含む)					総	事業費	j	一般財源 国費・県費	3,202	2,605 0	3,300	2,908	3,207	A 現行どおり実施 B 事業の改善
事業の意 (対象をどの。 態にしたい	ような状	交通ルールの遵守と正しい	交通マナーの実践	長を習慣づける。						ち 受	地方債 その他 益者負担額	0 0	0 0 0	0 0 0			C 他事業と統合D 運営主体の見直しE 事業の廃止の検討
			D#					.				+ ##/2	:				
事業を構事務事		対して) 4月~17	目的 手段 のような手段を使っ 月~ 10月~1 1月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実約		成果指標の設定の標		H25予算 H26予算 H27予算	事業費(単 申 H25決算 申 H26決算	H26決算 <i>の</i>)主な内訳 千円)	事業規模事業費	評価	の説明

			目的				成果	ļ			事業費(単位	位:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
	交通安全啓発活動	長久手市民 (在学·在勤		交通安全意識の啓 発、交通ルールの遵	県民運動期 間中の街頭 活動延べ参	人身事故発生件	414 362		愛知県において、前々 年度実績(平成24 年:49,651件)から前年	2,210 2,199	1,702		Α	時代の情勢により様々に変化する交通
Ć	事業	者、通過交通含む)に	交通安全街頭活動への参加、 交通安全教室の開催、キャン ペーンの実施することで	完、文通が 守や交通マナーの向 上を図る	加者2,676 人、交通安全 教室延べ参 加者697人	*/-	408	作 	度実績(平成25 年:48,949件)が1.4%減 少しているため、前年実 績から1.4%減少	2,091	1,540	1,948	維持 	安全上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施していく必要がある。
		長久手市民		交通安全意識の啓	交通安全教 室等延べ参 加者2,342		414		愛知県において、前々 年度実績(平成24	785	761	リボン代9	Α	時代の情勢により様々に変化する交通
2	幼児・児童・生徒に対する交通安全教育	(在学者含む)に	交通安全教室や指導者研修 会の開催、交通安全黄帽子等 の配布することで	発、交通ルールの遵 守や交通マナーの向 上を図る		人身事故発生件 数	362	件	年:49,651件)から前年 度実績(平成25 年:48,949件)が1.4%減 少しているため、前年実	919	815	ランドセルカバー、黄帽子代806	維持	安全上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施していく必要がある。
			VIELAIL Y SCEC		個		310		績から1.4%減少	207	142		維持	
	交通安全啓発グッズ デザインコンクール作 品募集事業	長久手市立 小中学校生	夏休みを利用し交通安全ポスターや標語など交通安全啓発	交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向	交通安全啓 発グッズデ ザインコン クール応募	応募件数	381	作品	児童生徒の交通安全 意識の高揚を応募総 が測ることとし、前	213	145	参加賞賞品代77 入賞賞品68	A 維持	応募総数が減少していることから、応募 総数を増加させ目標数が達成できるような事業改善を実施する。
	· 前	(_	グッズのデザインを募集し、受 賞発表後に啓発グッズを作成 することで	上を図る	ガール応募 者381作品		326		年度実績(延べ310 作品)の5%の増加	197			維持	りな事業以普を夫施する。
														<u> </u>
(2														-

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	1	1 	交通安全実施要綱に基づき、効果的な方法を模索しながら周知啓発に努める。具体的には、自転車利用の多い大学生に対し、大学の協力を得て交通ルールを遵守、マナーアップの周知啓発を継続する。			
事務事業の改	:	切允・兄里・生徒に対	区単位で学校及い児童に取り巻く地域住民団体との連携を図る部芸を立ち上げるなどし、地域性に応じた交通安全の普及促進に努める。	H27以降新 規に実施す		
善内容	3	交通安全啓発グッズ デザインコンクール作 品募集事業	10.見終報を囲わずため、月童先年のな油完全音楽を具める心典がある。日休的には、小田学校で1	る事務事業		

基本方針 ②リニモでにぎわい交流するまち 分野別項目 ⑥快適で便利な交通移動を確保する 施策の進め方 ②バス路線網整備の充実 フラッグ フラッグ項目 ・「公共施設の利便性向上」「高齢者や子ども等交通弱者の社会参加促進」及び「市内の交通空白地帯の解消」「子育で支援」「通勤・通学の利便性の向上」を目的に、市所有の小型バス5台で、市内を7ルート、82便/ 日で運行する。・平成16年に購入した車両の老朽化に伴い、バリアフリー非対応の現行の車両にかわるバリアフリー対応のノンステップバス車両を購入する。 ・平成16年に購入した車両の老朽化に伴い、バリアフリー非対応の現行の車両にかわるバリアフリー対応のノンステップバス車両を購入する。 **事業期間 事業開始年度 平成10年度 終了(予定)年度 - 製料源 86,114 84,947 95,452 110,318 102,516 (定計 84,974 95,452 100,318 102,516 事業の意図 (対象をどのような状 長久手市民(在学・在勤者)の市内交通の利便性の向上 **事業の意図 (対象をどのような状 長久手市民(在学・在勤者)の市内交通の利便性の向上	事業	番号	21	事	業の名称	巡回バス	ス運行事業	以計画宗				担当部	3署 —	部 くらし文化部	,	課 安心安全課			
# 第 3 世界			(2)IJ <u></u>				分野別項目	(6)快適で便利な交通和	多動を確保する	施策の進め方((2)バス路線線	 整備の充実				女心女生硃	フラッグエ	項目	
東京				「子 運 •平」	イ育て支援」「 行する。 成16年に購 <i>」</i>	通勤・通学 へした車両	の利便性の向上の老朽化に伴い	」を目的に、市所有の	小型バス5台で、	市内を7ルート、8	82便/日で	(近隣市町や 市の状況等	や先進都 平成を具体的 が通 を具体的 が通 は)	で行されている。総事業費					
20							平成10	年度 終	了(予定)年度	-			(<u>i</u>						評価の見方 A 現行どおり実施
(4) 条をでのような状 日本年代 (体学・在347)の市内交通の利便性の向上 19	(だれ	れ、何に	対して	(2) 長久	、手市民(在等	学•在勤者)						総事業		国費·県費	0	0 0		102,010	B 事業の改善
対象	(対象	きをどの。	ような	:状 長久	、手市民(在常	牟・在勤者)	の市内交通の利	便性の向上						その他	0	0 0	10,	,000	C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
本格本本							目的					成果			事業費(単位	立:千円)		評価	
大大東市東 19 19 19 19 19 19 19 1	179			-る	(だれ、何に		のような手段を使っ	て) (対象をどのよう	な状 実施結果		H26実	<u>積 </u>		H26予算		H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価	あの説明
最大学生産権	1	\ ーバス	運行	事業	(在学·在勤 者、通過交	バス運行 ス5台で、	事業者により、小 7ルート82便/[型バ市民の市内交通	231,832人(う 有料乗車人参 46,304人)、通 行日数359日 (平均乗車数 645人/日) 運行負担金	★ 重 年間利用者数	231	,832 人 平原	年度までの平 F度増加率は であるため、 ぱ26年度は5.	95,45	2 92,744	運行業務負担金 88,986千円、運行計 画検討調査費3,564 千円、印刷製本費	A 維持	めるとともに、N-/	バスの周知・PRにより、
③	2	√バス購	 大事	業	(在学·在勤 者、通過交		一対応のノンステ	市民の市内交通	の利 月からの新 る。 車両で運行	- 平成27年4月 - らの新車両で	カュ _{平成27年3月}	**** ため	、環境を提供する 、平成27年原 いら新車両での	ーる 度当 -)運	17,543	小型バス購入17,388 千円、諸費用155千 円	維持	に、全車両がノン	ステップとなるため市
事務事業 改善内容(H27以降に実施する内容) 事務事業 事業概要	3																		
事務事 H27以降新	4																		
事務事			重	[が美内容(H27に)際に	主施する内突)				重			車	業		
	業の	改	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	₽彷爭耒				以音的台(NZ/以阵I〜;	★心 y 句内谷)			H27以降新規に実施する事務事業				₹	未恢安		

				長久手市行政	政評価票													
事業番号	22	事業の名称	ト セーフラ	ティステーション・	防犯パトロール事業				担当部署		部 くらし文化部		課 安心安全課					
基本方針	(3)人が	いきいきとつなか	バるまち	分野別項目 (2	2)地域の防犯力を高める	施	策の進め方 (1)地域	域防犯力 <i>0</i>	の向上		フラッグ			フ	ラッグ項目			
事業の	概要	に職員を配置し、『もを巻き込む犯罪・いながら市内パトロ・セーフティーステ 開所:月水金 午・防犯パトロール事 セーフティパトロ	防犯や交通安全 を防止するため、 コールを行う。 ・ーション事業 ・前10時~午後: 事業 ール(午後1時~	に関する相談・指導などの 、下校時間帯を中心に学 :10時、火木土日祝日 午 ~午後10時の間に昼間・そ	図ることにより、安心で安全なませの窓口対応及び青色回転灯付き校、公園の周辺及び通学路を青校、公園の周辺及び通学路を青で後1時~午後10時、年末年始を夜間の2回、市内を3地区に分けで(下校時間帯)に、市内を3地区	きパトロールカー 青色回転灯付き/ を除く361日間。 ナ、セーフティパト	-でのパトロールを行う。ま パトロールカーで、防犯広 トロールカーにて巡回)及:	た、子ど 「報を行 他 (; 市	也市町の実施状 近隣市町や先進 5の状況等を具体 に記載)	都 的 :的	日町地域安全スラ	(他に ーション:H20	二市役所内勤及7 0.4~ 平日7~1	びパトロー/1 17時、青パ1	ル担当で1:		時、火~金14~2 B3名で青パト3台	
事業		事業開	冶年度	平成17年月	度 終了(予)	定)年度	-			(.	単位:千円)	16,561	16,269	15,003	14,922	2 15,552	評価の見	
事業の (だれ、何)		全市民							総事業費	٦	一般財源 国費·県費	16,561	16,269	15,003	14,922	15,552	A現行どおB事業の	
事業の)意図 Dような状		δ通安全意識	iの向上。 児童が街頭	頁犯罪に巻き込まれるのを	·防ぐ。			10 1 2 2 2	。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		0 0	0 0	0 0			□ 佐事業と □ 運営主体の □ 事業の廃止	≟統合 D見直し
				目的				成				事業費(単位	位:千円)			評価		
	·構成する 務事業			手段 「のような手段を使って」 7月~ 10月~ 1月~	<u>) (対象をどのような状</u> マ 態にしたいか)	事務事業の 実施結果		H25実績 H26実績 H26目標値		票の目標 の根拠		H25決算 H26決算	世: 千円/ H26決算の主 - (単位: 千	な内訳 事 ・円) 事	<u>評価</u> 業規模 事業費	評価	の説明	
① セーフン事業	ティステー	^{-ショ} 全市民に		イステーションを開所 指導などの業務を行	● 住民の防犯・交通安 全意識の向上を図 る。		 刑法犯の犯罪発 生状況	90	年度実績(年:104,984 度実績(平年:104,984 年:104,984	平成24 件)から 成25 ‡)が7.8	前年 15,00 %減	1 16,269 3 14,922	9 防犯交通嘱託	毛員報] 円	A セー 員に 拡充 犯/ なま	ーフティステーシ こよる防犯等に 色回転灯付きパ パトロールの拠,	/ョンは、警察OB 関する相談・指導 パロールカーでの 点として、安心で 生に大きく寄与し	^{算や、} の防 安全

			н + 7				124	•			ナイス、ナド	2 · 3/		
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~!7月~!10月~!1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)		成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
				た足の欧知, 大活力	相談受付・ 指示事項等 延べ件数		885	┨	愛知県において、前々 年度実績(平成24	16,561	16,269	防犯交通嘱託昌報		セーフティステーションは、警察OB職 員による防犯等に関する相談・指導や、
(1	セーフティステーショ ン事業	全市民に	セーフティステーションを開所し、相談・指導などの業務を行	全意識の向上を図	テーション	刑法犯の犯罪発 生状況	903	件	年:104,984件)から前年 度実績(平成25 年:96,839件)が7.8%減	15,003	L	酬13,497千円 消耗品189千円 自動車管理828千円		青色回転灯付きパトロールカーでの防 犯パトロールの拠点として、安心で安全
			うことで		114件、パト ロール1,988 件)		816		少しているため、前年実 績から7.8%減少	15,552				なまちづくりの推進に大きく寄与しており、A評価とした。
					セーフティ		885	1	年度実績(平成24	※上記に含む	16,269			青色回転灯付きパトロールカー2台で
2	防犯パトロール事業	全市民に	セーフティパトロール及び、子ども安全パトロールを実施する	止及び児童が街頭犯	パトロール 実施日数 年361日	刑法犯の犯罪発 生状況	903	件	年:104,984件)から前年 度実績(平成25 年:96,839件)が7.8%減	※上記に含む	14,922	※上記事業費に含む	拡充	のパトロールは、年末年始の4日間を除 く361日実施しており、安心で安全なま ちづくりの推進に大きく寄与しておりA
			ことで	を防ぐ。	1 3 3 1 1		816		少しているため、前年実 績から7.8%減少				増加	評価とした。
3								1						
2														

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

事	業番号	23	事	業の名称	防犯啓蒙	- スペナー・・・・ 発事業					担	当部署		部らし文化部	7	課 安心安全課			
基	本方針	(3)人がし	いきい	きとつながる	うまち	分野別項目 (2	2)地域の防犯力を高める	5 施	短策の進め方 (1)地域防犯:	力の向上		`	フラッグ		() () ()	フラッグコ	頁目	
	事業の根	既要	室の	開催等により	り、市民の防	めため、街頭活動や 防犯意識の啓発、地 暖、育成を行い、地域	やキャンペーンの実施、児 域の絆づくりを推進し、豕 或防犯を推進する。	記童、高齢者、 犯罪抑止に努	市民を対象としめる。また地域の	た防犯教の自主防犯	(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 記等を具体的 記載)	国、原始	台め各市町村で 「業費 H		る。 25決算 H26予算	H26決	, 算 H27予算	
	事業期			事業開始	年度	_	終了(予	7定)年度	_				(単位	:千円)	712	601 809	9	745 80	
(†	事業の対 ざれ、何に	対象 対して)	全市	民							緃	事業費		·般財源 費·県費	712	601 809)	745 80	A現行どおり実施B事業の改善
(文	事業の意	意図 ような状	犯罪	被害に遭わ	ないよう、関	方犯意識の向上。					1/4C>	事 未貝	5 1	食・宗食 地方債 その他 行負担額					B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的		T			成果				事業費(単位	か・千円)		評	価
	事業を構 事務			対象 (だれ、何に 対して)	4月~ 7	手段 「のような手段を使って」 7月~ 10月~ 1月~	~ 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	積 積 積	成果指標の設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算		評価 事業規模 事業費	î	平価の説明
1	防犯啓発	善事 業	<u>-</u>	全市民に	安全なまた間を中心はペーンの気た防犯教室	● ● ● 歩 ちづくり県民運動期に、街頭活動、キャン実施、市民を対象とて室の開催等により	が犯意識の向上 とし	防犯教室延 べ参加者 717人、キャ ンペーン実 施回数延べ 3回	刑法犯の犯罪 生状況	 	885 903 件	愛知県におい 年度実績(平 年:104,984件 度実績(平成: 年:96,839件) 少しているため 績から7.8%高	成24)から前年 25 が7.8%減 め、前年実	212	303	啓発品167	A 拡充	時代の情勢に』 上の問題に実施し 効果的に実施し 犯犯罪発生状え 比啓発事業等い に努めてきため	-
2	子どもの 業	防犯啓発	2 争	長久手市民 (在園、在学 者含む)に	●	全教室や防犯ブザー i、安全なまちづくり場 間を中心とした街頭 開等により	防犯意識の向上	防犯ブザー 666個、啓発 冊子 666冊 配布	刑法犯の犯罪	発	903 件	愛知県におい 年度実績(平) 年:104,984件 度実績(平成: 年:96,839件) 少しているため 績から7.8%複	成24)から前年 25 が7.8%減 め、前年実	303		防犯ブザー368		上の問題に対し 効果的に実施し 犯犯罪発生状? 比べ増加してい	り様々に変化する防犯 、時勢に応じた対策を していく必要があり、刑法 兄としては、H25年度に いるが市民灯を対象とし こより、防犯意識の向上 、A評価とした。
3	自主防狐事業	2活動支持	援 %	自主防犯ボ ランティア団 体をはじめと する市民に	市自主防狐に基づき、 設立支援、報の提供を	犯ボランティア登録要領 自主防犯活動団体の 、活動資機材や防犯情 を行い、地域住民の自 犯活動を支援することに	質 自主防犯活動の活発 化、地域との連携強 化	● 団体会議への職員の 出席26回、防犯ボランティア養成アカデミーの開催(1回、参加者52人)、活動支援資機材の提供	市自主防犯ボンティア登録目		20 26 団 体 21	前年度実績 の増加	より1団体	244 234	11 101	子どもの誘拐防止読 本101	A 維持	で、積極的な団 発される他団体 実、防犯情報提 の積極的参加、 世代交代に悩む	フンアイア養成講座等 体の活動紹介事例に触ばいた。資機材貸与充 供、地域会合への職員 他機関との仲介等で、 ご団体のフォローをしつ ボランティア立ち上げを
4																			
		古丑	古坐				美山家(11071)1敗に宝佐	士2.由家)				1 =	改古安			士	李祖田		
事業 業 善	務事 の改 内容	事務	事 亲				善内容(H27以降に実施す	する内 谷)			H27以降 規に実 る事務事	全新 色す	事務事業_			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	琴業概要_		

事業	番号	24	事業の名	称 防疹		整備事業	SCI IMON				担当	部署	〈 〉	部し文化部	7	課 安心安全課			
基本	方針	(3)人がい	きいきとつな	ぶるまち	分)野別項目 (2	2)地域の防犯力を高める	施	画策の進め方 (4)A	友間でも安	心して歩け	るまちづくり		フラッグ			フラッグエ	頁目	
;	事業の概						・全なまちづくりを推進す 正箇所に防犯街路灯の記				他市町の! (近隣市町 市の状況等 に記	や先進都を具体的	日進市、〕 会等で設 総事	備・維持管理	見を行い、行政	ぶ防犯街路灯の整備・線 なが事業に対して補助金 25決算 H26予算	推持管理を 会を出して H26決:	いる。	明市においては、自治 ■
	事業期		事業閉	開始年度		平成15年	度 終了(予	定)年度	-				(単位:	千円)	22,203	21,439 21,842	19,	,750 22,042	評価の見方
(だれ	事業の対	対して)	全市民								総事		う国費	股財源 ₫·県費 方債	22,203	21,439 21,842	19,	,750 22,042	A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合
(対象	事業の意 えをどの。 にしたし	ような状	防犯街路灯	の整備に。	よって、市	民の生活の安全	を守るための環境を整え	さ る。						の他					D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的				J	 成果				事業費(単位	5:千円)		評価	<u> </u>
	事業を構 事務		対象 (だれ、 対して	何に(い	つ、どのよう	手段 うな手段を使って ・ 10月~11月~		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標	積 積 積 位	成果指標の│ 設定の根		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費		価の説明
1	方犯街路 理事業	灯維持管		市民からから	そやセーフの防犯街!	ティパトロール等 路灯の修繕依頼	防犯街路灯を適切に 管理することにより、 市民の生活の安全を 守ったための環境を維	・球切:147件 ・器具取替: 116件・点滅 器不良:14 件・機器移	修繕依頼数に対する修繕数の割合		100	年度実績	ŀ	19,868 19,695		主な修繕費の内訳 ・球切:588 ・器具取替:3007 ・点滅器で良:69	A	の防犯街路灯に 球切れ件数の減 も、修繕や光熱	E街路灯をLEDタイプ 取り替えることにより、 少に結びついた。今後 費といった維持管理費 省エネ・長寿命である
				示す	けることで	業者へ修繕を指 	持する。	設:21件·撤 去2件	н		100			19,936		·機器移設:36 光熱水費13165	411. July		2街路灯の設置を進め
2	方犯街路	灯整備雪	* 全市民((蜀望景	受付)(現地調査(設置	五工事) 随時設置	必要とされる場所に 防犯街路灯を設置す ることにより、市民の	防犯街路灯 新規設置本	安全級に刈りる		85 0/ な	ての要求に るべく応えた	こいた	2,335 2,147	2,226 2,123	新規設置工事費	Α	たすものについ	設置基準や要件を満 て全て対応できたた 、今後も宅地開発等に
	業		主川氏(現地	也調査によ	学の安全課のり、防犯街路灯 事を行うことで		新規設直本 数:75灯	新規設置数の割 合			、高い数値 定した。	で目標	2,106		2,123(75灯)	維持 維持	より防犯灯設置」 られるため、設置	公要箇所の増加が考え
3													Ī					5 2 3	
				<u>.</u>															
					<u> </u>	<u> </u>	-						-						
4																			
			- alle				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	L 7 J ±									alle Ipm		
		事務	事業			改氰	善内容(H27以降に実施 [・]	する内容)				事	务事業			事 	業概要		
事務業の	事 改										H27以降新規に実施す	-							
善内	谷										る事務事業	\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{							

4	** ===		05	事業の名称 尾張市町交通災害共済加入促進事									<u> </u>						±□ vi	÷17 999			部			課							
	業番		25	争。	乗の名	M	毛張「				川ノ	八促進爭弟	ŧ						担当	部署	_	4	くらし文化		5	安心安全	課			_			
1	本方針	H						5)野別	頁目					施	策の進め方							フラッ	グ				フラック	ブ項目	目			
	事業		要	え、市	市民の共 民間保険	済加力 の普力	人を促 及や子	進する	とともに	、事故に	こ遭い	いやすい高齢 大に伴い、ī	常者や児 庁負担に	記童に対 こついて!	し共済 見直し	及のため、交通 5会費を市が負 を行う。		(i	也市町の 近隣市町 の状況: に言	丁や先:	進都	市、尾京 ※補耳 ・新城才	長旭市、清助制市、清助制度: 北岩村 豊	清須古 (名市) (名市町) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	、大口町) 室市(中学生 (75歳以上と (小中学生と 中学生以下 済(新城市)	以下と70 身体障害 70歳以上 と70歳以)歳以上に半れ 者手帳又は	額補助)、 療育手帳 番手帳等) 力)	、 長所持 所持	桑町、豊山町、皇 寺者に全額補助 身者に半額補助), , 		
		期間			事業開	始年	度		В	召和46年	度		終了(予	多定)年度	Ŧ	-		7			-		江:千円)		5,380	5,166			5,46			評価の	
(事業 ごれ、何	の対 いこざ	家 fl.て)	主民	基本台帳	に記	載され	ている	人										終重	業費			-般財源 費·県費	 -	5,380	5,166	5,549)	5,46	5,809		A 現行ど B 事業(
	事業	の意	図 : うな状 力	加入	率の向上	と制度	度の利	用促進	É。										ilato - 1	· 本 兵		5	地方債 その他 音負担額									C 他事業 D 運営主体 E 事業の廃	≰と統合 本の見直し
									目	ί λη								成	甲						事業費(単位	ケ・ エ四)				評価			
		を構.	成する ¥業		対象 (だれ、何 対して	JIC L		どのよ	手段 うな手具			意図 (対象をどの 態にしたし	ような状	事務事		成果指標	H25 H26	実績 実績	単		指標の 定の根		H25予 H26予 H27予	算算	H25決算 H26決算	H26決算	算の主な内訳 位:千円)	評価 事業規模 事業費	▲ 莫 夏		の説	明	
3	共済	市町7	交通災事業	i 'l'	対して	台さ人	全世帯に た、内回門に、小学者について があることで	に申込む を等により 生をひいては、	■ 書を送付 ての折け たるPR で70歳以 市が掛		か	加入率の向」の利用促進。	·	加4,667人総う14,667人総う14,662円のでは、14,662円のでは、14,667人総のでは、14,667人ので	、共済 第7,322 5市補 ,579千 金給 0件、	加入率	H26 E	28.4	0 8 8 % 利	区成24 区はほり 多してい	l年度カ ぼ横は	いら加 <i>フ</i> いで推 か、この		第 i,380 i,549 i,809	5,166	広報折 高齢者 補助金	込手数料77、 ·小学生加入 1579、用紙印 電算委託415	B 維持	加方て近の	入率はほぼ横 で、市が扶助する。 年の行政が掛ける。 東京の行政が掛ける。 東京の行政が掛ける。 東京の行政が開ける。	対象を 全負担 ・険制	皆は年々りをする市 をする市 度が充実	増加し町村する
			事務事	重業						水	盖広	9容(H27以降	に宝施	する内容	E)						重						<u> </u>	業概要					
事業	務事の改内容	1	表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表	交通	災害	交通分	安全啓	発事業	ぎ等で、			や制度の利				0		— H;	27以降 3 100字施	新 士	护 机	ガザ木					7	- 사IM X					
 善	の _以 _ 内容 _																	 ス 	事務事	¥ 【 —													

			_			大文	于巾打购	付加示															
事	業番号	26	事	業の名称	防災訓	練実施事	事業						担	当部署		<1	部 らし文化部		課 安心安全詞	課			
基	本方針					分野別	項目			施	策の進め方						フラッグ	F2「あんしん」〜助けが	なかったら生きてい	けない人は全力で守る~	フラッグエ	頁目 (47)MJMの推進(M	1=まちは J=自分で M=守る)
	事業の概		に抑; 市民に避難	えることを目1 に防災意識 訓練や避難	的とする。 を高めてい 所運営訓	ハただくた。 練を市民	め、企画段階 参加型で行う	皆から市民や 。また市役所	防災関係 行は災害対	幾関等に関わ	る大地震で被害で つっていただき、市 5上げるとともに、:	内一斉に	(近隣市市の状態	の実施 5町や労 況等を に記載)	で表現して を表現します。 は、また。 また。 は、また。 また。 は、また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。	ていただ している。 また、み。 中心となり 岡崎市で	いたり、消防 日進市では1 よし市では1で個別に自主 では、過去の がは、過去の 手が運営訓練	・警察・自衛隊 、地区の訓練 つの中学校区 E的な防災訓 災害の教訓が を実施してい	家などが連続を持ち回りで市主導に で市主導に 練を実施し いら、全市一	携して事前に りで実施してい の総合防災部 している。	二訓練内容 ハる。 川練を行う	ぶを知らせずに行う ほか、その他の地 、全ての避難所を	助救出訓練に参加し プラインド訓練を実施 区では自主防災会が 開設し、市民は避難訓
	事業期			事業開始。	丰度		不明		終了(予	定)年度	_				_	(単位:		935	856	848		566 1,034	評価の見方
(だ	事業の対れ、何に	可家 対して)	市民、	、市職員、企	業、消防	•防災関連	団体、ボラン	/ティア団体					総	事業費	Į,		般財源 貴·県費	935	856	848		566 1,034	A現行どおり実施B事業の改善
	事業の意 象をどの 態にしたし	ような状	市民	や各種団体	、市職員	それぞれの)立場で防災	意識を高め、	災害時に	応急対応を行	亍うことができるよう	うにする。					地方債 での他 負担額						C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						E	目的						成果					事業費(単	位·千円)			評価	
	事業を構 事務			対象 (だれ、何に 対して)		手段 どのような手		意 (対象をどの 態にした	りような状	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目核	績 道 道		指標の目		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算 - (単f	の主な内訳 位:千円)	評価 事業規模 事業費	評值	面の説明
1	市内一斉実施事業	F防災訓 美	練	市民、市職員、企業、消防・防災関連団体、	防災会議	で地域住民	:定後、各小	総合防災訓 の参加を呼 防災意識を	び掛け、	参加者 3,349人	訓練参加者数	3	5,327 5,349 人 5,500] ; ;	長小1,000 西小300 東小400 東小400 北小600 南小500 市が洞300 なび市職員	0	935 848 1,034	560	6 . 防災訓練	東に使用する 事務用品等	A	市民、市職員、関 災訓練を実施でき 望・改善案などを	係機関等が連携し防 また。参加者からの要 検証し、今後も地域の さる為、実践的な防災 きたい。
2																			-				
3																			-				
4																			-				
		重 務	事業				改盖	内容(H27以	隆に宝施る	する内容)					重 務	§事業				重	業概要		
事務業の	務事 O改	+17	.				W.F		·千·一人/记)	, write/			H27以 規に実	施す	-11 17	, T.A.				#	不1 例 女 **		
善卢	内容												る事務	事業 -									

					长久于巾仃以	. 計៕ 示											
事業	番号	27	事業の名	称 自主	防災報告会実施事業					担当部	署	部 くらし文化部	5	課 安心安全課			
基本	方針				分野別項目		施	策の進め方				フラッグ	F2「あんしん」〜助けがな	かったら生きていけない人は全力で守る~	フラッグ	項目 (48)地震対策	後啓発講演会の開催
P	事業の概	既要	害を最小限に 今後本市を含 自主防災活動 地震を防ぐこ	「抑えるたる はめた広い かを活性化 とは不可能 意識を高る	域を高めるとともに、地域に め、防災活動を中心的に行地域で甚大な被害が出る。 でする必要がある。 とであるが、地震による被害 がいくため、自主防災活	fう人材を育成することを と懸念されている、南海 『を最小限に食い止める	を目的とする。 トラフにおける るため、自分の	る巨大地震の発生に	に備え、「 す という	他市町の実 (近隣市町ヤ 市の状況等 に記載	た進都 尾弧 を具体的 キュ は)	ュラムを組み、スキ	ルアップ的な請	を実施しているほか、	県内では記 進的に取り H26決	0組んでいる。	原市などで毎年カリ
	事業期		事業開	始年度	平成24年度	終了(予	定)年度	_				単位:千円)	60	45 60		0 60	評価の見方
	事業の対		市民							総事業	費う	一般財源 国費·県費	60	45 60		0 60	A現行どおり実施B事業の改善
(対象	事業の意 をどの。 にしたい	ような状	市民1人1人 災会の連携を	の防災意識と深め、自己	職を高め、自主防災活動を 主防災活動の活性化を図	活性化するとともに、自る。	主防災会の	報告会を行なうことで	で各防		ち 受	地方債 その他 益者負担額					C 他事業と統合D 運営主体の見直しE 事業の廃止の検討
					目的				E.				事業費(単位	ケ・チ田)		評価	
Į	事業を構 事務		対象 (だれ、f 対して	可に(いつ	手段 う、どのような手段を使って) ~ ¦ 7月~ ¦10月~¦ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果		H25実績 H26実績 H26目標	単成	果指標の目標 設定の根拠		H25決算 H26決算	2:千円) H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費] 評価	の説明
1 5	主防災	会報告	会 市民	平成2 で、名 け、執 向上1	26年度の秋から冬にかけ 外防災会に参加を呼び掛 最告会を開催し、防災力の について検討及び意見交 おこなうことにより	心的に行う人材を育	44人 (30組織)	参加者数		30 自主	:防災組織が構 る自治会から名	6 楽し 6	0 45		В	平成26年度に開催 自主防災活動の記 意見交換を行なっ 通して、各防災会の	された防災講習会、 性化について検討、 た。今後も報告会を の連携を強化し、防 行なう人材育成を目
2								-								_	
3								-								-	
4								-								_	
			suc	•			L 7 _1			, ·		- slie			- Alle 1000		
事務・業の	事	事務 自主防災 実施事業	《会報告会	防災会の	連携を深め、活動が活性化	内容(H27以降に実施す		 する。	ŧ	H27以降新 規に実施す スェ教ェ業	事務事	事業 <u> </u>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	≨業概要		
善内										る事務事業							

事業	番号	28	事業の名称	自主防災	災活動支援事業					担	当部署		部に文化部	2	課 安心安全課			
基本	方針				分野別項目		施	策の進め方					フラッグ		なかったら生きていけない人は全力で守る~	フラッグ項目	(49)自主防災用機材の	貸与
事	業の概	要 要 ま !!	日主防災組織や 日赤、消防団等) た、新たに自主	自治会等か を派遣し、 医防災組織の の参加者が	いらの防災講習会の 各地区の地元で防災 の設立を目指す地区 が概ね世帯数の3分	ナ地区が行う自主防災活申込みに基づき、市職員 災講習会を実施する。 について、①自治会単の の1以上または30名以	及び防災関 立での防災講	連団体(防災ボラン 背習会または防災訓	練を年	(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 2等を具体的 記載)	王国の			5動の支援を実施してい 125決算 ┃ H26予算	、 、 、 、 H26決算	· H27予算	
	事業期間		事業開始	年度	不明	終了(予	定)年度	-				(単位	∷千円)	7,850	7,847 8,350			の見方
(だれ	業の対、何に対	けして)	主防災組織や	自治会等						総	事業費	う国	·般財源 費·県費	5,555 2,295	5,697 5,600 2,150 2,750		1 1,066 B 目	行どおり実施 事業の改善 事業と統合
(対象	業の意 をどのよ こしたい	: う な状 🛭	5災意識を高め	てもらうととも	らに、地域の絆を深め	か、地域防災力の高いま	ちを目指す。						地方債 その他 背負担額				D 運営	事 来 と 税 合 営主体の 見直 し 業の廃止の検討
					目的					成果				事業費(単位	立:千円)		評価	
事	業を構 事務事		対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使って) 月~ 10月~ 1月~		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	積 単 積 位	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明	
①	災講習	会実施事	自主防災組 織や自治会 等に	市職員及遺し、各地	び防災関連団体を派地区の地元で防災講施することで	▶ 防災意識を高めても らうとともに、地域の 系絆を深め、地域防災 力の高いまちを目指 す。	2,279人	参加者数	2	,279	平成23年度参 1,800人 平成24年度参 2,404人					度 維持 の	災講習会開催数、参加人数に比べ増加した。今後も防 に比べ増加した。今後も防 開催、防災リーダーの育成 防災力を高めるための援助 とい。	災講習会 等、地域
② 自 与	主防災事業	資機材貸	自主防災組 織の設立を 目指す地区 に		件を満たした場合 倉庫及び防災資機材 ることで	絆を深め、地域防災	(52/99) =	自主防災組織の 組織率	 	52.5 %	99自治会の 地区が組織 とを目標設置 とした。 組織率(47/ 47.5%	化するこ ぎの根拠	7,85 8,35 3,20	0 6,414	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	維持会	後も地域の防災力を高める 率の向上を目指す。今後も の開催を継続し、貸与条件 区を増やしていく。	防災講習
3																		
4															-			
		古沙井	**		76.3	生中卒 (1071) 政 (- 中长-	ナス 中央)				=	双古 坐	- 			李恒里		
事務事 業の改善内容		事務事	·莱		改善	序内容(H27以降に実施す	する内容)			H27以降 規に実旅 る事務事	新	務事業			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· 業概要		

事業番号	29	事業の名称	太陽光系	巻電システム 詞	设置補助金			担当部署		部 くらし文化部	ß	課 環境課					
基本方針	(1)万博理念	を継承し、自然・環境に	こだわるまち	分野別項目	(1)環境にやさしいまちをつくる	施策の進め方	(3)温室効果	ガス削減の推進		フラック	ブ F3「みどり」~	ふるさと(生命ある空間)の	風景を子どもたちに~	フラッグ項目	(52)太陽光発電シ	ステム設置補助制度の	の実施
事業の概	要	を図るため、住宅	用太陽光シ	⁄ステムを設置し	境への負荷の少ない循環型社会に変ようとする者に対し、予算の範囲内に 千円/kw、上限4kw80千円を補助)		意識の高揚	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	県名瀬尾日豊明		表4kw) 市の /kw(上限16 w(上限4kw) /kw(上限4kw) w(上限4kw) w(上限4kw) w(上限4kw)	輔助金に含む lkw未満) xw)					
										総事業費	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算		
事業期	間	事業開始年	丰度	平成13	8年度 終了(予定)年度		_		(=	単位:千円)	4,000	3,984	4,000	3,917	4,000	評価の見	.方
事業の対					E宅を含む。)に新たにシステムを設置		内に自ら居住	総事業費		一般財源	3,640	3,414	3,584	3,242	3,311	A 現行どおり	
(だれ、何に)	対して)	するための住宅の)新築に合る	わせてシステムを	と設置するもので、かつ、市税の滞納	がないもの。		松尹未 其	う	国費·県費	354	1 570	416	675	689	B事業の	
事業の意 (対象をどの。 態にしたい	ような状	環境への負担が 防止へ寄与する。		エネルギーの利	用を促進するとともに、温室効果ガス	の排出を抑制し、	地球温暖化		ち受	地方債 その他 益者負担額	(0 0	0 0 0			C 他事業と D 運営主体の E 事業の廃止	の見直し
												<u>'</u>					

Г		目的			成果		事業費(単位	位:千円) 【	評価
	事業を構成する 事務事業	対象 手段	意図 事務事業 対象をどのような状 実施結 態にしたいか)	果成果指標	H25実績	単 成果指標の目標値 位 設定の根拠	H25予算 H25決算 H26予算 H26決算 H27予算	H26決算の主な内訳 (単位:千円) 事業 事業	平価 ^業 規模 評価の説明 業費
	長久手市住宅用太 別 陽光発電システム設 置整備事業補助金	に合わせてシステム を設置するもの及び市内に自ら居住するための住宅の新築 に合わせてシステム を設置するもので、か	環境への負担が少な 1自然エネルギーの 交付件数 1月を促進するととも 52件 1、温室効果ガスの 執行額 3,917,000	施設出力	237.73	1件あたり3kwと仮 定。 1kwあたりの補助金額 が20,000円のため、 3kwで60,000円。 予算額4,000千円で 割ることで件数を算 kw 出 4,000千円÷60,000	4,000 3,08/	4 	B 成果目標は十分に達成できたが、予 算範囲内で補助金交付を実施している ため、受付が早期終了となっている。 (平成26年度は6月13日、25年度は6月 17日に受付終了)
		いもの。おいて補助金を交付することです	出暖化防止へ寄与 つる。		200.10	⇒66.7件 算出した件数を仮定 した3kwに掛けること により目標値とした。 66.7件× 3kw=200.1kw	4,000		ポイント制度の導入など、太陽光以外 の補助も含めて再検討したい。 生持
•	2								

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
		長久手市住宅用太	予算範囲内で補助金交付を実施しているため、受付が早期終了となっている。(平成26年度は6月			
	(1)	陽光発電システム設	13日、25年度は6月17日に受付終了)			
		置整備事業補助金	ポイント制度の導入など、太陽光以外の補助も含めて再検討したい。			
主怒主				H27以除新		
事務事 業の改 善内容				H27以降新 規に実施す る事務事業		
基内容				る事務事業		
ш.,г				ひずがずれ		
	_					

	—				及人丁山口	门以計画示									= m			
事業番	号	30	事業の名称	外来種素	才策等事業					担当部	署	くら	部 し文化部		課 環境課			
基本方	針 (1)万博理念を約	継承し、自然・環境に	にこだわるまち	分野別項目	(5)豊かな自然環境を次世代(に継承する 旅	施策の進め方 (1)自	然環境の	保全			フラッグ	F3「みどり」~ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに~	フラッグ項目	ョ (57)自然環 [±]	境調査の実施
事業	€の概∃	要然	環境データを 自然環境調査	蓄積した。 を行った結果	果、外来種が数多	様な生物が人と共存する自然 多く存在していることが判明 いら、外来種について市民と	した。		(John 1)	他市町の実 (近隣市町・ 市の状況等 に記動	∈他状況 や先進都 を具体的	日進市:平 尾張旭市 春日井市 豊田市:平	区成13年度。 : 平成11年原 : 平成18年原 区成13年度。	度〜平成21年 〜平成15年度	ぎ E度 ぎ	1 1106法質	1107又答	
事	業期間	1	事業開始	年度	平成24	4年度 / 終了 (-	予定)年度	_				総事第 (単位: -	千円)	25予算 H2 3,500	25決算 H26予算 3,444 2,376	H26決算 6 2,33	H27予算 33 2,376	評価の見方
	業の対象	象	i民							総事業	⊭弗		g財源 と・県費	3,500	3,444 2,376			A 現行どおり実施 B 事業の改善
事業(対象を	業の意[図	自然環境調査 長久手市の既	を行った結果存生物への	艮、外来種が数 影響もあることか	多く存在していることが判明 いら、外来種について市民と	した。 :ともに駆除して	ていく。		心中才		ち地	方債 の他	0 0	0 0))) 0		B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					目的				成	、果				事業費(単位	か・千円)	A	評価	
	業を構り 事務事	成する ≨業	対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使っ 月~ 10月~ 1,		事務事業の 実施結果		H25実績 H26実績 H26目標(単成	果指標の 設定の根	1.thn	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算		事業規模事業費		あ の説明
		·度長久手 対策等事	市民外来種	外来種に	● ●こついて、市民へい、特定外来種の	市民は、外来種の知	8月17日	- 外来種勉強会の 参加人数	_	外 列 人 数 H20 会 ため ため	来種勉強会 数(1回あた 6年度外来 実施予定は か目標値は)ます。	の参加 り) 種勉強 11回の	3,500 2,376 2,376	2,333		A 今で	きた。来年度は	参加者を集めることが 今年度の結果をもと 来種に興味を抱くよう こ努める。
2								-				-						
3								-				-						
4								-				-						
	=						>			<u> </u>		- July		<u> </u>		-11- 1-34		
事務事 業の改 善内容		事務事	業 			改善内容(H27以降に実施	<u>する内容)</u>		 	H27以降新 規に実施す る事務事業		努事業			事	事業概要		

事	業番号	31	事業の名称	卯塚墓	園事業					担当	部署	<	部らし文化部		課 環境課				
基	本方針	(3)人がいる	きいきとつなか	ぶまち	分野別項目	(15)やすらぎのある墓園	を整える 施	(2)	墓地の拡き	充			フラッグ	F3「みどり」~ふるさ	と(生命ある空間)の原	虱景を子どもたちに~	フラッグ項目	目 (62)緑地の	整備
	事業のホ		行しい市民の気 情を進める。	官住化による。	墓地需要に対応し	、将来にわたり安定した暑	裏地供給ができ	さるよう卯塚墓園の	拡充整	他市町の9 (近隣市町 市の状況等 に記	や先進都 を具体的	合葬式 芝生型 相模原i 墓石作 芝生墓 名古屋i	型 7,500区画 市峯山霊園 け芝生墓所 3 裏所 4,1 市みどりが丘笠 型 13,000区画	00体×3か所 使用料 90万 16ha 992区画 189,0 77区画 445,0 霊園 画 使用料 1,1	「円/区画又は 100円/10年 100~606,000「	t45万円/区画 4,500円/年 円/区画 4,50	・30年間 管理 0円~6,500円	理料 8,000円	
	事業期		事業開始	台年度	平成24	F度 終了(*	多定)年度	平成46年	度			(単位:	:千円)	7,000	6,374	303,460		95,785	評価の見方
(文	事業のだれ、何に 事業のだ 事業のだ まをどの 態にしたし	対して) ^含 意図 ような状 均	駆地を必要とす かいまま かいまま はまま はまま はまま かいまま はまま かいま はまま はまま はまま はまま はいま はいまま はいま		墓地供給ができる	ようにするため、市営の墓	園として整備で	ける。		総事	業費	う ち 対	般財源 費・県費 也方債 その他 負担額	7,000	6,374	303,000			A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					目的					成果				事業費(単	(人, 工田)			評価	
		構成する 事業	対象(だれ)何	に (いつ ど	<u> </u>	意図 て)(対象をどのような状	■ 事務事業の 宝施結果	成果指標	H25実 H26実	績 単 原	大果指標の		H25予算 H26予算	H25決算 H26決算	H26決算	の主な内訳 た:チロ)	評価 事業規模		 iの説明
	争符	事 未	対して)	4月~ 7	のような子段を使う 7月~ 10月~ 1月 	態にしたいか)		以未扫信 	H26美 H26目標	:棋 - -	設定の材		H20万算 H27予算 7,00		74 実施設計	·委託	事業費	平成26年度に須	で説明 実施設計を行い、工事 了予定は9月末)
1	卯塚墓園	國整備事業	墓地を必要とする市民	平成26年	度に基本設計 度に実施設計 工事着手 度までに整備する	多様化する墓地需要 に対し、墓地供給が できる。		供給可能区画数		0 区整 墓	備を予定し 地の区画数	ている 数	303,46 95,78	1 /	23 20,823 ⁻¹ 墓園整備 199,800	江事	<u>維持</u> 墓	一部報道発表に 所の需要が高か	より、樹木型合葬式 いったことが判明した。 の整備にあたり、実施
2																			
			<u> </u>			1													
3					<u> </u>	i								1 /					
				<u> </u>					<u> </u>										
4					<u> </u>	<u> </u>													
4																			
		事務事	**		7	女善内容(H27以降に実施	する内容)				重	務事業				重	業概要		
		7.1014					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					<i>W</i> + X				-	X 170 X		
事業業	務事 の改 内容									H27以降新規に実施す	-								
善	小谷									る事務事業	E .								

事業	養子	32	事業の名称	遊休農地	也活用事業					担当部		部 くらし文化部	К	課 産業緑地課		
基本	方針	(1)万博理念を	・継承し、自然・環	 竟にこだわるまち	分野別項目 (7)農のあるくらし・農のあるま	ちを支える 旅	施策の進め方 (1)遊休農地の)解消		フラック			フラッグエ	項目
;	事業の概	狂要 りて	長綱に基づく前 が既存農家の)	前熊堀越地区 豊地拡大の推	の農地の斡旋、「長 も進並びにあぐりんね	・久手給食食材生産会」の出荷を	の運営支援等を促進し、遊ん	を行うことで、新 大農地を減らしてい		他市町の写 (近隣市町・ 市の状況等 に記	や先進都 を具体的 東	進市:農地バン郷町:農地バン	ク制度	H25決算 ┃ H26予算		算 H27予算
	事業期		事業開始	台年度	平成20年	度 終了(予	定)年度	_			((単位:千円)	0	0 0	112077	0 0 評価の見方
	事業の対		5内農業者							総事業	*弗 =	一般財源 国費・県費	0	0 0		0 0 0 0 B 事業の改善
(対象	事業の意	気図ような状 前	前熊堀越地区	を地産地消農	と産物の生産拠点と	する。				心尹才	5		0 0	0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討
					目的				J				事業費(単	位:千円)		評価
	事業を構 事務:		対象 (だれ、何 対して)		手段 のような手段を使って 月~ 10月~ 1月・		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実統 H26実統 H26目標	<u>遺 </u>	表 果指標の目標 設定の根拠		1 H26決算	- H26決算の主な内訳 - (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
1	用支援に	市農地利泊 関する要 5農地の斡	市内農業	者要綱に基旋すること	づき、遊休農地を彰って	▶ 前熊堀越地区の遊休 農地を解消し、耕作 地を増やし市内農産 物の生産量を増加さ せる。	及び	前熊堀越地区6 遊休農地面積	28, 21, 27,	009 m² 前 農	熊堀越地区の 地の減少状況)遊休 L	0 0	0	維持維持	農業者の規模拡大及び新規就農者の 参入が順調に進んでいる。 遊休農地面積は目標値以上に少なく なっており、斡旋及び農業者の積極的 な活動の効果が出ている。
2	- 長久手 産会」の)	給食食材 <u>生</u> 運営支援	市内農業	者 学校給食等を決定センターも	への納入品目、数量する栽培会議を給金を か交えて開催し、連絡発にすることで	はないがりいまではく	生産者会議 の開催(毎 月1回) 栽培会議の 開催	学校給食への終	纳 3,	889 198 kg こオ 000	ιまでの納入; 最大値	美績	0 0	0	維持維持	市内産の野菜の納入を増やすための方策 について、毎月生産者で協議を行ない、実 践するようにしている。担当課と生産者との 間でできることは行っており、使用量が増え ないのはセンター方式による給食の製造過 程、農業者の生産方針、体制、農業技術に よる。継続して事業実施をしていくとして、評 価はAとした。
3	N-GAP(; ※) 長久 号 呈管理のこ	※)の実施 [*] 版の農作物 と。	工 市内農業	者給食食材が、	怪管理手法)を導入	生産する農作物の質 を向上させ、安心・安 全な長久手産野菜を 消費者になれてア	生産者会議 の開催(毎 月1回)	N-GAP認証圃均 面積	数 50, 50,	374 m² 前华	年度実績		0 0	0	維持維持	毎月生産者で協議を行ない、安心安全な野菜栽培を実践するようにしている。 認証システムはできあがっているが、担当する職員、農家がシステムの運営まで手が廻らない状態であるため現時点では面積の維持と、NGAPの運営が目標である。継続して事業実施をしていくとして、評価はAとした。
4																
		古功士	*		25	美由家/山口以及1-中华	士 2 由泰)				古沙:	±₩ I			李恒里	
事務業の善内	改	事務事	3 葉		改·	善内容(H27以降に実施	する内 容)			H27以降新規に実施する事務事業		事業 一		事	業概要	

事	業番号	33	事美	業の名称	農楽校事	業					担	当部署		部 らし文化部	Į.	課 産業緑地課			
基	本方針	(1)万博理;	念を継承	し、自然・環境に	こだわるまち	分野別項目 (7	農のあるくらし・農のあるます	ちを支える 旅	5策の進め方 (1)遊休農地(の解消		<u> </u>	フラッグ	/-		フラッグリ	目	
	事業の概	既要					źぶ「基礎コース」と、より の講義を実施する。	実践的な知言	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	する「農力	()丘陽古	の実施状況 町や先進都 音等を具体的 記載)	東郷町:	東郷農学校、 せと農業塾(打	東郷軽トラ市 旦い手コース)				
	事業期	問		事業開始年	宇宙	平成16年		·定)年度	_					:業費 <u>H2</u> :千円)	2 5予算 H 2 1,579	25決算 H26予算 1,688 1,925	H26決		呼価の見方
	事業の対	才象	受講		十尺	十,双10中,	文	足/千尺						般財源	1,579	1,688 1,925		870 1,891 A	現行どおり実施
(た	れ、何に事業の意		又冊	Τ.							総	事業費		費·県費 也方債	0	0 0		0 0 B 0 C	
	象をどの	ような状	多様	な担い手とし	て、農業に	従事してもらう。							7	その他	0	0 0		0 0 D	運営主体の見直し
	態にしたし	いか)											受益者	負担額	420	456 510		435 510 E	事業の廃止の検討
						目的					成果				事業費(単位	江:千円)		評価	
	事業を構 事務:		(対象 (だれ、何に 対して)		手段)ような手段を使って) ~ 10月~ 1月~		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	績 世	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価事業規模事業費	評価の説明	
1	ほ場実習	の実施	<i>A</i>)			マーチのもと、通年等を体験することで	農業に対する理解、 関心を深め、就農の きっかけとしてもらう。	60回実施 (臨時含む)	農楽校をきったけに、今後何らかの形で農にわりたいと答え 受講生の割合	携 た	100	全受講生(]	100%)	1,515 1,861 1,827	1,830	消耗品718、コーチ報償金659、光熱水費277、燃料費27、食糧費3、賄材料費9、火災保険料4、自動車損害保険料8、損害保険料56、借地料26、備品購入43	A 維持 維持	現行通り実施する 修了後の就農支援を行な	õ
2	講義の実	施	Į.				農業の幅広い知識を 習得し、実習に役立 ててもらう	10回開催	講義が役に立 と答えた受講生 の割合	 ±	97 100 % 100	全受講生(]	100%)	64 64 64	48	農楽校講師(座学講師分)40	Α	現行通り実施する	
3	野菜販売	芝実習	ž.	受講生		・ そした野菜の販売ま ごで	出何の除に必要な作 業等を学び、野菜の	2回開催	販売実習が今 に役立つと答; た受講生の割	え 合	100	全受講生(]	100%)	0 0	0		維持	現行通り実施する 農楽校のPR、長久手「農」 する	のPRを実施
4	農産加工 体験	二及び収	穫	市民	実習で栽培農産加工、	●●●● そした野菜を用いた 収穫体験	食育の観点から、市 民に長久手の農に触 れる機会を提供する	味噌作り体 験 漬け物作り 体験 収穫体験	参加する市民(数	<i></i>	65 人	前年度の参 (味噌作り20 作り14、収秒 を目標とする	0、漬け物 糞体験31)	0	0	①に含まれる	維持維持		
		重数	· · · ·			コトミ	告内容(H27以降に実施す	ナス内突)					事務事業			a	業概要		
事務業の	務事 の改 一	事 初	**************************************			LX έ	計内分(NZI以降に失加)	9 の内台)			H27以降 規に実旅 る事務事	新	护协争未			-	未 似女		

事	業番号	34	事業の名	称	市民農園			AT IMAN				担当	部署 ———	部 くらし文化部	<u> </u>	課 産業緑地課		
基	本方針	(1)万博理念	を継承し、自然・	環境に	こだわるまち	分野別コ	頁目 (7)	農のあるくらし・農のあるま	ちを支える 旅	策の進め方	(1)遊休農地	の解消		フラッグ			フラッグエ	頁目
	事業の机	双安	区画30㎡の した「たがら テっている。	の農園	園66区画を、 サポートクラ	、最長5年	三貸し出して	ている。 初心者でも気軽 栽培指導、モデル農園	経に農業を楽し の栽培管理 <i>』</i>	、めるよう、市内 及び年に2回栽	農家を中心 は培講習会を	他市町の! (近隣市町 市の状況等 に記	や先進都 無対 無対 無対 表対 表対 表対 表対 表対	(20㎡·2, 000 (20㎡·2000) (30㎡·12000	円/年) 0円/年)	25決算 H26予算	H26決	算 H27予算
	事業期		事業開	見始年	度	<u>x</u>	Z成15年度	度 格了(予	定)年度	-	_		(単信	立:千円)	1,336	1,293 1,242	1,	108 1,304 評価の見方
(た	事業の対	対象 対して)	農園利用者									総事	業費 う 国	−般財源 □費・県費	1,336 0	1,293 1,242 0 0	1,	1081,304A現行どおり実施00B事業の改善
(対	事業の意 象をどの 態にしたし	ような状	別心者でも気	(軽に	工、楽しく野芽	菜を栽培	できるように	こする。					5	地方債 その他 者負担額	0 0 660	0 0 0 0 660 660)	0 0 0 0 0 0 650 660 E 事業の廃止の検討
						目	的					成果			事業費(単位	立:千円)		評価
	事業を標 事務		対象 (だれ、 対して	何に	(いつ、どの 4月~ 17月	手段 ような手段	设を使って)		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実	績	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	3
	長久手ふ	っれあい農	園		◆	•		初心者でも気軽に、	モデル農園での野菜栽培			66	マ画の(66マ画)	1,336 	1,293	消耗品費 64 光熱水費 94	Α	
	(市民農理業務	園)維持管	農園利用	11. [平間を通じ 理、利用者 培講習会、 管理を行う	への栽培 モデル農	指導や栽	楽しく野菜を栽培で きるようにする。	描習会2回 年間指導日 数	貸出区画数		66 国 の	区画の(66区画) 貸し出し	1,304		指導委託費 600 借地料 350	維持 維持	現行通り実施していく
2																		
3					1111	111	1111	-										
				-			<u> </u>	1										
4																		
		+ 75-	= 44				-1 -1		1 				± 75 + 10				علاد است عبد	
		事務署	美				改善	内容(H27以降に実施	9 句内容)				事務事業			事	業概要	
事業の	務事の改											H27以降新規に実施す	i					
善	시 谷											る事務事業	<u> </u>					

事	業番号	35	事業の名称 児童遊園管理事業							担当部署		部 課 らし文化部 産業緑地課							
		(1)万博理念を網	迷承し、自然・環境	にこだわるまち 3	分野別項目 (4)対	だれもが憩い親しむ公園緑は	地を整える 施	施策の進め方(1)公園緑地の整		■ 張備、(3)維持管理に対する住民:							-~ フラッグ項目 (60)児童遊園の		
事業の概要		既要 行	児童遊園の環境維持のため、樹木の剪定や除草、遊具の保守点検や修繕、定期的なトイレの清掃やゴミ収集を								他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 (ご記載) 総事業費 H25予算 H25決算 H26予算 H26決算 H27予算								
	事業期		事業開始年度 昭和54年度 終了(予定)年度 -									(単位:	千円)	2,992	2,964 3,262	62 3,114 3,740 評価の見え			
(†:	事業のダ ミれ、何にタ	対して)	市内の児童								業費		般財源 貴•県費	2,992 0	2,964 3,262	3, 0	3,740	A現行どおり実施B事業の改善	
	事業の意 象をどの。 態にしたい	ような状安	大安全で快適に児童遊園を利用できるようにする。										地方債 の他 負担額	0 0 0	0 ()))	C 他事 D 運営主 E 事業の		
				目的						成果				事業費(単位:千円)			評価		
	事業を精 事務		対象 (だれ、何に 対して)	こ (いつ、どのよ 4月~!7月~	手段 うな手段を使って) - [10月~] 1月~	態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実統 H26実統 H26目標	積 単 横	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の	説明	
1	除草•剪;	定·清掃事	児童遊園		□、樹木剪定、清	快適に児童遊園を利 用出来るようにする。		児童遊園に対す る苦情件数		5	前年度実績! 5。	以下とす	1,806 2,041 2,429		除草・剪定及び清掃 業務委託2,041	Α	現行どおり実施してい	≺.	
2	遊具点検	拿事業	児童遊園		●●●●●●	安全に遊具を利用できるようにする。	点検1回/年	遊具点検で改善 が必要とされた 箇所のうち、改善 を実施した割合		17 32 % ‡	指摘を受けた 全て修繕する	上遊具は う。	986 1,021 1,201		遊具保守点検委託 973	維持	其点検で改善が必要とされた箇所の修繕 事を実施する場合、修繕内容によってかる費用が変わってくるが、緊急度の高いもから随時修繕工事を実施している。修繕 算が不足しているため目標値に達していが、利用者が安全に遊具を利用できるうに点検事業は現行どおり実施する。		
3	③ 児童遊園等愛護会報償金交付事業		愛護会	● 愛護会の活動に対し、半期毎に報償金を支払い児童遊園を管理してもらうことで			愛護会の管理する児童 遊園上半期 7箇所、下 半期6箇所		上半期下半期	9	死に活動して 本の確保を E 5。	20 ている団 目標とす 20		143	報償金100	拡充	愛護会として活動しているほとんどの団体が子供会で、子供の減少により子供会が消滅したため愛護会も減少した。市民に公園に愛着を持って清掃等の活動をしていただく事業なので、現行どおり実施する。事業費については、予算配分の結果、削減した。		
4																			
		事務事	*	改善内容(H27以降に実施する内容)							<u> </u>	事務事業				業概要			
事業業	務事 の改 内容				以合い分(ロビノ及呼に大肥する)内分					H27以降: 規に実施 る事務事	新す	(分) 甲未				≠未帆安			

事	業番号	36	事業の名称 草刈機貸出事業								担当	邰署	部 くらし文化部		課				
基	本方針	(1)万博理念	を継承し、自然・環	境にこだれ	つるまち 分	野別項目 (7)	農のあるくらし・農のあるま	ちを支える 旅	5策の進め方	(1)遊休農地	の解消			フラッグ	·	-	フラッグ項	目	
	事業の概	狂要									(近隣市町 市の状況:)実施状況 けや先進都 等を具体的 己載)	尾張旭市	等一部市町					
	事業期	間	事業開始	冶年度		_	終了(予	定)年度	-	_	4		総事第(単位:		2 5予算 H 2 82	25決算 H26予算 82 8	H26決算	H27予算 82 100	評価の見方
(+:	事業の対	才象 ,	農地の適切な		しようとするī	市内農家等	17.7.7	~ 1 ~			<i>6</i> /3. ≠	- ** #	— 舟	设財源	82	82 8		82 100	A 現行どおり実施
(だれ、何に対して) 事業の意図 (対象をどのような* 態にしたいか)			農地等の環境を整備して自然環境を健全に維持する。								総事業費		ち地	*・県費 方債 の他 負担額	0 0	0 0 0 0		0 0 0 0 0 0	B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的					成果				事業費(単位	江:千円)		評価	
	事業を構 事務		対象 (だれ、何 対して)	4月	つ、どのよう ~ 7月~	-段 な手段を使って) 10月~ 1月~	態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目		成果指標の 設定の	の目標値 - 根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	7:十円) H26決算の主な内訓 (単位:千円)	事業規模事業費	評価	の説明
1	草刈機貸	出事業	農地の適けな管理をしようとするi 内農家等	カー 草メ	川機の貸しと	出し(委託)を行	各農家の方々に、農 地の適切な管理をし ていただく	貸出件数 130件	貸出件数		116 130 件 120	前年度実績	-	82 85 100	82	草刈機管理業務委 託82	A	貸出件数は増加傾	傾向にあり、また農繁 ュールにも対応して でを増加する。
2						<u> </u>	_						[
3													-						
4													-						
	事務事業 改善内容(H27以降に実施する内容)								 =	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -									
事務	8事				ADDITION OF THE						H27以降 規に実施		<i>W</i> T N				170 X		
事務業の	D改 Pi容									」規に実施 る事務事	ず 								

				_	长 久于巾仃。	以計劃示											
事	養番号	37	事業の名称	米政策対	付策推進事業					担当部	署 ——	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u>P</u>	課 産業緑地課			
基	本方針	(1)万博理念	を継承し、自然・環境	にこだわるまち	分野別項目 (7)	農のあるくらし・農のあるまで	ちを支える 施	医策の進め方 (3)環	環境保全型農	農業の振興	Į	フラッグ			フラッグ	項目	
	事業の概					載少を目的としている。 軋 た農家に対しては、米生			請のあっま	2市町の実 近隣市町 ヤ の状況等 に記載	5先進都 日進 を具体的 米生 以	産調整推進対策	補助金に関し	家1戸あたり300㎡以っては近隣市町村全てで25決算 H26予算	上の転作 で実施。 H26決		乍補助金を交付。
	事業期	間	事業開始	年度	_	終了(予	定)年度	_				送事業費 Hide Hide Hide Hide Hide Hide Hide Hide	25万异 п 1,262	1,108 1,164	П20次	927 1,196	評価の見方
(だ (対	事業の対れ、何に 事業の意 象をどの。 とにしたい	対して) 意図 ような状 (市内農家	食用米の生	産と適切な営農活動	J				総事業	5	一般財源 国費・県費 地方債 その他 そ負担額	1,262 0 0 0 0	$\begin{array}{c cccc} 1,108 & 1,164 \\ 0 & 0 \\ \hline 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{array}$		927 1,196 0 0 0 0 0 0 0 0	A現行どおり実施B事業の改善C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討
					= //			_	h =	_			dr / 32 /				
	事業を構 事務		対象 (だれ、何に 対して)		目的 手段 のような手段を使って) 月~ ¦10月~¦ 1月~		事務事業の 実施結果	成果指標	成身 H25実績 H26実績 H26目標値		果指標の目標(設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	事業費(単位 H25決算 H26決算		評価 事業規模 事業費	評価 評価 <i>の</i>	説明
1	米政策対 る種子配	策推進に 布事業	係 転作を希望 する農家	組合長に 込書を各属 だくよう依頼	産組合長会議にて、 転作用種子配布申 農家に配布していた 頼し、希望者より申え してもらうことで	木の生産をしていた だく	大豆1,462 ㎡ コスモス 20,266㎡ レンゲ 3,345㎡ そば150㎡	転作種子使用水 田面積	31,576 25,223 35,000	 3 m² 前年	三度実績	314 408 314		米政策改革対策推 進事業 241千円 大豆種子代 コスモス種子代 レンゲ種子代 そば種子代	Α	実績が目標値を下ま業は米の生産調整ドの国の支援事業であしていくため	目標を達成するため る。次年度も継続
2	米生産調 策補助金	引整推進☆ 注	転作した農家	現地確認いる面積	を行い、転作されて ちしくは出荷数量に 力金を交付することで	需給にあった主食用 米の生産へ協力しよ うとする意欲を増す	農協管理転作 在 7,453㎡ 重点作物転作 推進費補助金 61,957㎡ 一般作物助 15,760㎡	補助金給付水田面積	127,613 105,170 140,000	 O m² 前年	E度実績	948 756 882		農協管理転作推進 費補助金8 重点作物転作推進 費補助金535 一般作物転作推進 費補助金143	維持維持	実績が目標値を下ま業は米の生産調整ドの国の支援事業であしていくためる。。	目標を達成するため る。次年度も継続
3										- - 1							
4																-	
事務の善	事 改]容	事務	**		改善	・内容(H27以降に実施・	する内容)		規	27以降新 に実施す 事務事業	事務事美	**		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	業概要		

事	業番号	38	事業の名称	有害鳥獣	 / 捕獲事業					担当	台部署	₹è	部し文化部	Ē	課 産業緑地課			
基	本方針	(1)万博理念を約	継承し、自然・環境(ここだわるまち	分野別項目	7)農のあるくらし・農のあるま	ちを支える 施	5策の進め方 (3)	環境保全	型農業の扱	興		フラッグ	•	-	フラッグ耳	頁目	
	事業の概	我要	業者に有害鳥	獣の駆除及	び処理を委託し、	有害鳥獣による農作物被	害の減少を図	☑ る。		(近隣市町 市の状況)実施状況 打や先進都 等を具体的 己載)		村全てで実力					
	事業期	間	事業開始	在	_	終了(子	·定)年度	_				総事業		2 5 予算 H: 265	25決算 H26予算 300 29	H26決算	第 H27予 算 320 335	評価の見方
	事業の対	才	農家が管理し		<u> </u>	ψ< 1 ()	人 /十/ 又					— 舟	投財源	265	300 29		320 335	A 現行どおり実施
(対:	れ、何に 事業の意 象をどの。 態にしたし	対して) 意図 よ うな状 有				図るとともに、安心安全な	営農活動を維	単持する		総事	業費	ち地	・県費 方債 の他 負担額	0 0 0	0 0	0 0 0	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					目的					成果				事業費(単位	∵ ・千円)		評価	
	事業を構 事務		対象 (だれ、何に 対して)	4月~17月	手段 りような手段を使って 日~ 110月~1 1月	~ 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	積 単	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	☑:十円) H26決算の主な内部 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価	の説明
1	有害鳥豑	浦獲事業	各農家が管 理している 農地等	• • •	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	農作物被害の減少を	有害鳥獣の 減少	農作物被害面積	35	,300	前年度実績/ 少	からの減	240 240 260	240	有害鳥獣捕獲業務 委託240	A 維持	イノシシ、アライグ~ 獲依頼数が増加し の有効利用や新規 対応している。 事業	マ、ハクビシン等の捕 ているので、ワナ等 そのワナの購入等で その内容としては現行 ため、評価は「A]とす
2	有害鳥獣 謝礼金	計獲処理	有害鳥獣 (イノシシ)の 捕獲をし処 理をした方	捕獲実績報	報告書及び請求書 かただくことで	有害鳥獣を捕獲する 意欲を増す	イノシシ捕 獲頭数16頭	イノシシの捕獲 頭数		12 16 頭 10	前年度実績	-	25 50 75		有害鳥獣捕獲処理 謝礼金80	維持	謝礼金の予算を増	が増加しているので、 関して対応してい ては現行通りの事業 は「A」とする。
3												-						
4												-						
		事務事	業		25	善内容(H27以降に実施	する内容)				事	務事業			=	事業概要		
事務	8事	, T			~					H27以降 規に実施								
事務業の	D改 Pi容									規に実施る事務事	す 業 							

事	業番号	39	事業の名	名称 農業用	施設維持管理事	業				担当	当部署	<	部 らし文化部	<u> </u>	課 産業緑地課			
基	本方針	(1)万博理念:	を継承し、自然	環境にこだわるまち	分野別項目	7)農のあるくらし・農のあるまち	を支える 施	5策の進め方 (3)	環境保全型	型農業の排	辰興	_	フラッグ			フラッグ項	ē目	
	事業の概	既要	農業従事者)やフェンフ	に農業用水の資 修繕、余水吐等	安定的供給性を確保 等の修繕を行う。	呆し、農業生産性の向上を	図るための劇	農業用施設を年に	2回草刈	(近隣市) 市の状況	の実施状況 町や先進都 !等を具体的 記載)	近隣市町			維持管理している。			
	事業期	問	事業	開始年度	_	終了(予:	定)年度	_				総事		2 5予算 H 5,832	25決算 H26予算 5,832 4,916	H26決算 4,6		評価の見方
(+ <u>\$</u>	事業の対れ、何に	付象	農業従事者			4-3/3	<i>~</i>			<i>6</i> /\.∃	≒ ₩#		般財源	5,832	5,832 4,916	4,6		A 現行どおり実施
(対	事業の意	意図 ような状)	農業用水を	安定的に供給る	する					松司	事業費	ち」対	費・県費 地方債 その他 負担額	0 0	0 0 0 0 0 0		0 0	B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					目的	_				成果				事業費(単位			評価	<u> </u>
	事業を相 事務	構成する 事業	対: (だれ、 対し	何に(いつ、と	手段 「のような手段を使って 7月~ [10月~] 1月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	積 単 位 I	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評	価の説明
1	農業用が 事	拖設修繕 工		事者 ため池にり、フェン	•	農業用水を安定的に	2箇所	修繕箇所		1	前年実績		5,832 4,916 6,300	5,832	農業用施設維持修 繕工事 4,643	A 拡充	の機能を維持さ	朽化に対応して、施設 せるため、順次施設の 的に実施していくため る。。
2																		
3																		
4																		
		事務事				善内容(H27以降に実施す	「る内容)				=	事務事業			<u> </u>	業概要		
事務業の善	新 3 3 3 3 3 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	₩177=			LX.		(VI) (1)			H27以降 規に実施 る事務事		7 <i>0.</i> 7 Ŧ木			Ŧ	T I'M S		

				長久手市行	亍政評価票														
事業番号	40	事業の名称	緑化関係	系補助金事業					担	当部署		部 くらし文化	部	課 産業緑地調	k				
基本方針	(1)万博理念	を継承し、自然・環境に	ここだわるまち	分野別項目	(4)だれもが憩い親し	む公園緑地を整える	施策の進め方	(2)緑化の推済	進			フラッ	グ F3「みどり」~	ふるさと(生命ある空間)の	虱景を子どもたちに~	フラッグ項目	(56)地域や家	庭の緑	化支援
事業の根	既要	分譲住宅(2,000 屋上•壁面緑化即	は、戸建て 円/m、上限 カ成金は、2	住宅等(4,000円 860,000円/宅)を 0,000円/m又は	/m、上限150,000 助成。 補助対象経費の1/	円)、集合住宅等(3 /2のうち少ない方の I税を活用して行うE)額(上限500,000円	円)を助成。	▮(近隣市	町や先進都	以外の尾張りを出する。	の取壊し又は 但市:生垣設置 市、豊明市、東 ら森と緑づくり 市、西尾市、 市、岩倉市、豊	生垣設置のみ 置助成金 設置 原郷町:なし 事業について 情郡市、犬山市	: 上限6万円) 置距離×3千円(上 は、名古屋市、豊 「、常滑市、江南「	:限9万円)(生 橋市、岡崎市 方、小牧市、稲	垣新設のみ 説 、一宮市、瀬戸 沢市、新城市、	して生垣設置:上 设置距離×2千円 市、半田市、豊川 東海市、大府市、 町、東浦町、武豊	(上限67 市、刈名 ,知多市	「円)) 「市、豊田市、 、知立市、尾
事業期	間	事業開始:	年度	平成8	年度	終了(予定)年度	_	-	1			総事業費 単位:千円)	H25予算 7,30	H25決算 1,671	H26予算 4,300	H26決算 3,201	H27予算 3,800	討	価の見方
事業の対	才象	市民		. , , , ,			•		総	事業費		一般財源 国費·県費	1,30 6,00	162	1,300 3,000	201 3,000	800 3,000		現行どおり実施
事業の意 (対象をどの。 態にしたい	ような状	みどりの育成を推	進し、緑化	面積を拡大させ	3						受益	地方債 その他 益者負担額						D	他事業と統合 運営主体の見直し 事業の廃止の検討
				目的					成果					(単位:千円)			評価		
事業を精 事務:		対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使っ 月~ [10月~] 1]	意図 (対象をどの 制~ 態にした	ような状 実施結		H25実 H26実 H26目標		成果指標の 設定の		值 H25予 H26予 H27予	算 H26%	H26決算 (単位	の主な内訳 は:千円)	事業規模事業費	評価(の説明	
									0			1	000	0					

Г			目的				成果				事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	
				みどりの育成を推進			0		昨年度の実績がない	1,000	0		В	近年、実績が上がっていないためB評 価とする。市民や事業者に対し、PRし
(屋上·壁面緑化助成 事業	市民	屋上・壁面緑化を実施した者 に助成を実施することで	し、緑化面積を拡大させる。	申請件数0件	緑化面積	0	1111	ため、H21からH23 年度の平均値を目標 とする	1,000			維持	ていく。 事業費については、予算配分の結果、 削減した。
							80			500			削減	
				7.1810 75-42-44-44-44-44-44-44-44-44-44-44-44-44-			43			300	162		Α	現行どおり実施していく。 目標値は過去3年間の平均値を採用し
(2	生垣設置補助事業	市民	生垣設置を実施した者に助成	し、絿化囬傾を拡入	申請件数7 件	生垣延長	51	m	過去3年間の平均値 を目標とする。	300	201	生垣設置補助金201	維持	ているため、実績は届かなかったが、申 請件数はH25が2件であったことに対し
			を実施することで	させる。			65			300			維持	- 7件であり、緑化面積の拡大が図られている。
				w 1310 15 11/11/1.			101			6,000	1,509		Α	
3	あいち森と緑づくり事 業		屋上•壁面•駐車場•空地緑化	みどりの育成を推進 し、緑化面積を拡大	申請件数2 件	緑化面積	526	m²	過去2年間の平均値 を目標とする。	3,000	3,000	緑の街並み推進事業 3.000	維持	現行どおり実施していく。
			を実施した者に助成を実施す ることで	させる。			102	l I	CAME/ W	3,000			維持	-
(2						,								<u> </u>
														-

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	① 屋上•壁面緑化助成事業	家の建築について、窓口相談時に補助事業についてPRしていく。			
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

事業	番号	41	事業の名称	商工振頻	興事業	外山 四八				担当	部署	< i	部 らし文化部	Ä	課 産業緑地課			
基本	方針	(2)リニモで	でにぎわい交流	するまち	分野別項目 (9	9)魅力ある商工業を活発	にする 旅	画策の進め方 (1)雨	商業の振	興			フラッグ			フラッグリ	目	
lini	事業の概	要	の商工業の振興	に資するこ。 への融資を	とを目的として、愛知	が、事実上必要とする資 □県と市が協調し、覚書を 言用保証協会を経由して	締結している	る資金を金融機関に	こ預託	他市町の (近隣市町 市の状況等 に記	や先進都 を具体的	各市町村		度を設けてい 25予算 H 2	る。 25決算 H26予算	H26決	·	
	事業期		事業開始	年度	_	終了(予	定)年度	_				(単位:	千円)	55,200	54,511 53,500	53,	965 54,300	
	事業のタ		市内の中小企業	者						総事	坐 费		般財源 貴·県費	55,200	54,511 53,500	53,	965 54,300	A現行どおり実施B事業の改善
· (対象	事業の意	気図ような状 「	市内の中小企業	者が必要と	する資金の融通をF	円滑にする。				IND 34	Ф .	ち 地	2方債 ・の他	0 0	0 0 0 0 0 0		0 0	□ 日本
					目的					成果				事業費(単位	江:千円)		評価	
174	事業を構 事務		対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使って 月~ 10月~ 1月~		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	<u>績</u> 点 / ′	成果指標の 設定の相		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	<u>評価</u> 事業規模 事業費		画の説明
1	小規模企 資金	:業等振興	中小企業者	● ● ● ●年間を通じを行うこと	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	● 市内の中小企業者が 資金の融通を円滑に する。		融通決定率 (融通決定件数 /融通申込件 数)		100 100 % 100	ての申込みて融資決定	ににつぎを目標	50,000 50,000 50,000	50,000	小規模企業等振興 資金預託金 50,000	A		ており、なおかつ市内 の需要はあるため、事 実施していく。
	言用保証 業	料補助事	· 中小事業者		●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	→ 市内の中小企業者の	46件	補助件数		58 46 件 60	年度実績作 を見込む	‡数程	5,200 3,500 4,300	4,511 3,965	信用保証料補助 3,965	拡充	が、1件あたりの补 るため、次年度に 事業内容は変わ	値は達成していない 浦助金額が増額してい は予算額を増額する。 らず、継続して事業実 評価は「A]とする。
3																		
4																		
		重数電	*		7h 3	美内家/40711001-中华-	ナス内容)				- 市	数 重要				* 四 西		
事務業の善内	事改容	事務事	·		改言	善内容(H27以降に実施・	9 る 内容)			H27以降新 規に実施す る事務事業	f	務事業			事	業概要		

事第	美番号	42	事業	美の名称	消費者行	一 一 一 可 事 業	2741 1-77				担	当部署		部らし文化部	j	課 産業緑地課		
基本	本方針	(3)人がし	いきいき	きとつながる	るまち	分野別項目	(17)安心で安全な消費生活	を支える 施	5 策の進め方 (2)消	肖費者被害	の予防	ī		フラッグ	•	•	フラッグエ	項目
	事業の杮		持ち、	安心で安全	全な消費生活	活をおくることを目	肖費生活における被害防. 指すことを目的に、消費生 り、消費生活に関する被害	活相談窓口		い知識を	(近隣市 市の状)	「の実施状況 5町や先進者 況等を具体的 こ記載)	『 近隣市® 内 に1.2回	回開催している	市町村がある	コを開設している。市町だる。 る。 125決算 H26予算	村の規模(H26決	によって、毎日開催している市町村や週 算 H27予算
	事業期 事業の対			事業開始:	年度	_	終了(予	定)年度	_	=				· 千円) · 般財源	750 750	720 1,704 720 912		868 30 868 30 A 現行どおり実施
(だ	れ、何に	対して)	市民								4/2 1/vC	事業費	う国	費·県費	0	0 792		B 事業の改善
(対象	事業の意象をどの とにしたし	ような状	市民の	の消費生活	に関する知	職の向上を図り、	肖費生活における被害を関	坊ぐ。					2	地方債 その他 1負担額	0	0 0		C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的	_				成果	_			事業費(単位			評価
	事業を構 事務	構成する 事業		対象 だれ、何に 対して)	4月~ 7	手段 のような手段を使っ ^っ 月~ 10月~ 1月	~ 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実約 H26実約 H26目標	責 一 位	成果指標(設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
1	消費者生 業	上活相談:	事	万民	7999	見催することで	4	163件	相談件数	1		前年実績		720 1,644	720 868	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	_	目標を達成したため、ひきつづき、規模 を維持し実施していく。(なお、平成27 年度に市民相談室に事業移管したた め、平成27年度予算は0となっている)
			+				•			1	159 90			30	()	-	が、「成21 千尺 丁 奔は00cな ブ (v · 5)
2	消費者生 業	上活講座	事	万民	市民の消費	費生活知識向上の を開催することで	! 消費生活に関する知 流を学ぶ	1回	受講者アンケートの満足度		80 %	多くの受講 してもらえる 定した	者に満足 の内容に設	60		·) 		アンケートの結果、目標値を下回ったが、多くの受講者が満足したという結果であったため、ひきつづき、規模を維持し実施していく。
			\dashv				•				3			0			維持	
3	多重債務	务相談事	業市	万民	愛知県司部の協力は	法書士会名古屋式により、多重債務者	市民の消費者被害を	1件	相談件数	 	1	前年実績		0		· 	B 維持	目標値を下回ったため。
					の相談会	を開催することで					6			0			_	
(<u> </u>	<u> </u>									<u> </u> -		
4																		
		事 發	事業			건		する内容)	-				事務事業			· 	業概要	
	3	多重債務		事業 窓口	コやHPで多		面していることを積極的に						于切于术_			7	不师义	
事務 業の	改									:	H27以『 規に実』	施す						
善内	容										る事務	事業						

事第	番号	43	事業	きの名称	201473	さがくて市民		事業				担当	台部署	<.	部 らし文化部	<u></u>	課 産業緑地課		
基本	方針	(5)みんなの	の力を結	集する自治	と協働のまち	分野別項	(1)伯	民と行政が協働するまちづく	いを進める 施	策の進め方((1)「新しい公	共」の担い	手としての意	識の醸成	フラッグ	F1「つながり」~一人	ひとりに役割と居場所があるまち	~ フラッグ項	[目 (8)市民主導型市民まつりの実施
	事業の概	要	相互の	つふれあい	の場の創出	さ市においてに 出を目指し、ま り全体の企画	た、地域	目互の交流や連帯意識 文化、産業の発展・向 行う。	の希薄化が駅 上を目指すた	懸念される。こ <i>の</i> めに市民が主作	うため、市民 体となって	(近隣市町 市の状況)実施状況 町や先進都 等を具体的 記載)	日進市 厚 尾張旭市	ゆめまつり(ぬ 夢花火(夢花) 「たのしい夏	火実行委員会 まつり(たのし	· 李員会) 1800千円		
	事業期			事業開始:	年度	昭和	口59年度	終了(予	·定)年度	_				総事:	千円)	3,025	2,852 2,85	4 2,8	35 2,854 評価の見方
(だ	事業の対 れ、何に	t象 対して)	市民									総事	■業費		般財源 貴·県費	3,025	2,852 2,85 0	4 2,8 0	(35)2,854A 現行どおり実施B 事業の改善
(対象	事業の意	意図 ような状	市民相	目互のふれ	あいの場を	と創出し、地域	文化、產	[業の発展・向上を目指	首。					ち 地	方債の他	0 0 0	0 0 0	0 0 0	C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的						成果				事業費(単位	立:千円)		評価
	事業を構 事務			対象 だれ、何に 対して)		手段 でような手段を 7月~ 10月~		意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	績 一一一	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訴 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明
1	市民まつ	ŋ	市	ī民	市民が主全体の企	● 体となって市 画・運営を行	民まつり うことで	市民相互のふれあい の場を創出し、地域 文化、産業の発展・ 向上を目指す。	来場者 18000人	来場者数	18	,000 ,000 人 ,000	前年度実績	を上回る	3,025 2,854 2,854	2,852 2,835	市民まつり実行委員 会補助金 2,835	A	目標を達成したため、ひきつづき、事業 見模を維持し実施していく。
2																			
3						<u> </u>													
4																			
		事務	車業				办羊	- 内容(H27以降に実施 ⁻	する内突)					務事業			ī	事業概要	
事務業の善内	事改容	争 務·	尹禾				以 晋	四分(□21以呼1~美施)	y の内谷)			H27以降 規に実施 る事務事	新す	*伤事系				尹未帆安	

事業番号	44	事業の名称	都市公園	•緑地管理事	事業				担当部署		部 くらし文化部	-\f\	課 産業緑地	課			
基本方針(1)万博理念	を継承し、自然・環境に	こだわるまち	分野別項目	(4)だれもが憩し	親しむ公園緑地を整える	施策の進め方	(1)公園緑地の整	備、(3)維持管理に対する住民	参加の打	推進 フラック	ブ F3「みどり」~	ふるさと(生命ある空間)の	D風景を子どもたちに~	フラッグ項目	(59)公園の雪	Ě備
事業の概	要	掃やゴミ収集及び	施設の修繕	善を行う。		、遊具や水景施設の(ムいや掃除道具の支給		」なトイレの清	他市町の美施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的	尾進郷の	旭市:直営で 市:直営で管	管理 理(総合運動 管理(愛知池		1スポーツ公園	園のみ指定管理 多目的広場及で H26決算		、東郷町ふれあい広
事業期間	1	事業開始年	F度	昭和54	4年度	終了(予定)年度		_			位:千円)	68,102				92,969	評価の見方
事業の対 (だれ、何に対		市民							総事業費	5	一般財源 国費・県費	68,102 (66,883	72,086 0	70,812	92,969	A現行どおり実施B事業の改善
事業の意 (対象をどのよ 態にしたい	うな状	安全で快適に都下	市公園・緑地	也を利用できるよ	うにする。					5	地方債 その他 益者負担額	(0 0	0 0 0			C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討

			目的				成果				事業費(単位	立: 千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
			都市公園の指定管理者を選定	安心で快適に都市公	除草1~4回/年 草刈1~4回/年 施肥1回/年	+m → 1/ FEI) > 41/ →	33		举是在办法 图于1.之	47,438 47,932	46,600	₩\₽\ \\\	Α	現行どおり実施していく。
1	指定管理者制度事 業	都市公園	し、定期的な除草、草刈、剪定、トイレ清掃、広場清掃及び	園を利用できるように	週	都市公園に対す る苦情件数	11	件	前年度実績以下とす る。	47,932	41,932	指定管理者協定 47,932	維持	事業費は、管理する都市公園数が増加 するため、増加とした。
			電球交換等の簡易な修繕を行うことで	7 90	剪定1回/年 水景清掃1~2 回/月		30			51,600			増加	7 SICVA PHINCUICO
					除草2~3回/年 草刈2回/年		5	'		14,000	14,826		Α	
<u> </u>	经决定加重采	〈ヨ・大 、〈ヨ・ヤト」		快適に緑道・緑地を	施肥1回/年	緑道・緑地に対	5	/H-	並左座字建	16,860	17,018	 緑道管理委託17,018		現行どおり実施していく。
(2)	緑道管理事業	緑道•緑地		利用できるようにす る。	週 剪定1回/年	する苦情件数		1+	前年度実績。				維持	事業費は、管理する緑道数が増加する ため、増加とした。
			で		水景清掃1回/ 月		5			33,678			増加	
					+日※住.ノシル	*************************************	28			2,529	2,266		Α	
(3)	遊具点検事業	都市公園•		安全に遊具を利用で	点検1回/年		66		指摘を受けた箇所の うち、遊具に関する物	2,609	2,485	遊具保守点検委託		現行どおり実施していく。 事業費は、管理する遊具数が増加する
		緑道	定期的な遊具点検を行うことで	きるようにする。		箇所のうち、改善 を実施した割合		, 0	は全て修繕する。			2,485	維持	ため、増加とした。
							60			2,852			増加	
					但宁上协会	佐谷が立ました	94			2,302	1,540		Α	指定管理者の修繕ができる範囲内で実 施しているが、限られた予算での対応と
(4)	水景施設点検事業	都市公園•		快適に公園・緑道を 利用できるようにす	~4回/年	修繕が必要と指摘さえた箇所のう	77	%	指摘を受けた箇所	2,672	1,728	水景施設保守点検		なるので、緊急度の高いものから随時 実施している。利用者が快適に利用で
	77.77.70.000.000.000.000.000.000.000.00	緑道	定期的な水景施設の点検、清掃を行うことで	る。	清掃7~12 回/年	ち、修繕を実施 した割合	100	, ,	は、全て修繕する。	0.110		委託1,728	維持	きるように現行どおり実施していく。 事業費は、管理する水景施設数が増加
							100			3,119			増加	ずるため、増加とした。

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

E力手士公斯亚压声

				長久于巾1	丁以評個崇													2/2	
事業番号	44	事業の名称	都市公園	園•緑地管理事	業				担当部署		部 くらし文化	部	課 産業緑地調						
基本方針	1)万博理念	を継承し、自然・環境に	こだわるまち	分野別項目	(4)だれもが憩い	親しむ公園緑地を整える	施策の進め方	(1)公園緑地の整	整備、(3)維持管理に対する住民:	参加の	推進 フラッ	グ F3「みどり」~ふ	るさと(生命ある空間)の	風景を子どもたちに~	フラッグ項目	(59)公園の整	備		
事業の概	要	掃やゴミ収集及び	施設の修	繕を行う。		、遊具や水景施設の いや掃除道具の支糸		なトイレの清	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	尾班 東郷 場の	浸旭市:直営で 追市:直営で管 『町:直営にて のみ指定管理	管理 理(総合運動 管理(愛知池 者にて管理)	運動公園、境	スポーツ公園 川緑地公園 🤋		びテニスコート、	東郷	叮ふれあ	い広
事業期	間	事業開始名	丰度	昭和54	年度	終了(予定)年度		_	4		総事業費 単位:千円)	H25予算 68,102	H25決算 66,883	H26予算 72,086	H26決算 70,812	H27予算 92,969	Ī	平価の見	訂
事業の対	象	市民							総事業費	ì	一般財源 国費·県費	68,102 0	66,883 0	72,086 0	70,812	92,969		現行どお	らり実施
事業の意	図	安全で快適に都証	市公園・緑5	地を利用できるよ	うにする。				1.0 7 51030	5	地方債	0	0	0			С	他事業。	と統合
態にしたし										受	益者負担額	0	0	0				事業の廃」	
事業を構 事務				目的 手段 のような手段を使っ	つて) (対象をと	意図 事務事 ごのような状 実施糸		H25集 標 H26集	成果 登績 単 成果指標の 登績 ひ 設定の		H25予 H26予	算 H25決 算 H26決	笛 ┃!エ゚ンのヂ	の主な内訳 は:千円)	評価 事業規模 事業規模	評価 評価の	の説明		

Г			目的				成果	<u> </u>			事業費(単位	立:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)		成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	
	水景施設水質検査	都市公園•		安全に公園・緑道を	6~9月の毎 月1回(6項 目)	水原甘淮な扱う	4		水质甘淮も初うわい	583 639	550	水景施設水質検査	Α	水質は天候により左右されるため、日々 の検査結果により調整している。利用者
	事業	緑道		利用できるようにする	伝グ報公園の 残留塩素は6 ~9月の毎日	水質基準を超え た回数	3	回	水質基準を超えない ように管理する。	039	013	業務615	維持	が快適に利用できるように現行どおり実 施していく。
			行う水質検査を行うことで		(日曜日を除 く)		0			685			維持	- 旭してい、。
					愛護会の管		24			1,250	1,101		Α	愛護会として活動しているほとんどの団 体が子供会で、子供の減少により子供
	公園愛護会報償金 交付事業	愛護会	愛護会の活動に対し、半期毎	快適に都市公園を利 用できるようにする	理する都市公園数23箇		23	団体	既に活動している団 体の確保を目標とす	1,374	1,034	報償金1,034	維持	会が消滅したため愛護会も減少した。 市民に公園に愛着を持って清掃等の
			に報償金を支払い公園を管理 してもらうことで		所		24		్	1,035			削減	活動をしていただく事業なので、現行ど おり実施する。事業費については、予 算配分の結果、削減した。
	3)													<u> </u>
														-
(1)								ı					<u> </u>
														-

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
			-		
事務事			H27以降新		
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

事第	養番号	45	事	業の名称	社会教育	<u> </u>	習推進事業(ながくて	市民大学)			担当部	部署 —	部 くらし文	化部	課 生涯学習課			
基	本方針	(4)文化を	をみか	がき、人が輝	くまち	分野別項目	(2)住民の自主的な生涯学習活	動を支える 旅	西策の進め方 (1))自主的な	学習の支援			ッグ	11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	フラッグコ	項目	
	事業の概	既要		次長久手市: 民大学を公.			重点施策として、市民交流	を目的とし、†	万民が気軽に参加	ルて学べ	他市町の9 (近隣市町 市の状況等 に記	や先進都 を具体的	隣市町です [・] 総事業費	でに実施している H25予算	自治体も多く、どこも定 H25決算 H26予算			
	事業期 事業の対			事業開始		_	終了(-	7定)年度	-				(単位:千円) 一般財源			70 70	273 420 273 420	評価の見方 A 現行どおり実施
(だ	れ、何に	対して)	市内	在住、在勤	の60歳以上	の方					総事		国費·県費			0	0 0	B 事業の改善
(対象	事業の意象をどの。 気にしたし	ような状	市民ちづ	とが講座の中 にりを積極的	で興味のあたに行う市民	るジャンルを見て リーダーの育成を	け、活動を始めるきっかけ 意図しています。	てなること、さ	らに、市民間の交	で流や、ま		ち 5	地方債その他受益者負担額	- - - - -	- - - 2	0 0 16	0 0 0 0 187 234	C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討
						目的					成果				単位:千円)		評価	
	事業を構 事務:			対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使っ 月~ [10月~] 1]		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目	績 一一	战果指標の目 設定の根拠	H26	予算 H25決 予算 H26決	算 H26決算の主な内 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の	説明
1	ながくてī きいき!:	市民大学エルダー	を(い ·塾)	市内在住、 在勤の方	1講座12回ることで	団で、30人を募集	生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら う	, 30人定員に 対し、26人 が受講し た。	講座申込者数 : 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	<u>}</u>	86 0/ め	規事業である 、8割程度の定 足率を目標と	官員	370	- 273 委託料273,000円		現行どおりのプログラ として専門コースを行	
2																		
3																		
4																		
		重	事業				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	する内容)				事務	事業 I			事業概要		
事務 業の 善内	事 改容	学 (力	7 子木				☆ロF3百(IIZ/必呼IC犬/le	orati			H27以降新 規に実施す る事務事業		77.			デ 不'''.文		
			_															

事業番号	46	事業の名称	社会教育	す事業・生涯等	学習推進事業				担当部署		部 くらし文化部	1	課 生涯学習詞	果				
基本方針	(4)文化を	みがき、人が輝く	まち	分野別項目	(2)住民の自主的	内な生涯学習活動を支える	施策の進め方	(1)自主的な	学習の支援		フラック	ブ			フラッグ項目			
事業の概	要	また、講座から自己	主的にサー	クルが立ち上が	ぶることを奨励し	きっかけになることを意 ています。今年度はに 講座、茶道入門講座1፤	街道探訪講座2詞	講座、パソコン かめぐり講座1	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)		「町で独自に生 総事業費	E涯学習講座 H25予算	を実施 H25決算	H26予算	H26決算 ┃	H27予算 ┃		
事業期	間	事業開始年	F度	_		終了(予定)年度		_			™爭未員 単位:千円)	1,186	1,143	500	533	167	評	価の見方
事業の対		市内在住、在勤、	在学の18歳	歳以上の方(たた	じ、一定期日	までに募集定員に満た	なければ市外の	方も可)	総事業費	j	一般財源 国費・県費	1,186 0	1,143 0	500 0	533 0	167 0	A B	現行どおり実施 事業の改善
事業の意 (対象をどの。 態にしたい	ような状	興味のある講座を	開催するこ	とにより、市民が	ぶ活動を始める	きっかけになることを意	図しています。			ち	地方債 その他 益者負担額	0 0 459	0 0 675	0 0 432	0 0 368	0 0 69	C D	他事業と統合 運営主体の見直し 事業の廃止の検討

			目的				成果	ļ			事業費(単位	过:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
(T	旧街道探訪講座	市内在住、 在勤、在学		生涯学習への関心を		講座申込者数÷ 募集定員の割合	97 111		申込者の多い講座であるので、募集定員	144 144	144	講師料114,000円	Α	人気講座で住民からの要望も多く、募 集人員も確保していることから、市民の
		のま	1講座4回で、2講座各30人を 募集することで	高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	期33人、俊期34人が受講した。	新集だ員の割合」 (講座申込者数 /募集定員)	100		の充足を目標とする。	0		再即科114,000円	縮小 削減	求める生涯学習講座のニーズに合っている。ただし、講師高齢のため事業実施は難しく、次年度は休止する。
		市内在住、		生涯学習への関心を	各20人定員	講座申込者数÷	100		申込者の多い講座で	225	127		Α	人気講座で住民からの要望も多く、募
2	パソコン講座	在勤、在学の方	1講座6回で、2講座で各講座1 0人募集することで	高め、学習意欲を持	期20人、後	募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	85 100	%	あるので、募集定員の充足を目標とする。	129 120	162	講師料161,600円	維持	集人員も確保していることから、市民の 求める生涯学習講座のニーズに合って いるため、現行どおり実施していく。
				生涯学習への関心を	各30人定員	募集人数の確保	_		平成24年度に行った 外国語講座(英語)	_	-		維持	
3	外国語を子か『韓国	市内在住、 在勤、在学 の方	4回講座で20人募集することで	生涯子智への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら	期10人、後 期23人が受	募集定員の割合 (講座申込者数	55	%	は、募集定員15名に 対し53%の実績で あったため、8割程度	120	120	講師料120,000円		定員に対し、受講希望者が少なく、事 業の廃止の検討を行う。
					講した。	/募集定員)	80		の定員充足率まで引 き上げる。	0			削減	
	自分で装うはじめて	市内在住、		生涯学習への関心を高め、学習意欲を持	나다 1 다	神座中込有数・	67 	0/	申込者が少ない講座 であるので、8割程度	32 32	32		Α	人気講座で住民からの要望も多く、募 集人員も確保していることから、市民の
4	の淡木	在勤、在学 の方	2回講座で15人募集することで	つきっかけとしてもらう		募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	80	/0	の定員充足率まで引っ き上げる。	32		講師料32,000円	維持 維持	求める生涯学習講座のニーズに合っているため、現行どおり実施していく。

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	3	外国語を学ぶ"韓国語)	外国語・国際理解に関する講座については、講師が企画・運営を行う『ながくて・学び・アイ講座』にて、応募があった場合、審査によって開講を決定する。			
事務事 業の改 善内容				H27以降新 規に実施す		
善内容				る事務事業		

E力手士公斯亚压声

			長久于巾1	<u> </u>													2/2
事業番号	46	事業の名称 社会教育	予事業・生涯 ^生	2習推進事業				担当部署		部 くらし文化部	3	課 生涯学習調	E C				
基本方針	(4)文化を	みがき、人が輝くまち	分野別項目	(2)住民の自主的な生涯学	習活動を支える 旅	施策の進め方 ((1)自主的な	学習の支援		フラック	ĵ			フラッグ項目			
事業の概	既要	興味のある講座を開催するこまた、講座から自主的にサー 講座2講座、俳句講座1講座、 講座を開催。	-クルが立ち上が	ぶることを奨励しています	。今年度は旧街道	道探訪講座2講	座、パソコン めぐり講座1	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	在川	町で独自に生	涯学習講座: H25 予算	を実施 H25決算	H26予算	H26決算	H27予算 【		
事業期	間	事業開始年度	_	終了	了(予定)年度	-				◎ず未見 ┃ 単位∶千円) ┃	1,186	1,143	500	533	167	評	価の見方
事業の対	対象 ,	市内在住、在勤、在学の18歳	遠以上の方(たた			ければ市外の方	4可)	総事業費	5	一般財源 国費·県費	1,186 0	1,143 0	500 0	533 0	167 0		現行どおり実施事業の改善
事業の意 (対象をどの。 態にしたい	ような状	興味のある講座を開催するこ	ことにより、市民か	ぶ活動を始めるきっかけ!	になることを意図し	しています。			ち		0 0 459	0 0 675	0 0 432	0 0 368	0 0 69	D	他事業と統合 運営主体の見直し 事業の廃止の検討
								-1. m			+ JH - + + /	W/I					
+**	± - + - 7	114	目的		★水市米の			成果		11053 2		単位:千円)	-	=== /== →	評価		
事業を構		対象 (tith 何に (いつ ば)	手段のような手のを使っ	また。	事務事業の	1. 田 七 福	H25美	績	目標	值	早 H25次!	算 H26決算	の主な内訳	評価	=v/≖ ∧	ν=H ==	

			目的				成果				事業費(単位	b:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
	↑ ★ 大 4 田 3 株 広	市内在住、		生涯学習への関心を	15人定員に 対し、17人	講座申込者数÷	87 113		申込者の多い講座で	60	60	3# ÁT.W. CO OOO.TI	Α	人気講座で住民からの要望も多く、募 集人員も確保していることから、市民の
(5)		在勤、在学の方	4回講座で15人募集することで	生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持 つきっかけとしてもら う	が受講した。	募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	100		あるので、募集定員 の充足を目標とする。	0		講師料60,000円	縮小 削減	求める生涯学習講座のニーズに合っている。ただし、文化協会と協働で毎月開催している茶会と事業統合する。
		市内在住、		生涯学習への関心を 高め、学習意欲を持	20人定員に	講座申込者数÷ 募集定員の割合	95		申込者の多い講座で	15	15		Α	人気講座で住民からの要望も多く、募 集人員も確保していることから、市民の
6	市内史跡めぐり講座	在勤、在学 の方	2回講座で20人募集することで	同め、子自息机を行っきっかけとしてもらう		(講座申込者数 /募集定員)	100	%	あるので、募集定員 の充足を目標とする。	15	13	講師料15,000円	維持維持	来人員も確保していることがら、III氏の 求める生涯学習講座のニーズに合って いるため、現行どおり実施していく。
7														-
8														-

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	5	茶道入門講座	文化協会と協働で毎月開催している茶会が、茶道入門講座の役割を担っているため事業を統合する。			
事務事 業の改 善内容				H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容				る事務事業		

事	業番号	4	.7	事業の名称	成人式?	事業	SVII IMAN				担当	部署	The state of the state of</th <th>部らし文化部</th> <th>) j</th> <th>課 上涯学習課</th> <th></th> <th></th> <th></th>	部らし文化部) j	課 上涯学習課			
基	本方針	(4)	文化をみ	がき、人が擬	ドまち	分野別項目	(3)輝きを持った青少年の育成	成を支えるが	施策の進め方	(2)青少年(建全育成体制	制の充実		フラッグ			フラッグ項	頁目	
	事業の事業期	期間 対象	式。		、式の参加者	の準備をして、成。 だを対象に茶話会を -		・ ールで成人式 予定)年度	・ の式典を開催す - -		市の状況等に記	「や先進都 等を具体的 B載)		業費 <u>H</u> :千円) 般財源	25予算 H : 1,113 1,113	25決算 H26予算 887 1,12 887 1,12		算 H27予算 099 1,251 099 1,251	A 現行どおり実施
(7:	れ、何に 事業の		. ()		ゴノかめ上し	- マッカ学が体	- tralasknock		フェレベ名加索ナ	- 1.4 ib	総事	業費		費·県費 也方債	0	0	0	0 0	B事業の改善C他事業と統合
(対	象をどの 態にした	ような	よれ ラ)くりや大人と	としての日見を持つ	つ。新成人の手作りの成人	、八を開催する	ことで参加半を	间上2ゼ				の他	0	0 0	0	0 0	D 運営主体の見直し 事業の廃止の検討
						目的					成果				事業費(単位	江:千円)	T	一种 個	li l
	事業を 事務	構成 ^で 8事業		対象 (だれ、何I 対して)		手段 でのような手段を使っ 7月~ 10月~ 1月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目	績 中 /	成果指標の 設定の相		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費		画の説明
1	成人式			新成人	新成人でし、企画、	宇行委員会を設備	大人としての自覚や 地域の仲間づくりを 広め、成人式への参	参加者数	参加率 (参加者430人 対象者619人)	./	69 69 % 前	え人式への参う年度より向 とを目標とで	上させる	1,113 1,127 1,251	1,099	需用費779 委託料288 ほか	B 維持	ては前年度と同る成人式実行委員: 画、運営している 行委員会でより魁	なかったが、参加率とし 率であり、新成人による 会により、成人式の企 。目標値を目指し、実 ま力ある成人式を実施 おり実施していく。
2																			
3			_																
4																			
			事務事ӭ	*			改善内容(H27以降に実施	オス内突)		•	<u> </u>	1 車	務事業		-		事業概要		
事		成人			人式実行委		☆西宮では、また		人式の開催を検	討していく。	- - H27以降 		伤争未			=	₹ 1		
業(善)	務事 の改 内容										規に実施る事務事業	す							

事	事業番号 48 事業の名称 長久手古戦場野外活動施設管理運営事業 基本方針 (4)文化をみがき、人が輝くまち 分野別項目 (4)文化・芸術に親しむ場と機会を充実する 施策の進め方 (3)										担当	当部署	<	部 らし文化部	<i></i>	課 生涯学習課						
基	本方針	(4)	文化をみ	ゕ゙ゟ゙	人が輝	くまち	分野	別項目	(4)文	(化・芸術に親しむ場と機会	を充実する 旅	策の進め方	(3)町固有の	伝統文化0)継承		フラッグ			フラッグエ	項目	
	事業(事業(期間 D対象	財 ·	や歴』	史の紹介 季業開始	を行う。す	た、郷土	を紹介する - 資料室等 昭和	い 施	手古戦場野外活動施 設の維持管理を行う。 終了 (予	設を適正に管		久手の文化		町や先進 等を具体 記載)	都 各市町で 総事 (単位	: 千円) 般財源	25予算 H 7,527 7,527	25決算 H26予算 9,478 9,515 9,478 9,515		算 H27予算 ,773 9,376 ,773 9,376	A 現行どおり実施
(対		D意図 のよう	うし)] jな状 多			て貰い、加		用を増や	す。						事業費	ち	費·県費 地方債 その他	0	0 0)))	0 0 0	B事業の改善C他事業と統合D運営主体の見直し
	態にしる	といか	v)													受益者	負担額	689	767 73	3	814 782	事業の廃止の検討
						_		目的						成果				事業費(単位			評価	ī
	事業で	を構成 務事:		(だ	対象 れ、何に 対して)	(いつ、 4月~				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目	発養 単 単	成果指標 設定	票の目標値 の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評价	画の説明
1			場野外理運営	野夕	ト活動施 ≥訪れる			営営を行う		多くの人に訪れて貰 い、施設の利用を増	年間利用者 数34,881人	1日あたりの和 者数 利用者数/関 日数	河用	112	前年実績	からの増加	7,527 9,515 9,376	9,478 9,773	需用費2,621 委託料6,685 ほか	В	は、前年度実績なは、施設の適正な	なかったが、利用者数 いら増加している。今後 は管理運営に加え、古 とで目標値の達成を 事業を実施する。
2																					1) 1) 1) 1) 1) 1) 1)	
3																						
4																					5 5 5 5 6 7 8	
			事務事	業					改善	内容(H27以降に実施 [・]	する内突)					事務事業				事業概要		
		長活事	久手古単 動施設管		外 営 たI	、牧・長久 取り組みを	手の戦いた行う。	い」430年記		M各(HZ/以降に美胞 んが本や講演会で、合		うなど、利用者は	増加に向け			书 仍尹未			₹	≠未帆安		
事業	多事の改 上													H27以降 規に実施 る事務事	新 す _*							
G	-													ひ デ 1カ 学								

事	業番号	49	事業の	名称	古戦場桜	(まつり事業						担当	部署	<	部らし文化部	<i>J.</i>	課 生涯学習課			
基	本方針	(4)文化を	をみがき、人	、が輝く	ぼち	分野別項目	(4)文	化・芸術に親しむ場と機会を	充実する 施	5策の進め方 (3	3)固有の伝	統文化の総	継承		フラッグ	F3「みどり」~ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに	フラッグ項	頁目(64)地域文化	上活動の支援
	事業の権	既要	期間中(4)事業集中日	月4日か 日には、	ら4月6日ま 、催事、芸能		公園の夜 店が出席		郷土資料室		施。	他市町の (近隣市町 市の状況等 に記	「や先進都 等を具体的	総事			25決算 H26予算	H26決等		
	事業の	付象		美開始な もつりに	‡度 こ訪れる人と	市民	_	終了(予	正)年度	_					般財源	2,500 2,500	2,497 2,89 2,497 2,89		862 2,565 862 2,565	評価の見方 A ^{現行どおり} 実施
(対	れ、何に 事業の意 象をどの 態にしたし	意図 ような状				ニ訪れて貰う。						総事	業費	ち	費・県費 地方債 での他 負担額	0 0	0 0	0 0 0		B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的						成果				事業費(単位	立:千円)		評価	
	事業を 事務	構成する 事業				手段)ような手段を(月~ [10月~]		意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目		成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	4:十円) · H26決算の主な内訓 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価	iの説明
1	長久手言 り	丁戦場 桜	古戦場 つりに る人と	訪れ 古民	古戦場公園を実施する			史跡のPRのため、多 くの人に訪れて貰う。		来場者数	8	,000人 前	り多くの方に もらうことを 「年度実績」 「を目標とす	目標に、 からの増し	2,500 2,895 2,565	2,497	•	維持	目標値には至らなは、前年度と同数 は、前年度と同数 る古戦場桜まつり (H25年度より)に。 施している。目標値	かったが、参加者数であり、市民参加によま行委員会の主催にり、市民主体で開催直を目指し、実行委員につりを開催していく。
2																				
3																				
4																				
		事務	事業				改善区	内容(H27以降に実施す	する内容)				事	務事業				事業概要		
事 <i>和</i>	① ③ ※事 ②改 N容	長久手さり	古戦場桜ま		战場桜まつり ℃いく。	実行委員会に	こおいて	、来場者数を増加でき	さるよう、より鬼	 魅力あるまつりの関	ーー 開催を検討	H27以降業規に実施する事務事業	す							

事業	番号	50	事業の名称	古戦場么	公園再整備事	É				担当	台部署	<u> </u>	部 らし文化部	<i>J.</i>	課 生涯学習課			
基本	方針	(4)文化をみ	がき、人が輝	くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会	充実する 旅	西策の進め方 (3)	固有の伝	統文化の	継承		フラッグ	F3「みどり」~ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに	~ フラッグ項	目 (59)公園の整	備
Ţ	事業の概	H2 H2 H2	戦場公園再整 26年度 基本 27年度 基本 28年度 測量・ 29年度 工事	構想策定 計画策定 実施設計	を を で と で で で で で で で で で で で で で で で で					(近隣市町 市の状況)実施状況 打や先進都 等を具体的 己載)	小牧市で	は、史跡小牧	状況が異なる 女山整備事業	を実施			
	事業期	間	事業開始	年度	平成20	年	定)年度	-				総事第		25予算 H -	25決算 H26予算 - 3,0	H26決算		評価の見方
-	事業の対	才象 一			, , , , ,		, , , , , , ,			松雪	事業費	— f	股財源 建·県費		- 3,00			A現行どおり実施B事業の改善
· (対象	事業の意	図 ような状プ	外活動施設を場としてまた、	:含め、古戦 観光資源とし	場公園一帯に関して整備をしている	て、市民などからの意見を	一反映させ、地	地域の歴史や文化	に親しめ	小心子	不良	ち地	方債 の他			0 0	0 0 0 0 0 0	C 他事業と統合D 運営主体の見直しE 事業の廃止の検討
					目的					成果				事業費(単位	立:千円)		評価	
:	事業を構 事務		対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使っ 月~ [10月~] 1月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標		成果指標の 設定の相		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	4:千円) H26決算の主な内記 (単位:千円)	下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下下	評価(の説明
1	古戦場公 事業	園再整備	市民	市民ワーク	クショップを開催す	基本構想に市民の意 見を反映する。		ワークショップ開 催回数		5 回 8	より多くの市長さもらうため、 ショップの開作 も標とする。	ワーク	3,000	-	委託料2,997 使用料 3	A ワ基	ークショップを目标 本構想の策定を	票どおり5回実施し、 完了した。 は、基本計画の策定
2												[
3																		
4																		
		事務事	<u> </u>		-	女善内容(H27以降に実施す	たる内容)				重	務事業				事業概要		
事務業の善内	事改容	守力学					יייייייייייייייייייייייייייייייייייייי			H27以降: 規に実施 る事務事	新す	沙子木				ガ 不悦女		

事業	業番号	51	事	業の名称	色金山匠	歴史公園茶						担当部	部 署	<	部 らし文化部	E	課 生涯学習課			
基本	本方針((4)文化	をみが	がき、人が輝く	くまち	分野別項目	目 (4)プ	文化・芸術に親しむ場と機会を	を充実する 旅	■策の進め方 (¢	3)固有の伝	<u>-</u> 云統文化の総	<u></u> ≰承	`	フラッグ		生命ある空間)の風景を子どもたち	に~ フラッグリ	頁目 (64)地域文化	化活動の支援
ilai	事業の概		る。					もに、胡牀庵、和室の釘		席で抹茶サービ	スを提供す	他市町の写 (近隣市町市の状況等 市の状況等	や先進都 を具体的				愛知県陶磁資料館 25決算 H26予算		. 算 │ H27予算 ┃	
	事業期			事業開始年	年度	ī	平成8年	終了(予	予定)年度	-		-		(単位	:千円)	11,029	11,029 11,0	070 10,	,749 11,666	評価の見方
(だオ	事業の対れ、何に対	対して)	色金	山歴史公園	茶室の利用]者						総事業	業費	う国	般財源 費·県費	11,029	11,029 11,0	070 10, 0	,749 11,666 0 0	A 現行どおり実施 B 事業の改善
(対象	事業の意 象をどの。 とにしたい	ような状	施設(の利用者をは	増やす。									7	地方債 その他 ・負担額	0 0 1,600	0 0 1,978 2,2	0 0 212 2,	0 0 0 0 ,410 1,893	C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討
						目的						成果				事業費(単位	5:千円)		評価	
Į	事業を構 事務事			対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を 7月~ 10月~	を使って)	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目様	積 積 積 位	成果指標の 設定の相		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内 (単位:千円)	事業規模事業費	4	iの説明
1 5	色金山歴 室管理運	≛史公園 重営事業		色金山歴史	色金山歴5 管理を行い 貸出しや立	史公園茶室のい、胡牀庵・和 立礼席で抹茶 しておもてなし	の維持和室の茶サービ	施設の来所者を増やす。	年間来所者 数12,520人	1日あたりの来所 者人数(利用人 数/開室日数 306日)	所	37 利 ば 41 人 会 して 用	用者数は、 いの現状。 と協働で毎 ている茶会 者数を考慮 %増をめざ	文化協・月開催への利息して約	11,029 11,070 11,666	10,749	賃金3,188 需用費2,611 委託料4,016 ほか	A	広告等実施し、来 目標値まで来所者 た。現行どおり実施	所者の増加を図り、 fを増やすことができ 施していく。
2																				
3						<u> </u>														
4																				
		±2	' ₩				ユーン							¬		1/2				
事務 業の 善内	事 3	事務	务事業	<u></u>	_			·内容(H27以降に実施・	する内 谷)			H27以降新 規に実施する事務事業	î	務事業				事業概要		
				_																

				247 1 1 1 1	3 -> 7 1 -> 3	•												
事業番号	52	事業の名称	平成こども	5塾事業					担当部署		部 くらし文化部	ß	課 生涯学習詞	果				
基本方針	(1)万博理念	を継承し、自然・環境に	こだわるまち	分野別項目	(7)農のあるくら	し・農のあるまちを支える	施策の進め方	(5)自然環境	体験活動の推進		フラック	Ť			フラッグ項目			
事業の概		平成こども塾事業 ・地域の環境や福・学習活動を通じた。学校連携活動 ・その他平成こども	祉について た地域住民	の学習活動 との交流		事業			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	関す 全 いが	「る取り組みを 」国的に見て多 、個別に見れ	実践することに 種多様な年間 ば類似事業に	こついては他は 間200回前後の はある。	に例を聞かな のプログラムを	い。 総合的に一つ	主体として一年		
事業期	間	事業開始年	E度	平成18	3年度	終了(予定)年度	-	_			総事業費 単位:千円)	H25予算 3,484	H25決算 3,509	H26予算 4,029	H26決算 3,494	H27予算 3,635		平価の見方
事業の対	象	長久手市民を主体	•		•	17. (1,7/1,7/2	<u>'</u>		1		一般財源	3,314	3,339	3,859	3,324	3,635		現行どおり実施
(だれ、何に)	対して	及外子市氏を主権	bC 3 Ø′ /1.	丁子王2 このは	○受付 ②				総事業費	う	国費•県費	170	170	170	170	0	В	
事業の意		4 N 4/1 7 12	th 244 660 - 11	31 7 V 41 1- A	h-1 1 >	A				5	地方債	0	0	0	0	0	C	
(対象をとの。 態にしたい		自然·又化·塌境·	農業等に関	目わる店動に参	加してもらい健治	全な心と身体を培う。				777	その他	0	0	0	0	0		運営主体の見直し
悲にしたい	('/J'									党	益者負担額	125	128	187	98	179	LE	事業の廃止の検討

Г			目的				成果				事業費(単位	ī:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		主に長久手 市内の6小 学校の小学	-	全員が体験しながら	67回実施	参加者に対する	98		おおむね参加者の満	1,220	1,230		Α	
(学校連携事業	生(1人の児童あたり6年	小学校の授業時間を使い、年	学んでもらい、健全な 心と身体を培う。		満足度。(プログラム終了後にア	99	%	足が得られる(満足度 85%)	1,310	1,270	平成こども塾講師報 償金 1,270	維持	現行どおり実施していく。
		間に3回実 施予定)	間を通じて58回計画することで			ンケートを実施)	85		, , ,	1,320			維持	
		長久手市民				参加者に対する	96		b b to 40 +10 +4 0 >#+	180	195		Α	
(を土体とする、小中学 生とその保	年間を通じて8回計画すること	プログラム参加者に 満足してもらう。	12回実施 351名参加	満足度。(プログ ラム終了後にア	99	%	おおむね参加者の満 足が得られる(満足度 85%)	120	115	こども塾自主プログラ ム 115	維持	現行どおり実施していく。
		護者。	で			ンケートを実施)	85		103 /0)	180			維持	
	専門プログラム事業 (日曜日特別プログラム条託 土曜日特別	長久手市民				参加者に対する	94		by byte leady to the	941	941	日曜日特別プログラ	Α	
(ム委託、土曜日特別 プログラム委託、ネイチャーゲームプログラ 人委託)	を主体とする、小中学	年間を通じて18回計画すること	プログラム参加者に 満足してもらう。	18回実施 575名参加	満足度。(プログ ラム終了後にア	94	%	おおむね参加者の満 足が得られる(満足度 85%)	1,260		ム委託 612、土曜日 特別プログラム委託 258、ネイチャーゲー	維持	現行どおり実施していく。
	チャーゲームプログラ ム委託)	護者。	で			ンケートを実施)	85		00 /0)	992		ム事業委託 96	維持	
		長久手市民				参加者に対する	95			1,143	1,143		Α	
(① (平成こども塾サポー	を主体とする、小中学	年間を通じて98回計画すること	ノログプム参加有に	98回実施 2,172名参	満足度。(プログラム終了後にア	97		おおむね参加者の満足が得られる(満足度	1,339		平成こども塾サポート 隊委託 1,143	維持	 現行どおり実施していく。
	卜隊委託)	生とその保護者。	1 円 2 地 0 (300日 月 四) 3 (2)	114720 (00)	加	ンケートを実施)	85		85%)	1,143		1,110	維持	

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
				平成こども塾マスター プラン改訂事業	現在ある長久手平成こども塾マスタープランは平成17年度に策定したものであり、来年度には開館10年目を迎えることから考えると、すでに上位計画の変更がなされ、理念等の乖離が生じていることから、改訂作業を行う。
事務事業の改			H27以降新 規に実施す		
善内容			る事務事業		

				エイン く 3 ・1・1	1 M I I I I M / I	•													
事業番号	53	事業の名称	地域社会	会体育事業					担当部署		部 くらし文化語	- K	課 生涯学習詞	果					
基本方針	(4)文化を	みがき、人が輝く	ぼち	分野別項目	(5)だれもが楽し	む生涯スポーツを進める	施策の進め方	(1)スポーツ	活動の推進		フラック	ブ			フラッグ項目				
事業の概	₹ 要	スポーツイベント・ 幅広い年齢層を対	やレクリエー 対象として「	ーション活動を実 歩く、走る、泳ぐ	施し、家族や何 等」といった各	中間との交流を通して、 種スポーツイベント及て	絆を強めることを ド教室を開催する	目標とする。 。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)		「町で独自に~ 総事業費	'ベント等を実 H25予算	施 H25決算	H26予算	H26決算	H27予算			
事業期	間	事業開始组	丰度	-		終了(予定)年度		_	-		™爭未員 単位∶千円)	4,709	4,912	4,966	5,573	6,122		評価の見る	方
事業の対	象	市内在住、在勤、		•			•				一般財源	4,709	4,912	4,966	5,573	6,122		現行どおり	
(だれ、何に	対して)	川川江江、江刻、	仕手の刀						総事業費	う	国費·県費	0	0	0	0	0	В		
事業の意		-0								ち	地方債	0	0	0	0	0		他事業と総	
		スポーツイベント	やレクリエー	ーション活動を実	施し、家族や何	中間との交流を通して、	絆を強める				その他	0	0	0	0	0		運営主体の見	
態にしたし	ימי)									受	益者負担額	781	914	943	1,481	1,233	E	事業の廃止の	D検討
									6 =								_		
				目的					成果			事業費	(単位:千円)			評価			

			目的				成果	Ļ			事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		市内在住、	 	スポーツを楽しむこと	£ 1	教室申込者数:	78.3		すべての教室で定員 以上の申込があり、	1,752	2,226	スポーツ講師委託	В	一部の教室に募集人数に達していな
1	性会体育事業(教至		市内のスポーツ施設を使用し、 スポーツ教室を開催すること	で、健康で元気な生活を送る。		募集定員の割合 (教室申込者数	82.2	%	参加者全員に満足し てもらえる教室を目指	1,922	2,958	2,072千円 消耗品費 176千円	維持	い教室もあるので、日程や内容等検討 し、募集人数確保に努めたい。
			で、			/募集定員)	100		す。	2,906			維持	
							1,399		参加者の増加を目標	794	677	医師報償費 49千円 消耗品費 58千円	Α	平成26年度は、低温の影響により参
2		走ることが好 きな人	愛・地球博記念公園を使用し、	スポーツを楽しむこと で、健康で元気な生	参加者数 1,153人	参加者数	1,153	ĭ	参加者の増加を占続 とし、前年参加者数 1,399人×105%(過	819	642	印刷製本費 103千	維持	ー版20年度は、低温の影響により多加者の減少が見られたが、毎年多数の参加者があるので、継続して進めてい
		247	新春マラソン大会を開催することで、	活を送る。	1, 133/		1,470		1,359八へ103万(過 去2年の伸び率平均)	983		大会会場設営委託 308千円		参加性 M-0/300/ C、MMがし CEM/ CV・ C。
							0.101			0.100		500 111	維持	
		市内在住、		スポーツを楽しむこと			2,194		参加者の増加を目標 とし、1日平均入場者	2,163	2,009	プール開放管理委託	Α	平成26年度は、天候の不良及び8月
3	学校プール開放事業		夏休みの小学校のプールを開	で、健康で元気な生活を送る。	利用者数 1,557人	参加者数	1,557	人	数の過去最高値(87 人)×27日(25年度	2,225	1,973	1,887千円 消耗品費 86千円		下旬の低温の影響により参加者の減少 が見られたが、毎年多数の参加者があ
		V))	放することで、	10 5 12·00			2,350	II I	開放日)	2,233			維持	-るので、継続して進めていく。
4														<u> </u>

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	1	社会体育事業(教室 等)	一部の教室に募集人数に達していない教室もあるので、日程や内容等検討し、募集人数確保に努めたい。			
事務事 業の改 善内容				H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容				る事務事業		

事第	養番号	54	事業の名	3称	総合型地	域スポー	ツクラフ	で運営事業				担	当部署		部らし文化部	J.	課 上涯学習課			
基本	本方針	(4)文化を	みがき、人	が輝く	まち	分野別項目	(5)	ごれもが楽しむ生涯スポーツ	/を進める 施	(1)ス	スポーツ活	動の推済	<u>É</u>		フラッグ	·	•	フラッグエ	頁目	
	事業の権	既要	とを目標とて	トる。 どこで	も、誰でも」	を合言葉に	、子どもフ	」を通して、住民の健康 から高齢者、初心者から ブ(会員は会費を支払い	上級者まで	参加できる各種スポ	ポーツ教	(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 記等を具体的 記載)	合川岬	で独自にクラフ					
	事業期	間	事業	開始年	F度	平月	戈24年度	終了(予	定)年度	-					:業費 <u>H</u> : :千円)	25予算 H: 4,099	25決算 H26予算 3,269 4,296	H26決 2.	第 H27予算 ,632 3,346	評価の見方
	事業の対	付象	市内在住、									4/3	事業費		般財源	4,099	3,269 4,296		,632 3,346	A 現行どおり実施
(対象	事業の意	意図 ような状	スポーツを	通じて、	、地域の新7	たな仲間と街	うづくり					##S	事 未复	ち」	費・県費 地方債 その他 ・負担額	0 0 4,099	0 0 0 0 0 0 2,886 2,749	2,	0 0 0 0 694 2,908	B事業の改善C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討
						目的						戓果				事業費(単位	な:千円)		評価	
		構成する 事業	対 (だれ、 対し	何に	(いつ、どの 4月~ 7月			意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実統 H26実統 H26目標		成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	ルス・イン (単位:千円) H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価(の説明
7	沙人刊山	也域スポー	、、 市内在				\	スポーツを通じて、地	スポーツ	募集定員の充足		I	すべての教	があり、	4,099 4,296	3,269 2,632	クラブ運営委員報償 金 150千円	В	平成24年度に新た	とに立ち上げた事業 行うとともに、将来自
	でって近りラブ運	営事業	在勤、		総合型地域 運営し、スス 催することで	ポーツ教室等		域の新たな仲間づく りと街づくり		率(クラブ参加者数/募集定員)		100	参加者全員 てもらえる教 す。			2,032	消耗品費 74千円 クラブ教室等講師委 託 1,759千円			対策を進めていく必
																		小庄1.7		
						<u> </u>	<u> </u>													
2																				
						1111	: : :					_								
3																				
					1 1 1 1		111				<u> </u>									
						<u> </u>	<u> </u>								 					
4																				
		事務:	事業				改善	内容(H27以降に実施す	する内容)				事	務事業			事	業概要		
	1	総合型地クラブ運行	!域スポーツ 営事業					あり、市民に向けてのP 組織に育てていく必要な		行うこと。併せて、『	事業の									
事務業の	事											H27以降 規に実が	を 新							
善内	容											る事務事								

					長久手市行	f政評価票											
事業	番号	55	事業の名称	社会体	育関係団体補助					担	当部署	<	部 らし文化部	E	課 E涯学習課		
基本	方針(4)文化を	みがき、人が輝く	くまち	分野別項目	(5)だれもが楽しむ生涯スポー	-ツを進める 旅	短策の進め方 (1)スポーツ活	動の推	進		フラッグ		1,44	フラッグ	項目
Ę	事業の概	要	ける。 生涯スポーツσ)振興及び	バ啓発活動のため、	支援することで、スポーツ 社会教育団体に補助金を を実施するようにする。			-とを目標と	近隣市の状況	「の実施状況 う町や先進都 況等を具体的 こ記載)	レク協会	会(日進市	1,000千円 •]		•豊明市	495千円)
	事業期間		事業開始:	年度	昭和574	丰度 終了 (予定)年度	-				総事(単位:	:千円)	7,072	25決算 H26予算 6,928 6,9	85 6	5,931 6,843 評価の見方
(だオ	事業の対	対して)	市内で活動して	ている社会	教育関係団体、市	内在住、在勤、在学の方				<u>\$/2</u> 1/v0	事業費	う国	般財源 費·県費	7,072 0	6,928 6,9	085 6	6,9316,843A 現行どおり実施00B 事業の改善
(対象	事業の意 をどの。 にしたい	らな状	生涯スポーツに	上関わる人	数を増やしていく								也方債 その他 負担額	0	0 0	0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討
_	ء بالد ا				目的					 大果	.			事業費(単位	江:千円)	== 1=	評価
=	事業を構 事務事		対象 (だれ、何に 対して)		手段 どのような手段を使っ 7月~ 10月~ 1月		事務事業の 対 実施結果	成果指標	H25実約 H26実約 H26目標	1 中位	成果指標の 設定の相		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内 (単位:千円)	訳 事業規模 事業費	
			市内で活動			.	(補助額) 体育協会			96			4,570	4,570	体育協会 2,400千	. A	
① A	上会教育 前助事業	関係団体			会・レクリエーション			各団体が開催た大会や教室		96 日	前年実績(例み)	年並	4,570	4,470	レク協会 150千円 校区体育委員 1,9		補助金を交付することにより市内の社 会教育団体を活性化させた。
			団体	会・校区交付する	任体育委員に補助金 ることで、	をてもらう。	校区体育委員 1,920千円	の回数		96			4,470		千円	維持	-
										300	より多くの方に	· 会加ì	1,000	1,000		В	
2 4	季業(スオ	事業補助 ペーツの祭	在勤、在学	スポーツ	/の祭典を実施する	運動を通じて、健康増進と体のリフレッ		参加者	8	350 人	てもらうことをし、参加者の	目標と	1,000	1,000	体育協会 1,000千	·円 維持	補助金を交付することにより市内の社 会教育団体を活性化させた。
	1)		の方	で、	マンボ 典と大地 する	ー ^と シュを図る。	1,000千円		1,0	000	高数(H22)		1,000			維持	-
							1		2,7	716			1,502	1,358			
		事業補助		愛知医 和	<u> </u>	運動を通じて、健康	利用者数		2,8		現状の事業規持していくこと		1,415		愛知医科大学	Α	補助金を交付することにより市内の社
		印医科大学 放事業)	学 高校生以上 の方	業として	、医大の運動療育・ ・ルを利用した場合	センドル・シャラス	2,837人	利用者数		\dashv	とし、過去5年用者数平均	間の利			1,461千円	維持	会教育団体を活性化させた。
				人1回51	15円助成することで				2,8	300			1,373			維持	
						<u> </u>											
4														-			<u> </u>
																	-
		車		1		カ美内窓/リッフパ!咚に宝佐			[_		数 重要				車業福田	

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	2	社会体育事業補助事業(スポーツの祭典)	市民に向けてのPRを積極的に行うこと。			
事務事 業の改 善内容				H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容				る事務事業		

事業	番号	56	事業の	名称	学校体育	が施設貸出事	業				担	当部署	<	部らし文化部	j.	課 上涯学習課		
基本	方針	(4)文化を	みがき、	人が輝く	ぼち	分野別項目	(5)だれもが楽しむ生涯スポー	-ツを進める	施策の進め方 (1)	スポーツ活	舌動の推進	<u> </u>		フラッグ		TIT 1 HAV	フラッグエ	項目
章 (だれ 〔対象	事業の意	間 対象 対して) 意図 ような状	小学校 ⁶ 事 市内在(か運動場 業開始 主、在勤	景、小中学校 丰度	昭和36 成されている登	対し、市民にスポーツを行 年度 終了 (録チーム(最低10人以上)	予定)年度	る。		(近隣市市の状況)	の実施状況 町や先進都記等を具体的記載) 記載)	総事(単位:	・千円) 般財源 費・県費 也方債 この他	25予算 H 2,754 2,754 0 0 0	25決算 H26予算 1,954 2,978 1,954 2,978 0 0 0 0 0 0 712 757	1,	第 H27予算 5,771 2,691 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 697 724 評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的					成果				事業費(単位	5. エ四)		評価
=	事業を構 事務	構成する 事業	(だれ			手段 りような手段を使っ 月~ 10月~11		事務事業(H25実 H26実 H26目標	積 単	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	4:〒円) H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
1	 乡校体育 事業	育施設貸 占	ш	チーム	小中学校の	り指定されたスズ i民に開放するご	小中学校のスポーツ施設の有効活用	・ 年間の 使用件数 1,704件	.	7	75.9 74.9 %	より使用率を とを目標とし 年間の利用: 5%	、過去5	2,754 2,978 2,691	1,954	学校開放施設管理 委託 1,709千円 消耗品費 62千円	B 維持 維持	使用率を向上させる。
2																		
3																		
4																		
		車孜	車業				改善内容(H27以降に実施	する内容)					務事業				業概要	
事務。 業の 善内	事	学校体育事業	事業	市	民に向けて	のPRを積極的		19 句内谷)			H27以降 規に実施 る事務事	新通す	· 称事業			事	果慨安	

					長久手市行	亍政評価 票										
事業番	号 5	57	事業の名称	施設利		T. P. VIII.				担当	当部署 —	部 くらし文化部		課 文化の家		
基本方象	針 (4)	文化を	みがき、人が輝	くまち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と	幾会を充実する ブ	施策の進め方(1)文化芸術環	境の発息	<u> </u>	フラッグ		人们与从	フラッグ	·項目
事業	の概要					リ造活動や情報・交流活 设(ホール・アートリビンク			(近隣市 5の状況	D実施状況 町や先進都 近 等を具体的 理 記載)	者による運営施設	が多い。			E体としているところが多い。また、指定管
事業 (だれ、何 事業	の意図	(て)	事業開始		平成10	•	(予定)年度			総事		(単位:千円) 一般財源 b 国費·県費 地方債	H25予算 H 208,696 208,696 0 0	209,151 2		3,647 220,953 3,647 220,953 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
	このよう		口氏が集り又化額	引垣店期~	℃情報•父流店動7	など多岐にわたる文化活	期の拠点とする	S ₀			i	その他 受益者負担額	20,088	22,228	19,680 23	0 0 3,149 23,421 E 事業の廃止の検討
	を構成 事務事業		対象 (だれ、何に 対して)		目的 手段 どのような手段を使っ 7月~ 10月~ 1)				成 H25実績 H26実績 H26目標何		成果指標の目 設定の根拠		事業費(単位 H25決算 H26決算	立:千円) H26決算の主: (単位:千I		評価 評価の説明
① 施設 (ホー	貸し館 -ル)	事業	市内外の住民に	曜日に写 約受付及 う。施設・	用抽選会を毎月第 実施。施設利用申請 及び許可書の発行 予約システムにより を管理することで	青予 動など多岐にわた を行 文化活動の拠点と	活 H26年度 る 開館日 25	50 施設の稼働率	79 78	.9 %	フル稼働を目指	208,69 206,58 220,98	203,647	需用費 61,88 委託費 137,9	20 維持	ホール稼働率100%を目指したいが、 ホールのメンテナンス及び舞台スタッフ の人件費を考慮すると、今後は目標8 -0%が妥当と考える。
2 施設 (アー	貸し館 �� -トリビン	事業 ⁄グ)	市内外の住民に	曜日に写 約受付及 う。施設・	用抽選会を毎月第 実施。施設利用申請 及び許可書の発行 予約システムにより を管理することで	青予 動など多岐にわた を行 文化活動の拠点と	活 H26年度 る 開館日 30)2 施設の稼働率			フル稼働を目指	同上 同上 同上	同上	需用費 61,88 委託費 137,9	佐七	光のホール、暗室、和室の稼働率が悪いことから、全体の数字を下げてしまっている。 今後これらの施設の稼働率を上げる対策が必要と考える。
3																-
4																-
		主				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					1 事務			l	事	

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	施設貸し館事業 (ホール)	ホールのメンテナンス及び舞台スタッフの人件費を考慮し、今後は目標80%とする。			
事務事 業の改	施設貸し館事業 (アートリビング)	和室の子供入室を許可することで、子育て世代にも利用できる施設とし、稼働率の改善を図る。 利用率(利用日/開館日)の向上を目標としているが、今後は、実質稼働率(利用時間区分/利用 可能時間区分)を計算し、その向上を目標とする。	H27以降新 規に実施す		
善内容			る事務事業		

事	業番号	7	58	事業	ぎの名称	チケッ								担当	台部署	< <u>`</u>	部 らし文化部		課 文化の家				
基	本方針	(4)	文化をみ	りがき	き、人が輝	くまち	分野	別項目	(4)文化·芸·	術に親しむ場と機会	を充実する 方	拖策の進め方	(4)情報提供	・広報の充	実		フラッグ			フラッグ項	頁目		
	事業()概要)家の自主 是供を行う	事業や提	携事業等	等における	入場料収。	入の確保と事業F	PRを行うため	入場料のチケッ	小販売及び	(近隣市町 市の状況)実施状況 すや先進都 等を具体的 己載)	近隣市町	ところも多い。		が多く、チケット購入に 25 決算 H26予算	.ついてイン H26決3		やクレジット	快済を実施
	事業				事業開始	年度		平成15年	年度	終了(予	定)年度	-	_	1		(単位:	千円)	328	353 383		227 35		西の見方
(†	事業(ごれ、何	D対象 に対け	。 (-て) 市	方内外	トの住民									終 事	業費		般財源 貴·県費	328	353 383		227 35		現行どおり実施 事業の改善
	事業の)意区]	1 - 十 市	1 光学のは	=却 ナ。 庁 ノ ヌ	☆ <i>長</i> 1 a	チケット味り	の到便州	を高め事業PRを	· /= ふ				不良	ち地	方債の他	0	0 0		0	0 C	他事業と統合
()	態にし			土手	未守り[邦(で)ムへう	北市し、	/ クッド購入	の利民は	:で同の事業「Nで	.11 J ₀					受益者:		12600	14052 12600		960 1400		事業の廃止の検討
								目的						成果				事業費(単位			評	西	
	事業?	を構成 務事:			対象 だれ、何に 対して)			手段を使っ		意図 象をどのような状 &にしたいか)	事務事業の	成果指標		績	成果指標の 設定の	の目標値 根拠	H25予算 H26予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評	価の説明	
1	チケッ	ト販売	芝業務	T	対して)	窓口での トぴあ及 託。 電話及び	Dチケット びNピア	10月~ 1月 販売、チケ への販売す ーネットによることで	自主がより、	事業等の情報を 著信し、チケット の利便性を高 事業PRを行う。	22公演につ いて、チケッ トぴあに委 託		率	<u>深但</u> 77 	前年実績(ユ 度)からの糸	平成25年	H27予算 328 383 359		チケットぴあ販売手 数料 227	В	さらなるチケット する。	販売向上の	方法を検討
2																							
3																							
4																							
			事務事	業				7	b 善内窓(H27以降に実施 [・]	する内容)				<u> </u>	事務事業				業概要			
	(D チ	ディカチ ケット販う		務ホー	ームペーシ	ジをリニュ			、購買意欲を促		ト販売につなけ	řる。 			F-73-7-K			Ŧ	不加又			
事業	務事 の改 _ 内容													H27以降 規に実施	新 す								
善	内容													る事務事	業								

事第	業番号	59	事業の	2名称	住民情	報サービス		AT IMAN				‡	旦当部等	署	部 くらし文化部		課 文化の家			
基本	本方針	(5)みんなの	力を結集	する自治	と協働のまち	分野別項目	(5)	合理的で効果的な行政選	運営を行う 施	(1)	効率的な行	政運営	営の確立		フラッグ		•	フラッグ	項目	
	事業の概	張要	市役所閉	見庁時に	おける市目	民サービスのた	め、住員	民票及び印鑑登録証明	の発行を行う	0		(近隣) 市の状	町の実施 市町や :況等を に記載	先進都 :具体的)	で実施してい					
	事業期	問	重	業開始:	年 度	平原	310年度	·	定)年度	<u> </u>					事業費 <u></u>	25予算 ⊢	25決算 H26予算 	H26決		の見方
	事業のタ	象	市内の住		十汉	1 14	(10+ <i>b</i>)	h (),	足/干及		-				一般財源	0	0 0		0 0 A 現行	fどおり実施
	れ、何に	対して)	1111 102 17									糸	総事業領		型費·県費 地方債	0	0 0			業の改善 事業と統合
(対象	象をどの。	ような状	閉庁時等	学の市内	の住民の	利便性を高める) _o								その他	0	0 0		0 0 D 運営:	主体の見直し
思	島(こし/こ)	<i>'/J')</i>												文金	者負担額	215	277 247			の廃止の検討
	事業を構	ま成する		対象		目的 手段		意図	事務事業の			戊果 唐 ┃	1		H25予算	事業費(単位 日25決算		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	評価	
	事務	事業	(だれ	れ、何に		でのような手段を		(対象をどのような状		成果指標	H25実約 H26実約			₹指標の目標値 設定の根拠	H26予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模	評価の説明	
			×.	して)	4月~	7月~ 10月~	1月~	態にしたいか)			H26目標	!他			H27予算			事業費		
					<u> </u>		<u> </u>	_	発行件数			743				·	-	A		
1	住民票発	行業務	市民	1	住民西•	除票·記載事項	i 章元 用目	閉庁時等の市民の利 便性を高める	680件のう ち、閉庁日	発行件数	<u></u>	680 件	前年	実績並み	((なし	維持	見 現行どおり実施していく。	
						することで	それにウリ		発行386件		,	700					1			
					<u> </u>						_							維持		
									76 / - 11 W			598			((A		
2	印鑑登錡	k証明発行	市民	ı.			,	別庁時等の市民の利	発行件数 665件のう	発行件数		665 ₍₄	- 前年	実績並み	((- なし		 現行どおり実施していく。	
	業務		九川	Ž	印鑑登録で	最証明を発行す	ること	便性を高める	ち、閉庁日 発行359件	先11件数			- 川	夫棋业の			1/4 C	維持	先11とわり天施している。	
									201100011		1	600			(維持		
												168	1		(()		この業務は実施することにより、	住民
	小巫亦田	7 ∃	=					明片味気の主見の利	発行件数65			C.E.					-	A	サービスの増加となっているため どおり実施していく。	め、現行
3	地番麦牙 業務	証明発行	市民		地番変更	更証明を発行す	ること	閉庁時等の市民の利 便性を高める	71日近1190	発行件数		65 件	前年	実績並み	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		なし	維持	様式に目標値があるため目安と	として記
					で				件			150			(維持	載しているが、発行件数を増や 目標とはしていない。	で事を
			-								<u> </u>	╬	+					1		
						<u> </u>	<u> </u>	-								ļ				
4												_				<u> </u>				
															_					
		事務	事業				改善	内容(H27以降に実施す	する内容)					事務事業			事	業概要		
	\square												-							
事務業の	事											H27以	降新							
業の善内)改]容											規に実 る事務	事業							

					長久手市行	 													1/2
事	業番号	60	事業の名称	文化事業	 美業務					担	3 当部署	<	部 らし文化部		課 文化の家				
基	基本方針	(4)文化を	とみがき、人が輝く	(まち	分野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会を	を充実する 施	画策の進め方 (1)ズ	文化芸術環	竟の多	養展	<u> </u>	フラッグ		人们心水		フラッグ	項目	1
	事業の	AII 田田	らゆるジャンルの	舞台公演や	企画展、講座(フ	る機会を提供するため、年「 'ートスクール)、映像鑑賞会 設・病院・児童館への出張	会の開催。また	た、文化の家に来館	胚などめ (近隣ī の状	Tの実施状況 市町や先進都 況等を具体的 こ記載)	先進地心	は多様な発信	事業を行い、	な事業公済 自治体の知 25決算	演等を実施し 1名度を高め H26予算	ている。 、観光な H26決	どに結びつけてい 第 H27予算	る。
	事業期		事業開始。	年度	平成10	年度 終了(予	定)年度	_				(単位	::千円)	50,710	47,365	46,744	43	,030 52,347	評価の見方
(1	事業の ごれ、何に		市内外の住民							彩	浴事業費		-般財源 費・県費	34,252 0	26,670 551	30,286 0		,717 36,360 ,969 0	A現行どおり実施B事業の改善
(‡:	事業の	意図				することで、地域住民が主体 には、活動そのものが日々の						ち」	地方債 その他	0 16,458	0	0 16 459		0	C 他事業と統合
()	態にした		の増進に繋げてい		を上りる。ひい	(は、位動で020070*日々0	が存りしに俗り)心か心の木食こし	ノて抽性				貨担額	16,458	20,144 19,593	16,458 16,458		,313 15,987 ,344 15,987	D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					目的				成	果				事業費(単位	立:千円)			評価	<u> </u>
		構成する 事業	対象 (だれ、何に 対して)		手段 Dような手段を使っ 月~ 110月~1 1月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標個	単	成果指標の設定の材		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算(単位		評価 事業規模 事業費		あ の説明
1	ホールク	〉演事業	市内外の住 民に		ノて、音楽・演劇・ ごあらゆるジャンバ		52事業を実 施	各事業の定員充 足率		72 74 %	満席を事業の標とする。	○成果目	43,906 44,361		事業公演 30,647 出演者報 24,600 チラシ印刷	償費 2,787	A 維持		プした。クーテフェスな とが挙げられる。 今後
					崖することで	域文化を活性化する 上での基礎作りとした い。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			100.0	0			48,334		公演撮影 看板作成 著作権使	委託 394	維持	0,12,12,2,2,3,1	
	A 770		市内外の住			楽しむ機会を設ける とともに、市民自らの 文化芸術活動を誘発	7事業を実	各事業の延参加	18,54		過去3年の事	業平均	2,000	2,100 2,000	チラシ等印度 審査員等	報償費 544	Α		-スティバルの参加者
(2)	企画展	下事業	民に		って、さまざまな企 昇催することで	_	施	者数	19,00	\dashv	延参加者数		2,000		掲示物管: 看板作成 ほか	理委託 416 委託 37	維持 維持	の増加か影響していく。	こいる。今後も継続して
				1 1 1 1		い。 ・ 市民か芸術にふれ、				90	†		3,304	2,197			_		
3		クール(講	1111 47 1 1 1	年期なる	て、短期講座か	楽しむ機会を設ける とともに、市民自らの 文化芸術活動を誘発	長期講座 13、短期講	各事業(講座)の			満席を事業の	D成果目		3,651	講師報償	費 2,553 委託 1,032			こ達している。今後も
3	座)事業		民に	長期講座	まであらゆるジャン	グル 域文化を活性化する	座34を開講	定員充足率	100.0	╗~	標とする。				ほか	女 1,032	維持	継続していく。	
				を開催する	0_2 (上での基礎作りとしたい。			100.0	0			4,015				維持		
			市内外の住			市民が芸術にふれ、 楽しむ機会を設ける とともに、市民自らの 文化芸術活動を誘発		各事業の延参加	3,83 5,46		過去3年の事	*	1,000	895 860	事業公演	禾彰 500	Α	校全6校で行われ	『展開したことや小学 ルたアウトリーチ(で
4	アウトリー	ーチ事業	民に		って、いろいろな場 崖し物を開催する	易所 し、市民文化及び地	トデリバリ等		0,10		延参加者数	木一切	1,000		出演報償		維持		参加者増加を促した。 ごけでなく町中でも継
				で		域文化を活性化する 上での基礎作りとした	∠3凹開催		3,90	00			1,000				維持	続していく。	, -,-

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	①~④について	外部評価により「現在の成果指標が判りにくく、文化の家事業には馴染まないので改善すること」との指示があったことから、H27年度より事業項目や指標を大幅に変更する			
事務事業の改			H27以降新 規に実施す		
善内容			る事務事業		

事業番号	60	事業の名	称 文化			1 -><				担当	台部署	くら	部 し文化部		課 文化の家		
基本方針	(4)文化を	みがき、人だ	「輝くまち	分	野別項目	(4)文化・芸術に親しむ場と機会	を充実する 施	5 (1)	文化芸術理	環境の発展	Ę		フラッグ			フラッグ耳	頁目
事業の	+AII 2005	らゆるジャン	レの舞台	公演や企画	i展、講座(フ	る機会を提供するため、年 'ートスクール)、映像鑑賞 設・病院・児童館への出張	会の開催。また	た、文化の家に来	始ーナファ	(近隣市町 市の状況:			多様な発信	事業を行い、	な事業公演等を実施し 自治体の知名度を高め 25決算 H26予算		
事業其	共在		始年度		平成10	年度 終了(予	定)年度	_				(単位:귀		50,710 34,252	47,365 46,744 26,670 30,286		
事業の	対象に対して)	市内外の住具	另							総事	業費	う国費		0	26,670 30,286 551 0		717 36,360 A 現行どおり実 969 0 B 事業の改善
)ような状	多様化し、文	化活動の			することで、地域住民が主 こは、活動そのものが日々						その	方債の他	0 16,458	0 0 20,144 16,458) 3 13,	0 C 他事業と統有 313 15,987 D 運営主体の見正
態にした	いか)	の増進に繋り	げていく。									受益者負	担額	16,458	19,593 16,458	6,	344 15,987 E 事業の廃止の椅
± ₩ + .	## -# - 7 - 7	112		-	目的	 	古み古米の			成果			ロロマケ	事業費(単位			評価
	構成する 務事業	対象 (だれ、 対して	可にしい	于 つ、どのよう ~ 7月~			事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実	積 台	成果指標の 設定の相	日標他 [二	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明
⑤ 映像鑑	賞会事業	市内外の民に)住 年間	『を通して光 像の上映を	のホール等	市民が芸術にふれ、 楽しむ機会を設ける とともに、市民自らの 文化芸術活動を誘発 でし、市民文化及び地	12回天旭	各事業の定員充 足率		70 81 o/ 前	前年実績から 曽加		758 600 600	405	映像鑑賞会(有料) フィルム借り上げ料 291,000円	A	後半の数ヶ月が満席となり、前年よりも わずかながら参加者が増加した。今後 も継続していく。
6																	
7												 					
8																	
	事務事	事業			ī	女善内容(H27以降に実施	する内容)				事	務事業			<u> </u>	業概要	
事務事	J. W.						, W. 111/			H27以降 ³ 規に実施					•	71×170 X	
事務事 業の改 善内容										規に実施る事務事	ず 						

						大 人于 「	11]	計៕示												
事業	番号	61	事業	美の名称	住民参	画交流会議「	夢さが	じ★発見★実現★	文化の家	プロジェクト」		担当	当部署	<i< th=""><th>部 らし文化部</th><th></th><th>課 文化の家</th><th></th><th></th><th></th></i<>	部 らし文化部		課 文化の家			
基本	方針	(4)文化	をみがる	き、人が輝く	くまち	分野別項目	(4)文	化・芸術に親しむ場と機会を	を充実する 施	(1)3	文化芸術環	環境の発展	展		フラッグ	F1「つながり」〜一人で)とりに役割と居場所があるまち〜	フラッグ項	[日 (24)住民参画交流会議「夢さか	し★発見★実現★文化の家プロジェクト」
Ę	事業の概	既要						ぶら、企画・運営の課題 プライドの向上を目指⁻		、具体的な改善策	+. ±z. ≥	(近隣市I 市の状況	の実施状況 町や先進都 1等を具体的 記載)	なし 総事	業費 ┃ H	25予算 H2	5決算 H26予算	│ H26決算	〕 │ H27予算 ┃	
	事業期			事業開始:	年度	平成	25年度	終了(予	定)年度	_	=			(単位:	千円)	0	0 (0 0	評価の見方
(だ∤	事業の対 1、何に	i 家 対して)	市内夕	小 の住民								総事	事業費	う国	般財源 貴•県費	0	0 0)	0 0	A現行どおり実施B事業の改善
(対象	事業の意 きをどの。 にしたい	ような状	市民に目指す	ことって敷見 け。	롨が高い施	設と思われがち	な文化	の家が、より市民にとっ	って身近であり	0開かれた施設とな	さることを				地方債 の他 負担額	0 0	0 (0 ()))	0 0	C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的					月					事業費(単位	:千円)		評価	
1	事業を構 事務	構成する 事業	(対象 だれ、何に 対して)		手段 でのような手段を使 7月~ [10月~]		意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標		成果指標の 設定の4		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の	D説明
1 5	7ーキン	ググルー	ープ 青	5内外の住 そに	利用者の	月に3回程度、 規模改修に向い 意見を反映する ググループを開	又化 けて、 るため	市民に交流の場所を提供し、市民のニーズを把握し、より身近な施設とする	実施回数3	1つのテーマに 対し、適切な開 催回数で意見を とりまとめる。		9	今回のテーマ て、必要と思 数		0	0	0	Α	テーマに対し、適切 った。	な話し合いが行わ
2 7	アイデン	カフェ		万内外の住 民に	月1回程	度、定例的に企 実施することで		市民が企画した事業 の実施	中止	企画事業数		7 0 □	_		0	0	0		アイデンカフェメンィ より、本企画は中止	ドーとの話し合いに とした。
3 4	ニニター	制度		万内外の住 そに	年間を通		等のもらう		モニター会 議を2回開 催	参加人数			客観的な評値 に適正と思わ 数		0	0	0	維持	これまでモニターの 意見交換をする機会 報宣伝への指摘なる こ活かすことができ	メンバーによる直接 ☆がなかったが、広 ごを翌年度の対策 た。
4 第	乗台見学	经会		万内外の住 そに		度舞台見学等を	実施	舞台について、市民 の理解を深めるため に、舞台の機構や裏 側を公開する舞台見 学会を実施する。	実施回数1 回	舞台見学会参加 者数		72 人 300	前年実績並る	7+	0 0	0	0	維持名	見行どおり、実施しまた、一般向け舞台 各小学校に働きかい の見学会を実施した	見学会以外に市内 け、学校行事として
		主 恐	事業				改美巾	内容(H27以降に実施す	ナス内突)				重	務事業				¥概要		
		<u></u>	<u>"</u> 争未_				以告户	Y台(FIZ7以阵IC关他)	9 る内 谷/					伤争未				未似安		
事務 業の 善内	事 改 容										5	H27以降 規に実施 る事務事	す							
Д. 1.											-	~ F-100 FF								
											- 1									

事	業番号	62	事業の名称	地域福	社計画策定事章					担当部	署		部 福祉部		福祉課		
基	本方針	(3)人がい	きいきとつなた	「るまち	分野別項目	(6)地域で支え合う福祉の仕組み	かをつくる 施	(1)地	也域福祉計	画の策定			フラッグ	┗ F2「あんしん」〜助けがな	-	フラッグエ	頁目 (36)地域福祉計画の策定・各施策の推進
	事業の概	既要	上で大きな柱に という形ではな	なるものでく、地域と行 主民同士の	あります。従来のよ政などが連携した	ながら策定する計画であり うな行政から支援を必要とし ネットワークシステムを作るこ E民自治の実現を目指し、福	ている人へのとが大切とな	の一方向のサービス ります。地域内のネ	スの提供 ネット i	他市町の実 (近隣市町ヤ 市の状況等 に記載	5先進都 生具体的	(1,742自	治体の内1,1 83.4% (812)	11)となってレ 自治体の内67		では46.70	成25年3月31日現在において63.8% (930自治体の内434)でありますが、市
	事業期事業の対	付象	事業開始 市内の住民、国		【 平成24: ♣昌	F度	定)年度	平成26年月	变			(単位:	千円) 段財源	2,598 2,598	1,225 1,679 1,225 1,679		606138評価の見方,606138A 現行どおり実施
(対:	れ、何に 事業の意 象をどの。 態にしたし	意図ような状	 計画策定に多 [・]	の市民等な	 が主体的に携わるこ	とで、地域の意見を反映す D向上につなげます。	ることができる	るだけでなく、地域の	のネット	総事業		ち地	・県費 方債 の他 負担額	0 0 0	0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討
					目的					成果				事業費(単位	立:千円)		評価
	事業を構 事務		対象 (だれ、何 対して)		手段 ごのような手段を使っ 7月~!10月~! 1月	て) (対象をどのような状	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実約 H26実約 H26目標	貴一年 八	果指標の 設定の根		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	<u>評価</u> 事業規模 事業費	評価の説明
1	計画書策	策定	市職員、市民	1 地域福祉	此計画の策定に主作 つることで	市の業務と地域福祉との関わりを理解して	会議を各2 回開催し、 計画案のと りまとめ行っ た。	策定委員会、庁 内プロジェクト・ チーム会議の開 催回数		12	「策定まで 可	2か月	498 1,564	1,491	策定委員報償費 117千円 計画書策定業務委 託 1,329千円	E	平成26年9月に計画策定が完了したため、計画策定のための策定委員会、庁内プロジェクト・チームは解散したため、評価はE(事業廃止)とする。
2	地域福祉の講演会		市内の住 とめ 民、福祉事業 業従事者に か	ま 地域福祉 例報告令	止に関する先進地の で専門家による講演 つることで	地域福祉の担い手に	講演会を2 回開催し、 計画の発表 等を行っ た。	講演会の参加者数	2	265	人×2回	-	2,100 115 138		講演会講師謝礼 100千円	維持	計画策定後も地域福祉に対する理解を深め、計画推進の啓発のための講演会を継続する。 今後は、幅広い、新たな参加者を地域福祉の担い手として巻き込む必要があり、実施・呼掛け方法の改善の必要があると判断し、評価はBとする。
3	地域福祉	上学習会	市内の住! に(小学校 区毎)	民 地域にお	らける福祉課題を小 こ学び、話し合うこと	地域の課題を認識し 学 てもらう	3小学校区 において、 月1回の学 習会を実施 した。	勉強会の参加者 数	 E	144 501 人 15 <i>J</i> 12巨	、×3小学标	· 校区×	0	0			小学校区単位の地区社協設置に向けて、地域の話し合い、学びの場として今後も継続が必要であり、評価はAとする。
4												-					
		車 数1	車 ₩		-	文善内容(H27以降に実施す	る内容)				市3	攻 重 **				李祖田	
事務 業の 善内		事務: 計画書策 地域福祉の講演会	定事		証祉に関わりのなか	《番内谷(H27以降に美施り った人を新たな担い手として 会の実施方法、参加呼掛け	て巻き込むた		:	H27以降新 規に実施す る事務事業	事	務事業			事	業概要	

事業	番号	63	事業	美の名称	社会福	・ 投入テリュ 祉団体補助事業					担当	· 部署		部 福祉部		課 福祉課				
		(3)人がし		きとつながる			(6)地域で支え合う福祉の仕組	みをつくる 旅	短策の進め方 ((2)地域福祉(▲ 体制の充実	<u> </u>	<u> </u>	フラッグ		怕似 踩	フラッグコ	項目		
ᄪᆕ	事業の概	要	するこ	とのできる「	福祉のま	ちづくり」の実現をは	は、地域に暮らす地域の りざしたさまざまな活動をお 支え合いを活性化し、地域	3こなっていま	きす。	・心して生活	(近隣市町 市の状況	実施状況 T や先進都 等を具体的 己載)	他市町に総事	:おいても同様 業 費 H 2		る。 25決算 H26予算	H26決:	算 H27予算	<u>ı</u>	
	事業期			事業開始年	丰度	社協/昭和60年度 日	協/昭和62年度 終了(予	·定)年度	_	-			(単位:		67,692 67,692	67,619 92,307 67,619 92,307	91 91	,072 102,3	11	評価の見方 A 現行どおり実施
(だ∤ ○ ○ (対象	、何に 対象	対して)		国祉団体 	にぞれの地	地域で、いつまでも	安心して自分らしく暮らすこ	ことができる。			総事	業費	う ち 地	費・県費 2方債 の他	0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0	0 0	B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的					成果				事業費(単位	江:千円)			呼価	
1	事業を構 事務			対象 だれ、何に 対して)		手段 「のような手段を使っ 7月~ 10月~ 1月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標		成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	<u>評価</u> 事業規模 事業費		評価の説	明
① ^社	会福祉	協議会		上会福祉協 養会		通年	社会福祉協議会の役割、必要性を知って	会員加入数 7,137人	会員加入数	7	,137 件 り	更なる社協 ^ 解、認知が必 、前年度の)増加。	(要であ	62,972 87,587 97,591	62,899 86,378	職員設置費	A 維持	下回ったが、地活動の助成等り社協に対する つあり、引き続する事業実施	也区社協の 、地域に る認知度、 き地域福 に伴う人作 福祉の向	人数は目標値を の設置、サロン 密着した活動よ 理解も高まりつ 祉推進を目的と 中費とその運営 引上を図る必要
2	是生委員 B議会補	児童委員 助金	員童会	民生委員児 賃委員協議		通年	地域の困りごとの相 談役として、地域に根 うう 差した存在になって もらう	活動日数 6,898日	委員の述べ活 日数	動 6	,090 日 🗷	地域の見守り うため、前年 呈度の増加。	度の5%	4,720 4,720 4,720	4,720	民生委員児童委員 協議会運営事業費 4,694千円	維持維持	民生委員児童 にあたり、必要 り、評価はAと	委員の活 な運営費	
3																				
4																				
		車扱	重 丵			7	z善内容(H27以降に実施	する内突)									業			
事務 業のi 善内!	数	事務	事業			Ġ.	(晋内谷(H2/以降に実施)	9 旬内谷)			H27以降 規に実施 る事務事	新·	務事業			事	業概要			

事	業番号	} 6	64 耳	事業の名	称 🗦	をえ合い							担当	i部署		部 福祉部		課 福祉課			
基	本方針						分野別	項目			施策の進め方					フラッグ	F2「あんしん」~助けがi	なかったら生きていけない人は全力で守る	~ フラッグ項	[目 (44)支え合	いマップの策定
	事業の)概要	際	に自分たち	の住	少地域の	マップづ	くりに取り組	乍りのねらいや初か むことで、地域に 再確認、共有する	どんな困っている	ら人がいるのか、と	どのような人	・ (近隣市町市の状況))実施状況 Tや先進都 等を具体的 己載)	安城市でいます	0		をとおして、町内会単位でといる。125決算 H26予算	立の福祉委」 H26決第		の見守り活動を実施し
	事業			事業開	始年	变		平成26年	度 終	了(予定)年度	-	_	1		(単位	:千円)	ZJ] [*]	- 75	7 4	·20 77	
(<i>†</i> =	事業の)対象 (= 対 (て) 市	内の住民									松車	業費		般財源 費•県費			7 4	20 77	A現行どおり実施B事業の改善
	事業σ)意図	IH-	在は、民生	委員•	児童委員	のみが行	〒っている i	····· 辟難行動要支援者	登録制度への地	地域の協力体制(自治会役員	7	不良	ち	也方債			0	0	C 他事業と統合
(对 ,	象をど(態にした	ひよう こいか	41/10 公	による訪問	調査等	等)を構築	し、地域	の守りのた	めの基礎活動につ	なげたい。	2 94 1 100 9 9 11 100 (受益者	その他 負担額		<u>-</u>	0	0	D 運営主体の見直し 0 事業の廃止の検討
							F	的					成果				事業費(単位	寸:千円)		評	
	事業を			対象	-,-	/	手段		意図	事務事業		H25事	€績 ┃ 👑 ┃	成果指標の) 日標値	H25予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内部 H26決算の主な内部	評価		
	争	務事業	ŧ	(たれ、作対して				段を使って) 月~ 1月~			艮 成果指標	H26事	・ 根 一	設定の		H26予算 H27予算	」 H26決算	(単位:千円)	事業規模事業費	部	価の説明
1	支え合 者	いマッ	ップ参加	市内の住 民、福祉 業従事者 か	事 なっ	マップの策 ことで		本的に関わ	地域の情報を共し、支え合いの。性を理解しても	公要 づくりを各	プ	数		0名×5回		75 77	 	講師謝礼140(3回)	維持 z =	回ったが、継続的 つつながり、課是 が始まりつつあり	参加者数は目標値を下 的な話し合いにより地域 夏解決に向けた取組み り、地域の見守り体制の き続き事業継続が必要 よとする。
2																					
3																		- - -			
4																					
			事務事	業				改善改善	持内容(H27以降に	実施する内容)				4	務事業				事業概要		
事和	 												- H27以降 規に実施								
事務業の	D改 内容												_ 規に実施 る事務事 -	9 業 ————							

						长久于巾1	「 以計Ш宗							並収		押			
事	業番号	65	事美	業の名称	障害者村	目談支援事業					担	当部署		福祉部		福祉課			
基	本方針	(3)人がし	きい	きとつながる	るまち	分野別項目	(4)障害者が暮らしやすいま	ちをつくる 旅	策の進め方(1)相談支援	体制の充	実		フラッグ	F2「あんしん」〜助けがな	かったら生きていけない人は全力で守る~	フラッグコ	項目 (39)相談支	援事業の充実
	事業の概						談支援センターを設置し相)相談事業を委託する。	談を受け付け	たり、障がい者の	の虐待防止	(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 記等を具体的 記載)	管理料1 東郷戸 瀬戸 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	8,145 千円 知的・身体を 平成25年度 下:委託料3,00 基幹相談セン	社会福祉協議 から基幹相談 00千円でひま ターとして社:	等者相談支援センター 会が担当し4,826千円 支援センターを実施予 わりに委託 会福祉協議会に委託 25決算 H26予算	、精神を5 定。正規5	地域活動支援セン 職員2名事務職員 3名19,000千円臨	/ター柏葉が担当 11名委託料13,500千
	事業期			事業開始:	年度	平成19	年度 終了 (予	予定)年度	-		1		(単位	:千円)	11,200	11,269 11,200	11	,200 13,102	
(だ	事業の対	対象 対して)	障がい	い者とその家	家族、支援和						総	事業費	う 国	般財源 費・県費	11,200 0	8,539 6,776 2,730 4,424		,200 13,102 ,852	B 事業の改善
	事業の意 象をどの。 態にしたい	ような状	障がい	い者の相談	を通じて適	切なサービスの利	用につなげる。							地方債 その他 負担額	0 0 0	0 0 0 0 0 0		0 0 0	C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的					成果				事業費(単位	5・千田)		評価	- -
	事業を構 事務		(対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使っ 月~ 10月~ 1月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	積 単	成果指標の設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算		評価 事業規模 事業費		価の説明
				章がい者と			i.	宝相談供数	相談支採事業	4	,697 ,265	のべ利用人	数4800	11,200	11,268 11,200	障害者相談支援事 業業務委託(9,200千 円)	Α	障がいのある方、	支援者及び関係者に施し、支援するための
1	一般相談	《支援事》		その家族、 支援者	福祉の家を設置する	に相談支援センタ ることで		5265件	利用人数		,800	400人×12. 人	月=4800			アドバイザー業務委 託(困難ケース相談) (400千円)	拡充	体制の充実のた が必要であり、評	め、引き続き事業継続
	PT 가 가 나	-	7-> - 17	7\$\dagger_2 + \dagger_1			 		虐待通報に対		100	400+88 N 4-	<u>↓</u> <u>↓ </u>			障害者虐待防止事		受けた場合の体 いての支援体制	が擁護者等から虐待を 制整備、居室確保につ を動作する必要がある
2	障害有虐 ター事業			障害者とそ の家族		65日受付可能な 制を実施すること		0件	る48時間以内 対応件数		100%	48時間以内 数/虐待通	对心件 報件数	相談事業に含む	相談事業に含む	業業務委託(2,000千円)	維持 削減	したため、事業費	する。 ・部内容を改善を実施 は削減とする。 また、 を生件数は0件となって
																	134024	いる。	
3																			
4																			
					<u> </u>											<u> </u>			
		事務	事業			Ē	改善内容(H27以降に実施	する内容)				<u></u>	務事業			事	業概要		
事務業の	 										H27以陷 規に実施	色す							
善内]容										る事務事	事業							

事業	番号	66	事業の	名称	長生学		אימר (ויווי ו					担	当部署		部 福祉部		課 長寿課			
基本	方針	(3)人がし	いきいきとつ	ながる	るまち	分野別コ	項目 (8)高	齢者の安心な暮らしと生きが	いを支える 旅	地策の進め方	(3)生きがし	づくり			フラッグ	_	Z/M WK	フラッグエ	頁目	
	事業の概	既要	高齢者同 ₋ 回、高齢者 行っている	:のつ: を対象 。	ながりの強 象とした防犭	化、高齢者	針のいきがい	すことができ、生きがい つづくり及び外出の機会 介護予防体操などを行	を拡充するさ う。また、県タ	ことを目的とし、	年度に25	(近隣市 市の状)	の実施状況 i町や先進都 兄等を具体的 記載)	美 胞なし						
	事業期 事業の対			開始			_	終了(予	定)年度	_	_			総事 (単位		2 5予算 H 2 1,198	25決算 H26予算 1,189 1,316	H26決	第 H27予算 443 1,723	評価の見方
(だれ (対象	れ、何に 事業の意	対して) 意図 よ う な状	市内在住の 外出を促進					拡充させる。				- 100	事業費	- う国 ち 対	般財源 費・県費 地方債 その他	1,198 0 0 0 0	1,189 1,316 0 0 0 0 0 0 0 0		443 1,723 0 0 0 0 0 0 0 0	A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
	事業を持	構成する	対	多		手段 手段	的	意図	事務事業の		H25実	成果			H25予算	事業費(単位 H25決算		評価	評価	
	事務			、何に		である。 でのような手段 7月~ 10月		(対象をどのような状態にしたいか)	実施結果	成果指標		績位	成果指標の 設定の4		H26予算 H27予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価	の説明
1	長生学園	氢事業	市内名 おおむ 歳以上 民	ね60		及び福祉の	 	外出を促進し、つな がりの強化、社会参 加機会を拡充させる	23回	参加者数	1	,538	事業実績に。値	よる目標	1,198 1,316 1,723	1,189	委託料1,365千円 報償費78千円	維持	度同様社会福祉法 た。 日帰り温泉事業につ 同様に、事業の準備 行委員を設置し運営	いても、平成25年度と や当日の添乗等を実 を行った。 しがあったため、事業
2																				
3																				
4																				
		市 35	車 乗		1		力学	由家/山クフトトトᲓエー=実セー	ナス中家)	•			I 事	数 声 坐			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	李恒声		
事務業の	—— 事 改	長生学園	国事業	事	業の周知を	行い、参加	である。	内容(H27以降に実施する) 全図る。	9 6内容)			H27以 規に実 る事務	 条新 布す	務事業			事	業概要		

			長久手市行	亍政評価票										
事業番号	67	事業の名称 敬老事業	É				担当部署		部 福祉部		課 長寿課			
基本方針	(3)人がし	きいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(3)生きがい	づくり		フラッグ			フラッグコ	項目	
事業のホ		敬老金を贈呈し感謝の意を 円、数え99歳以上の方は10,		長寿を祝うことを目的とし、敬老金(80 行う。	0歳、85歳、90歳、9		他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	東郷町尾張加瀬戸市豊明市	丁…記念品(ひる 旦市…敬老金5, 庁…敬老金5,00	≦かけ):満885 000円:数え88 0円:数え88崩 つル):数え100	歳、記念品(写真 8歳 敬老金10,00 5 敬老金10,000F	立て):満99歳(00円:数え100歳 円:数え100歳	Ē	と101歳以上 2,000円前後の品) 数え88歳、数え99歳
事業期		事業開始年度	_	終了(予定)年度	_	_				25予算 H	125決算 H26 -			
事業の気		市内在住の80歳、85歳、90歳	衰、95歳、数え99	歳以上の方					位:千円) 一般財源	3,133 3,133			,575 5,802 ,575 5,802	評価の見方 A 現行どおり実施
事業の意	意図 よ う な状	敬老金を贈呈し感謝の意を剝	長すとともにその	長寿を祝う。			総事業費	うち	国費・県費 地方債 その他 者負担額	0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0	B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
			目的				成果			事業費(単位	立:千円)		評価	
	構成する 事業	対象 (だれ、何に (いつ、どの 対して) 4月~ 7.	手段			H25実	積 単 成果指標の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	- H26決算の主な - (単位:千円			西の説明
		市内在住の 80歳、85 章 90章		大学領の 象者には 知をして 「威謝の音を表すとした」は 54 手続き	t通 振		411	ከ በ-አ√፫ =	3,133	l	5 9/15敬老事業開 かかる費用 180		のイベントを行うが	付評たったため、同様 い、文化の家主催から 変更。敬老金は対象者

			目的				成果				事業費(単位	ī:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)		成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
() 敬老の日大会事業	市内在住の 80歳、85 歳、90歳、 95歳、数え 99歳以上の 方	敬老金の贈呈を行う。	感謝の意を表すととも にその長寿を祝う	不象知込し、 す者をしてきますいている。 はにてきますいでの はでいる。 での贈呈	配布人数	411 463 500	1	高齢者数増加から予 想される数値	3,133 2,958 5,802	2,326	9/15敬老事業開催にかかる費用 180千円敬老金 2,395千円	B 維持	のイベントを行うが、文化の家主催から 長寿課主催へと変更。敬老金は対象者 すべてに配布する。 長寿記念品のござらっせ入泉券による 入泉料補助費について、健康増進事
(~			を行った。]					增加	業費から科目を付替えたため、H27は 予算額が増額。
(
(

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	1	敬老の日大会事業	事業の周知を行い、参加者の増加を図る。			
事務事 業の改 善内容				H27以降新 規に実施す る事務事業		
音內谷				- る事務事業		

			長久手市	宁政評価票													
事業番号	68	事業の名称 高齢者優	待事業補助	金				担当部署		 部 福祉部		課 長寿課					
基本方針 (3)人がい	きいきとつながるまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な	暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(3)生きがし	ハづくり		フラッグ				フラッグ項目	ı		
事業の概望	要 •	リニモ乗車券1枚(1,000円分年度の間に名都美術館に3年度の間に10回、福祉の家年度の間に10回、福祉の家あったかぁどの発行(ござら、水が無料で乗車できる)	回、トヨタ博物館 の福祉浴室、歩	行浴室が無料で	利用できる。	室が200円で利用	月できる。 Nバ	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 (ご記載)	瀬	1進市 ①デマン 夏郷町 ①④デマ 豊明市 ①デマン 三間40枚/人まで) 5屋市 ①敬老ノ	が かなし かがない ががるに ががる1年無料 での。 での、 での、 での、 での、 での、 での、 での、 での、	寸(80歳以上) (を(65歳以上 月 大(65歳以上) (料(免許返納の	②〜④実施 1000円) 専 ②③実施な)場合) ③	施なし 要介護認定の なし の大府市の東 手帳(市内36f	部知 多 温泉プー 箇所) ③~④実		
事業期間		事業開始年度	平成20	年度	終了(予定)年度	•	_						H26予算	H26決算	H27予算		
事業の対象 (だれ、何に対		方内在住の満65歳以上の市	民						()	単位:千円) 一般財源	7,979 7,979	6,712 6,712	7,013 7,013	6,651 6,651		Α	評価の見方 √現行どおり実施
事業の意図 (対象をどのよう 態にしたいた	うな状	ト出を促進し、つながりの強ん	比、社会参加機	会の拡充を目的と	とする。			総事業費	ち	国費・県費 地方債 その他 益者負担額	0 0 0	0 0 0	0 0 0	((0 0	C D	事業の改善 他事業と統合 運営主体の見直し 事業の廃止の検討
事業を構成 事務事		対象 (だれ、何に (いつ、どの 対して) 4月~ 7,7	目的 手段)ような手段を使っ 引~ 10月~ 1		のような状 実施結		H25実 用26実 H26目	<u> </u>		H25予算 H26予算 H27予算	事業費(単 H25決算 H26決算	位:千円) H26決算の 単位:・	主な内訳 千円)	評価 事業規模 事業費	評価評価	の説明	月 ·
	•	通年						3 519	•	3 497							

			目的				成果				事業費(単位	ī:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
			通年	高齢者が外出の機会			3,519			3,497	3,496		Α	現行どおり実施していく。
(1) 高齢者外出促進事業	市内在住の 満65歳以上	リニモカードを1人1000円交付	を増やすことで、社会 的視野を広めるととも	3, 576枚交 付	発行枚数	3,576	枚	実績からの見込数	3,308		リニモカード3,500枚 購入 3,312千円		事業費については、65歳以上の人口が増加しており。利用者数が増えているた
		の市民	することで	に、生きがいを得られ る			3,500			3,424		XH7/ 0, 012 1	増加	め、増加とした。
			通 年				891		実績からの見込数	450	591	3	С	4
(2	高齢者文化施設優待事業	市内在住の 満65歳以上	文化施設優待カード(年度の間	社会的視野を広める とともに、高齢者に生	815枚交付	発行枚数	815	枚	(一度発行すると6年 間有効なため毎年度	527	532	入館料 名都美術館:600円		あったかぁどと統合する。
,	事業	の市民	物館に1回、無料で入館でき	きがいを与える		7217 77	800		発行枚数は減少する)	554		トヨタ博物館:400円		増加しており。利用者数が増えているため、増加とした。
			る)を配布することで				300	_	37	504			増加	
				高齢者が温泉施設を			4,993			66	0		Α	
3		市内在住の 満65歳以上	年度の間に福祉の家の福祉浴	利用することにより、 高齢者の健康を増進	延人数 4,931人	延利用人数	4,931	人	実績からの見込数	0	0	_	向上	平成25年度より、あったかぁどの提示と 個人台帳による管理としており、来年度
	阳极的事术		室及び歩行浴室を10回無料で 利用してもらうことで	すること及び楽しみを 得て元気に暮らす	4,33170		5,000			0			 維持	においても同様に実施する。
							0.11			0.000	2 225		推行	
		市内在住の		外出を促進し、また、 高齢者が温泉施設を			641		長久手市第6次高齢	3,966	2,625	あったかぁど裏面印	Α	文化施設優待カード機能を持たせる。 65歳以上高齢者の増加、またあった
(2) あったかぁど事業	港65巻N L	あったかぁどを発行し、ござらっ	利用することにより、 高齢者の健康を増進	775枚交付	発行枚数	775	枚	者福祉計画及び第5 期介護保険事業によ	3,178	2,807	刷 108千円 入泉助成 2,699千	維持	かぁどの特典追加(あったかぁどデーの 実施や協賛店舗による特典等)により
				すること及び楽しみを 得て元気に暮らす			500		る目標値	3,540		円	増加	カードの購入枚数は増加すると見込ん だ。

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	2	高齢者文化施設優待 事業	「長久手市高齢者文化施設優待カード」(黄色のカード)による管理から、あったかぁどの裏面に「文化施設優待利用記録簿」シールを貼付することで、あったかぁどの提示で文化施設優待利用ができるよう変更。			
事務事 業の改 善内容				H27以降新 規に実施す る事務事業		
				る事務事業		

事業番号	69	事業の名称	高齢者福	ā祉事業					担当部署		部 福祉部		課 長寿課				
基本方針 (3)人がい	きいきとつながる	まち	分野別項目	(8)高齢者の安心な	幕らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支	援体制の充実		フラック	ĵ			フラッグ項目		
事業の概	要	•寝具洗濯乾燥事	: 業…タンス : 業…布団 ³	、書棚等家具ひ や毛布の洗濯乾	とつにつき器具 燥し、直接利用	認を行う。 -2個を1組として設置 者宅へ集配する。 掃除及び整理整頓、5		勿等を行う。	(近隣市町や先進都 市の状況等を具体的	·家具転 ·寝具洗	云倒防止事 先濯乾燥…	業…近隣で同 瀬戸市、尾張	司種事業を行 見旭市、日進市	っている市町 f、豊明市、東	郷町など同種 村なし 郷町など同種 東郷町など同	事業実施	
事業期間		事業開始年	度	_		終了(予定)年度		-			事業費	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対 (だれ、何に対		市内在住の65歳り	以上の市民	等							ī:千円) -般財源	22,274 22,274	20,189 20,189	24,635 24,635	27,856 27,856	30,427 30,427	評価の見方 A 現行どおり実施
事業の意 (対象をどのよ 態にしたい	うな状	高齢者等への経済	斉的支援や	日常的支援によ	り、住み慣れた	地域の中で安心して	生活してもらうたと	め。	総事業費	5	費・県費 地方債 その他 負担額	0 0 0 5,652	0 0 0 5282	0 0 0 5,961	0 0 0 7,352	0 0 0 9,212	B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討

			目的				成果				事業費(単位	立:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		・65歳以上の一人暮らしの者		のある一人暮らしの高いない。	H26.10月から 土日祝の配食 スタート。利用		114		長久手市第6次高齢 者福祉計画及び第5	11,205 12,261	9,826	1食670円×24, 915	В	業者の選択ができるように準備してい
đ)食の自立支援事業	•75歳以上	年間を通して、宅配給食を必	食生活の改善、日常生活の助長を図るととも	者数は1年間で 33人増加。年 間の配食数は 9,799食増加。	利用者数	120	人	期介護保険事業計画による目標値	18,465	10,094	食=16,693,050円	向上 維持	来有り速ががくさるよがに宇囲している。
		D 113			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			<u> </u>					补土 1寸	
		 ・65歳以上の一人暮らしの者 ・75歳以上の者のみの世帯 ・身体障害者手帳2級以 	地震時の高齢者等宅におい	高齢者等が安心して	2組取付:2		6		長久手市第6次高齢	271	47	6,103円×2件	В	
2	家具転倒防止事業	・身体障害有手帳2級以 上の者 ・療育手帳B判定以上の	て、家具等の転倒等による人	生活できる環境を整	名、4組取 付:1名、取	利用者数	5	人	者福祉計画及び第5 期介護保険事業計	140	26	+11,243×1件+963 円×2件= 25,375	向上	取付器具数の上限を撤廃し、利用数の増加を図る。
		者 ・精神障害者保健福祉手 帳2級以上の者 ・要介護認定で要介護3 以上の者	的被害の発生を防止するた め、市が家具等の転倒防止器 具を取付けることで	備する	付不可:2名		45		画による目標値	146		円	 維持	· - -
		・介護保険法第27条 における要介護認定					47		長久手市第6次高齢	500	649		В	
(3	】 ② 寝具洗濯乾燥事業	で要介護3以上の者 又は認知症高齢者	身体的な虚弱等の理由によ	高齢者及びひとり暮らし高齢者等が快適	利用人数	利用者数	55	Į,	者福祉計画及び第5	671	517	寝具選択乾燥 517		市民に対する周知方法の検討を行い、
,	K N D OI E TO N T N	・一人暮らし高齢者・重度身体障害者・後期高齢者世帯の	り、寝具を洗濯することが困難である人に対し、寝具洗濯乾	な生活を送れる	55人	13/13 13 35			期介護保険事業による る目標値			千円	向上	利用者数のさらなる向上を図る。
		世帯員	燥サービスを行うことで				50			551			維持	
		・介護保険法第14条 に規定する介護認定 審査会において非該	 	高齢者等が住み慣れ			3		長久手市第6次高齢	726	234		В	
2	ホームヘルパー派遣 事業			た地域の中で安心し	延人数 29人	利用者数	4	人	者福祉計画及び第5 期介護保険事業によ	520	189	ホームヘルパー派遣 189千円		市民に対する周知方法の検討を行い、 利用者数のさらなる向上を図る。
	丁 来	な者 ・緊急に家事援助が	ホームヘルパーを派遣すること		29人				別別護体映事業による る目標値	000		189十円	印上	利用有数のさらなる 上を図る。
		必要な者で介護保険 を申請中の者	で				11			260			維持	

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	1	食の自立支援事業	業者の選択ができるように準備していく。			
事務事 業の改 善内容	2	家具転倒防止事業	取付器具数の上限を撤廃し、利用数の増加を図る。	H27以降新 規に実施す る事務事業		
	3		市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。	る事物事業		
	4	ホームヘルパー派遣 事業	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。			

事業番号	69	事業の名称	高齢者福	A A A B A B A B A B B B B B B B B				担当部署	部 福祉部			課 長寿課					
基本方針	(3)人がし	いきいきとつながる	まち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援	後体制の充実		フラック	グ F2「あんし	∪」~助けがなかったら生きてし	いけない人は全力で守る~	フラッグ項目	(43)徘徊高幽	命者家族	の支援
事業の概	既要	的な機能の低下を ・緊急通報システ う。	を防ぎ、生き ム事業…緊 で族支援事業	がいのある生活 急時にボタンを 業…専用端末機	押すだけで、通報センターから消防な を貸出し、徘徊時にその位置を検索	本部等に通報され	、救助等を行	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的	·緊?	急通報システ. 回高齢者家族	ム事業…瀬 支援事業	「尾張旭市、日道 原戸市、尾張旭市 ・・瀬戸市、尾張 重事業を行って	方、日進市、豊 旭市、日進市	明市、東郷町 、豊明市、東郷	で同種事業実		
事業期	間	事業開始年	丰度	_	終了(予定)年度		_			総事業費	H25予算	1 H25決算	H26予算	H26決算	H27予算		
事業の対		市内在住の65歳」	コトの市民	空					<u>í</u>)	単位:千円)	22,2	74 20,189			30,427		価の見方
(だれ、何に	対して)	1111 11下1下42000000	VT. 47 11 12	4						一般財源	22,2	74 20,189	24,635	27,856	30,427		現行どおり実施
事業の意	- 図							総事業費	う	国費•県費		0 0	C	0	0	В	
		喜齢者等への経済	さい 古揺や	日党的支援に	- n 住み慣れた地域の由で安心」で	生活1 てもようたお	5		ち	地方債		0 0	0	0	0		他事業と統合
態にしたし	7	高齢者等への経済的支援や日常的支援により、住み慣れた地域の中で安心して生活してもらうため。					その他		0 0	C	0	0		運営主体の見直し			
思にしたいか)							受:	益者負担額	5,6	52 5282	5,961	7,352	9,212	E	事業の廃止の検討		

			目的				成果	į			事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
(5)) デイサービス事業	・要介護認定で非該当 (自立)と判定されたもの ・ひとり暮らし高齢者及び 後期高齢者世帯 ・要介護認定申申の者 ・日中独居状態となる65	家に閉じこもりがちなひとり暮らしの高齢者等が、日常動作訓	生きがいのある生活 と社会参加を促進し、 高齢者福祉の増進を	利用者数	延利用者数	3		長久手市第6次高齢 者福祉計画及び第5 期介護保険事業によ	875 1,000	977 1,024	延利用回数 74回分 1,024千円	В	閉じこもり予防の必要な高齢者の把握 に努め、利用者増を目指す。
		the extra contract of the contract of	練活動等の提供を受け、身体 的な機能の低下を防ぐことで	図る	37		15		る目標値	1,000		1, 024]	維持	に分り、作りの名名を日刊す。
		・65歳以上の一人暮らし 高齢者 ・75歳以上の世帯	 	日常生活上の不安を 軽減し、円滑な救助			147		長久手市第6次高齢	7,954	8,256	緊急通報システム業 務委託料 7,267千	Α	
(6)	緊急通報システム事業	長時間に渡り独居状態に なる身体障害者手帳1級	在宅のひとり暮らし高齢者等の 急病、事故等の緊急事態に対 処するため緊急通報システム	及び援助を行い、 もって福祉の増進を 図る	利用者数 142人	利用者数	142	^	者福祉計画及び第5 期介護保険事業による 目標値	9,592	9,053	円 緊急通報 システム保守委託料 1,409千円	向上	センサー付き機器を導入し、さらなる利用者数の増加を図る。
		者	を実施設置することで	<u></u>			130			9,548		1, 409 17	増加	
	()	・次のいずれかの 人を介護する家 族	 	徘徊癖の見られる認 知症の高齢者や知的 障害者等を介護する			2		長久手市第6次高齢 者福祉計画及び第5	314 150	32 103	徘徊高齢者家族支	В	利用者数が少ないため、市民に対する
7	支援事業	れる認知症高齢 者	専用端末機を貸出し、徘徊時にその位置を検索し、早期発見及び保護を図ることで	家族及び保護者が安 心して介護できる環	2人	利用者数	7	^	期介護保険事業による目標値	147	100	援事業委託 103千 円	向上	周知方法の検討を行い、利用者数の向 上を図る。
		2 //// 2/		境を整備する			11			328	149		維持	
Œ) 防犯対策事業	・満65歳以上のひ とり暮らしの人		高齢者宅への侵入盗など による犯罪被害を防止する ため、高齢者の申請に基 づき、市が防犯器具を取り	利用者数	利用者数	11		長久手市第6次高齢 者福祉計画及び第5	200		高齢者防犯対策委	В	利用者数が少ないため、市民に対する 周知方法の検討を行い、利用者数の向
		・満75歳以上のみ の世帯	玄関前等にセンサーライトを取り付けることで	付けることにより、高齢者が 安心して生活できるまちづくりを推進する	11人	行3/13/13	45		期介護保険事業による る目標値	207		託 185千円	向上 維持	上を図る。

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	5	デイサービス事業	閉じこもり予防の必要な高齢者の把握に努め、利用者増を目指す。			
事務事 業の改	(6)	緊急通報システム事業	センサー付き機器を導入し、さらなる利用者数の増加を図る。	H27以降新 規に実施す		
善内容	7	徘徊高齢者等家族 支援事業	利用者数が少ないため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。	る事務事業		
	8	防犯対策事業	利用者数が少ないため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。			

				エベン く 」 ・ 1 - 1														0, 0	
事業番号	69	事業の名称	高齢者福	ā祉事業					担当部署		部 福祉部		課 長寿課						
基本方針	(3)人がい	いきいきとつながる	まち	分野別項目	(8)高齢者の安心な	暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支援	後体制の充実		フラック	ブ F2「あんしん」~	助けがなかったら生きていけ	けない人は全力で守る~	フラッグ項目	(35)ワンコイ:	ンサー	ごスの実施	
事業の概	要	高齢者に対し、専	門的な知証	徴・技術を要しな	い軽度な日常生	活支援等をワンコイン	ンで行う。		他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	近隣	で同種事業を	行っているi	方町村なし						
事業期	間	事業開始年	F度	平成25	年度	終了(予定)年度		_		ź,	総事業費	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算			_
事業の対		市内在住の65歳」	リトの主民	卒						(首	単位:千円)	22,274	20,189	24,635	27,856	30,427		平価の見方	
(だれ、何に	付して)	山17月11日日 7000 成と	メエの川 氏	7寸							一般財源	22,274	20,189	24,635	27,856	30,427	Α	現行どおり実力	施
古米の立	- ज्य								総事業費	う	国費·県費	0	0	0	0	0	В		
事業の意		古齢老学。の奴》	文的士坛文	ロ帯仏士採にり	- n 仕り⊯りた	地域の中で安心して	上江1 ナナト ふたり	5		ち	地方債	0	0	0	0	0	С	他事業と統合	Ì
		向即有 守 へり 座 (用可又按"	7日 市町又仮によ	り、住み頃もに	地域の中で女心して	生活してもりりたぬ) ₀			その他	0	0	0	0	0	D	運営主体の見直	īι
態にしたいか)									受:	益者負担額	5,652	5282	5,961	7,352	9,212	Е	事業の廃止の検	討	
				5.4									/\'/\ ~ =\						_

			目的				成果				事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	z:千円) H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明
Ć	ワンコインサービス事 業	満65歳以上のひとり 暮らし高齢者満75歳以上のみの	在宅の高齢者に対し、軽度な日常	住み慣れた地域で安心し て暮らせる環境を整え、また、高齢者に対する経済	延利用者数 177人	利用者数	62 177	人	実績による目標値	101 101	19	ワンコインサービス事業補助金 65千円	Α	高齢者相互の支え合いを推進するため、事業内容をさらに使いやすいものにし、利用者数の向上を図る。
		世帯	生活の援助を行うことにより、	的な負担の軽減を図る			100			103)(III)	維持	にし、利用者数の同上を図る。
								人 						

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
当内谷			■ ○ 事務事未		

フラッグ項目
同種事業実施 f、日進市、東郷町で同種事業実施 、日進市、東郷町で同種事業実施
H26決算 H27予算
6,630 7,164 評価の見方
.d
0 0 B 事業の改善
0 0 0 0 他事業と統合
0 0 運営主体の見直
0 0 事業の廃止の検討
ī、E 、日

			目的				成果	<u> </u>			事業費(単位	ケ: 千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	 評価の説明
		介護保険法で 要介護2から5と 認定され、本人 所得金額200万		介護者と要介護者の	事業利用申	n	155 137		長久手市第6次高齢 者福祉計画及び第5	4,089 4,450	4,323 4,858	助成支給額4,858千	В	高齢者の経済的な負担を軽減するた
(1)	版や (J., J的) (M	円未満の者で あり、介護保険	ねたきり状態の在宅高齢者を 介護している家族に対する経済的な支援により	健康的な生活を支援する。	請者数155 人	助成金支給者数	160	^	期介護保険事業計画による目標値	4,635		円 円		め、今後も同様の内容で実施していく。
		65歳以上で 補助事業を実 施しようとする 住宅に居住		対象者に安心、快適	手すり設置や段差解消の工事を		7	ı	長久手市第6次高齢 者福祉計画及び第5	2,500 2,100	1,885	300千円×5人=1,	В	高齢者が安心して自宅で生活できるよ
(2)	仕七以修争業	し、申請時に	るため、手すり等の設置に要する奴典に対し、対明なななは	する	行った利用 者5人に対 し、助成を 行った。	助成金支給件数	30	7 	期介護保険事業計画による目標値	2,100		500円	維持 維持	う、今後も同様の内容で実施していく。
	家族介護慰労金支	介護保険法第19条に規定する 認定を受けた被保険者の介護 家族介護者が同居する居宅に おいて行っており、世帯構成員 の中に在宅で介護している期間 において要介護度4又は要介護	介護保険制度の施行に伴い在	介雑老の特神的かつ終	利田人数		0			100	0		В	市民に対する周知方法の検討を行い、
	給事業	5の認定を受けた被保険者がいること。且つ、世帯構成員のうち 主たる生計中心者が申請時に おいて市民税非課税者であり、 要介護認定を受けた被保険者 が、介護期間において法第40 条に規定する介護給付を1年間 受給していないこと。	ア・マート では、 では、 では、 では、 できます。 では、 では、 できます。 では、 では、 できない できない できない できない できない かいまい できない かいまい できない かいまい できない かいまい できない かいまい でんしょう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま	済的負担の軽減を図る	0人	利用者数	1		予算額による算定	100		_	向上 維持	利用率の向上を図る。
		・介護保険で要介護 ~5に認定された寝	,	ねたきり状態の高齢			23		長久手市第6次高齢	288	216	高齢者訪問理美容	В	
(ZL)		認知症局齢者の人 ・身体障害者手帳1 級(内部疾患障がい	在宅理美容サービス費用を1 回につき最大3,000円、最大6	者及び重度身体障 害者(児)の保健衛生 を向上させる	利用者数 26人	利用者数	26	┧^	者福祉計画及び第5 期介護保険事業計 画による目標値	288	210	同断有初向母美谷 サービス支給費 210千円	向上	市民に対する周知方法の検討を行い、 利用率の向上を図る。
		者を除く)の人	回まで助成することで	ISHTC RA			24		単でみる日 示	288			維持	

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	1	紙おむつ助成	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を 図る。			
業の改		住宅改修事業		H2/以降新 規に実施す		
善内容	3	家族介護慰労金支 給事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を 図る。	る事務事業		
		訪問理美容サービス 事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を 図る。			

				八八八八八	」以叶Ш示											2/2
事業番号	70	事業の名称	高齢者日	日常生活補助	金			担当部署		部 福祉部		課 長寿課				
基本方針	(3)人がい	きいきとつながる	まち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(2)地域支持	援体制の充実		フラック	ブ			フラッグ項目		
事業の概	我要	電磁調理器の購ん	入代を各1回	回に限り助成する	5。(所得制限あり)			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	尾弧	長旭市、瀬戸市	ī、豊明市、日	進市で同種事	罫業実施			
事業期	間	事業開始年	F度	平成12	年度 終了(予定)年度	-	_			総事業費	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対	象	まれたとの洪に	場のしの士						<u>(</u>)	単位:千円)	7,063	6,424	6,979	6,630	7,164	評価の見方
(だれ、何に	対して)	市内在住の満65歳		大 寺						一般財源	7,063	6,424	6,979	6,630	7,164	A 現行どおり実施
古世のギ	- 100							総事業費	う	国費·県費	0	0	0	0	0	B 事業の改善
事業の意		古典老笠。の奴こ	女奶士!	ロ帯的士様ほり	り、住み慣れた地域の中で安心して	上江1 ナナトニモル			ち	地方債	0	0	0	0	0	C 他事業と統合
(対象をとの。 態にしたし		同即有寺への経行	角的又按个	7日吊町又抜によ	い、住み頂れた地域の中で女心して	生活してもりりだめ)。			その他	0	0	0	0	0	D 運営主体の見直し
温にしたい	-73.)								受	益者負担額	0	0	0	0	0	E 事業の廃止の検討
				目的				成果			事業費	(単位:千円)			評価	
事業を構	成する	対象		手段	意図 事務事業	業の	H25実	 積		H25予算	算 H25決	算		評価		

			目的				成果				事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
	日常生活用具給付	・満65歳以上の 寝たきりの人 ・満65歳以上の	電磁調理器、火災報知機、自動遊水場である。	日常生活の安全と利便	利田老粉		0			86	0	電磁調理器購入費	В	市民に対する周知方法の検討を行い、
(事業	ひとり暮らしの 人 ・満75歳以上の	期代が留を合1回に限り助成		2人	利用者数		人	予算額による算定			助成 62千円	維持	利用率の向上を図る。
		みの世帯	(所得制限あり)				1			41			維持	
(
-														
(
(

I			事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
		1	다 ઋ	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を 図る。			
	事務事 業の改 善内容				H27以降新 規に実施す る事務事業		
	- Pri				の手切手木		
I							

				TC / \ 1 . 1		•													
事業番号	71	事業の名称	地域支援	事業(介護予	予防事業)				担当部署		部 福祉部		課 長寿課						
基本方針 (3)人がい	きいきとつながる	うまち	分野別項目	(8)高齢者の安心が	な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(1)介護予防(の充実		フラック	ブ 			フラッグ項目				
事業の概图	₹ [いる。				なることなく元気でいき う、認知の5項目に関連 愛知たいようの杜に委		ることができる 業を実施して	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	近隊	幸市町において	でも、介護保隆	食法に基づき介	*護予防事業	を実施している	, , ,			
事業期間		事業開始年	F度	平成18	3年度	終了(予定)年度		_			総事業費	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算			
事業の対象		市内在住で要介記	雑認 定を受	けていたい65歳	ELI FOL					<u>í</u>)	単位:千円)	16,078	15,227	18,699	17,849	19,321		評価の身	
(だれ、何に対	して)	77711111111111111111111111111111111111	及応にと文「) (V / L V 00 //)X	(NT.0)/						一般財源	10,311	9,458	11,979	11,407	12,371		現行どお	
事業の意図	হা								総事業費	う	国費·県費	5,767	5,769	6,720	6,442	6,950	В		
		要支援・要介護状	と能に かるこ	レを防ぐ						ち	地方債	0	0	0	0	0	С	他事業	
態にしたいが		文人版 女儿殴小	い話でようこ	- C 197 (o							その他	0	0	0	0	0		運営主体	
)E(10720)	,									受	益者負担額	693	728	773	824	781	E	事業の廃.	止の検討
				目的					成果			事業費	(単位:千円)			評価			

			目的				成果				事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	ᆂᄺᄺ	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
					12教室を延 べ331回実 施	当該年度末の高	1.6			16,078	15,227		В	
1	介護予防事業	市内在住の 65歳以上の 人	を利用して、運動や口腔、栄養、うつ・閉じこもり、認知の5項	要支援・要介護状態 になることを防ぐ	木八多石		1.6	0/	国で掲げられている 目標値	18,699	17,849	介護予防一次予防 事業:8,195千円 介護予防二次予防 事業:9,654千円	向上	目標値には達していないため事業についてさらに周知を図り、参加者の増加を 目指す。
			目に着目した教室を実施することで		134人)、延 ベ人数 4,839人] 例事来/] 《石	5.0			19,321			増加	
2														
3														
4														

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	① 介護予防事業	より多くの方に参加していただけるよう、事業を運営委託している地域包括支援センターと周知方法等話し合う。			
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
普內谷			る事務争未		

事業番号	72	事業の名称施	設の利用予約及び	がその管理業務			担当部署		部 福祉部		課 長寿課				
基本方針	(3)人がし	いきいきとつながるまち	5 分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(3)生きがい	づくり		フラック	ブ			フラッグ項目		
事業の机	既要	福祉の家で実施してい	いる、住民を対象とし	とサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行	浴室、窓口での受	受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	施設の)運営管理業	美務は、全国の	の公共施設に	こおいて一般的	りに行われてい	る。	
事業期		事業開始年度	平成	14年度 終了(予定)年度		_			事業費	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対		市民							位:千円)	0	0	0	0	0	の見方
(だれ、何に	対して)						<i>₩</i> #		一般財源	0	0	0	0	0	記行どおり実施
事業の意	美図						総事業費	j [国費・県費	0	0	0	0	0	事業の改善
		福祉の向上並びに健	は康の維持及び増進を	図る。				5 -	地方債	0	0	0	0	0	也事業と統合
態にしたし	,\か)							≖米	その他	2057	2600	0	0	2000	営主体の見直し
								又益	者負担額	3957	3609	3757	3443	3609	業の廃止の検討

			目的				成果	ļ			事業費(単位	な:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
			 		なな 利田 上粉	目給ロルヤイフ	47.7 50.0		田砕いすり利田李弉	0	0		Α	平成25年度より、社会福祉法人に施設 の利用及び管理業務を委託しており、
1	貸室(工房1)	市民	貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る		開館日に対する 利用日数の割合		%	開館以来の利用率推 移を参考として	0		_	維持	現行どおりに実施していく。 利用率向上が見られるが、更なる向上
			g E E NA NO COSSEC C				45.0			0			維持	のための取組を行う。
			 				5.6			0	0		Α	平成25年度より、社会福祉法人に施設
2	貸室(工房2)	市民		福祉の向上を図る		開館日に対する 利用日数の割合	10.8	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	_	維持	の利用及び管理業務を委託しており、 現行どおりに実施していく。
			貸室を利用してもらうことで		160)	利用日数の計日	10.0		夕を参与として	0			推行 維持	利用率向上が見られるが、更なる向上 のための取組を行う。
							19.3			0	0		Α	平成25年度より、社会福祉法人に施設
3	貸室(ITルーム)	市民				開館日に対する 利用日数の割合	18.0	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	_	維持	の利用及び管理業務を委託しており、 現行どおりに実施していく。
			貸室を利用してもらうことで		031)(小リ/ I i	15.0		かてかっていく	0			維持	利用率向上が見られるが、更なる向上 のための取組を行う。
							66.3			0	0		Α	平成25年度より、社会福祉法人に施設
4	会議室	市民		福祉の向上を図る		開館日に対する 利用日数の割合	63.0		開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	_	向上	の利用及び管理業務を委託しており、 現行どおりに実施していく。
			貸室を利用してもらうことで		_,,,,,,,	1.041.3V . H1D	60.0		,, 25 (20 (0			維持	利用率低下が見られるため、向上のための取組を行う。

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

事業番号	72	事業の名称施	設の利用予約及び	がその管理業務			担当部署		部 福祉部		課 長寿課				
基本方針	(3)人がし	いきいきとつながるまち	5 分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える	施策の進め方	(3)生きがい	づくり		フラック	ブ			フラッグ項目		
事業の机	既要	福祉の家で実施してい	いる、住民を対象とし	とサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行	浴室、窓口での受	受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	施設の)運営管理業	美務は、全国の	の公共施設に	こおいて一般的	りに行われてい	る。	
事業期		事業開始年度	平成	14年度 終了(予定)年度		_			事業費	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対		市民							位:千円)	0	0	0	0	0	の見方
(だれ、何に	対して)						<i>₩</i> #		一般財源	0	0	0	0	0	記行どおり実施
事業の意	美図						総事業費	j [国費・県費	0	0	0	0	0	事業の改善
		福祉の向上並びに健	は康の維持及び増進を	図る。				5 -	地方債	0	0	0	0	0	也事業と統合
態にしたし	,\か)							≖米	その他	2057	2600	0	0	2000	営主体の見直し
								又益	者負担額	3957	3609	3757	3443	3609	業の廃止の検討

			目的				成果				事業費(単位	ī:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
			 		延利田 人粉	開館日に対する	91.5 91.5		開館以来の利用率推	0	0		Α	平成25年度より、社会福祉法人に施設 の利用及び管理業務を委託しており、
5	集会室	市民	貸室を利用してもらうことで			利用日数の割合			開	0		_	維持 維持	現行どおりに実施していく。 利用率の更なる向上のための取組を行う。
			 				85.3			0	0		Α	平成25年度より、社会福祉法人に施設 の利用及び管理業務を委託しており、
6	機能回復訓練室	市民	貸室を利用してもらうことで	福祉の向上を図る		開館日に対する利用日数の割合	86.6	%	開館以来の利用率推移を参考として	0		-	維持 維持	現行どおりに実施していく。 利用率向上が見られるが、更なる向上 のための取組を行う。
			 	垣如の点 L 並びに <i>は</i>			9,389			0	0			利用受付及び利用料金徴収について は、業務委託しており、現行どおりに実
7	歩行浴室	市民	貸室を利用してもらうことで	福祉の向上並びに健 康の維持及び増進を 図る	延利用人数 9,092人	年間の延利用者 数 	9,092	人	開館以来の利用率推移を参考として	0		-	向上 維持	施していく。 利用者数が低下しているため、増加に 向け周知を進める。
			<u> </u>	I-11 - 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			7,318			0	0		A	利用受付及び利用料金徴収について
8	福祉浴室	市民	歩行浴室を利用してもらうこと で	福祉の向上並びに健 康の維持及び増進を 図る	延利用人数 6,798人	年間の延利用者 数	6,798 6,255		開館以来の利用率推 移を参考として	0		_	向上	は、業務委託しており、現行どおりに実施していく。 利用者数が低下しているため、増加に向け周知を進める。
							0,200			0			維持	1. 3177/24706 GVC457 000

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	7	歩行浴室	より多くの方に利用していただけるよう、周知方法等を検討する。			
事務事業のご	事 欠			H27以降新 規に実施す る事務事業		
告P34	3			の事物事本		

事第	養番号	73	事業の名	称る	交通児童遊園	國管理運営事	事業				担当	台部署		部 福祉部	子	課 育て支援課		
基本	本方針	(3)人がい	きいきとつな	がるま	まち 分野	予別項目 (9)5	安心して子育てができる環	境をつくる 施	5 策の進め方 (3)リ	見童健全育	成事業 <i>σ</i>)充実		フラッグ	•		フラッグコ	頁目
	事業の概	X 女	の開発に寄与 施設内の遊	iするご !具等!! !己防?	ことを目的とする こよる児童への 衛能力を備える	。 。 健全な遊び場	、情操を豊かにするとと の提供と、交通トレーニ 終了(予	ングコースを		文の配列	(近隣市町 市の状況:	丁や先進都	「児童飢 春日井市	i交通児童遊官」「交通トレー 業費 H:	園 -ニングコーフ	広場」を設置、自転車の は」を設置、子どもの健全 25決算 H26予算 2,787 3,853	全育成と交 H26決	通ルールを学ぶための施設算 H27予算
	事業の対	象			<u>┣</u>			<i>上)</i> 十尺		\dashv			<u> </u>	般財源	2,939	2,787 3,853 2,787 3,853		818 3,295 A 現行どおり実施
(対象	れ、何に 事業の意 象をどの。 態にしたい	対してが					- 習など能力の開発ができ	さる環境をつく	くる。		総事	¥ 費	ち 地	reduction	0 0	0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討
						目的									事業費(単位	5:千円)		評価
	事業を構 事務		対象 (だれ、何 対して	可に 🗀	手፤ (いつ、どのような 4月~ 7月~	(手段を使って)	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標		成果指標の 設定の相		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	<u>評価</u> 事業規模 事業費	評価の説明
1	交通児童 事業	遊園運営	1年、小子	生 生 したコ	安全な遊び場の コースを使ったな 後を行うことで	提供、交通を通安全の啓	児童の交通安全の知 識の向上及び自転車 の練習など能力の開 発ができる環境をつく る。	施設利用者数	施設利用者数	15,6 16,2	294 人	これまでの推 D目標値	移から	1,700 1,902 1,986	1,671	臨時職員賃金1,684	維持	交通安全の啓発等に施設を有効活用 するため、安心安全課や学校等と連携 した事業を検討する必要がある。
2	交通児童 事業	遊園管理	更 交通児童 園	E	日常点検、施設をすることで	管理業務を実	施設を安全かつ快適に利用してもらう。	自転車点検 年1回、遊具 非破壊検査 年2回、保守 点検年10回 等	施設維持管理上 の重大な不具合		0 件 5	重大な不具合 ぶないことを	うの発生 目標	1,239 1,951 1,309	1,116 2,134	トイレ改修工事864、	維持	現行どおり実施していく。 老朽化等による不具合箇所等について は、早期対応によって補修費の削減に 努める。
3				_		<u> </u>												
4																		
		事務	事業			改善	内容(H27以降に実施す	する内容)				事	務事業			事	業概要	
事務業の善内	事 改		遊園運営		安全の啓発等にがある。		用するため、安心安全		と連携した事業を検		H27以降 規に実施 る事務事	新す						

				及八丁山		<u>• </u>													
事業番号	74	事業の名称	ファミリー	ーサポートセン	ター事業				担当部署		部 福祉部		課 子育て支援詞	課					
基本方針 (3)人がい	いきいきとつながん	るまち	分野別項目	(9)安心して子育	育てができる環境をつくる	施策の進め方	(2)子育て支	援の充実		フラック	グ F2「あんしん」~§	助けがなかったら生きていけ	ない人は全力で守る~	フラッグ項目	(30)家庭児童	相談写	≧の設置	
事業の概要	要	ができる環境を一地域において	つくることを目で 育児の援助を で相互援助活	目的とする。 」を行いたい者(援 舌動の橋渡しを行う	爰助会員)と援助	イどもを預けてリフレッシ かを受けたい者(依頼会 会員向けのフォローアッ	会員)の会員登録	を行い、保育	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	近瀬尾日豊東	ロ県54市町村 東市町状 東市町状 東市町 直 東市市市 委直直 東京で 東京で 東京で 東京で 東京で 東京で 東京で 東京で		町村で47か所 H25決算	設置(直営36 H26予算	86か所 委託9½ 番	か所 補助2か原 H27 予算	所)		
事業期間		事業開始	a 年度	平成17	/年度	終了(予定)年度		_	•		単位:千円)	3,897	2,982	3,788	3,599			平価の見	方
事業の対象		小学生までの子	ムどもを育て、	ている家庭の保護	<u></u> 進去				1		一般財源	1,958	1,492	1,784		1,295		現行どおり	
(だれ、何に対	して)	1. 丁工なくい 1	COSHC		: H				総事業費	1 : F	国費•県費	1,939	1,490	2,004	2,396	2,582	В		
事業の意図		1								ち	地方債	0	0	0]	0]	0		他事業と	
		仕事と育児を両す	立し、安心し	して子育てができる	る環境をつくる						その他	0	0	0]	<u>0</u> J	0		運営主体の	
態にしたいた	か)									受	益者負担額	0	0	0	0	0	E	事業の廃止	の検討
				目的					成果				(単位:千円)			評価			
事業を構成		対象	A = 7	手段	一	意図 事務事業	業の	H25実	€績 ┃ ☆┃ ☆mゃ墲の	\ D +#	_{6/±} H25予	算 ┃ H25決算	算 1,1000 # 2	· ↑ + \ + =	評価				

			目的				成果	ţ			事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	Z:十円) H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明
		フ玄ナのゼ		仕事]。 本旧か正立]	依頼件数		100.0		事業の目的を達成す	3,897	2,982	アドバイザー賃金	Α	現行どおり実施していく。 目標を達成し、依頼件数は平成25年度
1	ファミリーサポートセ ンター事業	子育ての援 助を受けた い人	活動依頼に対する援助を行うことで	仕事と育児を両立し、 安心して子育てがで きる。	2,727件 活動件数 2,727件	活動件数/依頼 件数	100.0	%	るためには、依頼件 数を援助活動につな げることが必要なため	3,788	3,599	2,869、託児報償金 55、印刷製本費104、 損害保険料298	維持	より、約700件増加した。平成26年度に 実施した会員向けアンケートでは、援助 に満足したと答えた方が全体の96.9%
					2,12111		100.0		() 'acca'' 'a'安'なにw)	3,877		頂日外候刊200		と高かった。
2														
3														
								<u> </u>						
4)													
														

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	1	ファミリーサポートセ ンター事業	平成27年4月から乳幼児健診等、母子保健事業においてチラシを配布し、事業の周知を図っている。			
事務事 業の改 善内容				H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容				る事務事業		

				247 1 1 1	3 - 7 1 I I I I	1 1												
事業番号	75	事業の名称	子育て支	で援センター事	業				担当部署		部 福祉部		課 子育て支援	課				
基本方針 (3)人がいる	きいきとつながる	まち	分野別項目	(9)安心して子	育てができる環境をつくる	施策の進め方	(2)子育て支	援の充実		フラック	ブ F2「あんしん」~	助けがなかったら生きてい	けない人は全力で守る~	フラッグ項目	(30)家庭児童	植談室	の設置
事業の概		子育て親子の交流 2関する講習会等		供、子育て等に	関する相談・扬	髪助の実施、地域の子 育	育て関連情報の扱	是供、子育て	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	•瀬戸 •尾張 •日進	市1か所設置旭市5か所記	设置(直営2カ	·所、委託3か原 f、委託1か所。 H25決算	所) 、指定管理1½ H26予算	沙所) H26決算	H27予算 【		
事業期間]	事業開始年	度	平成20	年度	終了(予定)年度		_			位:千円)	2,399	2,364	2,839		2,883		呼価の見方
事業の対象		方内の子ども及び	子育で中の	の保護者						_	一般財源	1,324	1,228	1,346	1,056	1,139		現行どおり実施
(だれ、何に対	(C)	11110712020	1 12 6 1 4	シアト設 口					総事業費	• [国費・県費	1,075	1,136	1,493	1,656	1,744	В	
	うな状 ∃	子ども達が健やか	に育ち、幸	きせになれる。ま	た、子育て中の	つ保護者が、虐待をしな	ev.			5	地方債	0	0	0	0	0		運営主体の見直し
態にしたい	(10)									党益	者負担額	Ü	0	0	0	0	LE	事業の廃止の検討
				目的					成果			事業費	(単付:千円)			評価		

			目的				成果				事業費(単位	t:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		市内の子ど		子育で中の保護者	1 か <u>ト</u> サ 业/.	市内の子ども及	21,825		***********	484	464 799	消耗品費167、印刷	В	目標値は達成していないが、平成25年
	① 子育て支援センター	大中の休暖	子育て支援センターを運営し、 子育て親子の交流の場の提供 と交流の促進をすることで	が、安心して子育て	入館者数 22,062人	び子育て中の保護者の来館者数	22,062	人	前年度実績からの増加 一	904		製本費314、損害保 険料97、清掃委託82	維持	度より入館者数が約200人増加したため、現行を維持し、目標達成を目指す。
							20,000	Щ		310			維持	
		市内の子ど		1 C O G H C D WIN /	(参加者数) リズム遊び2,032人、		2,996			130	115		В	目標は達成していないが、約3,000人の 方が事業に参加した。今後も継続して
	育児講座	も及び子育 て中の保護		ことで、楽しく子育て		事業の参加人数	2,822		事業の定員数等から の数値	150	128	講座講師報償費 100, 託児報償費28	維持	事業を実施することで、子育ての知識 の普及を図り、楽しく子育てすることを
		者	や講習会等を実施することで	をする。	ちゃんと遊ぼう118人		3,000			150			維持	支援する。
		市内の子ど	<u> </u>	子育て中の親等が、	In the sec to No.		255			1,785	1,785		В	目標は達成していないが、平成25年度
		も及び子育	電話・来所・家庭訪問による相	で、育児の不安感、	相談延件数(DV相談含		252	人	家庭児童相談室の設置に伴う相談件数の	1,785	1,785	嘱託員報酬1,785	維持	と相談件数は、ほぼ同数であった。相 談内容が多岐にわたるため、相談員の
			談を受けることで	負担感を軽減でき る。	む)252人		300		増加	1,785			維持	- 充実を図る必要がある。
(4	1)													<u>J</u>

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	1)	丁月 (又1反じング)				
業の改		育児講座	平成27年度からリズム遊びの実施場所を西庁舎から各児童館へ変更し、参加者にとって身近な地域で実施することとした。	H27以降新 規に実施す		
善内容			平成27年度から家庭相談員に社会福祉士を雇用し、相談員の充実を図った。	る事務事業		

			_			アンナリ	(۱۱۱۲)	计叫示												
事	業番号	76	事業	の名称	要保護	児童対策事	業					担当	当部署		部 福祉部	子	課 育て支援課			
基	本方針	(3)人がし	いきいき	きとつながる	まち	分野別項目	(9)	安心して子育てができる環境	境をつくる	拖策の進め方	(2)子育て支	援の充実			フラッグ	F2「あんしん」~助けがな	かったら生きていけない人は全力で守る~	フラッグ項目	(30)家庭児童相談室	の設置
	事業の概	花安	支援を	行う。		、要保護児童	の適切な	ᢏ保護、要支援児童、特)家庭訪問、面	接など適切な	(近隣市) 市の状況	D実施状況 町や先進都 等を具体的 記載)	·豊明市 ·東郷町 総事	市 業費 H	待に係る通告 " " " " 25 予 算 H2	件数 29件 7件 60件 43件 16件 15決算 H26予算	H26決算	H27予算	
	事業期			事業開始年	₽度		不明	終了(予	定)年度		_	1		(単位:	千円)	3,021	2,886 3,612	3,432		価の見方
	事業の対 れ、何に		要保護	護児童、要支	援児童、	特定妊婦						総马	事業費	う国	般財源 貴·県費	2,983 38	2,867 3,583 19 33	3,402		現行どおり実施 事業の改善
(対	事業の意 象をどの とにしたし	ような状	要保護	護児童等が(R護者等	からの虐待から	解放さ	れ、安全で、心身ともに	健やかな状	態とする。					た方債 の他 負担額	0 0 0	0 0) (0 D	他事業と統合 運営主体の見直し 事業の廃止の検討
						目的						成果				事業費(単位	江:千円)		評価	
	事業を標 事務					手段 ぎのような手段を 7月~ 10月~		意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の実施結果	成果指標	H25実	積 積 位	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	1:〒円) H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明	
	要保護児業	己童対策	事通者	i l	児童相談	音等があった際 炎室の相談員が 行うための措置 こよって	、安全	要保護児童等の安全確保を図る。	児童虐待に 係る通告件 数16件のう ち、全件に 対応。	: 通告件数に る対応割合る 果指標とする	対す を成 る。	00.0 %	通告があった 見童相談所 針によって、 以内の対応 れていること む割合を根	運営指 48時間 が求めら から、対	3,021 3,612 2,598	2,886	一般事務員嘱託員報酬2,124、一般事務 質金914、要保護児 童対策地域協議会 委員報償金300、消 耗品費41	A	行どおり実施していく。	
2																				
3																				
4																				
		車扱	事業				改美	内容(H27以降に実施す	ナス内突)					務事業				業概要		
事 <i>務</i> 業の 善内	事)改]容	争侪	7 争来				以晋	ry 合 (П2/以降 (一夫他 9	g 句内谷) -			H27以降 規に実施 る事務事		#伤争果				未似安		

				247 4 3 11-1	1-XII IM/X												
事業番号	77	事業の名称	放課後児	且童クラブ事業	4				担当部署		部 福祉部		課 子育て支援	課			
基本方針	(3)人がし	いきいきとつながる	まち	分野別項目	(9)安心して子育てがで	きる環境をつくる	施策の進め方	(3)児童健全	育成事業の充実		フラック	グ			フラッグ項目		
事業の概	要		長久手南、	下山、長久手、	る家庭の児童を保護 上郷、市が洞、西) 久手北、市が洞)	者に替わって預	かる。		他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	日進瀬戸	/ I =	3 (-1-))/ - ++-	箇所)、学童クラ 所)、学童保育) 所)、せとっこ・	(») - ++	-\	H27予算	
事業期	間	事業開始年	F度	平成10	年度 終	(予定)年度					単位:千円)	47,735	42,448		44,806	62,629	評価の見方
事業の対					生から6年生までの児						一般財源	13,868	6,621	37,916	5,911	24,131	A 現行どおり実施
(だれ、何に		学童保育所 市内	りに住所を有	すする小学校1年	E生から6年生までのり	児童			総事業費		国費・県費	21,703	23,128	0	25,073	25,074	B 事業の改善
事業の意			I							5	地方債	0	0	0	0	0	C 他事業と統合
		入所要件を満たす	「児童をすべ	べて受け入れる。							その他	0	0	0	0	0	D 運営主体の見直し
態にしたし	(יתי									党	益者負担額	12,164	12,699	12,164	13,822	13424	事業の廃止の検討
		_					-		+ =		_	± # # #	/兴八 イロ)			===	-

_							\ <u> </u>							
			目的				成果				事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費] 評価の説明
		市内に住所を有する小		入所要件を満たす児	入所児童数		94.5			29,403	25,508		В	入所希望者の増加により、平成26年4 月1日現在、31人の待機者が発生した。
(児童クラブ運営事業	学校1年生 から3年生ま	児童クラブを運営し、児童を受け入れることで、	入所要件を満たす児 童をすべて受け入れ る。	225人、待機 31人	入所児童数/甲 込者数	88	%	待機児童ゼロが目標	31,206	26,540	1,212、損害保険料	維持	放課後児童クラブのニーズは今後も高いと想定されるため、定員の見直しを図
		での児童	n) Albace C.				100			37,744		1,140	維持	ే ం.
		市内に住所	<u> </u>				100			18,332	16,940		Α	
	児童クラブ事業委託 (学童保育所)	を有する小 学校1年生 から6年生ま	 児童クラブ(学童保育所)を運営し、児童を受け入れること	入所要件を満たす児 童をすべて受け入れ る。	入所児重数 186人、待機 0人	入所児童数/申 込者数	100	%	待機児童ゼロが目標」	18,874	18,266	児童クラブ事業委託 18,266	維持	現行どおり実施していく。引き続き、待機児童が発生しないよう、定員の見直し等を図りつつ、事業を実施する。
		での児童	で、	0			100			24,885			維持	TED TO THE PROPERTY SO
														<u> </u>
(4									ſ		-			<u> </u>
														-

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	1)	児童クラブ運営事業	児童クラブ入所希望者増加のため、定員を改正し実施する。 (南40人→50人、下山50人→59人、長久手52人→71人、市が洞64人→70人)		児童クラブ運営事業	平成27年3月に策定した、「長久手市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、放課後の子どもの居場所づくりに努める。
事務事業の改				規に実施す	児童クラブ運営事業	国によって示された「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化に努める。
善内容				る事務事業		

				247 1 1 1	3 - 7 1 I I I I													
事業番号	78	事業の名称	児童館遺	重営事業					担当部署		部 福祉部		課 子育て支援	課				
基本方針	(3)人がい	いきいきとつながる	まち	分野別項目	(9)安心して子	育てができる環境をつくる	施策の進め方	(3)児童健全	育成事業の充実		フラック	ブ			フラッグ項目			
事業の概	要	ることを目的とする) _o			豊かにするとともに、異年 西児童館、長久手南児:		を流の場とす	(近隣市町や先進都 市の状況等を具体的	日進東郷	利用 9箇所 児童館 作 6箇所(す の所 6箇所(1 総事業費	こどもまつりに でて複合施	は、みらい子育 設)	てネットの協力 H26予算	カにより各児童 H26決算	賃館で実施 H27予算 ┃		
事業期	間	事業開始年	F度	昭和49)年度	終了(予定)年度	-	_			単位:千円)	42,350	41,127	56,111	54,774	57,079	三評	平価の見方
事業の対		乳幼児及びその例	R護者、小:	学生を中心とした	た児童				総事業費	j	一般財源 国費・県費	42,350 0	41,127 0	56,111 0	54,774 0	57,079 0	A B	現行どおり実施 事業の改善
事業の意 (対象をどの。 態にしたい	ような状	児童の発達を増進	進し、地域信	主民、自治会、子	とども会などと込	連携した活動を進め、活	5性化を図る。			ち	地方債 その他 益者負担額	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0	D	
												± 44; ± ±	/ ¥			===		

			目的				成果				事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	- 1 + 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 /	評価 事業規模 事業費	評価の説明
			<u> </u>		床面・トイレ清 掃年12回等、 西・上郷児童	施設維持管理上	0			40,945	40,461	児童館清掃委託 3,343、消防設備保守	Α	現行どおり実施していく。地域住民、自
1	別 児童館施設管理事 業	児童館	施設管理業務を実施すること	施設を安全かつ快適 に利用してもらう。	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の重大な不具合件数	0	件	重大な不具合の発生 がないことを目標	54,989	54,007	271、非常通報装置 保守194、除草委託	維持	治会、子ども会と連携を深め、地域に根ざした活動を進める。
			で		少年児童セン ター自動扉保 守	11 30	0			55,958		323、警備委託130、 指定管理料12,342	維持	C U/C1日第7と2000
		乳幼児及び		旧本始が原材のフ本	料理教室年		69,374			569	235		В	入館者数の実績は増えており、今後も
2	 児童館活動事業	その保護 者、小学生	児童厚生員により、料理教室	児童館が地域の子育 ての拠点となり、発達 の増進を図る。	9回、人形劇 公演年90人 参加、お楽	入館者数	70,069	人	これまでの推移から	453	168	人形劇団等公演委 託100	維持	地域に身近な事業を実施することで、 児童館を地域における子育て支援の拠
		を中心とした 児童	年9回、人形劇公演年1回、お 楽しみ遠足年1回を実施するこ とで	の増進を凶る。	参加、お祭 しみ遠足36 人参加		69,500		予想される数値	471		計100		点とするとともに子どもの健全育成の場
					八参加		Ĺ	Щ					維持	1
		乳幼児及び			スタッフ会議		1,493			836	431		В	ボランティアスタッフの参加人数や児童
3	児童館まつり実施事業	その保護者、小学生	こどもスタッフ会議を実施(5 回)	子どものボランティア の育成・援助を図る。	6回開催、こ	児童館まつり参加者数	1,499	人	これまでの推移から 予想される数値	669	539	児童館まつりイベント 委託245	維持	館まつりへの参加者数も増えている。今後も地域住民が企画運営に関わること
		を中心とした 児童	し、児童館まつりを実施することで		数63人		1,500			650			維持	で、児童館の良さを身近に感じてもらう よう努める。
													_	
4														4
														-

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
		汽里 路伯男尹未	学校や保育園等、子育て関連施設への情報提供を拡充し、地域住民の事業参加の促進に努める。			
事務事業の改	3	児童館まつり実施事 業	近隣大学との学校連携(地域資源の活用)を進めたり、こどもスタッフの活動事例を紹介する(地域活動に頑張る子どものやりがい作り)ことにより、地域住民の企画運営への参加促進に努める。	H27以降新 規に実施す		
善内容				る事務事業		

事第	美番号	79	事業	業の名称	出産祝会	金支給事業		CHI IMPORT				担	当部署		部 福祉部	子	課 育て支援課			
基本	本方針	(3)人がし	いきい	きとつながる	るまち	分野別項	[目 (9)3	安心して子育てができる環	境をつくるが	施策の進め方 (2)-	子育て支持	爰の充実			フラッグ		•	フラッグエ	項目	
	事業の		•第3-	子以降の出 は26年1月1	産に対し、 日生まれり	1子あたり20 人降は、10万	0万円の初 7円に改正					(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 3等を具体的 記載)	南知多时,一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	1人につき10 第2子に5万 第3子以降に 第3子以降に 業費 H	生児1人につ 万円を支給 円、第3子に1 20万円を支約 15万円を支約	き10万円を支給 0万円、第4子以降に 合(平成26年3月31日 合(平成27年3月31日 2 5決算 H26予算	で廃止) で廃止予 H26決	定) 算 H27予算 	
	事業期 事業の		## n =	事業開始な			成19年度	終了(予	定)年度	平成27年	.度				· 千円) · 般財源	10,000 10,000	15,300 9,000 15,300 9,000		,000 6,500 ,000 6,500	評価の見方 A 現行どおり実施
(対象	事業の意	ような状		・以降の児童 ・の誕生を初		C体護名 	000					総	事業費	ち	費・県費 地方債 その他	0 0	0 0 0 0)	0 0 0 0	B事業の改善C他事業と統合D運営主体の見直し
怠	気にした	いか)												受益者	負担額	0	0 0)	0 0	E 事業の廃止の検討
	± ** + 1	#		11 <i>5</i> 2		目的)	Ż 🖼	本办 古业 6			成果			LIOF マ ケ	事業費(単位		= = =/ ==	評価	
		構成する 事業	(対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段 月~ 10月~		意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実統 H26実統 H26目標		成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価	の説明
1	出産祝会	金支給事	лк ()	第3子以降 の児童を出 生した保護 者	出産祝金	を支給する	ことで	子どもの誕生を祝い、子育てを支援する。	支給対象児 童数64人	¹ 支給対象児童数		80 64 人 85	これまでの打 予想されるが	能移から 数値	9,000	7,000	出産祝金7,000	縮小	月1日以降生まれた て継続している。 また、木のおもちゃ	反映し、平成26年1 いら、支給額を減額し 等配布事業開始に 11日をもって事業を った。
2																				
3																				
4																				
		事務	事業				老伤	内容(H27以降に実施す	する内容)				<u> </u>	事務事業				業概要		
事務の共	· 事 ·改	出産祝会		事業	りおもちゃ等 3 生まで対1	等配布事業[象)		ハ谷(ロ27以降に実施) い、平成28年1月1日を		廃止とする(平成27		H27以降 規に実施 る事務事	新	- 177 中未			-	水似女		

			247 1 1	1 7 7 7 M 1 1 1 1 7 7 7 1												
事業番号	80	事業の名称 保育園 /	入所等事業				担当部署		部 福祉部		課 子育て支援	受課				
基本方針(3)人がし	いきいきとつながるまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる環境をつくる	施策の進め方	(1)保育の充乳	美		フラック) F2「あんしん」~	助けがなかったら生きてい	いけない人は全力で守る~	フラッグ項目	(27)保育園の新設・3	女修、(28)家	庭的保育事業の実施
事業の概	·要	保護者の就労や疾病などに	より、日中養育で	できない児童を保護者に代わり保育す	ప .			瀬尾田東郷	長旭市・・・①公 進市・・・・①公 郷町・・・・・①公	営13園、公常 営9園、公営 営9園、公営	営以外11園、 以外6園、合詞 以外2園、合詞	合計24園。 ② 計15園。 ② 計11園。 ②	年4月1日時点 ②待機児童3名 待機児童8名 待機児童0名 待機児童9名	③家庭保 ③家庭保育 ③家庭保育	育室制原 育室制度 育室制度	度は未実施。 をは未実施。 をは未実施。
事業期間	目	事業開始年度	昭和4	3年度 終了(予定)年度	-	_			総事業費 単位:千円)	H25 予算 1,281,861	H25決算 1,297,572	H26 予算 1,230,113	H26決算 3 1,206,315	H27予算 1,348,979	Ē	平価の見方
事業の対(だれ、何に対	象	保護者の就労や疾病などに	より、日中養育で	できない児童		総事業費	う	一般財源 国費·県費	1,247,263 34,598	1,216,700 80,872	1,144,530 85,583	1,049,159 157,156	1,137,165 211,814	Α	現行どおり実施 事業の改善	
事業の意 (対象をどのよ 態にしたい	らな状	入所要件を満たす児童を全	て保育園に受け	入れ、児童の健全な育成に努める。				ち受	地方債 その他 益者負担額	242,673	0 0 241,300	0 0 306,663	0 0 0 3 303,800	0 0 303,813	C	他事業と統合 運営主体の見直し 事業の廃止の検討
		•					₽			± * #	/兴八 子田〉	<u> </u>		= 2/ ft	_	

			目的				成果	;			事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		保護者の就 労や疾病な		入所要件を満たす児	入所児童数		96.2			1,263,071	1,279,335	嘱託員報酬	В	平成26年4月から公設民営による市が
1	保育園運営事務	どにより、日 中養育でき	保育園を運営し、対象児童を	童を全て保育園に受け入れ、児童の健全な育成に努める。	1,173人、待 機児童数12 人	入所児童数/申 込者数	98.9	%	待機児童ゼロが目標	1,211,275	1,189,245	101,754千円 民間保育事業費 179,426千円		洞保育園の開園及び民設民営の2園 (アイン・アート)を開園し、待機児童の 解消を図った。
		ない児童	文の人はることで、	78 H M(C 77 W) 30	Д		100			1,326,661		113,120]	増加	万十17 と 囚 フ/こ 。
			→定員に達するまで随時	待機している児童に			10			18,790	18,217	家庭保育室運営委	Α	待機児童の年齢層が0から2歳児クラス
2	家庭保育室制度運営事業	待機児童	市が指定する保有が足員内において、保護者に代わって保	保育を実施し、待機 児童の減少を目指 オ	全10人の利 用	家庭保育室入所 者数	10	人	家庭保育室定員数	18,838	17,070	永庭休育主達古安 託 17,070千円	維持	までのため、家庭的保育事業を維持し、実施する。
			育を随時受け付けることで	9 0			10			22,318			維持	
3)													
4)							1	 					

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	1	公立保育園改築事 業	老朽化している公立保育園の改修を順次行い、定員の拡充を図る。			平成27年4月から民設民営保育園(コロポックル長久手保育園)を認可し、待機児童の解消を図る。
事務事業の改				H27以降新 規に実施す		
善内容				る事務事業		

事	業番	号	81	事業	の名称	私立保		所助成金事					担	当部署		部 福祉部	7	で			
砉	本方針) (3	3)人がい	きいき	とつなが	るまち	分野兒	別項目 (9)5	安心して子育てができる環	境をつくる 施	策の進め方(1)保育の充	実			フラッグ		なかったら生きていけない人は全力で守る~	フラッグ項	[目 (29)認可外	保育施設への補助
	事業	の概	要 :	認可外 所得!	·保育所へ こ応じて通	へ通所する。 通所助成金	児童の保 を支給		い児童が、認可外保育 経減と児童福祉の向上 0円			ースが多く、	(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進 記等を具体 記載)	都 近 隣市		事業は実施して H25 予算 F	いない。 25決算 H26予算	H26決算	· 1 H27予算	
		美期間			事業開始	ì年度		平成13年度	終了(予	定)年度	_		1		(単1	立:千円)	2,222	1,719 1,778			評価の見方
(+	事業 ごれ、何			認可外	保育所に	こ通所してい	いる児童で	で、長久手市に	に居住している者を保	護する者(以下	「保護者」という	5。)	4//>	事業費		一般財源 国費•県費	2,222	1,719 1,778	1,9	919 1,376	A現行どおり実施B事業の改善
	事業	の意 で のよ	図 うな状 ii	認可外	保護施設	とへ通う児!	童の保護者	者負担の軽減	えを行う。					尹 未貝	5	地方債 その他 者負担額	0 0	0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0	日 事業の成告
				_				目的					成果				事業費(単位	立:千円)		評価	
		を構成 務事	或する 「業		対象 どれ、何に 対して)		手段 どのようなヨ		意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目	積 積 積 位	成果指標 設定(の目標値 の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算		評価 事業規模 事業費		あ の説明
1	私立位成金	保育 <u>原</u> 事務	所通所助	^J 保	護者		請を受理、	審査し助成	保護者の負担を軽減させる。	助成事業申 請者数45人	私立保育所通 助成利用者申 者数	所	57 45 人	H26.4から 園、民設月 園すること は減少する れるため。	R営2園開 で、申請す	2,22 1,77	78 1,919		B 維持	助成金額は減少し 解消は達成してい 立保育所通所助所 数を占める階層を	党26年度は3園開園しているが、待機児童いない。そのため、私成金補助対象者の多党め、助成金額が保ま的に見合うか、検である。
2																					
3																					
4																					
			事務事	三 坐				35.美	内容(H27以降に実施	する内容)					重致重要				業概要		
事業善	務事の内容	① 利成	事務		f助 申成	請した保護金額である	e者が多い らか、助成: -	階層の助成	内容(H2/以降に実施 金額が月1,000円であ 生を検討する。		担軽減の目的に	こ見合う助	H27以降 規に実施 る事務事	手新 通す	事務事業			事	+ 未		

				长久于巾1	仃蚁評個宗	<u> </u>												
事業番号	82	事業の名称	私学助F	龙事業					担当部署		部 福祉部		課 子育て支援	課				
基本方針 (3	3)人がい	いきいきとつながる	ふまち	分野別項目	(9)安心して子育	育てができる環境をつくる	施策の進め方	(1)保育の充	実		フラック	グ			フラッグ項目			
事業の概:	要	①長久手市私立幼稚 市内に設置されている ②長久手市私立幼稚 市内私立幼稚園に通 ③長久手市私立幼稚	推園助成 る私立幼稚園! 推園通園助成金 植園し、就園奨! 推園就園奨励費	に対し、運営に係る総金 金 は励費の対象とならない 費補助金	経常費の補助を行ういめ児の保護者に	することにより、幼稚園事業の すう。 こ対し、授業料等の補助を行 、幼児の属する世帯の市町村	īð.	じた補助を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	日進 の ②長 日進 本市 ③長 全国	町内在住幼児が 久手市私立幼 、東郷町、豊明 、東郷町、豊明 いのみ。瀬戸市、 ・久手市私立幼 間的に実施されて	、豊明市、東郷 が通園する町外 の稚園通園助成 月市、みよし市、 、尾張旭市には の稚園就園奨励 でいる。近隣市	トの幼稚園に対し 金、名古屋市等でま は現在制度がない け 補助金 「町とも国の基準」	して補助を行っ 実施している。 さい。 に準じて実施し	っている。 補助対象を市内 している。	私立幼稚園在園		幼稚園がないた 限っているのは
事業期間		事業開始年	年度	①昭和53年度②	②51年度③-	終了(予定)年度			-		総事業費 単位:千円)	H25予算 87,791	H25決算 1 84,618	H26予算 126,081	H26決算 1 132,766	H27予算 138,584		評価の見方
事業の対象 (だれ、何に対						③に該当しない幼児の 村民税所得割額に応し			総事業費	5	一般財源 国費·県費	69,041 18,750	·	86,539 39,542		94,544 44,040		現行どおり実施事業の改善
事業の意 (対象をどのよ		授業料軽減を要	する世帯に	二公平性を図りつ	つ必要な補助を	を行い、私立幼稚園事	「業を助長促進す	<u></u> る。	1	5	地方債その他	0	0	0	0 0	0		他事業と統合運営主体の見直し
態にしたい	か)	1								受:	益者負担額	0	0	0	<u>) 0</u>	. 0	_	事業の廃止の検討
/EXTCO120 70 /						<u></u>												,
				目的					成果				(単位:千円)			評価		
事業を構り 事務事		(だれ、何に		手段 である。 10日 - 110日 - 111	って)(対象をと	意図 事務事業 とのような状 実施結		H25実 標 H26実					算 第 (単	の主な内訳 立:千円)	評価 事業規模 事業規模	評価	の説明	Л

事業を構成する			目的				成果	1			事業費(単位	过:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
			∃続 支給		市内幼稚園 3園に計	市内幼稚園在園	76		平成26年度における市 内幼稚園在園児数に対	3,793	3,612	市内幼稚園3園に対		現行どおり実施していく。幼児数全体が
	私立幼稚園助成	市内私立幼稚園設置者	幼稚園の運営に係る経常費を 補助(市内在住で当該幼稚園 に通園する幼児1人当たり	私立幼稚園事業を助 長促進する。	3,522千円を	児数に対する市 内在住園児数	77	1	する市内在住園児数の割合を平成25年度と同事と見込んでいるため。	3,793	3,522	する経常費補助: 3,522円	維持	増加しているため、助成額の増加が見 込まれており、事業費については増加 とした。
			6,000円) することによって		人)		76		寺と死込ん(いるため。	3,628			増加	Ů
		市内私立幼 稚園に通園	手続 支給● 支給●	市内の私立幼稚園事			48			2,905	2,820		Α	私立幼稚園就園奨励費補助金の支給対象 外者を救済し保護者の負担軽減に一定の
	1 位立列性園地園助	し、③に該当しない幼	に該ヨレない幼児の休護有に	業を助長促進し、保護者の負担軽減を図	147人に計 1,704千円を 始出				幼児人口(3~5歳 児)に対する通園助	2,905	1,704	市内幼稚園3園に通 園する保護者への授 業料補助:1,704千円	維持	効果が認められるため、現行どおり実施していく。 いく。 ③の補助対象者が拡充されているため、対象者は減少傾向にあるが、幼児数全
		児の保護者 (市内在住 に限る)	授業料の補助(幼児一人当た り月額1,000円)をすることに よって	る。	(相切)	幼児人口に対す	51	%	成金・就園奨励費の 補助件数の割合は、	2,080		美科補助:1,704十円 		の、対象有は減少傾向にあるが、初元数主 体が増加しており、助成額の増加が見込まれるため、事業費については増加とした。
		市内在住で私 立幼稚園に在 園する幼児の	封続	授業料軽減を要する	1007人に計	る補助件数	<u> </u>	⁷⁰ 	助対象者の拡充があ るため、平成25年度	81,093		就園奨励費補助: 126,806千円	Α	国の制度に基づいた事業のため、現行 どおり実施していく。事業費について
	私立幼稚園就園奨	保護者(市町村 民税所得割額	園する幼児の保護者の市町村	打い、松並朔惟園争	1007人に計 126,806千 円を補助		50		より増加すると見込ん でいるため。	118,627		交付額算定に必要な市町村民税課税額の	維持	は、幼児数全体が増加していること、また、平成27年度国庫補助単価が引き
		稚園を通して補助)	民税課税額に応じた授業料軽 減を行うことによって	業を助長促進する。	1 3 6 1111-53		50			132,120		電算(抽出)委託: 734千円	増加	- 上げられるため、保護者負担軽減をさら に充実していくこととし、増加とした。
											· ·			
(4	D													1

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
車			口のフトリアタンに		
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

						•												
事業番号	83	事業の名称	放課後	子ども教室事業	<u> </u>				担当部署		部 福祉部		課 子育て支援	課				
基本方針(3)人がい	いきいきとつながる	らまち	分野別項目	(9)安心して子育	育てができる環境をつくる	施策の進め方	(3)児童健全	育成事業の充実		フラック	ゲ F2「あんしん」~E	助けがなかったら生きてい	ナない人は全力で守る~	フラッグ項目	(31)放課後子	ども	教室の充実
事業の概	安	日、日曜日、祝日	及び年末年	年始や学校の行	事等の場合は	養終了後から午後4時 休室。体験プログラム び体験などの事業をま	として、ボランティ	き。だだし、工唯	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	尾引 日近 東新	三市…9小学校 長旭市…実施だ 進市…4小学校 耶町…5小学校	で実施で実施						
事業期間	引	事業開始名	手度	平成21	1年度	終了(予定)年度		-			総事業費 単位:千円)	H25予算 5,229	H25決算 5,254	H26予算 7,007	H26決算 6,508	H27予算 9,098		評価の見方
事業の対	象	放課後子ども教室									一般財源	1,733	2,201	2,226	3,565	4,640		4 現行どおり実施
(だれ、何に対	付して)		E 望						総事業費	う	国費·県費	3,440	2,983	4,717	2,859	4,378		3 事業の改善
事業の意										ち	地方債	0	0	0	0	0		他事業と統合
		西及び南小学校	児童の放調	果後の安全な居場	易所づくりを推済	進する。				<u> </u>	その他	0	0	0	0	0	_	運営主体の見直
態にしたい	か <i>)</i>)党	益者負担額	56	70	64	84	80	E	事業の廃止の検
							_		+ =			古米世	'兴八 イ田\			==/fir	_	
				目的					成果			争 耒 賀 (単位:千円)			評価		

		目的				成果				事業費(単位	江:千円)		評価
事業を構成する 事務事業	(だれ、何に	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明
① 放課後子ども教室	放課後子ど を も教室登録	西及び南小学校での空き教室を利用して、放課後子ども教室	参加を希望する児童 を全て受け入れ、児 童の放課後の安全な	入所児童数 100人 待機	参加児童数/申	85 92	%	待機児童ゼロが目標	5,229 7,007	5,254 6,508	指導員賃金5,845、消 耗品費362	В	登録定員等の見直しにより、児童の放
	者	を利用して、放課後子ども教室を実施することで	居場所づくりを推進する。	9人	込者数	100	70	1710次元至ことの 日本	9,098		耗品費362	維持 維持	課後の安全な居場所づくりに努める。
2													
3													
4)													

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	(① 放課後子ども教室	東小学校において、平成28年度に放課後子ども教室を開室するための準備を行う。		放課後子ども教室	東小学校において、平成28年度から放課後子ども教室を開室する。
事業	務事の改			規に実施す		平成27年3月に策定した、「長久手市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、放課後の子どもの居場所づくりに努める。
善	内容			る事務事業		国によって示された「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化に努める。

事	業番号	84	事業	美の名称 しょうしん	子ども医	療費事業) >>(1 m >)/				担当	部署	福	部 晶祉部	4	課 R険医療課			
基	本方針	(3)人がし	いきいき	きとつながる	らまち	分野別項目	(9)安心して子育てができる斑	環境をつくる 旅	(2)∃	子育て支援	の充実			フラッグ		•	フラッグ項	目	
	事業の概	既要	0歳か	ら15歳の子	そどもにかか	る医療費(保険	診療の自己負担分)を助成	えする。			(近隣市町	「や先進都 等を具体的	実施してい 県内5市町 る医療費自	る。 村が小学校 己負担分を	で卒業まで、43 を助成している		まで、6市電	町が高校卒業までの	
	事業期			事業開始年	丰度	昭和48	年度 終了 (-	予定)年度	_	_			総事業(単位:千	一円)	382,207	25決算H26予算333,192377,057	H26決 算 343,0	042 373,385	評価の見方
(だ	事業の対れ、何に	対象 対して)	市内に	こ住民票の	ある0歳から	15歳年度末まで	での子どもを持つ保護者				総事	業費	う国費・		286,920 95,287	253,205 284,290 79,987 92,767	259,6 83,3	690 281,906 352 91,479	A現行どおり実施B事業の改善
(対	事業の意	意図 ような状	子育で	て中の親の絹	経済支援、	子どもの受診機会	☆を確保する						ち 地方 その 受益者負	i債 D他	0 0	0 0 0 0 0 0			C 他事業と統合D 運営主体の見直しE 事業の廃止の検討
						目的				5					事業費(単位	7·千円)		評価	
	事業を構 事務					手段 りような手段を使っ		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績	単一	成果指標のF 設定の根		H25予算 H26予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模		の説明
				対して)	4月~ 7. ● ● ● ●	月~ 10月~ 1)	 ~ 態にしたいか)			H 26目標 33,3				H27予算 382,207	333,192	(1)=:113/	事業費		
1	子ども医 業	療費支給	手 子	市内在住の 子どもの保	現物給付•	現金給付を受け	子育て中の親の経済 付 支援、子どもの受診	受診件数 170,556件	医療費助成金額 (一人当たり)	33,1	.60 円 前度	前年実績(平月 €)からの増加	成25年 []	377,057	343,042	扶助費 343,042千円	<u> </u>	現行どおり実施して 者の増加のため増	いく。事業費は対象加を見込む。
			諄	養者	け、審査し ることで	、支払等の処理	をす一機会を確保する		, ,,,,,,,	35,0		C) 11 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		373,385			増加	H . H.M H.	
							<u> </u>						<u> </u>						
2													<u> </u>	1					
					<u> </u>														
3																			
			+				<u> </u>				4								
4					<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>												
)																			
		± 7-	+ *		1			+155	•			± -	<u> </u>				₩ 10m 2=		
		事務	争某_				牧善内容(H27以降に実施	する内谷)				事 才	務事業 			事	業概要		
事系	 务事									\dashv	H27以降新	新							
事務業の	D改 P容										H27以降新規に実施する事務事業	す 							
										\dashv									
										- 1									

事	業番号	85	事業	の名称	障害者図	医療費事業	13-5	WH 1 11-77				担	当部署		部 福祉部	4	課 R険医療課			
基	本方針	(3)人がし	きいき	とつながる	ら まち	分野別項目	(4)[3	章害者が暮らしやすいま	ちをつくる	施策の進め方	(2)障害福祉	サービスの	の充実		フラッグ	·	•	フラッグコ	項目	
	事業の概	既要	障害者	允(障害者手	帳1~3級	、療育手帳A、	B所持	者等)にかかる医療費を	を助成する。			(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 記等を具体的 記載)	B An IB a			であり、県内の市町村 25決算 H26予算	において『 【 H26決		している。
	事業期			事業開始年	丰度	昭和	48年度	終了(予	定)年度	-	_	1		(単位:	:千円)	77,697	65,059 79,098	64	,147 82,071	評価の見方
(だ	事業の対 れ、何に	可家 対して)	市内に	住民票があ	ある障がい	者						総	事業費	う国	般財源 貴·県費	38,849 38,848	37,589 42,275 27,470 36,823	34	,224 41,036 ,923 41,035	A現行どおり実施B事業の改善
(対:	事業の意 象をどの。 態にしたし	ような状	障害者	か経済支持	援、受診機	会の確保									地方債 その他 負担額	0 0 0	0 0			C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的						成果				事業費(単位	1:千円)		評価	
	事業を構 事務	構成する 事業			4月~ 1 7	手段 のような手段を値 月~ 10月~	1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果		H25実 H26実	議 議 位 標値	成果指標(設定の	の目標値)根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	Z:十円) H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価	の説明
1	障害者医 事業	 医療費支約	票	i内に住民 がある障 い者	現物給付	・現金給付を受 、支払等の処	● ● ●け付	経済支援、受診機会	受診件数 9,350件	医療費助成金(一人当たり)	190 金額 178	0,231	前年実績(¹ 度)からの堆	平成25年 曽加	77,697 79,098 82,071	65,059		A 維持		ていく。事業費は対象 別加を見込む。
			+															増加		
2																				
3																				
							1 1			<u> </u>										
4						<u> </u>	<u> </u>													
		事務	事業				改善	内容(H27以降に実施 ⁻	する内容)				=	事務事業			事	業概要		
事務業の	务事 D改 											H27以降 規に実施	手新 恵す 二十二							
晋广	7谷											る事務事	**							

事	業番号	86	事第	業の名称	母子家庭	E等医療費事						担	当部署		部 福祉部	1	課 呆険医療課			
基	本方針	(3)人がし	きいき	きとつながる	るまち	分野別項目	(5)ひとり	親家庭の自立を	支える 施	策の進め方 (1)糸		の支援			フラッグ	·	•	フラッグエ	頁目	
	事業の概	既要	母子•	•父子家庭等	争にかかる圏	医療費を助成す	3 .					(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 2等を具体的 記載)	麦州州(であり、県内の市町村			ている。
	事業期	間		事業開始。	年度	昭和:	3年度	終了(予	定)年度	_	-			総事		2 5 予算 H 25,706	25決算 H26予算 21,356 24,657	H26決 21,		評価の見方
(1 .	事業の対	付象	市内に			く子家庭等の親		46.1 ()	<i>C</i> / <i>C</i>		\neg	<i>h</i> 17 =			般財源	12,854	10,725 12,624	11,	,178 11,762	★ 現行どおり実施
(対:	れ、何に 事業の意 象をどの 態にしたい	意図 ような状	母子•	•父子家庭等	等の経済支持	援、受診機会 <i>0</i>	確保					椛≒	事業費	ち	費・県費 地方債 の他 負担額	12,852 0 0	10,631 12,033 0 0 0 0 0 0	10,	.505 11,761	B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的					反					事業費(単位	立:千円)		評価	
	事業を構 事務	構成する 事業		対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使 月~ [10月~]		意図 象をどのような状 &にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標		成果指標の 設定の	目標値 根拠 「	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価	の説明
			i i	市内に住民 票がある母	• • • •			., .,			36,5	568			25,706	21,356		A		
1	母子•父· 費支給事	子家庭医 『業		景がめる母子・父子家		・現金給付を受 、支払等の処理	り竹 の確ね	支援、受診機会 保をする。	受診件数 7,507件	医療費助成金額 (一人当たり)			前年実績(平 度)からの増	成25年 加	24,657	21,683	扶助費 21,683千円	維持	現行どおり実施して 者の増加のため増	こいく。事業費は対象 加を見込む。
				1 C 0	200						38,0	000			23,523			増加		
2																				
						11111	<u> </u>					_								
3																				
9)																				
4							· ·													
		事務	事業				改善内容(H27以降に実施す	よる内容)					務事業				業概要		
		1.121	, ,,,				**H13H(J. 711				7				•			
事務 業の 善内	新事 の改											H27以降 規に実施 る事務事	新							
善内	容											る事務事	業							
											\neg									

事美	業番号	87	事第	業の名称	後期高齢	常者福祉医療	費事業				担当	台部署 ——	部 福祉部	1	課 呆険医療課			
基	本方針	(3)人がし	きいきい	きとつながる	うまち	分野別項目	(8)高齢者の安心な暮らしと生き	がいを支える	施策の進め方 (2)地	也域支援体	制の充実	₹	フラッグ		•	フラッグコ	頁目	
	事業の概	既要	後期高	高齢者医療	加入者で福	祉医療対象者は	こかかる医療費の助成				(近隣市 市の状況	記載)			であり、県内の市町村			ている。
	事業期	問		事業開始年	宇宙	平成20	年度 数7 (予定)年度	_	-			総事業費 単位:千円)	H 25予算 H 65,984	25決算 H26予算 59,130 66,112	H26決	第 H27予算 .137 68,360	評価の見方
	事業の対	付象	市内は				で福祉医療対象者]		\neg			一般財源	32,993	31,443 33,056	30,	34,181	A 現行どおり実施
(対象	れ、何に 事業の意 象をどの。 とにしたし	意図 ような状)経済支援、受診機会の	雀保		\exists	総事	「 ま ま の の の の の の の の の の の の の	国費・県費 地方債 その他 益者負担額	32,991 0 0	27,687 33,056 0 0 0 0	5 25, 0	.820 34,179	B事業の改善C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討
	J 0.14.	,							_		h m	1.2			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	′1		
	事業を構	歯成する	H		1	目的 手段	意図	 事務事業 <i>σ</i>			戊果 責 ┃ ┃	N = 11-1= 1-	H25予算	事業費(単位 H25決算		評価	評価	
	事務	事業	((だれ、何に		りような手段を使っ	て) (対象をどのような	大 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標		成果指標の目標 設定の根拠	™ <u>H26予算</u>	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価	の説明
			i i	市内に住民	4月~ / /	月~ 10月~ 1. ● ● ● ● ●				HZ6日標 129,1	_		H27予算 65,98					
	後期高齢	命者福祉[馬	票がある後期高齢者医				会 受診件数	医療費助成金額	123,1	 107	前年実績(平成2	5年 66,11	2 56,137	4.11. 曲 5.2.105 イ ロ	Α	現行どおり実施して	ていく。事業費は対象
1	療費支給	事業	握	療加入者で 福祉医療対	け、審査し	現金給付を受け、 支払等の処理	何 の確促をする	14,541件	(一人当たり)			前年実績(平成25 度)からの増加		1 /	扶助費56,137千円	維持	者の増加のため増	加を見込む。
			复	象者	ることで					134,0	000		68,36			増加		
											$\exists \mid$							
2																		
Û											7				1			
			4			11111	1	-			4							
3											-			1			l	
			十								7							
4							'											
•																		
									1									
		事務	事業				改善内容(H27以降に実施	直する内容)				事務事	業		事	業概要		
	H									\dashv		-						
事務業の) (改									5	H27以降 規に実施 る事務事	新す						
善内	J谷									ľ	る事務事	美						
	$\ \cdot\ $									\dashv								
										- 1								

事	業番号	88	事業の名称	精神障害	生 者医療費事業					担当	部署 ———	部 福祉部	4	課 保険医療課			
基	基本方針	(3)人がい	きいきとつなが	るまち	分野別項目	(4)障害者が暮らしやすいま	ちをつくるが	施策の進め方 (2)障害福祉	サービスのき	充実	フラッグ			フラッグ項	目	
	事業の概	我要	青神障害者(精	神障害者保	健福祉手帳1~2篇	吸、自立支援医療費受給	者)にかかる[医療費を助成する	5 .	他市町の (近隣市町 市の状況等 に記	でや先進都 等を具体的 載)			であり、県内の市町村	において同 H26決 第		ている。
	事業期		事業開始	ì年度	平成16年	度 終了(予定)年度	_		1	(単位	∷千円)	26,169	22,934 23,720	21,8	89 22,787	評価の見方
(†	事業のダ ざれ、何に	対して) [☆]	万内に住民票が	ぶる精神障	がい者					総事		-般財源 費·県費	21,675 4,494	19,246 19,265 3,688 4,455	18,2 3,6	01 18,870 88 3,917	A現行どおり実施B事業の改善
	事業の意	意図 ような状 精	情神障がい者 <i>の</i>)経済支援、	受診機会の確保					140 7	5	世方債 その他 音負担額	0 0	0 0 0 0 0 0)		C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					目的					成果			事業費(単位	7·千円)		評価	
	事業を構	成する	対象	- // 18	手段	意図	事務事業の		H25実 H26実		 成果指標の目標値	H25予算		H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価		- =¥ pp
	事務	事兼	(たれ、何に対して)	4月~ 7	のような手段を使って 月~ 10月~ 1月	~ 態にしたいか)	【 美施結果	成果指標	H26美 H26目		設定の根拠	H26予算 H27予算	H26決算	(単位:千円)	事業規模事業費	評価(の説明
		- 10 1- 1-	市内に住民	• • • •			A tol Net		56	,488		26,169	22,934		Α		
1	精神障害 支給事業	者医療費	票がある精	現物給付	・現金給付を受け 、支払等の処理を	経済支援、受診機会 の確保をする。	受診件数 7,208件	医療費助成金額 (一人当たり)		月 月 度 1,000	年実績(平成25年 うからの増加	23,720	21,889	扶助費21,889千円	維持 7	見行どおり実施して 皆の増加のため増え	いく。事業費は対象 IDを見込む。
						<u> </u>	<u> </u>			,,,,,					増加		
2				1 ! !													
3																	
						<u> </u>			<u> </u>								
4					<u> </u>	<u>! </u>											
		古水丰	**		74	羊山家(11021)1821-中央	士7中京\	•			古沙古光			+	*******		
		事務事	*未		Ċ,	善内容(H27以降に実施	, y 句内谷)				事務事業			事。	業概要		
事業	務事 の改 内容									H27以降新 規に実施す	 fi +						
善善	内容									る事務事業	É						

				F 17													
事業番号	89	事業の名称	国民健康	長保険給付事	業			担当部署		部 福祉部		課 保険医療詞	<u></u> 果				
基本方針	(3)人がい	きいきとつながる	まち	分野別項目	(12)生活習慣病を予防する保健サービスを充実する	施策の進め方	(1)健診・保健	指導の充実		フラック	ブ 			フラッグ項目			
事業の概	要	療養費、高額療養	養、出産-	一時金、葬祭費を	らいて診療を受けたときに、7割、8割 と審査し、支払を行う。 ジェネリック薬品通知を送付し、特定			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	瀬尾日豊長	『市・・・2.2%増 長旭市・・・2.0%	曾 6 増 曽 増	算ベース) の対 H25 決算	前年度(予算 H26予算	iベース)伸び ⁱ H26 決算	本 H27予算 【		
事業期	間	事業開始年	F度	昭和3	4年 終了(予定)年度		_			単位:千円)	2,547,791	2,431,760	2,639,780	2,469,039	2,715,759		評価の見方
事業の対		国民健康保険被係	呆険者					6 to -10 alle		一般財源	663,316	633,107	648,271		999,303		現行どおり実施
(だれ、何に	対して)		14124 11					総事業費		国費·県費	567,094	541,268	590,981	552,756	660,358	E	
事業の意 (対象をどの。 態にしたい	ような状	被保険者が安心し	て医療を	受けられる。					ち受	地方債 その他 益者負担額	0 1,317,381 0	0 1,257,385 0	0 1,400,528 0	0 1,309,942 0	0 1,056,098 0		他事業と統合 連営主体の見直し 事業の廃止の検討
				目的				成果			事業費(単位:千円)			評価	_	

			目的				成果	<u>l</u>			事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		国民健康保	(12回)				229		H25年度の1人当たり の給付額に過去5年	2,518,986	2,404,778	一般被保険者の療養 給付費が全体の80% 以上を占める。	Α	
C	被保険者給付事業	険の被保険 者	国保連合会からの請求書、被 保険者からの請求を審査し支			被保険者1人当 たりの給付額	232	円円	度の伸び率の平均値 (3.433%)を乗じた値	2,607,827	2,438,631	2,047,690千円	拡充	現行どおり実施していく。 事業費は高齢化に伴い増加を見込む。
			払をすることで				237		を上限とした。	2,680,047		その他給付 390,941千円	維持	
	医療費通知、ジェネ	国民健康保			医療費通知及びジェネ		229		H25年度の1人当たり の給付額に過去3年	735		医療費通知及びジェ ネリック差額通知の作	Α	
2	リック差額通知事業 (医療費適正化)	除の独保除	奇数月に被保険者に対し、「医療費通知」を行い、7、11、3月にジェネリック薬品を使用した	, ,	リック差額通 知を年6回	被保険者1人当 たりの給付額	232	円円	度の伸び率の平均値 (3.433%)を乗じた値	729	675	成委託 672千円 その他委託	維持	現行どおり実施していく。
			場合の差額通知」を行うことで		通知した。		237		を上限とした。	735		3千円	維持	
		40~74歳の		疾病の早期発見、早	集団は6月		49.0%		第2期長久手市特定	28,070	26,309		Α	データヘルス計画を策定し、本市の状
	特定健康診査事業 (医療費適正化)	国民健康保险法	11月)と市内委託医療機関(個	期治療、健康の維持 を図り、医療費の抑 制を行う。	から10月に	健診受診率	50.9%(暫定)	⁷ 0	健診等実施計画の平成26年度の目標値と した	31,224	29,733	特定健診委託料 29,733千円	拡充	況を踏まえ、目標受診率達成に向けて 事業を展開していく。
			健康診査を実施することで	でいる11 万。	実施した。		52.5%			34,977			維持	
	4													
(2									Ī					1

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	3	特定健康診査事業 (医療費適正化)	国民健康保険加入者の健診データや医療(レセプト)データを分析して、健康課題を明確化し、既存の保健事業を整理・評価して、健康増進と医療費の適正化に効果的な保健事業を選定・実施する。			
事務事業の改				H27以降新 規に実施す		
善内容				る事務事業		

事業	番号	90	事業の名称	炸 定期予	防接種事業					担当部	署 —	部 福祉部	R. A.	課 建康推進課			
基本	方針	(3)人がい	きいきとつな	がるまち	分野別項目	(12)生活習慣病を予防する保健サービス	スを充実する が	施策の進め方 (2)感	禁止予防(の強化		フラッグ		CACIECEN	フラッグ項	目	
1-10	事業の概	要		基づき、ヒブ	、小児用肺炎球菌 フルエンザ予防接種	、4種混合、三種混合、ポリ 重を実施し、感染症を予防・			BCG、二	他市町の実 近隣市町や 近欧状況等で に記載	・先進都 近具体的 記)			万、東郷町すべて、実施 25決算 H26予算	Ē。 H26決算	│ H27予算 │	
	事業期		事業開	始年度	昭和34年	F度 終了(予	定)年度	-	=			单位:千円) 一般財源	201,142	161,268 203,192	181,1	22 201,376	評価の見方 A 現行どおり実施
	事業の対 1、何に		市民							総事業		国費•県費	201,142	161,268 203,192 0 0	181,1	22 201,376 0 0	B 事業の改善
(対象	事業の意味をどの。	ような状	感染症を予防	·する。							ち 受	地方債 その他 益者負担額	0 0 4041	0 0 0 0 4187 6403	61	0 0 0 0 15 6372	C 他事業と統合D 運営主体の見直しE 事業の廃止の検討
					目的				成				事業費(単位	立:千円)		評価	
:	事業を構 事務		対象 (だれ、何 対して)	4月~	手段 でのような手段を使っ 7月~ 10月~ 1月	~ 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値		果指標の目標 設定の根拠	他 H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	ロ: 十円) H26決算の主な内訳 (単位: 千円)	評価 事業規模 事業費	評価	の説明
1	它期予防	接種事業	ま 市民に		■●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	<u> </u>	予防接種の 実施	接種率(国が接種率を示す麻しんについて評価)	1期94 2期95 1期95 2期94 95	 ^{1.2} % 国が 目標	ぶした接種率 を値。	201,14: 203,19: 201,370	2 161,268 2 181,122		В		直とほぼ同値であっ
2					<u> </u>												
3																	
4																	
		事務事	直業 1		7	女善内容(H27以降に実施す	よる内容)				事務事				業概要		
事務業の善内	事 改			接種率向上を		等を検討し実施する。	9 の 内谷/ ¯		敖	127以降新 記に実施す 5事務事業	争 務事	*		手	未似安		
									\dashv								

事	業番号	91	事業の	名称	健康づく	くり推進事業		VA. 11—22.				担	当部署		部 福祉部	f	課 建康推進課			
基	本方針	(3)人がし	いきいきと	つながる	るまち	分野別項目	(13)住民の健康づくりを支	えるが	5策の進め方 (1)位	主民主体の	の健康づ	くり事業の推	進	フラッグ	•	•	フラッグエ	項目	
	事業の		による健康		事業を推進	言していく。	第2次)」	に基づき、健康講座等 ※ア(予	・	る体操」の普及に』 平成35年)		(近隣市 市の状)	の実施状況 i町や先進都 兄等を具体的 記載)	り事業を総事	·実施。		f、東郷町すべて、健康 25決算 H26予算 40 370	H26決		で策定し、健康づく 健康づく アイス できます できます できます できます アイス
	事業の		市民							1 , , , , ,		4 /2	事業費	TE	·般財源 費•県費	110	40 370		291 520	A 現行どおり実施 B 事業の改善
(対:	事業の	意図)ような状	健康づくり)を推進	する。							1140	于 不良	5 t	世方債 その他 行負担額	0	0 0			□ サネのは言□ 他事業と統合□ 運営主体の見直し□ 事業の廃止の検討
		L# _L _		1.77		目的		T +=	± 74 ± 44 0			成果			110F マ 佐	事業費(単位		==/==	評価	
		構成する 務事業	(だれ	付象 い、何に して)	4月~!7	手段 のような手段を 月~ 10月~	1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標		成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価	の説明
1	健康づく	くり事業	市民	/C	体操の普	及の講習会や 座等を開催す	健康に	健康づくりを進める	5回の健康 講座や「元 気の出る体 操」DVD撮 影のための 練習参加者	講座等で参加し た受講者の人数			健康講座1回 0人の参加を 撮影のため 練習の参加を を目標とする	ぎとDVD の体操の 者150人	370 520		健康講座5回分 健康教育講師等報 償金67 体操の練習用 体操の啓発及び指導 等委託224	В	市民の参加による DVDを制作するといが、市民による普及は、至っていない。	う目的は達成した
																		78/34	/C ₀	
2												<u> </u>								
					<u> </u>															
3																			5. 5.	
4																				
		事務	車業				改善	内容(H27以降に実施 ⁻	する内容)				<u> </u>	孫事業			事	業概要		
	1	健康づく		が、	気の出る体持 市民による 善していく。	操について、I 3普及を目的と	H26年度	は職員及びすこやかっ操の指導者の講習会を	メイトによる推	進及び普及が主で から普及させてい。	あった くように		4	初乎木			Ŧ	· 宋 彻 女		
事務業の)改											H27以降規に実施	拖す							
番り	1台											る事務	#未							

						下入于川	川以町	「Шボ			-				1-								
事業	番号	92	事業の	2名称	健康診	查事業						担当	当部署		部 福祉部	質	課 課 建康推進課						
基本	方針	(3)人がし	いきいきと	つながる	るまち	分野別項目	(12)生活習	習慣病を予防する保健サービス	マを充実する 方	施策の進め方	(1)健診•保健	指導の充	実		フラッグ				フラッグ項	目			
IMIT.	事業の概	要	胸部、胃	、大腸、i	前立腺が	より疾病の早期 ん、肝炎ウイルン 治療を図る。	発見・早期 ス、眼底、唿	月治療を図ることを目 客痰、歯周疾患、子?	的とする。 宮、乳腺検診	参を行い受診率	の向上によ	(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 号を具体的 記載)	瀬戸市、		明市、日進市 25 予算 H 2		×て、各種 26予算	i検診を実 H26 決		算		
	事業期 事業の対			業開始纪	年度	昭和	41年度	終了(予)	定)年度		_			(単位:		89,223 83,088	89,223 84,453	89,867 86,496	101,9 96,	915 85	,859	評価の見 A 現行どお	力
(だオ (対象	い、何に	対して) 意図 よ う な状	市民 疾病の早	期発見	•早期治療	寮につなげる。						松雪	事業費	う ち 丸	費・県費 地方債 その他	6,135 0 0 8774	4,770 0 0 8936	3,371 0 0 9386	5,	762 5, 0 0	,089 ,770 0 0 ,110	B 事業の C 他事業の D 運営主体の E 事業の廃止	改善 -統合 D見直し
						目的						成果				事業費(単位	·· 壬 田)				評価		
=	事業を構 事務	構成する 事業	(だれ		4月~¦	手段 ごのような手段を(7月~ 10月~	1月~	意図 対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	積 積 位 原値	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の3 (単位: F	主な内訳 F円)	評価 事業規模 事業費		評価の	説明	
① 俊	康診查	至事業	市民	il		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	東	病の早期発見・早 治療を図り、医療 の増大を未然に防 とともに、健康の増 につなげていく。	各種検診 (子宮、乳腺 及び大腸検 診)の実施	受診率(国が 標値を示して る子宮・乳腺・ 腸検診につい 評価)	・大 子宮49.1 56.1 大腸	易62.9 乳腺 最66.3 o/	国が示した: 目標値。	受診率の	89,223 89,867 85,859	89,223	委託料101,9		A 維持	一部検診では たものの、昨年	年度と比	標値に達しな 較して各検診 るため、現状の	め
2																							
3																							
4																							
		+2-	古 **				7- 		- 7 · ·					± 3/2 ≠ ± ±				-	4k for ar				
事務業のご善内容	事故容	事務	事業				改善内容	容(H27以降に実施す	「る内容)			H27以降 規に実施 る事務事		事務事業				*	業概要				

事	業番号	93	事業	美の名称	砂防公園	管理事業	7781 10277				担	当部署	当	部 建設部		課 土木課		
基	本方針	(1)万博理念	念を継承し	、,自然・環境に	こだわるまち	分野別項目(6)うるおいある水辺空間	を整える 施	亜策の進め方	(2)砂防施設	整備の推	進		フラッグ			フラッグコ	項目
	事業の概	既要	トイレド	情掃、除草、	, 樹木剪定る	を定期的に実施しる	削用者が気持よく利用で	きる施設にす	る。		他市町(近隣市市の状況)	町やタ	先進都 具体的 ^{砂防公園}		本では、実施さ 25予算 H:	ぶれている。 25 決算 H26 予算	H26決	算 ┃ H27予算 ┃
	事業期			事業開始年	年度	平成5年	度 終了 (予	定)年度		_	•		(単位:	:千円)	2,536	2,536 2,536	2	,536 2,669 評価の見方
(文	事業の対 され、何に 事業の意 象をどの。 態にしたい	対して) 意図 ような状	公園和維持管		定期的に実	施し利用者が気持	よく利用できる施設にす	3 .			松	事業費	費 う ち 地	般財源 費・県費 也方債 この他 負担額	2,536 0 0 0	$\begin{array}{c cccc} 2,536 & 2,536 \\ \hline 0 & 0 \\ \hline 0 & 0 \\ \hline 0 & 0 \\ \hline \end{array}$	2	,536 2,669 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討
Ξ						目的					-				古类弗/出/-	エ 田)		
	事業を構 事務			対象 だれ、何に 対して)		手段 りような手段を使って		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実	成果 績 績 位	成果		H25予算 H26予算	事業費(単位 H25決算 H26決算	<u>/: 〒円/</u> H26決算の主な内訳 (単位: 千円)	評価 事業規模 事業費	評価 評価の説明
1	トイレ清幇			は園利用者		月~ 10月~ 1月~ 1月~ 1月~ 10月~ 1月~ 10月~ 1月~ 1月~ 1月~ 1月~ 1月~ 1月~ 1月~ 1月~ 1月~ 1	→ 気持よくトイレを利用	26回	苦情件数	H26目 [†]	0 件	よく利	利用者が気持ち 用できるよう、 件数とする。	H27予算 2,536 2,536 2,669	2,536	※公益社団法人シルバー人材センターに一括発注のため事業ごとの仕分けができない。	Α	現行どおり実施していく
2	除草		公	〉園利用者	年2回除草	ぎを行うことで	★ 気持よく公園を利用してもらう。	2回	苦情件数		件	よく利	利用者が気持ち 用できるよう、 件数とする。		※①に含む ※①に含む	同上	維持維持	現行どおり実施していく
3	樹木剪定	?	公	〉園利用者		ず剪定を行うことで		1回	苦情件数		0 件	よく利	利用者が気持ち 用できるよう、 件数とする。		※①に含む※①に含む	同上	維持維持	現行どおり実施していく
4																		
		事 数	事業			34-	美内家(1971)以及1-宝坛:	ナス内穴)					事務事業	_			業概要	
事業善善	務事の改力容	→務	尹 未			cx.	善内容(H27以降に実施	y の内谷)			H27以降 規に実済 る事務事	をす	争扮争耒			事	未恢安	

事業	番号	94	事業の名称	道路維	持管理事業					担当	部署		部		課			
			でにぎわい交流		分野別項目	(3)安全で快適な道路を整	タラス お	玉策の進め方	(2)市道の整			I	建設部フラッグ		土木課	フラッグエ	百日	
	事業の概	T	市道のパトロー	ル、穴埋める	・ をおこなうことで、道	路の損傷を早期に処置す に結び必要な舗装修繕、側	うるとともに、路	各面清掃•街路	l	他市町の	実施状況 「や先進都 等を具体的	近隣市町 総事:	すわのほとんと	が実施してい 25 予算 H 2		H26決		
	事業期		事業開始	台年度	-	終了(予	定)年度		_	1		(単位:	千円)	165,940	134,255 263,144	200,	,698 214,953	評価の見方
(だれ	事業の対	対して)	市の管理する道	道路						総事		う国	般財源 費·県費 記方債	163,048 2,892	131,223 202,265 3,032 60,879	171, 28,	,996 28,691	A現行どおり実施B事業の改善C他事業と統合
(対象	事業の意味をどのこと	ような状	道路利用者の	安全で快適力	な通行を確保する。								·の他	0	0 0		0 0	D 運営主体の見直し 事業の廃止の検討
					目的					成果				事業費(単位			評価	
,	事業を構 事務		対象 (だれ、何) 対して)		手段 'のような手段を使っ 7月~ 10月~ 1月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目	績 中 /	成果指標の 設定の根		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	<u>評価</u> 事業規模 事業費	評価の記	说明
1) 1	道路維持	F管理業務	市の管理でる道路	ティスタン 大理め、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	路面清掃、街路樹模に修繕が必要な側溝修繕を計画的	道路利用者の安全で快適な通行を確保する。	穴埋め、路面 清掃、街路機 管理、大が必 を修舗装修 の 籍、側 画的に 行った。	苦情件数		31 件 快き	国の利用者が 適な通行を るよう苦情件 さまする。	が安全で 確保で 数を指	165,940 263,144 214,953	200,698	穴埋め補修7,145 路面清掃委託3,622 橋梁補修26,004 環境整備工事(草刈・街 路樹)92,784 舗装修繕工事43,682 道路ストック点検23,897 舗装たわみ委託3,564	維持維持	現行どおり実施してい	ζ.,
2																		
3												Ī						
4																		
		事務事	重業		7	女善内容(H27以降に実施	する内容)				事系	 務事業				業概要		
事務の善	事改容	∓伤言	扩 木		Li di	A ロド3 位 (川47 以) 四に天他	<u>7 영업단/</u>			H27以降業規に実施する事務事業	fi	カデ木			尹	本1 姚女		

			長	久手市行	政評価票	<u> </u>												1,	/2
事業番号	95	事業の名称	文通安全施?	設設置事業	tie .				担当部署		部 建設部		課 土木課						
基本方針((2)リニモ	でにぎわい交流する	るまち分野	·野別項目((3)安全で快道	適な道路を整える	施策の進め方	j (3)道路交通	- 風の安全確保・円滑化		フラック	グ			フラッグ項目				
事業の概	光要	市の管理する道路を カーブミラー、街路炉	を、道路利用者 灯、カラー舗装	者が安全に通表等を設置する	行できるよう、 る。	道路パトロール・地	元要望に基づき、	ガードレール、	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	V. 194	峰市町村のほと 総事業費	とんどが実施 H25予算	している。 H25決算	│ H26予算 │	H26決算	│ H27予算 │			
事業期間	間	事業開始年度	度		$\overline{}$	終了(予定)年原	度	_	-		松争未負 │ 単位:千円) ┃	33,700		15,000				評価0	の見方
事業の対	付象	市の管理する道路	•								一般財源	33,700		15,000	21,273		Α	A 現行	fどおり実施
(だれ、何に対	対して)	11100 1							坐事業費	う	国費・県費	(0	0]	0'	0			業の改善
事業の意		 道路の交通安全環境	と 会が白 <i>石</i> に敷	を供わる 送的	741田老が生/	ムに温行でき 	事材の小ねい送り	タレナス		5	地方債その他	 	49	[<u>0</u>]	U!	.			事業と統合 主体の見直し
(対象をとの) 態にしたい		担始 切义	児が良好に歪	1畑041、坦西	利用有が失ま	王に理11(さ、久迪・	事以 <i>い</i> グない。 上四	iとりる。		妥:	<u>ての他</u> 益者負担額	 	1 0	[<u>0</u>	.			王体の見直し の廃止の検討
201	,										二日 天 二		<u>/ </u>	<u>_</u>					, 00=======
				目的					成果				(単位:千円)		<u> </u>	評価			
事業を構 事務事		対象 (だれ、何に <u>(</u>		手段 うな手段を使って			事業の 通結果 成果指	H25算 標 H265	実績 単 成果指標の 実績 位 設定の标			算 H25決 算 H26決	·第 ·第 ·第 ·(単	草の主な内訳 位:千円)	評価 事業規模	評価	面の説明	明	

			目的				成果	<u>l</u>			事業費(単位	5:千円)		評価
:	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
			 	道路の交通安全環境 が良好に整備され、		要望に対する実 施率(長久手市	_		要望に対して実施率	20,000		※同一工事で発注し	Α	
1)		市の管理す る道路	ガードパイプを設置することで	道路利用者が安全に通行でき、交通事故	_	交通安全施設設 置基準等に適合	_	% 	を指標とすることで要望対応度合いが把握	15,000	21,273	ているため事業ごと の仕分けができな い	維持	現行どおり実施していく
			,, , ,, ,, ,,	の少ない道路とする。		するものに限る)	100		できるため。	20,000		V 1°	維持	
				道路の交通安全環境		要望に対する実	79		要望に対して実施率	※①に含む	※①に含む		Α	
2		市の管理す る道路		が良好に整備され、 道路利用者が安全に	29基	施率(長久手市 交通安全施設設	100	0/	安全に対して実施中 を指標とすることで要 望対応度合いが把握	※①に含む	※①に含む	同上	維持	現行どおり実施していく
		0 / 0 μ	カーブミラーを設置することで	通行でき、交通事故 の少ない道路とする。		置基準等に適合 するものに限る)	100		でキスため	※①に含む			維持	
			 	道路の交通安全環境		要望に対する実	_			※ ①に含む	※ ①に含む		Α	
3		市の管理す		が良好に整備され、 道路利用者が安全に	1基	施率(長久手市 交通安全施設設	-	0/	要望に対して実施率を指標とすることで要	※①に含む	※①に含む	同上		現行どおり実施していく
		る道路	道路照明灯を設置することで	道路利用者が安全に 通行でき、交通事故 の少ない道路とする。		交通安全施設設 置基準等に適合 するものに限る)	100	70	望対応度合いが把握できるため。	※ ①に含む			維持 維持	•
							72			※ ①に含む	※①に含む			
		市の管理す		道路の交通安全環境 が良好に整備され、		要望に対する実施率(長久手市			要望に対して実施率を指標とすることで要				Α	
4		る道路	9 道区画線を設置することで 道	道路利用者が安全に通行でき、交通事故	2,538m	交通安全施設設 置基準等に適合			を指標とすることで要望対応度合いが把握 できるため。				維持	現行どおり実施していく
				の少ない道路とする。		するものに限る)	100		v	※ ①に含む				

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

						及八丁		山川四八							部		課			L / L
事業	番号	95	事業の名	3称	交通安全	と施設設置	堂事業					担当	部署		建設部		土 木課			
基本	方針	(2)リニモ	でにぎわい	交流す	るまち	分野別項	目 (3)	安全で快適な道路を整	えるが	地策の進め方	(3)道路交通(- の安全確保	₹・円滑化		フラッグ			フラッグエ	項目	
I	事業の概	既要	市の管理す カーブミラー	る道路 - 、街路	各を、道路系 各灯、カラー	刊用者が安全 -舗装等を誇	全に通行 设置する。	できるよう、道路パトロー	-ル・地元要望	望に基づき、ガー	ードレール、	(近隣市町 市の状況:)実施状況 灯や先進都 等を具体的 己載)	近隣市町総事		が実施してい 25 予算 H 2	る。 25決算 H26予算	 H26決	ၞ │ H27予算 ┃	
	事業期		事業	開始年	F度 💮		_	終了(予	定)年度	-		1		(単位:	千円)	33,700	32,330 15,000	21,	,273 20,000	評価の見方
	事業の対		市の管理す	る道路	各							総事	業費		般財源 責・県費	33,700	32,330 15,000 0 0	21,	,273 20,000 0 0	A現行どおり実施B事業の改善
(対象	事業の意 をどの。 にしたい	ような状	道路の交通	安全理	環境が良好	に整備され	、道路利	用者が安全に通行でき	、交通事故6	の少ない道路と	する。			ち 地	2方債 ·の他 負担額	0 0 0	0 0 0 0 0 0		0 0 0 0	C 他事業と統合D 運営主体の見直しE 事業の廃止の検討
						目的]					成果				事業費(単位	江:千円)		評価	
1	事業を構 事務	構成する 事業	対i (だれ、 対し	何に		手段	を使って)	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実	績 単	成果指標の 設定の4		H25予算 H26予算 H27予算		H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費		の説明
⑤ #	カラー舗:	装設置	市の管る道路		カラー舗装	を設置する	5.22°	道路の交通安全環境 が良好に整備され、 道路利用者が安全に 通行でき、交通事故 の少ない道路とする。		要望に対する 施率(長久手 交通安全施設 置基準等に適 するものに限る	市 対設 近合 	100 % \$	要望に対して と指標とする 望対応度合い できるため。	宝施率		※①に含む ※①に含む	※同一工事で発注しているため事業ごとの仕分けができない。	維持維持	現行どおり実施して	こと ^<
6																				
7																				
8																				
		± 25-	<u></u>				71.34	中南(1103以1964—中 4	+7 + +·					7万十 半				ᄴᄱ		
事務業ので 善内な	事改容	事務	事業				改善	内容(H27以降に実施す	する内容)			H27以降 規に実施 る事務事	新す	務事業			事 -	業概要		

事	業番号	96	事業	の名称	河川	維持修繕	事業					担当	台部署		部 建設部		課 土木課			
基	本方針	(1)万博理念	を継承し	、自然•環境(にこだわる	まち 分野	別項目 (6)	うるおいある水辺空間	を整えるが	亜策の進め方 (3)	適正な維持	持管理の強	化		フラッグ		-	フラッグコ	項目	
	事業の相	既要	河川の	機能を維	持するだ	ため、通水圏	斤面に堆積しナ	と土砂を取り除き流下値	能力を保ち、通	適正な管理に努め	る。	(近隣市時 市の状況)実施状況 町や先進都 等を具体的 記載)	近隣市町		ごが実施してい				
	事業期	間		事業開始	年度		_	終了(字	5定)年度	-		-		総事	業費 <u>H</u> : 千円)	25予算 H 2,770	25決算 H26予算 2,499 2,94		第 H27予算 ,052 8,00	0 評価の見方
(+	事業の対	付象	河川	7 X M M	1/2			1 1 1 1	<i>Z/11</i> Z			<i>6</i> 0. ∃	= 444 ##		般財源	2,770	2,499 2,94		,052 8,00	○
	れ、何に 事業の意 象をどの	対して)		力を保ち	河川祭	後害を防止す	トス					花 名号	業費	5 対	費·県費 也方債 その他	0	0	0	0	0 B 事業の改善 0 C 他事業と統合 0 D 運営主体の見直し
	態にしたし	いか)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	177 C PR 3	(13)/12	CI CIVIE	. 00							受益者		0	0	0	0	0 上 事業の廃止の検討
	= 346 -2 - 15	# <u>-</u> ! 7		11.77			目的		± 77 ± 11 0			成果			11057 25	事業費(単位	立:千円)	===/==	評	西
	事業を構 事務			対象 ざれ、何に 対して)			: 手段を使って) 0月 ~! 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目		成果指標の 設定の	の目標値)根拠 	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	☑: 十円) · H26決算の主な内記 (単位:千円)	計価 事業規模 事業費] 	価の説明
1	河川浚港	芒事業	河					流下能力を保ち、河川災害を防止する。	神明川 0.11km	要望に対する実施率		20 9 %		ることで要 `いが把握	2,770	2,499 2,052		Α	現行どおり実施 河川修繕を含め 対して予算的に	していく。 った予算であり、要望に 出来る範囲が限られて
					後保を	分うことで						100	できるため。		8,000			維持	いる。	
2												_		ĺ			,			
					<u> </u>															
								<u> </u>												
3																	-			
						1111	1111				<u> </u>									
						<u> </u>	<u> </u>													
4																				
		事務	事業				改善	内容(H27以降に実施	する内容)				=	事務事業				事業概要		
事務業の	 8事 D改											H27以降 規に実施	新す							
善区	内容											る事務事	業 							

対して) 4月~ 7月~ 1月~ 1月~ 態にしたいか) 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)
事業期間 事業開始年度 一 終了(予定)年度 一	(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載) 総事業費
# 第の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	### (単位:千円) 0 0 27,163 29,060 57,861
# 第の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	***・・
事業の意図	大田 100 14,000 14,000 14,000 0 14,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0
事業を構成する 対象	H25実績 単 H25実績 日 H26実績 日 H26実績 日 H26享算 日 H26決算 日 H26決算 日 H26決算 日 H26決算 日 H26決算 日 H26予算 日 H26決算 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
対して) 4月~ 7月~ 11月~ 態にしたいか) 日本	H26目標値 位
(2) 長久手古戦場駅前 通り線街路新設工事 (区域外) 道路工事をすることで 早期に道路整備率1 00%を達成させる。 加速 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	100 路整備延長の割合を 27,163 29,060 施設エー式、道路舗 計画どおり実施できた。
事務事業 改善内容(H27以降に実施する内容)	
事務事業の改善内容	日27以降新 規に実施す

事業	番号	98	事業σ	D名称	都市計画	公園等新設						担	当部署		部 建設部	4	課 都市計画課			
基本	方針	(1)万博理念	を継承し、自	自然・環境に	こだわるまち	分野別項目	(4)だれもが憩	い親しむ公園緑地	也を整える が	画策の進め方 (1)	公園緑	地の整備	# #		フラッグ		生命ある空間)の風景を子どもたちに~	フラッグ項目	(59)公園の整	E 備
ledi	事業の概	我要	市民の憩	いの場と	となる都市言	十画公園等を整	帯するため、記	设計・施工を進	හ් ර ිං			(近隣市市の状)	「の実施ね う町や先: 況等を具 こ記載)	進都 近隣市 :体的 る。			法及び都市公園法に 25決算 H26予算	基づき、同様に H26 決算	仁都市計画公園□	等の整備を進めてい
	事業期		事	業開始年	丰度	_		終了(予	定)年度	_				(単位	江:千円)	0	0 137,059	9 104,24	75,741	評価の見方
	事業の対		都市計画	近公園等								<u>4/4</u>	事業費		-般財源 費・県費	0	0 54,82	64,325 3 39,910		A現行どおり実施B事業の改善
· (対象	事業の意	[図 ような状	早期に都	『市計画』	公園等整備	率100%を達成	させる。							5	地方債 その他 者負担額	0 0 0	0 0 82,23 0	(0 0 0 0	C 他事業と統合D 運営主体の見直しE 事業の廃止の検討
						目的						成果				事業費(単位	立:千円)		評価	
-	事業を構 事務		(だれ	対象 れ、何に †して)		手段 Dような手段を使っ 月~ 10月~ 1		意図 どのような状 したいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	<u>積</u> 点		指標の目標値 定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訴 (単位:千円)	事業規模事業費	評価	の説明
1	中央地区 莆工事	1号公園	園長	i計画公 - 久手中 号公園	都市計画な	公園を整備する	敕借家	都市計画公園 100%を達成	工事施工実 施	都市計画公園整 備率		100	園整備算出する	積に対して公面積の割合を ることにより、 況を把握する きる。	53,30	3 57,641	・ 公園築造工事一式、 トイレ建築工事一式	A 維持 維持	画どおり実施でき	きた。
2 /	中央地区 莆工事	2号公園	園長	計画公 -久手中 号公園	都市計画な	公園を整備する	早期に和 整備率 させる。	都市計画公園 100%を達成	工事施工実 施継続	都市計画公園整備率		- 0 %	園整備算出する	積に対して公面積の割合を ることにより、 況を把握する	83,75	1	前払い金	(で)	組合施工の駅前	業施設建築工事及 広場整備工事との 成27年度に繰り越
3																				
4																				
		車 教	車業				か美内家/い	7以降に実施す	ナス内突)					車扱車業			7	李押西		
事務業の善内	事改容	事務	事 系				以晋 内 谷(H2	/以降に美施る	9 6 内谷)			H27以 規に実 る事務	降新 施す 事業	事務事業				事業概要		

事	業番号	99	事第	業の名称	屋外広台	告物に関する	事業				担当	部署		部設部	者	課 『市計画課			
基	本方針	(2)リニモ	でにき	ぎわい交流で	するまち	分野別項目	(8)魅力ある長久手らしい景観	を創り出す	施策の進め方((3)屋外広告	ち物の適正化	<u>.</u>		フラッグ			フラッグ項	目	
	事業の権			広告物の表 観を維持す		小 広告物を掲出す	る物件に対して、規制に迫	適合しない広く	告物を排除し、良	4好な街並	他市町の (近隣市町 市の状況等 に記	や先進都等を具体的		村で実施さ					
	事業期	問		事業開始	在 使	_	数7 (3	予定)年度	_		-		総事業 (単位:千		5予算 H2 ∩	25決算 H26予算 0 0	H26決算	H27予算	評価の見方
	事業の対	付象	規制は	に適合しない			ψ< 1 (/ 足/ 干及			1		一般則	財源	0	0 (0	0 0	A 現行どおり実施
(た	れ、何に 事業の意	対して	79611311			. ,,,					総事	業費	う <u>国費・</u> ち 地方		0	0	0	0 0	B事業の改善C他事業と統合
(対	象をどの態にしたし	ような状	良好想	な街並み景	観を維持す	つる							その 受益者負担	他	0	0 (0	0 0	D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
,	器にした (· <i>'</i> J')											文益 4 貝		U	U] (U	0 0	上 事業の廃止の検討
	事業を植	生成する	ŀ	対象	T	目的 手段	意図	_ ┃ ┃事務事業 <i>の</i>	,	H25集	成果	S = 11-1=			事業費(単位 H25決算	::千円)		評価	
		事業	(バス (だれ、何に 対して)		のような手段を使っ 7月~ 10月~ 1	て) (対象をどのような状	実施結果	成果指標	H25実 H26実	単	成果指標の 設定の根		125予算 126予算 127予算	H25決算 H26決算	::十円) H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価	の説明
											48 B	法作業に充	s てらわ.	-	_		Α		
1	屋外広告	5物の簡易	易除力	規制に適合 しない屋外			→ 良好な街並み景観を	簡易除去の	簡易除去件数	.	る	限度として記 人×12月(2	设定	_	_			計画どおり実施して	T1\/
	去作業			広告物	簡易除去	を実施することで	維持する。	実施(9月)	间勿财五计数		月) ×2件(§	余去1件				維持 	川凹とわり天心し、	. (,)
											48 (3	つき1時間	思定)				維持		ļ
2																			
2																			ļ
					<u> </u>														
							<u> </u>												
3																			
																	 		
			_				1						_				<u> </u>		
						<u> </u>	<u> </u>												
4																			
																	 		
		± 7-	± 24°										7k7 == 2llk				= 41/2 1017 		
		事務	争美				改善内容(H27以降に実施	9 句内谷)				事	務事業				事業概要		
事務	· 等										H27以降新規に実施す	fi +							
事務業の	P容										」規に実施する事務事業) 美							

事業	番号	100	事業の名	称 木造住 ⁹	之人 之耐震事業						担当	当部署		部 建設部	1	課 都市計画課			
基本	方針	(2)リニモで	にぎわい交	流するまち	分野別項目	(2)地区の特性	に合った住まいを	誘導する 施	5策の進め方 (2)	人にやさし	⋌安心・	安全な住宅の	誘導	フラッグ	•		フラッグコ	項目	
I I	事業の概	接要 料	済被害額) 震発生時	を軽減させる。こおける木造住		生)の倒壊等に)地震による被害(物に対し、補助制	(死有数や	(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 沿等を具体的 記載)	総事	業費 H	「村で実施され 25予算 H	ıている。 25決算 H26予 算	H26決	算 H27予算	
	事業期 事業の対		事業開	開始年度	平成15	年度	終了(予定	定)年度	平成32年	F度		-	(単位:	:千円) 般財源	10,800 2,700	3,132 12,300 785 4,200		,372 12,427 ,608 3,148	評価の見方 A 現行どおり実施
	●来のX い、何に		内木造住宅	它所有者							総	事業費		^{限別} 源 費•県費	8,100	2,347 8,100	{	,608 3,148 ,764 9,279	B 事業の改善
(対象	事業の意 をどの。 にしたし	ような状な							き、結果が「耐震・ と率を平成32年度					也方債 その他 負担額	0 0 0	0 0 0 0 0 0		0 0 0	C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討
					目的					Я					事業費(単位	立:千円)		評価	
-	事業を構 事務	事業	対象 (だれ、f 対して	可に(いつ、ど	手段 のような手段を使っ 月~ 10月~ 1)	て) (対象を		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標	遺 早	成果指標のE 設定の根		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の記	说明
- 7	- 告住字	耐震診断	昭和56年 月31日以 に着工さ	以前 _ <u>【 【 【 【</u> ぶれ		耐震診断	新を受診して 、安全性確 福	耐雲診断91	耐震診断実施件	±	10 21 m	過去の宝績が	に推移	1,800	450 972	 耐震診断委託	В	周知啓発活動として広 ページへの掲載、木道 のダイレクトメール送作	造住宅所有者へ けに加え、作田一
1 7	業	1111775 152 157	た木造住 (在来軸 構法)の 有者に	組 中か賀用	負担する無料耐煙 啓発を行うことで		改修・建替え	件	数		40	過去の実績か した数値	.D1E49	1,872		21棟×46.3千円 =972千円	維持 維持	丁目・二丁目にて75戸 る周知啓発活動、申込 を実施したところ、受記 10件から21件へと増力	込み方法の簡便化 <a> ら件数は前年度
			不造任名 (在来軸 構法)で	組		→ 改修工事	事を実施して				3			9,000	2,682	工局心放电处山		補助内容の変更等は は昨年度3件から6件と	ないが、改修件数 と増加した。昨年
2 才	、造住宅 計制事	耐震改修	震診断約が「耐震なし」の発	吉果 性 周知啓発 建築 うことで	及び改修費補助	いただき	、「耐震性ある	耐震改修6 件	耐震改修件数		6 件	過去の実績か した数値	ら推移	9,000	5,400	耐震改修費補助 6棟×900千円 =5,400千円	維持	度は建設業の人件費 あり、木造住宅の耐震 が大きくなっていたが る程度落ち着き、景気	改修費用の負担 、建設業需要もあ
			物の所有 に 昭和56年	5月3							_				_		П	とが要因と考えられる。	
			1日以前にされた木造/(在来軸組かつ、高齢	i住宅 構法 i者又 シェルター	-整備工事の補助	ある高齢を 者への配	対震性の高い		シェルター整備 件数		0 (4)	近隣市町村の と同等とした。	目標値	1,500	0		B 維持	平成26年度から新規! たが、申込みはなかっ	
			は障害者世 が居住する の)	ますることで		スペース	を確保する。				5			1,555			維持		
					<u> </u>														
4																			
		古沙古	*			b 美内索 / Lio	7以吸に中歩士	て中央)	•			■ ま る	本中来			1 	* 恒 声		
		事務事 木造住宅而 事業	4電沙斯	平成26年度に			7以降に実施す (定を踏まえ、広		かを検討・実施する	5.		事 剂	8事業_			事	業概要		
事務業の	\$ 2	木造住宅而費補助事業		平成26年度に	行った耐震改修	足進計画の改	定を踏まえ、広	報啓発活動	かを検討・実施する		H27以降 規に実施								
善内	容	木造住宅でター整備費		耐震診断員を	通じて事業PRを行	 うなど、広報	啓発活動を検討	討・実施する			る事務事								

車	業番号	101	車	業の名称	非未告十	<u> </u>	」以計Ш示 車業				担当	- 部署		部		課			
	本方針			ぎわい交流す		分野別項目	ザネマー (2)地区の特性に合った住まし	た話道する 悦	施策の進め方	(a) 11-45+				設部 フラッグ	者	77市計画課	フラッグエ	古日	
	事業の材		長久共同地震	手市耐震改 住宅の耐震 発生時にお	修促進計画 化率の向上 ける非木造	「により、市内の: こを目的とする。 共同住宅の倒場	地震による被害(死者数や) 登等による災害を誘発する疑 上の目標である95%以上の	経済被害額)を補助	を軽減させるため制度を活用し、こ	かに、非木造 故修工事を	他市町の (近隣市町	実施状況 Tや先進都 等を具体的		町村が補助		25決算 H26予算	J J J J J J J J J J J J J J J J J J J		
	事業期			事業開始。	年度	平成20)年度 終了 (⁻	予定)年度	平成32	2年度			(単位:千F	円)	11,696	0 12,879	1120//	0 13,305	評価の見方
(だ (対	事業の流れ、何に事業の流象をどの態にしたい	対して 意図 ような	,			着工された非木達 態まで耐震補強					総事	7、業費 うち		県費 債 他	2,924 8,772 0 0	$\begin{array}{c cccc} 0 & 3,345 \\ 0 & 9,534 \\ 0 & 0 \\ \hline 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{array}$		$\begin{array}{ccc} 0 & 3,411 \\ 0 & 9,894 \\ 0 & 0 \\ 0 & 0 \end{array}$	A現行どおり実施B事業の改善C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討
						目的					成果]	事業費(単位	7 · 千 円)		一評価	<u> </u>
	事業を 事務	構成する 事業	る	対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使・ 月~ 10月~ 1		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目标	<u>績</u> 績 位	成果指標の目 設定の根拠	標値 <u> </u>	25予算 26予算 27予算	H25決算 H26決算		評価 事業規模 事業費	*	・ 西の説明
1	非木造‡ 震診断弱	共同住 ⁹	宅耐 事業	昭和56年5 月31日以前 に着工され た非木造共 同住宅	耐震診断	することで	■ 旧基準建築物の安全性を確認することで 建替え・耐震改修の 促進を図る。	耐震診断0件	耐震診断実施 数	5件	0 0 件 1	過去の実績から た数値	推移	1,500 1,500 1,500	0		₩±.	耐震改修促進計	ては、平成26年度に 画を改定する際に再 達成していることを確
2	非木造排震改修記事業		宅耐 補助	非木造共同 住宅で耐震 診断結果が 「耐震性な し」の建築物	1	設計の補助をす	→ 「耐震性なし」の建築物を改修工事により「耐震性あり」の状態に改善する。	改修設計0	建築物の耐震 率を平成27年 までに更に高 る	度	0 0 件 1	過去の実績から た数値	推移	500 500 500	0		644-4 4 -	耐震改修促進計	ては、平成26年度に 画を改定する際に再 達成していることを確
3	非木造‡ 震改修§	共同住 ^会 費補助・		非木造共同 住宅で耐震 診断結果が 「耐震性な し」の建築物	耐震改修	工事の補助をす	物を改修工事により	耐震改修0	建築物の耐震 率を平成27年 までに更に高 る	度	0 0 件 1	過去の実績から た数値	推移	9,696 10,879 11,305	0		644-4 4-	耐震改修促進計	ていく。 ては、平成26年度に 画を改定する際に再 達成していることを確 維持とした。
4																			
		市	数 重要				改善内窓(4971)吹に字が	オス内索)				- 市政	車業				* 垣 西		
事務 業 <i>0</i> 善)改	事	務事業				改善内容(H27以降に実施	9 の内容)			H27以降業 規に実施する事務事業	す	尹未			事	業概要_		

击.	** ** •	100	市	** のなが	· // 国 ==	大人于巾打					+0.	V +0 55		部		課			
	業番号	102				駅周辺土地区画		"	the sales to be			当部署		建設部		×画整理課			
基	本方針	(2)IJ=	モでに	ぎわい交流	きするまち	分野別項目	(1)環境にやさしいまちを・	つくる 旅	策の進め方(1)魅力ある	新たな市	街地の整備		フラッグ	F1「つながり」〜一人	、ひとりに役割と居場所があるまち〜	フラッグ	項目 (14)リニモの集客カアップ(4	園西駅周辺の市街化整備)
	事業の杮	既要	した	商業施設を	誘致し、周	辺レクリエーション施	結節機能の強化や公共 設と連携したにぎわい機 部地域の活性化とリニモ利	能の導入を図	るため、環境に	舌力を活用 配慮した土	(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 記等を具体的 記載)	い。 県内でも 施策のた	。減価地区での とめに行われて	D行政施行の ている。				
	事業期			事業開始	台年度	平成25年	度 終了(予	定)年度	平成35年	年度			(単位	:千円)	-	- 1,149,705		5,625 475,166	評価の見方
(だ	事業の対) 公園	西駅周辺-	上地区画整	理事業区域内におり	ける地権者。				総	事業費	う国	般財源 費·県費		- 1,149,70 <u>5</u> - (506	6,625 475,166 0 0	A現行どおり実施B事業の改善
(44	事業の意		 + + + + + + + + + +	老の今音	ド成を図り	環境に配慮した優月	自わまたたつくる							也方債 その他		()	0 0	C他事業と統合D運営主体の見直し
(/)	態にしたし	ハか)	人口记作	1477日息川	が見て囚り、	塚境(に配慮した優)	えなよりを ノヘジ。						受益者			- ()	0 0	E 事業の廃止の検討
						目的					成果				事業費(単位	☆· 千 円)		評価	
	事業を構 事務	構成す ^を 事業	5	対象 (だれ、何I 対して)		手段 ごのような手段を使って 7月~ 10月~ 1月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	績 績 位	成果指標の設定の)目標値 根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	+ H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費		
1	建物移車	云補償	業務	事業区域内 の建物所有 者に	可 事業に理	里解していただき、建 関値交渉をすることに	生活再建に向けて適 切な補償を行い、建	建物9件に ついて移転 補償契約を 締結した。	建物移転件数		9 件	土地区画整 地内の移転 する建物件	を必要と	505,443	270,779	建物移転補償金 (※H26年度に支払う べき前払金等の合 計) 270,229千円	Α	当初は移転必要建物を1 H26年度に移転が必要と であり、このうち9件の移車 はH27.4に契約締結予定 2件についてはH28末に ある。 (※評価は「A」だが、事業 実施しない。)	なった建物は10件 云が完了。残り1件 である。なお、残り 契約締結見込みで
2	工作物等 業務	等移転	補償	事業区域内 の物件所有 者に	事業に理	里解していただき、I 多転補償交渉をする て		工作物等37 件について 移転補償契 約を締結し た。	工作物等の件	数	37 件	土地区画整地内の移転する工作物等とした。	を必要と	25,460	25,223	工作物等移転補償 金 25,223千円	- -	当初は移転必要工作物: が、実際に移転が必要と 38件であり、このうち37件 支障となる工作物のほぼ した。なお、残り1件につり、H26繰越予算により対 (※評価は「A」だが、事業 実施しない。)	なった工作物等は の移転が完了し、 全ての移転が完了 いては交渉中であ 応予定である。
3	使用収益 業務	益停 止	補償	事業区域内 の土地所有 者に	事業に理	里解していただき、使 産の停止補償交渉を よって	使用収益停止期間に おける適切な補償を	48件の使用 収益停止報 償契約を締 結した。	土地の権利数		48 件	土地区画整 地内の収益 を必要とする とした。	権の停止	8,755 2,460	5,867	使用収益停止補償 金 5,867千円	維持維持	契約締結が可能である権 停止報償契約は締結完 今後、各権利者の仮換り 始するまで、補償金の支 く。	了した。 bの使用収益を開
4	街区整備	⋕事業		事業区域内 の土地所有 者に	-	る基盤整備を行うこ	換地の使用収益を開 始する。	基盤整備を 進めたが使 用収益開始 には至らな かった。	使用収益開始i 積割合	面	0 0/	地区内宅地 し使用収益を る街区面積管 た。	を開始す	610,047 472,706	204,756	街区造成工事等 204,756千円	維持増加	H26末の商業街区使用地たが、商業事業者との協 が図れることから、使用地ことになったものの、可能成工事が進んだ。なお、 繰越予算により継続実施	議によりコスト削減 な益開始を遅らせる な範囲で順調に造 一部の工事はH26
		事	務事業				善内容(H27以降に実施						務事業			<u> </u>	¥概要		
												7				•			
事務業の	务事 D改										H27以降 規に実施	色す							
善内	内容										る事務事								

事	業番号	103	事業の名称	組合施行	「区画整理事					担当	当部署	,	部 建設部		課 区画整理課		
基	本方針	(2)リニモで	にぎわい交流	するまち	分野別項目	(1)魅力ある市街地を創り	出す 施	策の進め方 (1)	魅力ある	新たな市行	街地の整備		フラッグ	F1「つながり」〜一人	ひとりに役割と居場所があるまち~	フラッグ項	[13]リニモの集客力アップ(長久手古戦場駅周辺の市街化整備)
	事業の概	そ る	「内では組合に まちづくりを行 行う。	よる土地区頂	画整理事業を4か らよう、土地区画	所で施行していることから を理組合への指導・助言及	、それぞれの! で国庫補助会	地区特性を生かした 全の確保、市助成会	た魅力あ	(近隣市時 市の状況	D実施状況 町や先進都 等を具体的 記載)				けは近隣市町でも多く釘		
	事業期	間	事業開始	年度	昭和56	年度 終了(予	定)年度	平成31年	度			総事第 (単位: -		2 5 予算 H 923,000	25決算 H26予算 883,000 668,000	H26決 算 377,5	
	事業の対れ、何に	⋬ ↓	地区画整理組		H		~/ ~	1 /// 2 1 //	~	纵音	5 ₩#.	— 舟	段財源	783,500	743,500 541,675	334,1	150 686,787 🛕 現行どおり実施
(対:	事業の意	t図 ような状 ±	地区画整理事	耳業による面的	的整備により、良	好な宅地整備が行えるよう	にする。			総引	事業費 -	ち地	・県費 方債 の他 負担額	139,500 0 0	139,500 126,325 0 0 0 0 0 0	43,4	400 140,663 0 0 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討
					目的				F					事業費(単位	∴· 壬 田)	l .	評価
	事業を構		対象		手段	意図	事務事業の		H25実約	遺	成果指標の	日煙値 -	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	
	事務	事業	(だれ、何に 対して)		りような手段を使っ 月~ ¦ 10月~¦ 1〕		実施結果	成果指標	H26実約 H26目標	<u>現</u>	設定の相		H26予算 H27予算	H26決算	(単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明
	長久手市	うけの組合し	土地区画整	1 1 1 1						91	宅地供給の前		923,000	883,000	国庫負担金56,000千円(中央)(国5.5/10、	Α	区画整理事業の公共施設整備を推進 することにより、宅地供給の促進が図ら
1	業(長湫)	区画整理事 中部、長湫	湫中部、長 湫南部、長	市による指	導・助言及び補	よる面的整備により、	公共ル政策	宅地全体に対す る公共施設整備 産		95 %	る区画整理事 共施設整備(デ	道路•	668,000	377,550	県2.25/10、市 2.25/10)、市助成金	##-#-	れ、まちづくり、税収等に寄与する。事業費は、区画整理の進捗に伴い増加
	用部、長 下山)	久手中央、	久手中央、 下山) に		することによって	えるようにする。	/C ₀	度		95 í	水路・公園)の 合	進捗制	827,450		256,000千円(中央)、 65,550千円(下山)		する。なお、H26実績が目標値を下回っ た理由は、関連他事業の遅れなどによ 0、繰越となった事業があるためである。
2																	
												<u> </u>					
3												-					
												ľ					
4												-					
0																	
		古沙士	*				士を中央と					☆ 古 坐			±	**###	
		事務事	未			牧善内容(H27以降に実施	9 の内谷)				事 7	務事業			事	業概要	
<u></u> -,																	
事務業の	6 事 0改 1交									H27以降 規に実施 る事務事	新 jす : **						
급	1.11									ひず幼尹	*						

事業番号	104	事業の名称	長久手消	を化センター・	中継ポンプ	場・マンホールポン	プ維持管理事	業	担当部署		部 建設部		課 下水道課					
基本方針(2)リニモ	でにぎわい交流す	けるまち	分野別項目	(5)下水道を整え、	清潔・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備			フラック	ブ			フラッグ項目			
事業の概	要	市街地の水質保 プを経由して浄化 出し肥料化すると	ムセンターへ	集められた汚オ	kを、水処理し [~]	区から排出され、一部 て香流川へ放流し、発 よう管理する。	中継ポンプ場・マン 生した汚泥は濃縮	ンホールポン 話、脱水して搬	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的	人尾47,3 日長38,7	旭市 2処理 20人 市 2処理場 手市 2処理	場 (基本計 (基本計画)	画) 処理人口8 処理人口98,60	8,000人 処理 10人 処理能	里能力35,900m 力44,100㎡/日	日 (H24現況) ¹ /日 (H24現混) (H24現況) 水 ¹ /日 (H24現混) H27予算	兄)水炎 洗化人	七化人口 .口45,991人
事業期間	目	事業開始年	丰度	平成8	年度	終了(予定)年度		_			^{陇事未} 員 単位:千円)	135,647				150,353	Ē	平価の見方
事業の対 (だれ、何に対		市内の住民							総事業費	j	一般財源 国費・県費	0	0	0		0	A B	現行どおり実施 事業の改善
事業の意 (対象をどのよ 態にしたい	うな状	汚水処理に下水	道を利用し、	、清潔で快適な	生活環境を享受	受してもらう。				ち	地方債 使用料 益者負担額	135,647 0	0 127,620 0	0 149,098 0	135,016	0 150,353 0	C	他事業と統合 運営主体の見直し 事業の廃止の検討

			目的				成果				事業費(単位	t:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)		成果指標	H25実績 H26実績 H27目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		長久手浄化センター・長	 	適切に維持管理し、	作業:日祝 日年末年始 を除く毎日	基準に適合しな	0		法令等水質基準を遵	60,412	56,635		Α	
1	維持官理爭業		専門知識・資格を持つ業者に 管理を委託し、その業務を監 督することで	重大な事故等が起こらないようにする。	(保守点検・ 運転操作監 視・脱水機	い排水流出などの事故の回数	0	□	守し事故のないようにする。	58,254	58,253	維持管理業務委託 58,253千円	維持	計画どおり実施できた。
		プ	省することで		運転·水質 檢查)		0			58,254			維持	
		長久手浄化			汚泥の搬		0		African Joseph Edward	53,770	50,166		Α	
2	脱水ケーキ処分事業	センターにて排水処理	廃棄物運搬・処分の許可を受け市の処分条件に合った業者	適切・安全に運搬・処 理し、肥料化する。	出:日祝日	悪臭等の苦情件 数	0	件	適切に処理し、周辺 住民等から苦情のな	67,657	56,982	脱水ケーキ処分委託 56,982千円	維持	計画どおり実施できた。
		に伴い発生 した汚泥	に委託し、その業務を監督することで		除く毎日		0		いようにする。	67,657			維持	
		長久手浄化		環境保全の基準に	採取·分析· 報告:(重金 属等)分析項	++ ×+ × × × × × ×	0		VI. A belo I ES H ML). M	1,960	1,884	~^ D =	Α	
3	重金属·悪臭·除害	センターからの放流水	専門業者に委託し、関係法に	沿った排水、河川の	目により月2 回~年1回	基準に適合しない水質の排水放	0	回	法令等水質基準を遵 守し事故のないように	2,316	2,085	重金属·悪臭·除害 施設水質分析委託	維持	計画どおり実施できた。
		等	基づいた水質分析等を行うことで	う管理する。	(悪臭)年1回 (除害施設) 年1回	流回数	0		する。	2,746		2,085千円	維持	
		長久手浄化 センター・中 継ポンプ場の					0		必要な保守点検を行	13,440	13,650		Α	
4	計装機器·自家発電 設備保守点検事業	主要な計測機器である計		正常に稼働させる。	保守点検1 回	事故、故障の回 数	0	回	い汚水処理に必要な 機器、処理データを	14,655	11,880	計装機器·自家発電 設備保守点検委託	維持	計画どおり実施できた。
		装機器及び	委託し、定期的に保守点検す ることで			<i>-</i> -	0		正常に計測・監視で きるようにする。	15,500		11,880千円	維持	

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

基本方針 (2)リニモでにぎわい交流するまち 分野別項目 (6)下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつく) 施策の進め方 (2)管渠整備 フラッグ フラッグ 項目 本計画) 処理人口122,500人 処理能力61,000㎡/日 (H24現況) 水洗化人口59,726	事業番号 1	04	事業の名称	長久手灣	争化センター・	中継ポンプ	場・マンホールポン	プ維持管理事	業	担当部署		部 建設部		課 下水道課				
###	基本方針 (2)	リニモ	でにぎわい交流す	けるまち	分野別項目	(5)下水道を整え、	清潔・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備			フラック	ブ			フラッグ項目		
事業期間事業開始年度平成8年度終了(予定)年度-(単位:千円)135,647127,620149,098135,016150,353事業の対象 (だれ、何に対して)市内の住民一般財源 50 国費・県費 50 0 0 	事業の概要		プを経由して浄化	ムセンター〜	集められた汚オ	くを、水処理して	て香流川へ放流し、発	中継ポンプ場・マン 生した汚泥は濃縮	/ホールポン i、脱水して搬	他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的	人 尾 47,3 日 長	旭市 2処理 20人 市 2処理場 手市 2処理	場 (基本計画) (基本計画) 処	画) 処理人口8 処理人口98,60	8,000人 処理 00人 処理能	型能力35,900 n 力44,100㎡/日	㎡/日 (H24現 (H24現況)水	況)水洗化人口 洗化人口45,991人
事業の対象 (だれ、何に対して)市内の住民一般財源00000B現行どおり実施事業の意図 (対象をどのような状 (対象をどのような状 (対象をとのような状 	事業期間		事業開始会	王度	平成8	年度	終了(予定)年度		_									評価の見方
(対象をどのような状 汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。	事業の対象			. ~	1 ///43		11.717.712	•		総事業費		一般財源	0	0	0		0	A 現行どおり実施
	(対象をどのよう	うな状	汚水処理に下水	道を利用し	、清潔で快適な	生活環境を享受	受してもらう。				ち	地方債 使用料	0 135,647 0	0 127,620 0	0 149,098 0	135,016	0 150,353 0	D 運営主体の見直し

			目的				成果				事業費(単位	5:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H27目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		長久手浄化 センターに て排水処理	廃棄物運搬・処分の許可を受	適切・安全に運搬・処		悪臭等の苦情件	0		適切に処理し、周辺	1,072 1,105	1,117	廃棄物処理委託	Α	
5		に伴い発生	は市の処分条件に合った業者に委託し、その業務を監督することで	理する。	運搬10回	数	0		住民等から苦情のな」いようにする。	1,211	1,201	1,207千円	維持 維持	計画どおり実施できた。
	中継ポンプ場維持管理事業	長久 毛山継	_	適切に維持管理す	警備委託 消防用設備	維持管理の不足	0		適切に維持管理し、	386 393	381	警備委託 183千円 消防用設備保守点	Α	
6	理事業	ポンプ場	施設管理に必要な各業務を業 者に委託し、その業務を監督 することで	る。	保守点検 電気保安業 務委託	による不具合の 」 発生回数	0		施設運営に支障のな」 いようにする。	397		検委託 11千円 電気保安業務委託 199千円	維持 維持	計画どおり実施できた。 -
	長久手浄化センター	長久手浄化		適切に維持管理す	警備委託電 気保安業務	維持管理の不足	0		適切に維持管理し、	4,607 4,718	3,787	植栽管理委託1,263 千円 電気保安業務委託	Α	
7	施設維持管理事業	ンホールポンプ	施設管理に必要な各業務を業 者に委託し、その業務を監督 することで	過期に維持官兵が	委託	による不具合の 発生回数	0		施設運営に支障のなり いようにする。	4,588		762千円 除草芝刈委託563千 円 警備委託518千円他	維持 維持	計画どおり実施できた。 -
												1 MM 2 HE 0 10 1 1 1 1 1 1 1		
(8)														

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

事業番号	105	事業の名称	長久手南	南部浄化セン	ター・マンホー	ールポンプ維持管:	理事業		担当部署		部 建設部		課 下水道調	E.				
基本方針(2)リニモ	でにぎわい交流す	トるまち	分野別項目	(5)下水道を整え、流	青潔・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備			フラック	ブ			フラッグ項目			
事業の概	要	市街地の水質保全 久手南部浄化セン し肥料化するとい	ンターへ集	められた汚水を	、水処理して植	区から排出され、一部 田川へ放流し、発生し う管理する。	マンホールポンプ た汚泥は濃縮、B	を経由して長 兑水して搬出	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的	人尾47,3 日長38,7	旭市 2処理 20人 計 2処理場 、手市 2処理 64人	場(基本計 (基本計画) 場(基本計	画) 処理人口8 処理人口98,60 画) 処理人口5	38,000人 処理 00人 処理能 56,500人 処理	里能力35,900 n 力44,100 ㎡/日 里能力27,300 n	日(H24現況 ㎡/日(H24現 (H24現況)水 ㎡/日(H24現	兄) 水泡 洗化人	先化人口 、口45,991人
事業期間		事業開始年	丰度	平成8	年度	終了(予定)年度		_			総事業費 単位:千円)	H25予算 40,074	H25決算 29,338	H26予算 35,970	H26決算 40,815	H27予算 38,739	į	平価の見方
事業の対 (だれ、何に対		市内の住民							総事業費	j	一般財源 国費・県費	(0 0	0		0	A B	現行どおり実施 事業の改善
事業の意 (対象をどのよ 態にしたい	うな状	汚水処理に下水	道を利用し、	、清潔で快適な	生活環境を享受	受してもらう。				ち 受	地方債 使用料 益者負担額	40,074 (0 29,338 0	0 35,970 0	40,815	0 38,739 0	D	他事業と統合 運営主体の見直し 事業の廃止の検討

			目的				成果				事業費(単位	立:千円)		評価
事業を構成 事務事		対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)		成果指標	H25実績 H26実績 H27目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		長久手南部 浄化セン	<u> </u>	適切に維持管理し、	作業:巡回 点検週3日 以上(保守	基準に適合しな	0		法令等水質基準を遵	13,482	12,847		Α	
1 維持管理事	事業	ター・マン	専門知識・資格を持つ業者に 管理を委託し、その業務を監	重大な事故等が起こ らないようにする。	点検・運転 操作監視・ 脱水機運	基準に適合しない排水流出などの事故の回数	0	口	伝っ寺が貝基単を題 守し事故のないように する。	13,215	13,214	維持管理業務委託 13,214千円	維持	計画どおり実施できた。
		プ 	督することで		転·水質検 香)		0			13,215			維持	
		長久手南部 浄化セン	<u> </u>		汚泥の搬 出:日祝日		0		適切に処理し、周辺	18,957	9,443		Α	
② 脱水ケーキ	キ処分事業	ターにて排 水処理に伴 い発生した	廃棄物運搬・処分の許可を受け市の処分条件に合った業者に委託し、その業務を監督す	適切・安全に運搬・処 理し、肥料化する。	年末年始を 除き随時 (おおむね	悪臭等の苦情件 数	0	件	世民等から苦情のないようにする。	9,812	16,166	脱水ケーキ処分委託 10,166千円	維持	計画どおり実施できた。
		汚泥	ることで		週2回)		0			10,971			維持	
		長久手南部		環境保全の基準に	採取·分析· 報告:(重金 属等)分析項	基準に適合しな	0		法令等水質基準を遵	1,749	1,652	重金属•悪臭•除害	Α	
③ 重金属・悪施設水質分	分析事業	浄化セン ターからの 放流水等	専門業者に委託し、関係法に 基づいた水質分析等を行うこと	沿った排水、河川の 水質等を維持するよう管理する。	日により月2	本年に過しる。 い水質の排水放 流回数	0	口	守し事故のないように する。	1,802	1,426	施設水質分析委託 1,426千円	維持	計画どおり実施できた。
		//X1/II//\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		(除害施設) 年1回		0			1,802			維持	
		長久手南部 浄化セン	<u> </u>				0		適切に処理し、周辺	731	98		Α	
④ 廃棄物処理	埋 争兼	ターにて排 水処理に伴 い発生した	廃棄物運搬・処分の許可を受け市の処分条件に合った業者に委託し、その業務を監督す	適切・安全に運搬・処理する。	運搬9回	悪臭等の苦情件 数	0	件	住民等から苦情のないようにする。	520	165	廃棄物処理委託 165千円	維持	計画どおり実施できた。
		流入異物等	ることで				0			192			維持	

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

事業番号	105	事業の名称	長久手南	南部浄化セン	ター・マンホー	ールポンプ維持管:	理事業		担当部署		部 建設部		課 下水道課	Į.			
基本方針 (2	!)リニモ	でにぎわい交流す	つるまち	分野別項目	(5)下水道を整え、流	情潔・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備			フラック	ブ			フラッグ項目		
事業の概要	要		-へ集められ	れた汚水を、水気	処理して植田川	区から排出されマンホ へ放流し、発生した汚 里する。		して長久手 て搬出し肥	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的	人 尾 47,3 日 長 38,7	旭市 2処理: 20人 市 2処理場 手市 2処理: 64人	場(基本計画) (基本計画) 場(基本計画	画) 処理人口8 処理人口98,60 画) 処理人口5	8,000人 処理 00人 処理能 6,500人 処理	里能力35,900 n 力44,100 ㎡/日 里能力27,300 n	㎡/日 (H24現紀 (H24現況)水 ㎡/日 (H24現涯)水洗化人口59,726 况)水洗化人口 洗化人口45,991人 况)水洗化人口
事業期間]	事業開始年	丰度	平成8	年度	終了(予定)年度		_			総事業費 単位:千円)	H25予算 40,074	H25決算 29,338	H26予算 35,970	H26決算 40,815	H27予算 38,739	評価の見方
事業の対象 (だれ、何に対		市内の住民							総事業費	j	一般財源 国費·県費	0	0	0		0	A現行どおり実施B事業の改善
事業の意[(対象をどのよ 態にしたい:	うな状	汚水処理に下水	道を利用し	、清潔で快適な	生活環境を享受	 をしてもらう。				ち 受	地方債 使用料 益者負担額	0 40,074 0	0 29,338 0	0 35,970 0	40,815	0 38,739 0	C 他事業と統合D 運営主体の見直しE 事業の廃止の検討

			目的				成果				事業費(単位	立:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H27目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
(5)	計装機器·自家発電 設備保守点検事業	装機器及び		正常に稼働させる。	保守点検1 回	事故、故障の回 数	0	回	必要な保守点検を行い汚水処理に必要な 機器、処理データを 正常に計測・監視で きるようにする。	5,249	4,644	計装機器·自家発電 設備保守点検委託 4,644千円	A 維持	計画どおり実施できた。
		長久手南部			敬供禾子录		0		C'J& /(C) 'Jo	5,249 5,155	5,298	植栽管理委託3,786	維持 A	
6	長久手南部浄化センター施設維持管理事	浄化セン ター・マン	施設管理に必要な各業務を業 者に委託し、その業務を監督 することで	適切に維持管理する。	警備委託電 気保安業務 委託 他	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	回	適切に維持管理し、 施設運営に支障のな」 いようにする。	5,372 7,310	5,200	千円 電気保安業務委託 358千円 警備委託518千円他	維持 維持	計画どおり実施できた。
Ī)													
8)													

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

<u> </u>	v == ==		<u> </u>	W - 5 T/	£=£= > → +/ .		1 以計画宗				1			部		課	1		
事系	業番号	106	事	業の名称	管渠整位	備事業(公共7	下水道事業)				担当	部署	3	建設部		下水道課			
基本	卜方針	(2)リニモ	でにき	ぎわい交流す	けるまち	分野別項目	(5)下水道を整え、清潔・	・快適・安全なまちをつくる	施策の進め方	(2)管渠整備	i			フラッグ			フラッグゴ	頁目	
	事業の概	双要	公共	共下水道整 值	帯に伴う事業	業計画、実施計區	画及び工事の施工	を行う。			他市町の9 (近隣市町 市の状況等 に記	実施状況 や先進都 を具体的	日進市 長久手市 (平成24年	下水道普及 下水道普及 下水道普及 下水道普及 下水道普及 下度末状況)	及率 66.2%、 及率 63.7%、 及率 65.4%、 及率 87.6%、	,行政人口 132, 行政人口 309, 行政人口 81, 行政人口 85, 行政人口 51,	100人、処理人 800人、処理人 400人、処理人 800人、処理人	コ 204,700人 ロ 52,100人 ロ 55,800人 ロ 45,400人	
	事業期	間		事業開始。	主度	平成3	年度	終了(予定)年度		_	4		総事業 (単位: -			25決算 H26予 235,559 260	9 H26決 0,793 252,		評価の見方
	事業の対	才象	小ま				辺市街化調整区域				1		一般	段財源	1	37,471	310	0 14,602	A 現行どおり実施
(対象	れ、何に 事業の意 象をどの。 態にしたい	意図 ような状				i・安全なまちをつ		X) -> 1 12 EQ			総事 <u>;</u>	業費	ち 地:	:・県費 方債 の他 負担額	47,030 42,000 207,324 4,981	34,600 93 0 13 163,488 153	3,713 82, 3,000 13, 3,770 157, 0,400 25,	440 85,722 000 61,900 072 210,728	B事業の改善C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討
						日始					☆ ■				古类弗/出丛	イ 田 \		= 7.1	
	事業を構 事務					目的 手段 のような手段を使っ '月~ 10月~ 1,)ような状 実施結	業の i果 成果指	H25集 /標 H26集	成果 <u> </u>	大果指標の 設定の材		H25予算 H26予算 H27予算	事業費(単位 H25決算 H26決算	1:千円) H26決算の主な (単位:千円		評価 評価	D説明
1) (1)	公共下水	〈道事業	Ē	公共下水道 計画区域の 市民	必要な技	術を持つ業者等事業を実施する、	で公 きる環境を整		: の 下水道普		89 % 水	政人口中の 道を使用で の割合	D公共下 できる人	296,355 260,793 372,952	235,559	公共下水道築造事127,702千円取付管設置工事31,149千円他		計画どおり実施でき	た。
2													-						
3													-						
4													-						
		主恣	事業				改善内突(H27に)	降に実施する内容)				1 重	務事業				事業概要		
事務業の善大	事。	争份	尹未				以音的台(口2/以)	平に天心 9 句内谷			- H27以降新 規に実施す る事務事業		(力学系)				事 未似安		

					女人士叩	<u>行政評価宗</u>						÷n.		===		
事	業番号	107	事業の名	★ 熊張苑	j・マンホールス	ペンプ維持管理事業				担当	部署 ———	部 建設部		課 下水道課		
基	本方針	(2)リニモ	でにぎわい交	流するまち	分野別項目	(5)下水道を整え、清潔・快適・安全な	なまちをつくる 旅	西策の進め方 (2)智	管渠整備		•	フラッグ		-	フラッグエ	頁目
	事業の概	既要	非出され、一部	部マンホール	パンプを経由して	善を図り、併せて公共用水均 に熊張苑へ集められた汚水を 化するという一連の機能を落	を、水処理して	香流川へ放流し、	地区から ((近隣市町 市の状況	実施状況 「や先進都 等を具体的 記載) 長久手	i 1農業集落排 市 7農業集落 市 2農業集落	水施設 整備 水施設 整備 非水施設 整 排水施設 整	情対象人口2,767人(H 情対象人口4,929人(H 情対象人口190人(H2 備対象人口10,017人 E備対象人口2,690人	H24現況) 4現況)水 (H24現涯	水洗化人口4,479人 洗化人口 226人 記)水洗化人口9,299人 記)水洗化人口2,821人
	事業期		事業開	始年度	昭和智	6年度 終了(予定)年度	-			(単位	立:千円)	3,527	2,693 2,910	2.	,786 2,939 評価の見方
(†	事業の対 どれ、何に	可家 対して)	市内の住民							総事	業費 う 🗓	一般財源 国費·県費	2,220 0	1,695 1,831 0 0	1	.7551,786A 現行どおり実施0B 事業の改善
交)	事業の意 け象をどの。 態にしたい	ような状	5水処理に下	水道を利用	し、清潔で快適な	生活環境を享受してもらう。					ち 受益:	地方債 使用料 者負担額	0 1,307 0	0 0 998 1,079 0 0	1,	0 C 他事業と統合 031 1,153 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					目的								事業費(単位	2:千円)		評価
	事業を構 事務		対象 (だれ、何 対して)		手段 どのような手段を使 7月~ [10月~]		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H27目標個		成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明
1	熊張苑維業	進持管理事	. 熊張苑・ ンホール: ンプ	ポ 専門知語	職・資格を持つ業 委託し、その業務 とで		作業:巡回 管理週2回 以上(保事 以上(運転 操作監視・ 水質検 水質	基準に適合しない排水流出などの事故の回数		0 回 党	云令等水質基準を減 Fし事故のないようが 「る。	2,670 2,033 2,033	1,977 2,033	熊張苑維持管理業 務委託 2,033千円	維持維持	計画どおり実施できた。
2	悪臭•除 分析事業	害施設水質	熊張苑の 臭、除害 設の水質	施 専門業権	者に委託し、関係 た測定、水質分析 で		採取・分析・ 報告: (悪 臭)年1回 (除害施設) 年1回	基準に適合しない水質の排水放 流回数		回 🖯	に令等水質基準を追 ドし事故のないようし つる。	226 至 233 2 236		悪臭·除害施設水質 分析委託 219千円	A 維持 維持	計画どおり実施できた。
3	汚泥処分)事業	熊張苑に 排水処理 伴い発生 た沈砂等	て に 廃棄物道 し け市の処	Lの条件に合った 、その業務を監 ⁷	を受 適切・安全に運搬・処 業者 理する。	<u>L</u> 運搬1回	悪臭等の苦情件 数		件 付	通切に処理し、周辺 E民等から苦情のな いようにする。	250 257 262	219	汚泥処分委託 201千円	A 維持 維持	計画どおり実施できた。
4	熊張苑旅 理事業	五 設維持管	: 熊張苑	施設管理者に委託すること	里に必要な各業系 モレ、その業務を! で	適切に維持管理す る。	電気保安業務委託 植栽管理委託 消防用設備保守点検委託	維持管理の不足 による不具合の 発生回数		回 施	質切に維持管理し、 配設運営に支障のないようにする。	381 387 408		電気保安業務委託 170千円 植栽管理委託 93千円他	維持維持	計画どおり実施できた。
		事務事	業			改善内容(H27以降に実施	する内容)				事務事業			事	業概要	
事業	務事 の改 内容								夫 夫	H27以降親 規に実施る る事務事業	新 す					
普	四台									ℴℋℬ⅌	*					

E b 壬十二十二十二五

					_	長久手	市行政	(評価票											
事美	業番号	108	事	業の名称	前熊苑	・マンホーノ	レポンフ	『維持管理事業				担当	部署 —		部 建設部		課 下水道課		
基	本方針	(2)リニモ	でにき	ぎわい交流で	するまち	分野別項	[5]下	水道を整え、清潔・快適・安全な	まちをつくる 施	(2)智					フラッグ	•		フラッグコ	項目
	事業の概	既要	排出	され、一部で	アンホールス	ポンプを経由	して熊張	図り、併せて公共用水均 苑へ集められた汚水を ろという一連の機能を滞	、水処理して	香流川へ放流し、	也区から (j	近隣市町	実施认流 「や先進都 等を具体的 は新い	明市 1) 進市 1) よし市 7 久手市	農業集落排 農業集落排 7農業集落打 2農業集落	水施設 整備水施設 整備水施設 整備非水施設 整排水施設 整排水施設 整	備対象人口2,690人	H24現況)) 24現況)水 (H24現り (H24現り	水洗化人口4,479人 洗化人口 226人 记)水洗化人口9,299人 记)水洗化人口2,821人
	事業期			事業開始	年度	平	成8年度	終了(予	·定)年度	-	_			総事業 (単位:千	f円)	14,873	25決算H26予算12,82314,133		,869 14,278 評価の見方
	事業の対れ、何に		市内の	の住民								総事	業費		♥財源 ・県費	7,119	6,138 7,50 ⁴	4 7 ₀	,3516,834A 現行どおり実施0B 事業の改善
(対	事業の意 象をどの。 態にしたい	ような状	汚水	処理に下水	道を利用し	、清潔で快道	適な生活!	環境を享受してもらう。					5	地力 そ <i>0</i> 受益者負	の他	0 7,754 0	0 (6,685 6,629 0 (6)	0 9 6 0	0 C 他事業と統合 518 7,444 D 運営主体の見直し 6 事業の廃止の検討
	 sue e la	# N I =		5		目的					成	果				事業費(単位	注:千円)	== /==	評価
	事業を構 事務		(対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段で 7月~ [10月~		意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H27目標値	- ☆	成果指標の目 [;] 設定の根拠	隱個 ┃	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	 評価の説明
1	前熊苑維 業	推持管理	事	前熊苑	専門知識委託し、そとで	・資格を持つ	業者に督するこ	適切に維持管理し、 重大な事故等が起こ らないようにする。	作業:巡回 管理過1回 以上(保重 点検作監視・ 汚泥検 水質検査)	基準に適合しない排水流出などの事故の回数		<u>「</u> 回 句	s令等水質基準 Fし事故のない る。	を遵 ように	5,726 4,692 4,692	4,561	前熊苑維持管理業 務委託 4,692千円	維持維持	計画どおり実施できた。
2	汚泥処分	分事業	拉 作	前熊苑にて 排水処理に 伴い発生し た汚泥	け市の処	搬・処分の計分条件に合っ 、その業務を	った業者	適切・安全に運搬・処 理し、肥料化する。	土日祝日年 末年始を除 く必要回数	悪臭等の苦情件 数		件 住	通切に処理し、」 三民等から苦情 ようにする。	司辺 のな	7,596 7,824 7,824	6,694 7,565	汚泥処分委託 7,565千円	維持維持	計画どおり実施できた。
3	悪臭•除等 分析事業	害施設水	「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	前熊苑の悪 臭、除害施 設の水質	専門業者	に委託し、関連、水質分	係法に	・環境保全の基準に 沿った悪臭、河川の 水質等を維持するよう管理する。	採取・分析・ 報告: (悪 臭)年1回 (除害施設) 年1回	基準に適合しない水質の排水放流回数		0 回 党	ミ令等水質基準 ドし事故のない る。	を遵	241 249 252	201	悪臭·除害施設水質 分析委託 219千円	Α	計画どおり実施できた。
4	前熊苑施 理事業	五 設維持	管	前熊苑		に必要な各 し、その業務		適切に維持管理する。	電気保安業 務委託 植栽管理委 託 消防用設備 保守点検委 託	維持管理の不足 による不具合の		回施	通切に維持管理 記運営に支障 いようにする。		1,310 1,368 1,510	1,367	電気保安業務委託 193千円 植栽管理委託 1,108 千円他	A 維持 維持	計画どおり実施できた。
		事務	事業				改善	内容(H27以降に実施	する内容)				事務	事業			<u> </u>	事業概要	
事務の美術	等 第 9 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	-F-17	· 子 本				W.E		, or 10.7		規	27以降親 記に実施す 事務事	新 す	<i></i>			7	- 小1M 女	
er:												・テクグデン							

事業別情事業開始年度 平成25年度 終了(予定)年度 (単位:千円) 0 630 156 20 事業の対象 (だれ、何に対して) 事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか) 全職員 総事業費 (単位:千円) 0 630 156 20 事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか) 支払等の事務について、職員の作業量の軽減及びコストの削減 をの他 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	事業番	
支援の関係を表現的に対している。	基本方	フラッグ項目
本書の世際		気、電話 H26決算 H27予算
# 20 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	事美	
事務事業 大田の	事第 (対象を	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討
対して 対し		評価
公土料金口座月動 技術の 大井金の川道田 1 1 1 1 1 1 1 1 1		<u>[評価]</u> 事業規模 事業費 事業費
事務事業 改善内容(H27以降に実施する内容) 事務事業 事務事業 事業概要 日底自動版替に伴うコスト面の問題があるためざらに研究を進め拡充するかについては検討する。 H27以降新 規に実施す 規に実施す 規に実施す 規に実施す 規に実施す 対している 対	① 公 _歩 振を	課題が多く導入時期が遅れたが電気料金と水道料金については、現行どおり実施していく。
③	2	
	3	
① 公共料金口座自動 会計課が伝票を一括起票することにより伝票の削減を図ることはできたが、会計課の煩雑な事務と 振替化事業 口座自動振替に伴うコスト面の問題があるためさらに研究を進め拡充するかについては検討する。 H27以降新 規に実施す	4	
① 公共料金口座自動 会計課が伝票を一括起票することにより伝票の削減を図ることはできたが、会計課の煩雑な事務と 振替化事業 口座自動振替に伴うコスト面の問題があるためさらに研究を進め拡充するかについては検討する。 H27以降新 規に実施す		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	事務事 業の改 善内容	木1ル女

						八八	ארויוי ו	ᄉᇚᄤᄍ													
事業	番号	110	事業の名	吕称	職員教	育事業							担	当部署		部 消防本部		課 総務課			
基本	方針	(3)人がい	きいきとつ	ながる	ist5	分野別	項目 (10)	住民を守る消防・救急・	サービスを充実する	施策の進	め方 (1)消	が体制の	強化			フラッグ			フラッグ	項目	
leif	事業の概	既要	効率的かつ る教育訓練 (概要) 1 愛知県? 名))効果的 を受け 消防学	的な修得 ける。 ・校消防暗	を図り、適切]公正、安全 名(初任科	住民から期待され 全かつ能率的に業 6名、救急科3名。	美務を遂行でき	るよう愛知県	消防学校等	におけ 「	(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 は等を具体的 記載)	瀬戸市尾張明市尾三川	消防学校入校 消防本部・・・ 市消防本部・・・ 防本部・・・・ 防本部・・・・	··13人 ··16人 ··14人 ··16人	25決算 H26予算	. H26決	.算 H27予算	
	事業期	間		開始生			—	終	子(予定)年度		_	_			(単位	立:千円)	1,487	1,008 2,2	58 2	2,371 2,926	
	事業の対 1、何に		消防職員										総	事業費	う国	一般財源]費·県費	1,487 0	1,008 2,2	58 2 0	2,371 2,926 0	A現行どおり実施B事業の改善
(対象	事業の意 きをどの にしたし	ような状	消防に関	する知	1識、技術	を向上させ	る。									地方債 その他 皆負担額	0 0 0	0 0	0 0	0 0	C 他事業と統合 D 運営主体の見直 E 事業の廃止の検討
						目	的						 大果				事業費(単位	江:千円)		評价	<u> </u>
į	事業を構 事務	構成する 事業	対: (だれ、 対し	何に		手段 ごのような手に 7月~ [10月					果指標	H25実績 H26実績 H26目標	[成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	2:〒円) H26決算の主な内記 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費] []	価の説明
① A	肖防学校 東	交等教育訓	川消防職	員に	愛知県消	112名) 当防学校等な育課程を登	の初任、専	消防に関する知法を向上をされています。		3名 1名 平成20 部科 知県消 入校課 数	6年度愛 消防学校等 課程修了者			教育訓練計 く入校者の値		1,487 2,258 2,926	2,371	初任科1,870 救急科185 警防科36 初級幹部科25 火災調査科21 消防大学校236	Α	計画どおり実施 ⁻ 次年度以降も積	できた。 極的に各種課程をバラ 職員スキルの適性向 」
2																				_	
3											-									-	
4											-									-	
		事務事	事業				改善	内容(H27以降に	実施する内容	.)					務事業				事業概要		
		す 1カ=	尹 本				·····································	17777777777777777777777777777777777777	- <u>大ル</u> 7 の円台					- -	切开木				开木'M 女		
事務	事			+									H27以降 規に実施	新							
業の	以 容			+									規に実施 る事務事	業							
												\dashv									

本来の概要			総務課		部 一本 立7	次	3 当部署	ŧ				(11 Im)1	事業	防火管理指導	 事業の名称	111	事業番号	事
# 2		フラッグ項目						 坊対策の排	3)火災予防	五策の進め方 (3 [°]	スを充実する	住民を守る消防・救急サービス	別項目 (10)	I Sまち 分!	いきとつながる	(3)人がいき	基本方針(į
事業の資産			5.	を実施している	長旭市、豊 以した事業を	瀬戸市、尾」若しくは類	Tの実施状況 市町や先進都 況等を具体的	勿 他市町 (近隣i 市の状	方火対象物 の通知指	ために、現在、防 任解任についての	火管理者の選	報告の通知指導、防火	予防上適切な ^行 講等点検結果	態を把握し、火災 いよる消防用説	火対象物の実 立入検査、文書 、さらには防火	防 の 既要		
20 大学 (1997年) 1997年 (1997年) (1997年) 1997年 (1997年)	37 評価の見方	20 24 37	19 20		円)	(単位:千		コ		_	予定)年度	終了(_	丰度	事業開始。			
本務の表面	37A現行どおり実施B事業の改善	20 24 37	1920	19			2 主 坐 弗	¥				者)	理者又は占有る	係者(所有者、管	火対象物の関			(
	C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討				<u></u> 他	ち 地方 その) 于木具					遂行されること。	美務が適切に遂	火管理上必要な	火対象物の防	意図 よ うな状 防	事業の意 対象をどの。	
	評価	一种值	::千円)	事業費(単位				成果		П			目的					
① マス検査実施業が の関係者に	評価の説明	事業規模 評価		H25決算 H26決算	126予算	り日標値 ┃		実績	H26実			(対象をどのような状	手段を使って)	(いつ、どのよう)	(だれ、何に			
2	が実施 を物の用途により指導事項の割く異なるものの、より効果的な 変を行うための手法を検討しま	防火対象物の用途 おは 合が大きく異なる	0	0	0	する。(防 用途によ の占める 	下を目標とす 火対象物の月 り指導事項の 割合が大きく	79.2 %	a 割	フル当市市の中	型 防火対象物 立入検査数	構造、設備及び管理	防査察規程 る査察事項を	第10条に規定で		至実施業務	〕立入検査	1
防火管理諸 下水管理者 下水管水 下半種 「大水泉物の選任率を 下水管水 下半種 下水管水 下半種 下水管水 下半種 下水管水 下半種 下水管水 下水管水 下水管水 下水管水 下水管水 下水管水 下水管水 下水泉物の関係者 下水管水 下水 下水管水 下水 下水管水 下水 下	女に対する届出状況を数値化	現行どおり実施	0	0	0 0	届出率を	火対象物の層	(77.0)	が 一(7	点検報告期限か 迫る防火対象物	t 0回通知 公 通知件数	技術基準に従った設	Dみ3月分)通 → D3の3に規定 等の点検結果	→ 翌2月分(12月 消防法第17条 する消防用設備 を報告するようご	防火対象物の関係者に	口業務	② 文書通知	2
●)開催だけでは防火管理者の が向上を図ることが困難な状況 め、未選任が継続する防火対 景後者に対し新たなアプローチ ます。	1 選任率が向上を図 1 にあるため、未選 2 維持 象物の関係者に対 を検討します	スモーク溶液 11	24	20	選任率を き上げ10 とするた ーセント	火対象物の選 段階的に引き 0パーセントと め年2.5パー	93.1 %	選	防火管理者の選 任率	i 1回 図 甲種 49人	違反状態であった防 火対象物の改善が図	規講習及び	甲種防火管理業	の選任を必 要とする防 火対象物の	世講習業務	3) 防火管理	3
事務事業 改善内容(H27以降に実施する内容) 業の実施結果参照)したがって、参考として計上した。 事業概要 ③ 防火管理講習業務 講習会の開催だけでは防火管理者の選任率が向上を図ることが困難な状況にあるため、未選任が継続する防火対象物の関係者に対し新たなアプローチを検討します。 H27以降新規に実施す				対象物に関する くなったため、総 i通知業務の実	での防火丸とができなるとする文書	防本部が運用 新以来、これ -タを利用する 関予防係が必要	消防 に更新 デーク 務課										Ð	4
③ 防火管理講習業務 講習会の開催だけでは防火管理者の選任率が向上を図ることが困難な状況にあるため、未選任が 継続する防火対象物の関係者に対し新たなアプローチを検討します。		**************************************)	実施結果参照	業の				+7++	中 运 (1103 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	-1. -1.		4k	± 75 ±		
		事業概要	事:	Jt=:			降新施す	H27以 規に実	、未選任が	:状況にあるため、	ることが困難な	の選任率が向上を図る	は防火管理者		禁羽 光 ·汝 講習		事務事 きの改	業

基本方針 (3)人がいきいきとつながるまち 分野別項目 (10)住民を守る消防・救急サービスを充実する 施策の進め方 (3)火災予防対策の推進 フラッグ フラッグ項目 事業の概要 長久手市が刊行する広報ながくて及び市ホームページ等の様々な媒体を活用し、市民へ火災予防の普及を図	
長久手市が刊行する広報ながくて及び市ホームページ等の様々な媒体を活用し、市民へ火災予防の普及を図 事業の概要 ることと、火災予防組織を設置し、育成指導を行い幼年期及び少年期の火災予防思想の動機付けを図ることで、「市の状況等を具体的」事業を実施している。	
	体においても類似した
	評価の見方
事業の対象 (だれ、何に対して) 長久手市に居住する市民はもとより出入りする市民 一般財源 342 326 330 368 60 (だれ、何に対して) ・ 日本	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか) 地方債 地方債 地方債 をの他 その他 受益者負担額 受益者負担額	C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討

			目的				成果				事業費(単位	ī:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		市内外の住		火災予防思想を普及 啓発を行い、市民の	延広報掲載 回数	市広報誌延配布	230,000		前年宝績(平成25	249	275 289	小冊子 106 ポスター仕訳 107	В	事業の改善 掲載内容について、前年度から引き続き火災予防及び住宅用火災警報器の 設置促進だけでなく、新たな切り口と時
(-	D 広報活動事業	民 に	広報ながくて、市ホームページ 及び全戸回覧で広報を行うこと で	手による安心で安全な暮らしを確保する。	8回 全戸回覧数 2回	世帯数	256,000		前年実績(平成25 度)からの増加	442		看板貼替 39 写真新聞 37	拡充 増加	設値促進だりでなく、利だなりり口と時世に適した記事を市民に提供できるよう ・にする。
				少年を介し家庭への 防火を推進し、学校			31.9		平成24年度から新規	36		審査謝礼 15 ロール紙 13 展示用台紙 23	В	事業の改善 平成24年度から新規事業として立ち上 げ防火・防災意識の向上を図っており、 参加する学校等からは好感触を得てい
	② 育成指導事業1	市内小学5・ 6年生に	少年消防クラブを設置し、愛知 県消防学校へ一日体験入校、	における火災の低減 を図り、将来の地域 防災の担い手となる	6小学校 延応募者数 344人	全対象児童のうち、応募した児 童の割合	28.7	%	事業としているため、 対象児童の3分の1 以上を目標	67	78	表彰状 9 副賞 4 負担金 1 傷害保険 4	拡充	る。 また、今年度より全校から防火作品の 応募があり、今後はより多くの児童が火
			内代作品展の夫他することで	ようにする。			35.0			144		ノート 4 軍手 5	増加	災予防に関心が持てるような企画を策 定する。
		市内保育園		幼年期に火災予防思	8保育園	Γ+• [.3#37] → 43 ± μ	972		+4/17 * 12 7 7 8 7 1	0	0	DVD 1	В	事業の改善 平成25年度から新規事業として立ち上 げ、消防署と協力し、幼児期における火災 予防の教育が実用的となり、、効果的な事業
	予成指導事業2	及び幼稚園 に通園する 園児に	防火啓発キャラバンを組織し		参加者数 1,060人	防火講話に参加 した園児数	1,060 1,853		市内保育園及び幼稚園へ通園する園児	0		·	維持	展開を行うことができたが、その調整等に多 大な時間を要したことから計画数を処理する ことが出来なかった。 長久手市危険物安全協会の協力を得て、
		住宅の所有			市民まつり		84.0			57	14		-	これまでどおり事業費を掛けずに実施する。 事業の改善
(2	全 住宅用火災警報器 設置促進事業	者、管理者又は占有者(住宅の用	警報 番の設直 状況を把握する	エくグエノ・阪直ご	調査者数 255人 広報掲載回	「住宅用火災警報器設置推進基本方針」に基づく	84.0		前年実績(平成25年度)から3%の増加	14	0		B 維持	アンケートを中心に市民と対面し、住宅用火災警報器の設置及び維持管理等だけに止まらず住宅用防災機器等の設置についても普及促進に努めた。
	3.2.00.00	に供される 防火対象物 を含む)に	進及び設置後の維持管理に ついて説明を行うことで	せる。	数 5回	住宅用火災警報 器の普及率	87.0		23, 13 = 72 · HAN	17			維持	また、当該年度から従来の調査方法 に加え新たな調査を実施した。(※)

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事業の改	④ 住宅用火災警報器 設置促進事業	直于伝が「住宅用外外音報節段直外化調査力伝について(十成20年1月10日刊1月刊7月27月	規に実施す	花火取扱い教室	平成26年度に試行した事業[実績:市内児童館6館、252人] 市内児童館を利用する児童(保護者引率の乳幼児を含む)を対象に花火の正しい取扱い方 法を学ぶ中、火遊びの注意喚起等を行い少年期の火災予防思想の普及を図る。
善内容			る事務事業		

	w				Num L I I I	支 久于甲17	以計画示			- 1				部		課		
事	業番号	113	事	業の名称	消防団事	業					担論	当部署		消防本部		総務課		
基	本方針	(3)人が	いきい	きとつながる	るまち	分野別項目	(10)住民を守る消防・救急サービス	を充実する ・ 施	5策の進め方 (2)	地域消防防	防災力の引	強化		フラッグ			フラッグ	項目
	事業の	概要		団員として <i>0</i> 被害軽減を		の習得による個人	、能力の向上を図ることに。	より、組織の充	医実強化に繋げ、	災害発生	(近隣市) 市の状況	の実施状況 町や先進都 2等を具体的 記載)	·			業を実施している。 25決算 H26予算	│ H26決	算
	事業期			事業開始	年度	_	終了(予	定)年度	_				(単位	:千円)	6,466	6,296 6,389	9 7	,526 7,504 評価の見方
(†:	事業の ごれ、何に	対象 □対して)	į	消防団員・市	市民						総事	事業費	う 国	般財源 費·県費	6,466 0	6,296 6,389 0 0)	,5267,504A 現行どおり実施B 事業の改善
(文	事業の 象をどの 態にした	ような状		団員の育成	及び組織の	活性化を図り、地	域防災の中核として活動	できるようにす	~ 5 。					地方債 その他 ・負担額	0 0 0	0 0)))	C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
						目的		I			成果				事業費(単位	☆· 千円)		評価
		構成する 8事業		対象 (だれ、何に 対して)		手段)ような手段を使っ ⁻ ~ !10月~! 1月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実統 H26実統	積 単	成果指標の設定の材		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
1	消防団身事業	員教育訓	練	消防団員	消防団員にの実施及び実施するこ	こ対しての教育訓 が団の定期訓練等	警防技術の向上を図り、大規模災害時の対応技術を習得させ、地域の安全を確保する。	定期訓練、 操法訓練、 幹部署・団合 同訓練等の 実施	年間の訓練実施 ・回数		216 194	昨年度実施[持する。	可数を維	3,556 4,600 5,052	4,600 5,052 1,436	各種訓練194回実施。延べ2,526名参加。 参加人員2,000円 (訓練指導、災害出動を除く。) 各種事業138回実施。延べ1,128名参	維持増加	現行どおり実施していく。 訓練回数は減少したが、参加団員数は 増加した。
2	消防団身事業	員防火啓	茶発 [市民	各地区での じ、消火器 用した初期 団員による 報を実施す)防災講習会等を や40ミリ消火栓を 月消火指導及び女 防火点検、防火ルー ることで	が が が が が が が が が が が が が が	防火点検、 防火広報、 各種指導会 等の実施	年間の啓発事業 実施回数		138 日 170	例年の実施領 均的な回数を す。	実績の平 を目指	1,500 2,256		加。 参加人員2,000円 (啓発活動のみ、災 害・訓練出動を除 く。)	維持 増加	現行どおり実施していく。 事業回数は減少したが、参加団員数は 増加した。
3	消防団員事業	員入団仮	<u>-</u> 進	市民	各催事で活 スター掲示 活動新聞の	5動内容の紹介、 ∴リーフレット配布 ○配布などを実施	□ 団員が不足しているポ 現状を理解してもらう」、とともに、消防団の役	入団促進事 業の実施	団員数		132 126 145	現団員数の1 加を目指す。	10%増	289 218	260	各種事業延べ109名 参加。 参加人員2,000円 (啓発活動のみ、災 害・訓練出動を除 く。)		団員数が昨年の団員数を下回った。団 員確保に向けた勧誘活動の方法等を 検討する。
4	長久手ī 援事業	市消防団	応	市民	事業所内に	所が、応援事業所種サービスや割引りつたり、募集ポスター掲出するなど、様々を応援していただく	等 局めつつ、団員確保 −を に繋げ、結果として消・な 防団の活性化を図	登録事業所 の数	応援事業所登録 数	₹	34 業	現在の応援§ 所数の10%。 目指す。		0	0	配布物品について は、平成24年度購入 済のため、決算額は 0円とする。	B 拡充 -	登録事業所数が昨年を下回った。事業 所数確保に向けた勧誘活動の方法等 を検討する。
		事系	务事業			改	x善内容(H27以降に実施	する内容)				事	務事業			事	事業概要	
	3	消防団 事業	員入団	促進 団」	員確保に向い	ナ、勧誘の実施場	所や方法、時期等も含め	検討する。										
事業	務事 ④	長久手 援事業	市消防	i団応 団」 討	員確保のためする。	う事業所数を増く	す必要があるので、登録	に向けての勧	誘方法、時期等		H27以降 規に実施	す						
事務事 単数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数										る事務事	- 業							

事業番号	114	事業の名称 消防・救	助業務				担当部署				誅 消防署					
基本方針((3)人がい	きいきとつながるまち	分野別項目	(10)住民を守る消防・救急サービスを充実する	施策の進め方	(1)消防体制の)強化、(2)地域消防防災	力の	強化 フラック	グ			フラッグ項目			
事業の概	要	市民生活の安全確保を図る。初動体制の確保や統一的な	。 治揮下での効気 二警防計画の樹立	等の災害から保護するとともに、これ 果的な増援体制、消防本部の活性付立、消防、救助技術及び知識を習得	とを図るために必要	な装備等の	市の状況等を具体的 に記載)	す。総本の一種	成25年中の火 火災の種別は 務省消防庁概 市では、平成2 成25年中の他市 市57件 尾張	t、建物火災が数) 数) 25年中は、火 †状況(火災作 長旭市21件 [ぶ25,053件、車 災による死者 片数) 日進市35件 년	で両火災が4,58 は発生している 豊明市28件 み	36件、林野火 ません。 メよし市31件	災が2,020件な 東郷町24件		
事業期間	間	事業開始年度	昭和55	5年度 終了(予定)年月	专	 送続			総事業費 単位:千円)	H25予算 7,602	H25決算 6,579	H26予算 7,471	H26決算 7,873	H27予算 6,713		評価の見力
事業の対	象	市内外の住民及び市内滞在		13. (7.27)	71-	2/// C		Ė	一般財源	7,602		6,021	6,423	6,713	A	現行どおり
(だれ、何に対	何して)					総事業費	う	国費·県費	0	0	1,450	1,450	0	E		
事業の意 (対象をどのよ 態にしたい	ような状	出動要請に応じ、現場到着、	現場活動等を記	迅速に行うとともに、消火救助技術を	を駆使して被害を軽	減する。		ち 受	地方債 その他 益者負担額	0	0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	D	他事業と紡 運営主体の見 事業の廃止の

Г				目的				成果	;			事業費(単位	1:千円)		評価
	3	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
			市内外の住	◆ ◆ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	出動要請に応じ、現 場到着、現場活動等 を迅速に行うととも	·火災17件 ·救助27件				災害件数は減少が望 ましいが、計画値を	7,502 7,371		何的用資器材の購入 3,339 ・消防用資器材点検 460 ・空気ボンベ等充填	Α	現行のとおり実施していく。 災害時の初動体制の確保、効果的な 増援体制の確立、機器装備品の充実 な整備を推進し、警防計画の樹立、消
(1) }	肖防•救助業務	TON O HILL	の資品材を活用して、災害の軽減を図る。また、その他人命救助要	に、消火救助技術等	・その他災 害出動56件	成果指標対象外			予測することが不可 能である。			319 ・安全管理技能講習 及び消防・救助隊員 教育の受講	維持	防・救助現場で必要な知識及び技術の 習得のための消防救助訓練、新人隊員 育成の研修等を行うなど、活動能力の
				2. The state of th							6,613		328	削減	向上を図った。
				•••••••		尾三·長久 手市消防合 同消防訓練 ·文化財防		2.9			100	107		Α	
		自衛消防組織•自主	市民及び市		訓練回数及び出火	火デー消防 訓練(石作 神社) •長	出火率	3.2			100	96	(訓練用資器材)		現行のとおり実施していく。 消防活動及び救助活動の基本となる警
(2) [3]	方災組織と連携した 肖防訓練の実施	内事業所に	地域、事業所との合同消防訓	件数	防災訓練(6 小学校) •	(人口1万人当り の出火件数)		件 	全国平均より下回る		 	木材52 その他44	維持	防計画の策定を行い、見直しを行うための定期的に訓練を実施する。
				練を実施することで		消防署、消 防団合同 防訓練 (パークスク エア藤ヶ丘)		3.5			100			維持	

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
		具体的に妥当な計画値を示すことは困難である。		自主防災組織との連 携を図る。	自主防災組織が実施する防災訓練に積極的に参加し、大規模災害時の対応を図る。
事務事 業の改			H27以降新 規に実施す		
善内容			る事務事業		

事業番号	115	事業の名称数	急業務					担当部署		部 消防本部		課 消防署					
基本方針	(3)人がし	いきいきとつながるまた	5 分野別項	目 (10)住民を守る	る消防・救急サービスを充実する	施策の進め方	(4)救急体制	の充実・高度化		フラック	ĵ .			フラッグ項目			
事業の概	狂要	おける災害等に準ず 急に搬送する必要が また、現場に居合わり 構築が重要なことから るため、救急車の適工 大を中心とする救急	り生じた事故若しくは屋外若しくは公衆の出入りする場所において生じた事故又は近害等に準ずる事故その他の事由で政令で定めるものによる負傷者のうち、医療機関をする必要があるものを救急隊によって、医療機関その他の場所に搬送すること。場に居合わせた人が適切な応急手当を速やかに行うことが、救命率向上の要件となら要なことから、AEDの使用方法を含め応急手当の普及啓発を行うとともに、増加する数急車の適正利用を啓発する。また、更なる社会復帰率の向上に対して、救急救命にとする救急業務の高度化の推進、メディカルコントロール体制の維持、救急救命にとした教育体制の充実を図る。					他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	5347 (総 他市 瀬戸	5117人(対前 務省消防庁) 町の状況(教:	年比8万9,81 急出動件数)	5件増、1.7%増 平成25年中)で救急出動	件数、搬送人	912件増、1.8%は 員ともに過去最 なよし市1,808件 H27予算	多を記	已録しました。
事業期	間	事業開始年度		召和55年	終了(予定)年度	継	続			位:千円)	6,995	7,388	6,865		8,256		呼価の見方
事業の対		市内外の住民及び市	方内滞在者					総事業費	j	一般財源 国費·県費	6,995 0	7,388 0	6,865 0	6,166 0	8,256 0	A B	現行どおり実施 事業の改善
事業の意 (対象をどの。 態にしたし	ような状	市民に対する応急手 機関への適切な救命			、医療機関への搬送を迅流	速に行うとともに、野	見場から医療		ち	地方債 その他 益者負担額	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0	C D	•
	•									•		•		•			•

			目的				成果				事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	<u></u> 評価の説明
					救急出動件	救命率	14			6,502	6,903	病院研修委託	Α	救命の可能性は心肺停止の原因や心 停止経過時間等によって大きく左右す る。平成26年中の救命率が目標値を下
(1) 救急業務	市内外の住 民及び市内 滞在者に		救命率の向上を図 る。	数 1,729件	= 1ヶ月生存者 数/心肺停止傷 病者病院搬送数[2.5	%	前年度実績(平成25 年度)からの増加	6,411		救急隊出向248 救急資機材 連続的呼気終末二	維持	回ったのは、これらの要因によるところが大きく、事業は現行どおり行うこととして評価はAとする。
		作任有に	及び救急資器材等を活用し、救急処置等を実施することで		中)	州省州院俶达剱 ×100	16			7,802		酸化炭素測定器347 新型感染防止衣232	増加	救命率向上のため、MC体制を維持 し、救急隊員の資質の向上や資機材の 充実を図り車両更新に伴い非常用救急
													理加	車を配備し常時2台体制とした。
							2581			440	432		Α	
(② 応急手当普及啓発	市内外の住 民及び市内	一板川氏門り孜忌舑百云及	現場に居合わせた人 が応急手当を行い救			2760	人	前年度実績	400	386	応急手当 304		前年度より受講者が増加しているので 評価はAとする。また市内の物品販売
		滞在者に	した救命講習を開催また市内	命率の向上を図る。	旦				11. 1 20.00			AED設置 82	維持	店25店舗にAEDを設置した。
			の物品販売店にAEDを設置 することで				2500			400			維持	
		古内がの仕		数名声のねな (一件			40			53	53		Α	救急出動件数は増加したが、傷病者程 度の割合をみると軽傷者の割合は減少
(3 救急車の適正利用	民及び市内 滞在者に	ケーブルテレビ、市広報紙、救		軽症者利用 割合40%	軽症者利用割合	35	%	前年度実績の割合	54	0		維持	しているため評価はA現行通り実施する。今年度は東名古屋地区救急業務連
		一番 一	急車に適正利用標示(通年)、 救急講習会等を実施すること で	ీ			40			54			維持	- 絡協議会と協賛して普及啓発事業を実施した。

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
				救命率の向上	市内物品販売店等にAEDを設置する。
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す	救命率の向上	救命講習の受講者数の増加を図るとともに、119番受信時のプロトコール使用する通信員の 質の向上
善内容			る事務事業		

事	業番号	116	事業	美の名称	適応指導	導教室事務					担当	部署		部 教育部	**	課 教育総務課			
基	本方針	(4)文化を	をみがる	き、人が輝く	くまち	分野別項目	(1)子どもの確かな学力と生き	る力を培う	施策の進め方 (2)	教育内容(の充実			フラッグ			フラッグ耳	頁目	
	事業の権	既要	不登村	交児童生徒	を対象に、	集団生活への適り	なを促し、学校への復帰を	・支援するとと	もに、相談活動等を	を行う。	市の状況	」や先進都	1 12/02	の自治体で実					
	事業期	問		事業開始。	在 使	平成13	王庶 終了(3	5定)年度			-		総事:		2 5予算 H 5,332	25決算 H26予算 4,774 5,74	H26決 9 5,		評価の見方
	事業の対	才象	長久三			する小中学生		- 人 - 人			1		<u></u>	般財源	5,332	4,774 5,74			▲ 現行どおり実施
(15	れ、何に事業の意			, ,,, === , ,							総事	業費		費·県費 記方債	0	0	0	0 0	B事業の改善C他事業と統合
	象をどの態にしたし	ような状	学校~	へ復帰しても	565.								7	·の他	0	0	0	0 (D 運営主体の見直し
,	恋にした	(יעי											受益者:	貝担領	0	0	U I	0 0	E 事業の廃止の検討
	事業を棒	集成する		対象	T	目的 手段	意図	事務事業の			成果			⊔25条質	事業費(単位	な:千円) T		評価	<u> </u>
	事務		(対象 だれ、何に 対して)	4月~ 7	のような手段を使っ 7月~ 10月~ 1月	て) (対象をどのような状 ~ 態にしたいか)			H25実 H26実 H26目標		成果指標の 設定の	か目標値 根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	4:十円) H26決算の主な内部 (単位:千円)	事業規模事業費	評	価の説明
1	適応指導	享教室事	務り	長久手市立 ○学校に通 さする小中 さ生に	学校以外 応指導教 ツ、体験?	随 時 の場に設置した「! で素」において、スポ 舌動、個別学習な 団生活への適応を	■ 学校へ復帰してもら う。	不登校児童 生徒の学校 復帰	受校への復帰人 数		3 人 境	登校児童なへの復帰大の目的つ。126 入級者	が事業の であるた	5,332 5,749 6,986	4,774	適応指導教室指導 員報酬 4,569 相談報償金 345 消耗品費 507 通信運搬費 143 備品購入費 34	Α	不登校の児童生	徒の指導のために必 3行どおり実施してい
2																			
3																			
4																			
		事務	事業			7	文善内容(H27以降に実施	する内容)					事務事業			=	事業概要		
事務業の	多事 分改										H27以降 規に実施	斯 す							
善四	內容										る事務事	業							

事業者	番号	117 事	業の名称	学校トイレ	改修事業	274111177				担当	部署 ———	部 教育部	学	課 数育総務課			
基本ス	方針 (4)文化をみた	がき、人が輝く	くまち	分野別項目	(1)子どもの確かな学力と生き	る力を培うが	施策の進め方 (1)	学校施設	整備の充実		フラッグ			フラッグ項	目	
	業の概	修し	、学校施設 <i>0</i>)衛生環境の[句上を図る。	ため、配管の改修や便器				他市町の (近隣市町 市の状況等 に記	でものである。 一般では 一般である。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。			25決算 H26予算	│ H26決算		
	事業期間 業の対		事業開始:	年度	平成24年	度 終了(予	5定)年度	平成27年	连度			∷千円) -般財源		260,798 225,383 49,496 108,514			評価の見方 A 現行どおり実施
(だれ、	来の対 、何に対 業の意	けて)	中学校の児童	生徒と教職員						総事	業費 う 国	費·県費 地方債	47,330 63,968 150,000	49,496 108,514 61,302 35,869 150,000 81,000	35,8	34,918	A気打とあり失態B事業の改善C他事業と統合
(対象を	来の息 とどのよ こしたい	うな状 トイ	レ環境の改善	を図ることで、	児童生徒と教師	哉員が安心し、落ち着いて	トイレを利用	できる状態にしたい	(¹ 0			その他 負担額	0	0 0)	0 0	D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					目的					成果			事業費(単位	ケ・チロ)		評価	
事	業を構		対象		手段	意図	事務事業の		H25実	績	 成果指標の目標値	H25予算			評価		
	事務事	業	(だれ、何に 対して)		ような手段を使っ ~ 10月~ 1月		実施結果	成果指標	H26実 H26目標	:棋 - -	設定の根拠	H26予算 H27予算	H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模 事業費	評価の	D説明
① 改位	修工事	事業	小中学校の 児童生徒と 教職員	毎週1回のエ	「程会議を開催 を確認すること	トイレ環境の改善を 図ることで、児童生徒と教職員が安心し、 落ち着いてトイレを利	南中(I期)·	全体工程に対す る進捗割合		45	体工程に対する進 割合	261,298	174,592	トイレ改修工事費 北小:33,612千円 南小:39,258千円 南中:51,329千円 長中:44,669千円 監理業務委託費 5,724千円	A z iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	斉。	定箇所は全て完了 目指し、継続して実
2																	
3					<u> </u>												
4																	
		事務事業	<u> </u>		2	(善内容(H27以降に実施	する内容)				事務事業				業概要		
事務事		デタルデオ			ų	、ロドチロ、いに1の件に大心	י סרזים			H27以降新 規に実施す				1	· 小(M, 女		
善内容	事務事 業の改 善内容									規に実施する事務事業	美						

事業番	寻 11	8 事	業の名称	東小学校	交增築事業					担当	部署 ——	部 教育部	170	課 教育総務課			
基本方針	(4)文	化をみた	がき、人が輝く	くまち	分野別項目(1)子どもの確かな学力と生き	る力を培う	西策の進め方 (1)	学校施設	整備の充実	•	フラッグ			フラッグ耳	頁目	
事業	の概要	の教	対室の不足が	予想される。	画整理事業や民間 施設の充実を図る	住宅開発により児童生徒 。	数が増加し、	平成28年度には	東小学校	他市町の (近隣市町 市の状況等 に記	や先進都 _ 等を具体的 載)	o + **	105 7 (h 1 1 1 1			* 1.103.7 <i>t</i>	
事業	期間		事業開始	年度	平成25年	度 終了(予	·定)年度	平成27年	度	-	¥ 单)	総事業費 <u></u> 位:千円)	H 25予算 H 0	25決算 H26予第 0 226,6			評価の見方
	の対象	て) 東小	、学校区の児							総事	要弗 こ	一般財源 国費・県費	0	0 3,0 0 19,0	077 36, 028 23,	047 11,934	A 現行どおり実施 B 事業の改善
事業 (対象をと	の意図	*状 増加	叩する児童数に	に対応したり	曽築校舎を設置し、	教育環境の充実を図る。				- 心尹	ち	地方債 その他 を者負担額	0 0	0 156,0 0 48,5 0	000 96.	000 224,000	□ 日本来の収音 □ 他事業と統合 □ 運営主体の見直し □ 事業の廃止の検討
					目的					成果			事業費(単位	立:千円)		評価	
	を構成す 務事業		対象 (だれ、何に 対して)		手段 りような手段を使って 月~ 10月~11月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目		成果指標の目標 設定の根拠	值 H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内 (単位:千円)	訳 事業規模 事業費	評価	の説明
① 建設:	匚事事業	Altr	東小学校区 の生徒	随時工程会	会議を開催し、工事権認することで	増加する児童数に対応した校舎を設置し、教育環境の充実を図る。	増築工事全 体の3割を 実施	建設工事の進捗 率		0 34 % 年 30	体工程に対する 度の進捗割合	各 226,60	1 /	工事費 196,010千円 監理委託費 8,078千円	拡充	済。	・定箇所は全て完了 ・目指し、継続して実
2																	
3																	
4																	
	国	事務事業			75	善内容(H27以降に実施・	する内容)				事務事	**** * *******************************			事業概要		
事務事	-	アの芋木			LX.	ロ・コロー、ロビノの呼に大心	/ OF 1 12 /			H27以降新 規に実施す					中不顺 女		
善内容	事務事 業の改 善内容									規に実施する事務事業							

					IX	八丁川门	门以計画示									= ⊞		
事業	番号	119	事業の名	尓	屋内運動場	非構造部	材耐震化事業				担	当部署		部 教育部	孝	課 故育総務課		
基本	方針	(4)文化を	みがき、人が	輝くま	ち分	野別項目	(1)子どもの確かな学力と	Eきる力を培う (施策の進め方	(1)学校施設	整備の充乳	 実		フラッグ			フラッグエ	項目
į	事業の概	Ŧ要	学校生活にお 天井等の落下	ける! 防止	児童生徒の安 対策を行う。	全確保並び	育館の非構造部材の耐 バに災害時に地域住民の	避難施設となっ	っている小中学校		(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 2等を具体的 記載)	総事業	集費 H2		25決算 H26予算	H26決	
	事業期 事業の対		事業開			平成25	5年度 終了	(予定)年度	平成2	7年度			(単位:	千円) 役財源	20,895 20,895	20,895 314,074 20,895 185,494	288, 163,	
(だれ	1、何に	対して)	小中学校の児	童生	徒と教職員、	地域住民					総	事業費	う国費	₹•県費	0	0 47,080	47,	,080 66,966 B 事業の改善
(対象	事業の意 えをどの。 にしたい	ような状	災害時の避難 民が安全に安	施設心し	となっている/ て学校生活や	ト中学校体 ³ 避難生活が	育館の天井等の落下防 ぶ送れるように防災機能の	上対策を行うこ。)強化を図る。	とで、児童生徒及	ひ地域住				方債 の他 負担額	0 0	0 81,500 0 0	78,)	,400 217,000 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討
						目的					成果				事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構 事務		対象 (だれ、何 対して)		月 (いつ、どのよう 4月~ 7月~			事務事業(H25実	積 単	成果指標の 設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
1	耐震設計	業務	小中学校 児童生徒 教職員、 域住民	と 地 位	本育館の非構設計を実施する		大規模な地震に而得る、体育館の非造部材の落下防山策の工事を実施でるようにする。	構 する北小・南 :対 小・南中・北	施 耐震化設計業 の進捗	養務	45 100 %	耐震化設計 涉	業務の進	20,895 13,789 0	20,895	屋内運動場非構造 部材等耐震化工事 設計業務委託(北 小·南小·南中·北中 分) 13,284千円	維持維持	屋内運動場の耐震化工事の内容が決 定された。
2	耐震化工	事事業	小中学校 児童生徒 教職員、 域住民	と 地 位	本育館の非構と工事を実施	造部材の耐	児童生徒及び地域 住民が安全に安心 て学校生活や避難 活が送れるようにする。	を 東小・長中	耐震化工事の	0進	0 45 45 45	耐震化工事の	7進捗	300,285 354,266	275,308	屋内運動場非構造部材 等耐震化工事費 長小:54,261千円 西小:61,854千円 東小:56,116千円 長中:90,657千円 監理業務委託費 12,420千円	A 維持	平成26年度実施予定校は全て完了 済。 平成27年度完了を目指し継続して実 施する。
3				_									-					
4																		
		事務	事業				改善内容(H27以降に実	施する内容)					務事業				業概要	
事務業の善内	事改容	争 初:	尹禾				以普内台(F21以阵)。夫	心の ない (の)			H27以降 規に実施 る事務事		(方) 尹禾			#	**来恢安	

			長久	手市行政	(評価票							÷17					
事	業番号 120	事業の名称	給食調理事業						担	当部署		部 教育部	糸	詳 食センター			
基	本方針 (3)人がい	きいきとつながるま	まち 分野児	別項目 (14)	食育を進め、健康な暮らし	を支える 旅	西策の進め方 の推済	を通じた健康の増 進	進、(2)子ども	に対する食育の推進、	(3)地産地消	フラッグ		•	フラッグ	項目	
					らいしい給食の提供をE 、れた献立で食育の推奨		産の食材を使用し	地産地	(近隣市 市の状況	の実施状況 i町や先進都 兄等を具体的 記載)	尾張旭市・・・ 豊明市・・・・。 日進市・・・・。 東郷町・・・・。	共同調理場(センター)で 共同調理場(センター)で 共同調理場(センター)で 共同調理場(センター)で 共同調理場(センター)で 共同調理場(センター)で 共同調理場(センター)で	の実施食数:小学校5 の実施食数:小学校5 の実施食数:小学校5 の実施食数:小学校6 の実施食数:小学校6	校・中学校3校 7896食、給食 校・中学校3校 6453食、給食 砂校・中学校5校 8861食、給食 対・中学校5校 4786食、(保育 校・中学校3校 5602食、(保育	費1食あたり 小学村 費1食あたり 小学村 費1食あたり 小学村 費1食あたり 小学 園9園1287食を防 園6園1017食を防	2225円・中学校255円 校220円・中学校250円 く)給食費1食あたり小学校220円・中学校 (、)給食費1食あたり小学校220円(市補助2	250円
	事業期間	事業開始年	世	昭和47年度	E	定) 在度						事業費 H2	2 5 予算 H: 415,992	25決算 H26予算 405,081 421,7			評価の見方
(†:	車業の対象		•		園に通う園児、教職員等				総	事業費		一般財源 費·県費	134,761	130,178 140,4		2,554 156,067	A 現行どおり実施 B 事業の改善
(文	事業の意図 象をどのような状 態にしたいか)	そ心で安全な給食	の提供を目指し、	子どもの健全	≧な育成、食育の推進を	2図る。						地方債 その他 賃負担額	0 0 281,231	0 0 274903 281,	0 0 800 278	0 0 C 0 0 C 3,444 315,988 E	
				目的				J	成果				事業費(単位	立:千円)		評価	
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような= 4月~!7月~!10	手段を使って)		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実約 H26実約 H26目標	遺一 単	成果指標の 設定の権		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内 (単位:千円)	訳 評価 事業規模 事業費		明
	+h - 1 /	長久手市立 の小中学校 に通う児童、国	季節、年中行事、	伝統食を取り	の食材、旬の食材、年	献立委員会 •小中学校 年11回開催	地場産物(愛知		7.30	愛知県教育	委員会が	308,903	304,256	賄材料費	А		
1	献立作成·給食物資 選定事業	生徒、保育	入れた献立を献立 対し、使用する給	委員会で検		•保育園	県産)の使用割 今	52	2.68 %	例年実施する 食地域産物の	の活用に	311,452	307,246	307,246	維持	現行どおり実施していく。	
			いて選定委員会を とで		関心を持ってもらう	物資選定委員 会 月1回開催			50	関する調査の)数値。	344,436			維持	-	
		長久手市立 の小中学校							81			64,649	64,649	消耗品費10,005	Α		
2	給食調理事業	に通う児童、生徒、保育	栄養士等を給食ほ ン、喫食状況を確			毎月の献立 表に反映さ せた。	栄養教諭、栄養 士の派遣回数		120 日	週2回派遣		69,455	67,659	光熱水費56,109 食器等検査手数料 534 一般廃棄物処理委	. <u>L</u> 維持	現行どおり実施していく。	

	献立作成·給食物資 選定事業	長久手市立 の通う児子 に通う保育 と徒、保育 園児、教職員	学即、年中行事、伝統度を取り 入れた献立を献立委員会で検 討し、使用する給食物資につ	わる伝統食について 知り、「食」についての 関心を持ってもらう	年11回開催 ・保育園 年12回開催 物資選定委員	地場産物(愛知 県産)の使用割 合	52.68	%	愛知県教育委員会が 例年実施する学校給 食地域産物の活用に 関する調査の数値。	308,903	304,256		A 維持	現行どおり実施していく。
()給食調理事業	等 長久手市立 の小中学校 に通う児童、 生徒、保育 園に、教職員	とで	(食育の推進) 趣向を考慮した給食	会月1回開催	栄養教諭、栄養 士の派遣回数	81 120	旦	週2回派遣	344,436 64,649 69,455 74,308		消耗品費10,005 光熱水費56,109 食器等検査手数料 534 一般廃棄物処理委 託1,011	維持 A 維持	現行どおり実施していく。
)調理作業員雇用		必要に応じ、欠員者の補充を 行い、調理従事者人数40人を	技術を受け継ぎ、個々の経験・技術の	等を行った	調理員の人数	39 40		調理に必要な調理員40人の確保。	42,440 40,847 53,311	36,176 36,093	調理作業員賃金 36,093	Α	現行どおり実施していく。
(4														

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	2	給食調理事業	民間委託導入検討			
事務事 業の改 善内容			(平成28年度末 正職員1名退職により正職員3名となる。)	H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容				る事務事業		

事業番号 121	事業の名称	給食センター	管理事業				担当部署		部 教育部		課 給食センタ	_			
基本方針 (4)文(比をみがき、人が輝く	まち分野	別項目(1)子どもの確かな学力と生きる力を培う	施策の進め方	(1)学校施設	設備の充実		フラック	Ž			フラッグ項目		
事業の概要	ターはHACCP対 調機器保守点検、	†応のドライシステ ・細菌等の拡散を 背等の保守点検、!	ム・オール電 ·防ぐための	始め施設、設備及び機器類の定期 電化の施設となったため、調理場内 自動扉保守管理、夜間電力を利用 浅菜を処理する生ごみ処理機の保備	の温度・湿度管理した給湯設備、電	型のための空 氢気式ボイラに	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	瀬尾豊日東長*	市・・・・施設・設 ぶ町・・・・施設・設 、手市・・施設・設 設の規模・設備	備の形態:ウェ 備の形態:ドラ 備の形態:ウェ 備の形態:ウェ 備の形態:ドラ 備の形態:ドラ は市町ごとに	イシステム ニットシステム(ド ・イシステム ェットシステム(ド ・イシステム、オ・ 異なり比較が難	ライ運用) ライ運用) ール電化 しい			
事業期間	 事業開始年	F度	昭和47年	度 終了(予定)年度	-				総事業費 単位:千円)	H25予算 65,553	H25決算 65,553	H26予算 71,596	H26決算 71,437	H27予算 71,350	評価の見方
事業の対象 (だれ、何に対して) 給食センター施設	せ及び設備			•		総事業費	う	一般財源 国費·県費	65,553 0	65,553 0	71,596 0	71,437	71,350 0	A 現行どおり実施 B 事業の改善
事業の意図 (対象をどのような* 態にしたいか)	状施設及び設備を努	安定的に稼働させ	、不具合の	ない状態に保ち給食調理を行う。				ち受	地方債 その他 益者負担額	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	C他事業と統合D運営主体の見直しE事業の廃止の検討

			目的				成果				事業費(単位	t:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		長久手給食	,	給食調理により発生 する排水を油脂分除	施設の保全に関する業務、施設の 点検・調整に関す る業務、技術管理	水質基準を超え	0		法令等の水質基準を	1,588	1,588	厨房排水除外施設	Α	
1		始	専門業者に委託し、定期的な 設備点検及び排水の水質検	去等を行い、水質の 安定した排水を下水	年24回、水質検 査(原水4項目)年1 回、水質検査(処	る排水の放流発 生回数	0		順守し、基準値を超 えた排水の放流をし ないようにする。	1,633	1,633	保守点検委託 1,633	維持	現行どおり実施していく。
		//ERX	査を行うことで	道に放流する。	理水4項目)年12 回、リアクターろ材 補充年1回		0		-at 3071-7-30	1,633			維持	
		長久手給食	<u> </u>	衛生害虫、ねずみの	衛生害虫防除施工年3回、衛	衛生害虫、ねず	0		衛生害虫、ねずみの	473	473		Α	
2	青虫駆除事業		専門業者に委託し、衛生害 虫、ねずみ等の防除、生息調	発生・侵入を防除し、	査及び点検年9 回、ねずみ生	母生音気、449 み等の補獲・生 息発生回数	0	177	発生・侵入を防除し、 施設を衛生的に管理 する。	600	486	害虫駆除委託 486	維持	現行どおり実施していく。
		伤王守	査及び点検等を行うことで		息調査及び点 検施工年12回		0		9 D ₀	611			維持	
		巨九七公众			定期点検	76 lb	0		`` ± la J , W. H. / * m - /-	1,079	1,079	<i>最复几点</i> 别供几点	Α	
3	電気保安設備保守 点検事業	長久手給食 センター電 気保安設備	専門業者に委託し、定期的な	適切な維持管理状態に保つ。	月次点検 年5回 年次点検	改修・修繕等が 必要と指摘され た箇所	0	山田	適切な維持管理を行い施設管理に支障の ないようにする。	1,110	1,109	電気保安設備保守 点検委託 1,109	維持	現行どおり実施していく。
			点検を行うことで		年1回	7-100	0			1,110		,	維持	
		長久手給食			床面清掃	より専門的な作	0			452	452		Α	
4	清掃業務事業	センター床 面及び窓ガ	専門業者に委託し、定期的な	 施設の環境美化及び 適切な維持管理状態 を保つ。	ガラス清掃	業を必要とする 汚れ等の清掃箇		山山	適切な維持管理を行い施設の環境美化に 努める。	500	464	清掃業務委託 464	維持	現行どおり実施していく。 食品を扱う施設であるので、今後も環境 美化に努めていく。
		ラス清掃	清掃を行うことで	C / N / O	年3回	所	0			510			維持	スロにカック(い)。

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

事業番号 12	1 事業の名称	給食センターや	管理事業				担当部署		部 教育部		課 給食センタ	-			
基本方針 (4)文	化をみがき、人が輝く	ぼち 分野	予別項目 (1)-	子どもの確かな学力と生きる力を培う	施策の進め方	(1)学校施設	設備の充実		フラック	ĵ .			フラッグ項目		
事業の概要	ターはHACCP対 調機器保守点検、	対応のドライシステ 、細菌等の拡散を 情等の保守点検、!	ム・オール電イ 防ぐための自	め施設、設備及び機器類の定期的 化の施設となったため、調理場内 動扉保守管理、夜間電力を利用 菜を処理する生ごみ処理機の保守	の温度・湿度管理 した給湯設備、電	のための空 気式ボイラに	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	瀬尾豊日東長*	市・・・・施設・設 町・・・・施設・設 手市・・施設・設 設の規模・設備	備の形態:ウェ 備の形態:ウェ 備の形態:ウェ 備の形態:・ウェ 情のの形態:・ウェ 情のの形態:・フェ は市町ごとに は	ライシステム エットシステム(ド ライシステム エットシステム(ド ライシステム、オ・ 異なり比較が難	ライ運用) ライ運用) ライ運用) ール電化			
事業期間	事業開始年	王度	昭和47年度	度 終了(予定)年度	-	_			総事業費 単位:千円)	H25予算 65,553	H25決算 65,553	H26予算 71,596	H26決算 71,437	H27予算 71,350	評価の見方
事業の対象(だれ、何に対して	公舎 センター 抜き	•	H100.10				総事業費		一般財源 国費・県費	65,553 0	65,553 0	71,596	71,437	71,350	A現行どおり実施B事業の改善
事業の意図 (対象をどのような 態にしたいか)		安定的に稼働させ	た、不具合のな	い状態に保ち給食調理を行う。				ち受	地方債 その他 益者負担額	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0	0 0 0	C 他事業と統合D 運営主体の見直しE 事業の廃止の検討

			目的				成果				事業費(単位	ī:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
	消防用設備保守点	長久手給食	 	適切な維持管理状態	機械点検1	改修・修繕等が	0		関係法令に基づき適 切な維持管理を行い	273 217	273 212	消防用設備保守点	Α	
(5)	検事業	センター消 防用設備	専門業者に委託し、消防法及 び関係法令に基づく消防用設 備の保守点検を行うことで	に保つ。	1 総合点検1 回	必要と指摘され た箇所	0	所	設備・機器が支障のないようにする。	263		検委託 212	維持 維持	現行どおり実施していく。
		長久手給食	<u> </u>	適切な維持管理状態	毎日16時45 分から翌日8	人為的ミスによら			異常時に速やかに適 切な対応を行い施	328 337	328	警備委託	Α	
(6)) 警備事業	センター警 備	専門業者に委託し、施設・設備の警備を行うことで	に保つ。	時まで施設 の休日は終 日	ない警備会社へ の通報回数	0	Ш	設・設備・機器に支障 がないようにする。	341		337	維持 維持	現行どおり実施していく。
	空調設備等点検事	長久手給食	<u> </u>	始いれ 日司司出版	マルチエアコン保 守点検2回、パッ ケージエアコン保 守点検2回、空気	維持官埋个艮に	0		適切な維持管理を行	3,444	3,444	空調設備等点検委	Α	
	業	センター空 調設備等	専門業者に委託し、空調設備 の点検を行うことで	を適切な維持管理状態に保つ。	清浄システム保守 管理1式、厨房排 気フィルター保守 点検2回、送俳風 機ファン点検1回	よる不具合の発 生回数	0		い施設管理に支障の ないようにする。	3,543	0,012	託 3,542	維持 維持	現行どおり実施していく。
	、給湯給水給蒸設備	長久手給食センター給	,	常に運転状態にある 設備を適切に維持管	清掃年1回、飲料水水質 検査年2回、貯湯槽清掃	維持管理不良に	0		適切な維持管理を行	3,465 3,564	3,465 3,564	給湯給水給蒸設備	Α	
(8	保守点検事業	湯給水給蒸設備	専門業者に委託し、給湯給水 給蒸設備の保守点検を行うこと で	理し、必要な湯・水・	年1回、飲料水水質検査 年1回、レジオネラ菌検査	よる不具合の発	0		い施設管理に支障の ないようにする。	3,564	, ,	保守点検委託 3,564	維持 維持	現行どおり実施していく。

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

事業番号	121	事業の名称	給食セン	ター管理事業	Ě				担当部署		部 教育部		課 給食センタ	<u>-</u>			
基本方針	(4)文化を	みがき、人が輝く	まち	分野別項目	(1)子どもの確;	かな学力と生きる力を培う	施策の進め方	(1)学校施設	投設備の充実		フラック	Ž			フラッグ項目		
事業の概	要	ターはHACCP対調機器保守点検、	け応のドライ 細菌等の 特等の保守。	システム・オー/I 拡散を防ぐため(レ電化の施設と の自動扉保守	と備及び機器類の定期 となったため、調理場内 管理、夜間電力を利用 する生ごみ処理機の保	の温度・湿度管理 した給湯設備、電	のための空 気式ボイラに	(近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	瀬尾豊日東長*	市・・・・施設・設 ぶ町・・・・施設・設 、手市・・施設・設 設の規模・設備	備の形態:ウュ 備の形態:ウュ 情の形態:ウュ 時の形態:ウュ 情の形形態:ドラュ 情の形形態:ドラ は市町ごとに り	イシステム 「ットシステム(ド イシステム にットシステム(ド イシステム、オー 異なり比較が難	ライ運用) ライ運用) ライ運用) ール電化			
事業期	目	事業開始年	E度	昭和47	7年度	終了(予定)年度		_			総事業費 単位:千円)	H25予算 65,553	H25決算 65,553	H26予算 71,596	H26決算 71,437	H27予算 71,350	平価の見方
事業の対	象	給食センター施設				10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1			総事業費		一般財源 国費·県費	65,553	65,553 0	71,596	71,437	71,350	現行どおり実施
事業の意 (対象をどの。 態にしたい	らな状	施設及び設備を領	安定的に稼	働させ、不具合	のない状態に	保ち給食調理を行う。				ち 受	地方債 その他 益者負担額	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0	0 0 0	他事業と統合 運営主体の見直し 事業の廃止の検討

Г			目的				成果				事業費(単位	ኒ:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費] 評価の説明
	- 1	長久手給食		· 文田之公本本 然 1111 小 长	ロープ式エレベータ 点検 定期1回/3月 遠隔1回/1月	維持管理不良に	0		適切な維持管理を行	762 785	762 784	エレベータ保守管理	Α	
9	エレベータ保守管理事業	センターエ レベータ	専門業者に委託し、エレベー	に保つ。	小荷物専用昇降機	よる不具合の発 生回数	0	回	い施設管理に支障の ないようにする。	785	/84	委託 784	維持	現行どおり実施していく。
		,	タの保守点検を行うことで		定期検査代行1回/1 年		0			785			維持	
							0			756	756		Α	
1			車明光学に承託」 サゴミ加畑	適切な維持管理状態に保つ	日1回	維持管理不良に よる不具合の発	0	□	適切な維持管理を行い施設管理に支障の	778	778	生ゴミ処理機維持管 理業務委託	維持	現行どおり実施していく。
	生 ず未	ゴミ処理機	専門業者に委託し、生ゴミ処理 機の保守点検を行うことで		刀I凹	生回数	0		ないようにする。	785		778		-
			 				_	_					維持]
			 			維持管理不良に	0		適切な維持管理を行	2,352	2,352		Α	
1	給食センター自動扉 保守事業		専門業者に委託し、自動扉の	適切な維持管理状態に保つ。	保守点検 年4回	相符官理が及に よる不具合の発 生回数	0	回	過男な維持官埋を行 い施設管理に支障の ないようにする。	2,420	2,419	自動扉保守委託 2,419	維持	現行どおり実施していく。
			保守点検を行うことで			土旦奴	0		121 . TIC 3 20°	2,420			維持	-
				ウ おみ 単色 本部 畑 <i>佐</i>			30	<u> </u>		50,581	50,581	電気代	Α	現行どおり実施していく。
(1)	【稲食センターオール 】	給食セン ター熱源の		良好な環境で調理作業を行うため、深夜電力の有効活用により	電力の有効	給食1食あたりに かかる電気代を	34	l m	適切な施設の維持管 理を行い定期的に契	56,109	56,109	42, 513千円 使用量 1,963,176kw		使用量 1,963,176kwで、0.13%の増加 となった。
(L			オール電化にすることで	経費を必要最小限にする。	活用	前年度と同額以 下の金額		1 1 1	約金額を見直し、電 気代削減に努める。			1,903,170kW 使用量は、0.13%の 増加となった。		食数0.15%の増加に対し抑えることが できている。
				y る ₀			30			55,785		増加となった。 食数0.15%の増加	維持	電気料金単価が41%値上がりした。

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
			-		
事務事			H27以降新		
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

			_		长久于巾1	「以許ш宗							÷π		- m		
事	業番号	122	事業の名称	図書館選	重営事業 ————————————————————————————————————					担当	当部署 —	**	部 教育部		詳 中央図書館		
基	本方針	(4)文化を	とみがき、人が輝	くまち	分野別項目	(2)住民の自主的な生涯学習活	動を支えるが	施策の進め方 ((1)自主的な学	習の支援	필		フラッグ			フラッグコ	項目
	事業の概	我要	図書館資料の貸 利用に係る調査 地域の図書館と 図書館見学、職	、統計業務。 の連携。		及び、購入、受入等の図書	警整理事業 。			(近隣市町 市の状況:	D実施状況 町や先進都 全 等を具体的 記載)	全国のほと 全国の公会 総事業	共図書館設	置率(市区)98	3.8%「図書館年鑑201 25決算 H26予算	4より」 H26決	算 ┃ H27予算 ┃
	事業期		事業開始	年度	平成4年	序度 終了(予	定)年度	_			_	(単位:∃		83,959	87,542 89,819		,981 86,379 評価の見方
(13	事業の対	i 家 対して)	全ての市民と図	書館利用者						総事		う国費	•県費	83,959 0	87,542 89,819 0 0) 00	0 0 B 事業の改善
(対	事業の意 象をどの。 態にしたい	ような状	市民の教養、調	査研究、レク	ツエーション等に	寄与し、読書活動の推進を	を図る。						方債 の他 負担額	0 0 0	0 0 0 0)))	0 0 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討
					目的				F					事業費(単位	7· ← 円)		評価
	事業を構 事務		対象 (だれ、何に 対して)	4月~! 7	手段 のような手段を使っ 月~ 10月~11月	1~ 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標	· 単	成果指標の目設定の根	切 二	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算		評価 事業規模 事業費	評価の説明
1	個人貸出	!	全ての市民 と図書館利 用者	図書館資料	▶●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。	年間個人貸 出点数 465,595点	①市民貸出点 及び②実利用 数(長久手市右 住、在勤、在学 在園者)	①288,4 ② 10,1 日者 ①298,2 生 ② 10,0	143 157 223 052 点 前 327	市民への読書注 進をさらに図る 前年度実績のご を目標とする。	活動推 - ・	63,959 69,819 66,379	67,457 68,894	職員人件費 46,953 一般事務嘱託員報 酬 17,192 図書貸出·整理事務 賃金 4,749	A	現行どおり実施していく。 H26年度に中央図書館嘱託員2名、学 校連携嘱託員1名、臨時職員1名の計 4名増となり、事業が推進し貸出点数が 目標値を上回った。
2	図書館資	が料の購え	全ての市民 入 と図書館利 用者	■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		市民の教養、調査研究、レクリエーション 集を 等に寄与し、読書活動の推進を図る。	年間購入点 数 10,795点	①市民貸出点 及び②実利用 数(長久手市右 住、在勤、在等 在園者)	l者 ①298,2 生 ② 10,0	157 223 052 点 in 327	市民への読書 進をさらに図る 前年度実績のご を目標とする。	ため、	20,000	20,085	図書資料費 19,999 施設管理用備品 ブックトラック 88	維持維持	現行どおり実施していく。 高齢者サービス対応として、大活字本 の小説などを継続購入していく。
3						<u> </u>											
4					<u> </u>							 					
		古沙	市坐		-	r美内家(11071)11吃15中华	士乙山忠)				古地	本事業				* 神 中	
事 業 役 善 存		事務	尹未		C C	牧善内容(H27以降に実施	9		3	H27以降: 規に実施 る事務事	図書回収割	搬送委託	ポストを記	1月から実施 段置し、図書館 定期的に実施	した新規事業。西小校 官開館日に毎日、本の	琴業概要 で区共生ス 回収を行	テーション、福祉の家の2か所へブック う。H27年度6月からは合わせて寄贈書

事業番号	123	事業の名称	講座等企画	事業				担当部署		部 教育部		課 中央図書館	官				
基本方針	(4)文化を	みがき、人が輝く	まち分野	野別項目	(2)住民の自主的な生涯学習活動を支える	施策の進め方	(1)自主的な	学習の支援		フラック	グ			フラッグ項目			
事業の概	【 要	おはなし会(毎月 図書館講座(年1版 大学等連携事業、 H25年度から長久 ブックスタート/月 み聞かせを行い、	第2,3,4土曜日、 可)、現代美術展 閲覧室企画展 、手市子ども読書 12回実施。絵本 絵本とバッグを	毎月第1,37 長(年1回11月 示(年16回程 計活動推進計 に親しみふ セットにした	(、一般を対象に講座、講演会、企画 「曜日)、児童書講演会(年1回) 「頃開催)、中学生美術展(年1回12」 是開催) 計画の新規事業としてブックスタート」 れあう機会を提供するため、主に0歳 ブックスタートパックを配布する。 「及び中央図書館からの団体貸出を	月開催) 及び児童館連携を 気児を対象におはな		(近隣市町や先進都 市の状況等を具体的	美術 る。 ブッ	所展は長久手	 市中央図書館		併設するため	め、実施が可能	ごで実施されて となり、特色あ H27予算		となってい
事業期	間	事業開始年	F度	平成4年	手度 終了(予定)年度	_	_			単位:千円)	1,447	1,674	1,783	1,224	1,753	三評	呼価の見方
事業の対		全ての市民と図書	館利用者					総事業費	う	一般財源 国費·県費	1,447 0	1,674 0	1,783 0	1,224 0	1,753 0	A B	現行どおり実施 事業の改善
事業の意 (対象をどの。 態にしたい	ような状	市民の教養、調査	₹研究、レクリエー	ーション等に	寄与し、読書活動の推進を図る。				ち	地方債 その他 益者負担額	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0		

			目的				成果	<u> </u>			事業費(単位	立:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
1	おはなし会	全ての市民と図書館利	◆●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	読書活動の推進を図	延参加者数		3,245 2,959		過去2年間の実績平 均値(3, 298)より2%	19 19	16 21	ボランティア保険料	Α	ほぼ計画どおり実施したが、開館日の都合により、お話会の回数がH25年度よりも5回減少し、延参加者数が減った。 一方、ブックスタート及び学校連携事業にか
	NIS. S. C.A.	用者	い、乳幼児から小学生向けおはなし会を開催することで	వ .	2, 959人	9/70H-D 9/X	3,360	1	増加を目標とする。	15		NIZO ZIIZ MNOCITI	維持 増加	かるおはなし会はH25年度よりも内容が充実したものとなったため評価はAとした。 今後は成果指標を「一回あたりの参加者数」 へ変更する。
		全ての市民		読書活動の推進を図	年1回開催	参加者へのアン	94	ł	高い評価を受けてい	285	285	児童書講演会及び	В	現行どおり実施していく。 アンケートは無回答が多く満足度が伸びなかったため評価Bとした。
2	尼童書講演会	と図書館利 用者	絵本作家や童話作家などの作 家による児童書講演会を開催	試書店動の推進を図る。 る。		ケート調査による 満足度	58	%	ることから前年実績からの1%増加を目標と する。	317	209	原画展報償費 200 企画運営報償費 8 原画展保険料 1	維持	アンケートの記述欄では例年通りの満足した回答が多くあった。 今後はアンケート配布方法やアンケート内
			することで				95) 0	323			維持	容を検討する。
		全ての市民		読書及びボランティ	年1講座/4 回	参加者へのアン ケート調査による	27	4		100	60		Α	現行どおり実施していく。 目標値を大きく上回った。現在のボラン
3	図書館講座	と図書館利用者	図書修理養成講座や児童書	ア活動の推進を図る。	うち中級者 向3回、上 級者向1回	ボランティア参加 を希望した人の 割合	54	%	前年実績からの3% 増加を目標とする。	100	60	図書館講座講師謝 礼	維持	ティア体制及びレベルアップを考慮しながら、受講対象者のレベルを検討しボ
			講座を開催することで		秋伯円1円	割合	28			100			維持	ランティアの維持と育成に努める。
							63			163	98	ギャラリー企画展監 修等報償金 20	Α	現行どおり実施していく。
4	現代美術展	全ての市民と図書館利	愛知県立芸術大学の学生及		年1回開催	来場者数	108	人	過去2年間の実績平均値(69)より2%増加	165	83	デャラリー企画展出 品協力者報償金 45		H25年度から開始した本と芸術のコラ ボレーション企画は来場者増加につな
		用者	び教員による現代美術展を開 催することで	ション等に寄与する。			70	II .	を目標とする。	139		印刷製本費 17 損害保険料 1	維持	がり、好評価と思われる。

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	③ 図書館講座	現在、活動中のボランティアを対象にした上級者向けの回数を1回増やし、レベルアップを図る。			
事務事業の改	② 児童書講演会	アンケート項目について、記述欄よりもチェック欄を増やすことで回答しやすくし、無回答を減らすように努める。	H27以降新 規に実施す		
善内容			る事務事業		

					TOTAL INC.														
事業番号	123	事業の名称	講座等企	企画事業					担当部署		部 教育部		課 中央図書館	',					
基本方針	(4)文化を	とみがき、人が輝く	まち	分野別項目	(2)住民の自主的	」な生涯学習活動を支える	施策の進め方	(1)自主的な	学習の支援		フラック	ブ			フラッグ項目				
事業の概	菠要	おはなし会(毎月 図書館講座(年1] 大学等連携事業、 H25年度から長り ブックスタート/月 み聞かせを行い、	第2,3,4土雨 可)、現代美 、閲覧室企 、手市子どで 見2回実施。 絵本とバッ	曜日、毎月第1,3 長術展(年1回11 画展示(年16回れ b読書活動推進 絵本に親しみる グをセットにした	木曜日)、児童書月頃開催)、中華 月頃開催)、中華 程開催) 計画の新規事業 いれあう機会を携 ブックスタートノ	学生美術展(年1回12 業としてブックスタート) 是供するため、主に0歳	月開催) 及び児童館連携を &児を対象におは		他市町の実施状況 (近隣市町や先進都 市の状況等を具体的 に記載)	美術 る。 ブッ	「展は長久手市 クスタートは、I	市中央図書館 H26年5月末野	がギャラリーを 見在、全国の5	併設するため 1%の自治体)、実施が可能 にて実施。	となり、特色を		きとなって	(V)
事業期	間	事業開始年	丰度	平成4	年度	終了(予定)年度	-		1		総事業費 単位:千円)	H25予算 1,447	H25決算 1,674	H26予算 1,783	H26決算 1,224	H27予算 1,753		評価のり	見方
事業の対	-	全ての市民と図書	音館利用者						総事業費	う	一般財源 国費・県費	1,447 0	1,674 0	1,783 0	1,224 0	1,753 0	A B	現行どる	おり実施 の改善
事業の意 (対象をどの。 態にしたし	ような状	市民の教養、調査	至研究、レク	リエーション等に	こ寄与し、読書活	舌動の推進を図る。				ち受	地方債 その他 益者負担額	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	D	他事業 運営主体 事業の廃	本の見直し
									•				•	•	•				

			目的				成果	ļ			事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業 		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	
		全ての市民		図書館に親しみ、市	年1回開催	来場者へのアンケート調査による	88 91		過去2年間の実績平	30	42	監修謝礼図書券 15	Α	現行どおり実施していく。 ほぼ計画どおりの実績となった。目標値
(5)	中学生美術展	と図書館利 用者	市内中学生の優秀作品絵画を 図書館ギャラリーに展示するこ とで	氏の教養、レクリエーション等に寄与する。	处参加者数 49人	美術展への満足度	93		均値(91)より2%増加 を目標とする。	47		生徒参加費ノート 23	維持 維持	
		0歳から2歳	-		年20回開催 延参加者数		86		H25年度からの新規 事業のため、前年度	600	968	町太田外士 010	Α	現行どおり実施していく。ほぼ計画どおりの実績となった。ブック
@	ブックスタート	児(市民の		絵本に親しみふれあ う機会を提供する。	トノハツク門巾	ブックスタート パック配布人数	316	人	比の30%増加を目標 とする。1か月平均出 生数50人×12月=	647	212	配布用絵本 212 配布用パンフレット 0	維持	スタート事業はパック配布が主ではな く、おはなし会への参加及び同世代母 親の交流の場としての目的がある。延
			タートパックを配布することで		人数 316人		330		600人×(前年度比 25+30)%=330人	629			維持	参加者数の維持にも重点を置くように 努める。
					年間団体貸		120		貸出数を読書活動推 進の指標とする。25 年度からの新事業の	250	205		Α	現行どおり実施していく。
7	児童館連携	利用の市民	児童館図書室の環境整備を行い、中央図書館の蔵書を1児	子どもの読書活動を 推進する。	出数 1,007冊(児 童館3館)	団体貸出数	1,007	冊	ため、対象2館以上 を目標とし、各児童館	500	601	団体貸出用図書購 入費	維持	市が洞児童館からの緊急依頼に対応したため、貸出数が大幅に増加した。
			童館につき、180日間、500冊までの団体貸出を行うことで		単語の語)		200		の今後の要望に応じ 対応する。	500			維持	
			<u> </u>											
(8						l i		 						<u> </u>
														-

	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
事務事 業の改 善内容			H27以降新 規に実施す る事務事業		
善内容			る事務事業		

			長久手	-市行政評	平価票															
事業番	号 124	事業の名称	学校連携事業						担	当部署		部 教育部		課 中央図書館	道					
基本方針	† (4)文化を	みがき、人が輝く	まち 分野別項	[1] (2)住民	その自主的な生涯学習活動	かを支える 施	画策の進め方 (1	1)自主的な	学習の支	援		フラック	ブ			フラッグ項目	目			
事業	の概要	新規嘱託職員1名 読み聞かせ、ストー 選書、学校図書ボ	を採用)。	おはなし会を行 等を行う。	中学校9校へ派遣し、 行うとともに、読書案内 、図書の貸出を行う。				(近隣市 市の状況	「の実施状況 「町や先進都 況等を具体的 こ記載)	近隣	では、日進市	立図書館、瀬	戶市立図書館	涫にて実施 。					
市业	¥ ₩q 88	声		7世99年帝		中) 左曲						総事業費 単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算			歌年の	日十
事業	関制制の対象では対して)	事業開始年 市内小中学校(の)		平成22年度	終了(予)	E) 平设			総	事業費		一般財源 国費・県費	7,714 7,714 0	7,736 7,736 0	9,417 9,417 0	7 9,66 7 9,66		A	評価の A 現行ど B 事業	
(対象をと	の意図 ごのような状 たいか)	中央図書館の嘱託	£職員と学校の司書	対論が協働で	で連携事業を行い、子の	どもの読書沼	₹動を推進する。 -				5	地方債 その他 益者負担額	0 0 0	0 0 0	0 0 0)	0 0 0 0		C 他事業D 運営主体E 事業の原	体の見直し
			目信	5h			_		成果				車業 費(単位:千円)			評価			
	を構成する		手段 (いつ、どのような手段 4月~ 7月~ 10月	段を使って) (対	意図 対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	績単 	成果指標の 設定の材		他 H25予 H27予	算 H25決 算 H26決	算 H26決算 (単化	「の主な内訳 位:千円)	事業規模事業費	評価	の説り	月	
① おは ⁷	なし会	市内小中学 校の児童生 徒	読み聞かせ(ブックトトーリーテリングを含	ーク、ス 社)などの 推	子どもの読書活動を : 推進する。	全小中学校 にて実施	おはなし会実施回数		665 回	前年実績から を目標とする についてはH の伸び率13%	(増加 H24-H	加]率 8,		371	务嘱託員報	B おか務 ブ 規	らはなし会回数は いら5年目となり、き らが増加した。また リオバトルなど、こ も事業が増えたた	学校か た、アニ おはな め、今	ら任され ニマシオン よし会以タ う後は成り	1る業 ンやビ 外の新 果指標

			目的				成果				事業費(単位	江:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		市内小中学		子どもの読書活動を	全 小山学校	おけわ! 今宝梅	713 665		前年実績からの増加を目標とする(増加率	6,714 8,417	6,371 8,417	机事效呢子只知	В	おはなし会回数は減少したが事業開始 から5年目となり、学校から任される業 務が増加した。また、アニマシオンやビ
1	おはなし会	校の児童生 徒	読み聞かせ(ブックトーク、ストーリーテリングを含む)などのおはなし会を行うことで	推進する。	とて実施	回数	805		と口信とする(増加平 についてはH24-H25 の伸び率13%)。	9,076	0,111	酬 (4人)	維持 維持	ブリオバトルなど、おはなし会以外の新 規事業が増えたため、今後は成果指標 を「読書行事(おはなし会、ブックトー
													雅竹	ク、アニマシオン等)件数」へ変更する。
					大明司从代		9,276		貸出数を読書活動推進 の指標とする。全小学	1,000	1,365		Α	目標値の方が実績よりも高い結果となった が、目標値の設定に見直しが必要と判断し
2	団体貸出	市内小中学 校の児童生 徒	中央図書館の蔵書を各字校 (計8校)へ1学年につき、180	子どもの読書活動を 推進する。	年間団体貸 出冊数 9,447冊	団体貸出数	9,447	#	校へ普及したため中学 校への貸出を今後の要 望に応じ対応する。前	1,000	1,249	団体貸出用図書購 入費	維持	たためA評価とした。 なお、実績が伸びなかった原因として団体 貸出しを開始後5年が経過し、破損本が増
			日間、500冊の団体貸出を行う ことで				9,550		年実績からの3%増加を 目標とする。	1,000			維持	加したことが上げられる。 図書の再購入費が課題となった。
3														1
4														

		事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)		事務事業	事業概要
	1	おはなし会	事業が推進した結果、おはなし会以外の読書行事が増加した。(ブックトーク、ストーリーテリング、アニマシオン等)今後は読書行事の件数を成果指標とする。			
事務事業の改				H27以降新 規に実施す		
善内容				規に実施する る事務事業		

事業	番号	125	事業の名称	会議録、	・ 					担	当部署	13	部 養会事務局		課			
基本	方針				分野別項目		施	策の進め方				H-1	フラッグ		·	フラッグエ	頁目	
	事業の概	要	また、一般質問 る。	映像を市役	所ロビー及び西庁舎	その会議録を作成し、議会 会議室で生中継し、併 [・]	せて議会ホー、			(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 記等を具体的 記載)	瀬尾田の出土の世界では、一本の世界には、一本には、一本には、一本には、一本には、一本には、一本には、一本には、一本	····①本会請 ····①本会請 ····①本会請 ····①本会言 ····①本会言 ····①本会言	8、②本会議8、②本会議8、②本会議8、②用会(市6、②一般質問8、②一般質問	(①会議録、②録画映 ・長あいさつ)、一般質問 明 (試行中) 25決算 H26予算		_ 算 H27予算	
	事業期間 事業の対	· 台	事業開始	台年度	平成15年	度 終了(予	定)年度	-				(単位	· 千円) · 般財源	5,669 5,669	5,153 6,072 5,153 6,072		,110 5,846 ,110 5,846	評価の見方 A 現行どおり実施
	・ 未の対		市内外の住民							総	事業費			0,009	0 0,072	ο,	0 0,040	B 事業の改善
(対象	■業の意 をどのよ にしたい	うな状	議会ホームペー	ージへのアク	セスにより、議会活動	かを知ってもらう。						ち	也方債 その他	0 0 0	0 0 0 0 0 0		0 0	C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
					目的				J.					事業費(単位	江:千円)		評価	i
juji.	事業を構 事務事		対象 (だれ、何 対して)		手段 のような手段を使って 7月~ 10月~ 1月~		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実約 H26実約 H26目標	遺 一	成果指標(設定の		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価事業規模事業費	評化	西の説明
			市内外の何			※人が利よか で1	人类母左后	議会ホームペー			平成25年度 ※平成26年	・声の女体	3,807 4,225	3,411 3,323	会議録作成委託 2,783	Α	平成26年度の実	績は目標値を上回らな
1 2	議録検	索	民に		作成することで	議会活動を知ってもらう。		ジ(会議録)への 年間のアクセス 数		170	※平成26年 が平成25年 を下回った 標値を平成	ため、目 25年度の			会議録配信委託151 会議得検索使用料 389	維持 維持	かったが、達成率 現行どおり実施し	が94%と高いため、 ていく。
						•			17,	-	実績とする。		1,862	1,742		A		
2 5	デオ放明	快事業	市内外の住民に		を放映することで	議会活動を知っても らう。	一般質問年 4回放映	議会ホームページ(ビデオ放映)への年間のアクセス数	19,3	297	前年度実績	111	1,847	1,787	撮影委託821 録画配信委託189 録画配信使用料778		現行どおり実施し	ていく。
								とク数	17,	440			1,892			維持		
3					<u> </u>	_											6	
4																	E	
		事務	事業		改	善内容(H27以降に実施	する内容)				=	事務事業			事	業概要		
事務事業の記	事 女								- 1	H27以陷 規に実が	毎す┃							
善内容	F									る事務事	業					_		

				長久手市行	行政評価票														1/2	
事業番号	126	事業の名称	内部監査	查事業					担	当部署		部 監査委員事程	答 局	課						
基本方針	(5)みんな0	の力を結集する自治と	と協働のまち	分野別項目	(5)合理的で効果	具的な行政運営を行う	施策の進め方	(2)公平•透明	月な行政運	営の確立		フラック	グ	,		フラッグ項目				
事業の概	既要	地方自治法の規 審査を実施する。	定に基づき	、財務に関する?	事務の執行及び経	経営に係る事業の管	・理について、監査	査、検査及び	(近隣市 市の状況	の実施状況 町や先進都 記等を具体的 記載)	地方	· 自治法に基	づき、全自治の	体において実	施されている。	,				
Nr. 115		Nr. 55 17										総事業費	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算			
事業期		事業開始。	年度	_		終了(予定)年度		_	_		(月	単位:千円)	1,882	1,839	2,198				評価の見え	
事業の対		行政で実施されて	ている全事	業					終	事業費	 う	一般財源 国費・県費	1,882	1,839	2,198	2,130	2,188		A 現行どおり 3 事業の改	
事業の意									יושנגי -	于不良	ś	地方債	<u>0</u>)	0	, <u>č</u>)ŏ		つ 他事業と紛	
		公正な行財政運	営を確保す	⁻ る。								その他	0	,		, 0) <u>ö</u>] 運営主体の見	
態にしたし			, - · · · · ·								受	益者負担額	0	0	0	C) 0		事業の廃止の	
																1				
				目的					成果					(単位:千円)			評価			
事業を構 事務	構成する 事業		4月~[7]	手段 のような手段を使っ 7月~ 10月~ 1月	月~態にした	のような状 実施結		H25実 押26実 H26目		成果指標の 設定の		值 H25予 H27予		算 第一 H26決算 (単	草の主な内訳 位:千円)	<u>評価</u> 事業規模 事業費	評価	話の説明	月	
						19回宝牌	旃		0			1,	,676 1	委員報告 1,650 _{1 032}	州				_	

			目的				成果				事業費(単位	ī:千円)		評価
	事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~	意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	H25実績 H26実績 H26目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	H26決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
	例月出納検査(地方		(120)	会計管理者の保管す			0		指摘事項のないこと (違法、不当となるよう	1,676	1,650	委員報酬 1,032 需用費	Α	現行どおり実施していく。 事業費については全国都市監査委
	D 自治法第235条の2第 1項)	会計管理者	月1回例日を定めて(原則20	の適正な現金出納事		指摘事項件数	0	件	な事項がないこと)が 理想の状態であるこ	2,003	1,935	(委託を除き、監査、	維持	員会総会出席の旅費及び加除本の追 録費用が増額となったため、「増加」とし
			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		伝票の精査 を実施)		0		とから0件とした。	1,993		審査及び検査ごとに 事業費を設定してい ないため総額を記載)	増加	t.
			(北向30課等)	市の財務、経営に関			0				(例月出納検査の欄 にまとめて記載)		Α	
	定期監査(地方自治 法第199条第4項)	全課等	人のの知然に出て貯木子只	する事務及び事業の 執行が、適正かつ効	30課実施	指摘事項件数	0	件	は事頃がはいここが!	(例月出納検査の欄 にまとめて記載)	(例月出納検査の欄 にまとめて記載)	(例月出納検査の欄・ にまとめて記載)	維持	現行どおり実施していく。
	公弟199朱弟4頃)		全30の課等に対して監査委員による監査を実施	率的に行われるよう にする。			0		理想の状態であるこ とから0件とした。	(例月出納検査の欄 にまとめて記載)		にまどめて記載)		
										によどめて記載)			維持	
				工事契約に係る書類			0		指摘事項のないこと	206	189		Α	
	工事監査(工事技術)調査)(地方自治法		市が発注した公共工事のうち、 監査実施年度に施工中である	の適正な整備及び施工現場の適正な管理	2工事の監	指摘事項件数	0	件	(違法、不当となるような事項がないこと)が	195	195	工事関係技術調査 委託	維持	現行どおり実施していく。
	第199条第4項)		ものを抽出し、専門の技術士に調査を委託し、監査を実施	を図る。			0		理想の状態であるこ とから0件とした。	195		195	維持	
										(例月出納検査の欄	(例月出納検査の欄		小庄17	
	財政援助団体等監	市補助金の	<u> </u>	補助金が指定された 目的及び条件等に					指摘事項の無いこと (違法・不当となるよう		にまとめて記載) (例月出納検査の欄		Α	
(1) 查(地方自治法第	交付を受け	市補助金の交付を受けている団体の中から抽出し、監査を	益上の必要性が達成		指摘事項件数	0	件			にまとめて記載)	(例月出納検査の欄 「 にまとめて記載)	維持	現行どおり実施していく。
	100不知1次/	本団で、こ	実施	され、効果をあげるよ うにする。			0		とから0件とした。	(例月出納検査の欄 にまとめて記載)			 維持	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	H27以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要
			る事務事業		

事	業番号	番号 126 事業の名称 内部監査事業							担当	当部署	監査	部 課 監査委員事務局					
基	本方針	(5)みんなの力	を結集する自治	と協働のまち	分野別項目	(5)合理的で効果的な行政	運営を行う 旅	施策の進め方 (2)公平•透明	な行政運	営の確立		フラッグ	•	•	フラッグコ	項目
	事業の概要 地方自治法の規定に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、 審査を実施する。						について、監査、	検査及び	(近隣市) 市の状況	D実施状況 町や先進都 (等を具体的 記載)	地方自治			おいて実施されている。 25決算 H26予算	。 H26決	算 ┃ H27予算 ┃	
	事業期事業の対	付象 /=-	事業開始		_	終了(予	予定)年度	_				(単位:		1,882 1,882	1,839 2,198 1,839 2,198	3 2	130 2,188 130 2,188 A 現行どおり実施
(対	行政で実施されている全事業 事業の意図 対象をどのような状 態にしたいか)					総	事業費	ち 地 そ	国費・県費 0 地方債 0 その他 0 益者負担額 0		0 C 0 C 0 C)))	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 E 事業の廃止の検討				
\equiv					目的					成果				事業費(単位	÷. 4m)		評価
	事業を 事務		対象 (だれ、何に 対して)		手段 のような手段を使っ 月~!10月~! 1月		事務事業の 実施結果	成果指標	H25実 H26実 H26目標	積 単	成果指標の 設定の相		H25予算 H26予算 H27予算	H25決算 H26決算	4. 〒日/ H26決算の主な内訳 (単位:千円)	事業規模事業費	評価の説明
(5)	決算審査 法第233	至(地方自治 条第2項)	全課等	全課等の		歳入の確保及び歳出 の施行状況等につい 査 て、適正かつ効率化		指摘事項件数		0 件 ;	指摘事項のな (違法、不当とな事項がない 理想の状態で とから0件とし	にいこと はなるよう (こと) が ばあるこ	例月出納検査の欄 こまとめて記載) 例月出納検査の欄 こまとめて記載) 例月出納検査の欄 の月出納検査の欄 こまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載) (例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄 にまとめて記載)	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
6	審査(地	川断比率等 方公共団体)健全化に関 第3条)	財政課	断比率及る	算に基づく健全化 び資金不足比率に の算定に係る書 の決算審査と同	しく算出されるように	1回実施(財 受課の決算 審査と同時 に実施)			0 件	指摘事項のな (違法、不当とな事項がない 理想の状態で とから0件とし	いこと となるよう (こと) が であるこ	例月出納検査の欄 こまとめて記載) 例月出納検査の欄 こまとめて記載) の月出納検査の欄 にまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載) (例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄 にまとめて記載)	維持維持	現行どおり実施していく。
7	行政監査 法第199	至(地方自治 条第2項)	全課等のうちから抽出	備品につき	き、備品台帳の整)使用状況等を確 管理が行われて	・ 物品取扱規程等に定る められた手続に従い、適正な備品管理	かったが、	指摘事項件数	:	0 件	指摘事項のな (違法、不当とな事項がない 理想の状態で とから0件とし	さいこと ! さなるよう (こと)が ! ごあるこ !	こまとめて記載)	(例月出納検査の欄にまとめて記載) (例月出納検査の欄にまとめて記載)	(例月出納検査の欄 にまとめて記載)	維持維持	現行どおり実施していく。
8																	
		事務事業	¥			ま内突(ロ27に)吹に宝佐	する内容)				事	務事業				事業概要	
事務業の善内			K .	改善内容(H27以降に実施する内容)				H27以降	新	150年末			#	*未似安			
	为容 ————————————————————————————————————								_ 規に実施す る事務事業 -								